

令和2年度
市民意識調査報告書

令和3年3月
東松山市

はじめに

東松山市では、平成28年4月に「第五次東松山市総合計画」を策定し、「住みたい、働きたい、訪れたい 元気と希望に出会えるまち 東松山」の実現を目指し、前期基本計画では「観光振興」「産業振興」「子育て支援」をリーディングプロジェクトとして事業を展開してきました。そして、令和3年4月からは前期基本計画の3つの柱に「防災・減災対策の推進」と「地域福祉の充実」を加えた5項目を重点的に取り組むべき課題として位置づけた「第五次東松山市総合計画後期基本計画」がスタートします。引き続き、諸施策を強力で推進してまいります。



本調査は、市民の皆様から市政に対するご意見・ご要望を的確に把握することを目的に実施するものです。皆様から寄せられたご意見を今後の東松山市のまちづくりの基礎資料として有効に活用し、子どもから高齢者まで全ての市民が元気で希望を持って心豊かに暮らせるまちの実現に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本調査にご協力いただきました市民の皆様へ、心よりお礼申し上げます。

令和3年3月

東松山市長 **森田 光一**

■目 次

I 調査の概要

調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者及び調査方法等	1
3 回収結果	1
4 回収率の推移	1
5 本報告書の見方について	2
6 標本誤差について	2
回答者の属性	3

II 結果の概要

結果の概要	5
1 まち全体の印象について	5
2 健康や医療・福祉について	5
3 環境について	6
4 防災について	6
5 防犯・交通について	6
6 市民生活について	7
7 人権・男女平等について	7
8 購買行動について	8
9 公共施設について	8
10 市政情報について	8
11 市政について	9
12 地域資源について	9

Ⅲ 調査の結果

1	まち全体の印象について	11
1-1	東松山市への愛着	11
1-2	東松山市の住みよさ	13
1-3	定住意向	15
1-4	東松山市の印象	17
2	健康や医療・福祉について	32
2-1	最初にかかる医療機関	32
2-2	最初にかかる医療機関の種類	33
2-3	健康づくりのために心がけていること	34
2-4	子育て環境の整備	37
2-5	子育て環境が整っていない理由	38
2-6	新型コロナウイルス感染症対策	40
2-7	感染症対策のために取り組んでいること	41
3	環境について	43
3-1	環境配慮状況	43
3-2	環境配慮のために心がけていること	44
3-3	環境問題の深刻度・重要度	47
3-4	省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況	54
4	防災について	59
4-1	防災情報の取得方法	59
4-2	避難行動を求められたら行うこと	61
4-3	災害に備えて行っていること	62
5	防犯・交通について	65
5-1	防犯のために必要なこと	65
5-2	主に利用している交通手段	68
5-3	市内循環バスの利用状況	70
5-4	市内循環バスを利用した理由	71
5-5	市内循環バスを利用したことがない理由	72
5-6	デマンドタクシーの利用状況	73
5-7	デマンドタクシーを利用した理由	74
5-8	デマンドタクシーを利用したことがない理由	75
6	市民生活について	76
6-1	インターネットの利用状況	76
6-2	学習や趣味などの活動状況	78

6-3	生涯学習等の活動を行っている目的	80
6-4	運動(スポーツなど)を行う頻度	83
6-5	運動(スポーツなど)を1回に行う時間	85
6-6	日本スリーデーマーチの参加状況	87
6-7	日本スリーデーマーチに参加した理由	89
6-8	地域活動への参加状況	91
6-9	ボランティア活動への参加状況	93
6-10	活動している分野	95
7	人権・男女平等について	96
7-1	人権の意識について	96
7-2	LGBTの認知状況	99
7-3	男女の地位の平等感	100
7-4	男女役割分担意識	105
8	購買行動について	106
8-1	商品の購入状況	106
8-2	日用品の買物での利便性	109
8-3	買物で不便を感じる理由	110
9	公共施設について	111
9-1	公共施設(市の建物)を維持するためにすべきこと	111
9-2	減らしていくべき公共施設(市の建物)	118
10	市政情報について	120
10-1	知りたいと思う市政情報	120
10-2	市政情報の入手方法	123
10-3	市政情報の取得状況	126
10-4	広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況	127
10-5	広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法	128
10-6	広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由	129
11	市政について	132
11-1	東松山市の職員について	132
11-2	東松山市の将来像	138
11-3	よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業	142
12	地域資源について	148
12-1	東松山市の地域資源	148

IV 自由意見

分野別分類	149
市民の声	150

V 資料

単純集計結果	159
アンケート調査票	181

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

東松山市では、施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を平成 28 年から 10 か年で推進しております。市民の市政についての意見や要望を幅広く調査し、これからの「まちづくり」に役立てていくために、このアンケートを実施しました。

2 調査対象者及び調査方法等

調査地域	東松山市全域
調査対象	市内に居住する満 18 歳以上の方
標本数	2,000
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和 2 年 10 月 21 日（水）～11 月 9 日（月）

3 回収結果

配布数	2,000
有効回収数	1,282
有効回収率	64.10%

4 回収率の推移

	平成 21 年度	平成 23 年度	平成 25 年度	平成 28 年度	平成 30 年度	令和 2 年度
配布数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
有効回収数	1,202	1,280	1,233	1,292	1,221	1,282
有効回収率	60.10%	64.00%	61.65%	64.60%	61.05%	64.10%

社会調査の回収率は一般に「調査主体の信頼性」「サンプリング方法」「調査目的」「対象者の調査への関心」が影響します。また、近年では個人情報保護に対する意識が影響していると考えられます。本調査では、調査主体は東松山市であり、住民基本台帳による無作為抽出を行い、今後の市政のための基礎資料とすることを明示しています。上記表にみられるように、有効回収率は 60% 台で推移しています。今回の調査では 64.10% と前回の調査から回収率が 3 ポイント以上増加しています。

5 本報告書の見方について

- (1) 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって合計が100%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（回収者数）は、“全体（〇〇人）”として掲載し、各比率は回答者数を100%として算出しました。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。また、図表内の経年を表す「平成〇年」は「平成〇年度調査」を短縮・簡略化したものです。
- (5) 設問によっては過去の調査と選択肢を変更しているものがあります。この場合、経年変化の分析は参考程度にとどめています。
- (6) 「」は一つの選択肢を、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現を示しています。〈 〉は調査項目を表します。『 』は設問中の「」の文言を表します。

6 標本誤差について

今回の調査は、調査対象となる母集団（調査対象）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」です。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがあります。

標本誤差は、次の式で統計学的に得られ、母集団（N）、比率算出の基数（n）、回答の比率（P）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

例：問1全体で「愛着がある」との回答は、全体で36.2%です。この値を上記の式に代入すると、±0.026 となり、今回の調査で東松山市におけるこの回答の真の値は 0.336～0.388（33.6%～38.8%）の範囲であると考えられます。

N=77,475

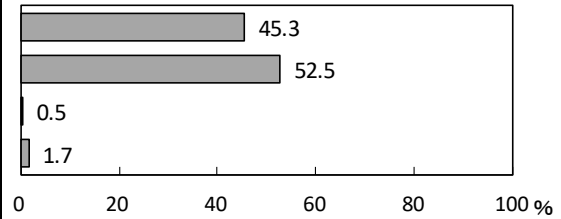
n=1,282

P=0.362

回答者の属性

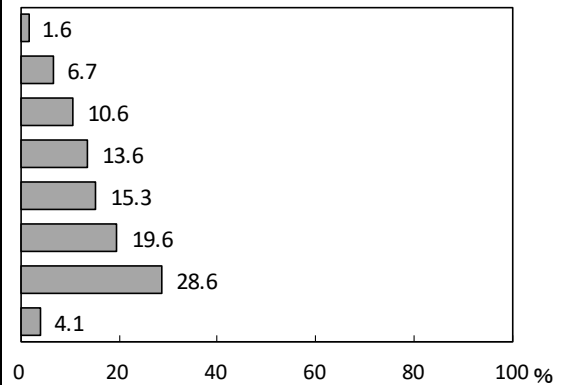
■性別

	回答数	比率(%)
男性	581	45.3
女性	673	52.5
その他/回答しない	6	0.5
無回答	22	1.7
全体	1,282	100.0



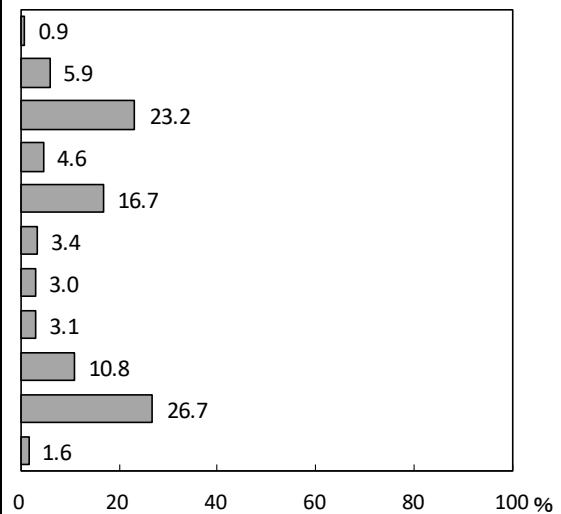
■年齢

	回答数	比率(%)
18歳・19歳	20	1.6
20歳代	86	6.7
30歳代	136	10.6
40歳代	174	13.6
50歳代	196	15.3
60歳代	251	19.6
70歳以上	367	28.6
無回答	52	4.1
全体	1,282	100.0



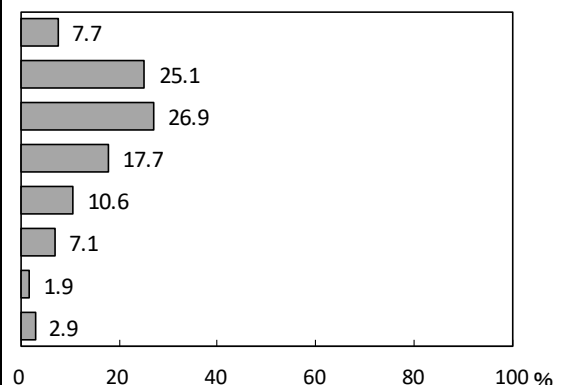
■職業

	回答数	比率(%)
農林業	11	0.9
自営業	76	5.9
会社員	298	23.2
公務員	59	4.6
パート・アルバイト	214	16.7
契約社員・派遣社員	43	3.4
学生	39	3.0
その他	40	3.1
家事・育児・介護に専業	139	10.8
無職	342	26.7
無回答	21	1.6
全体	1,282	100.0



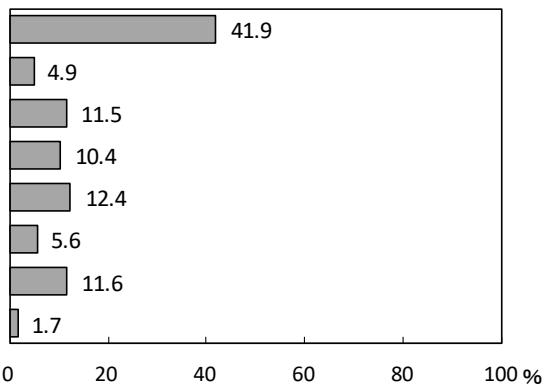
■通勤時間

	回答数	比率(%)
0分（自宅勤務）	60	7.7
15分未満	196	25.1
15分以上30分未満	210	26.9
30分以上60分未満	138	17.7
60分以上90分未満	83	10.6
90分以上120分未満	55	7.1
120分以上	15	1.9
無回答	23	2.9
全体	780	100.0



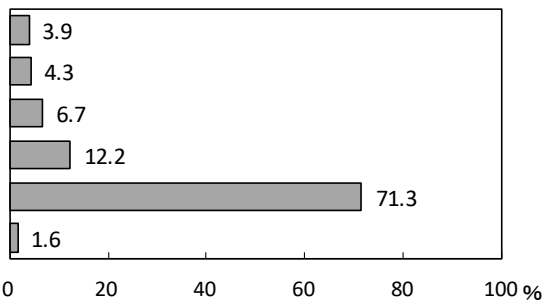
■お住まいの行政区

	回答数	比率(%)
松山地区	537	41.9
大岡地区	63	4.9
平野地区	147	11.5
唐子地区	133	10.4
高坂地区	159	12.4
高坂丘陵地区	72	5.6
野本地区	149	11.6
無回答	22	1.7
全体	1,282	100.0



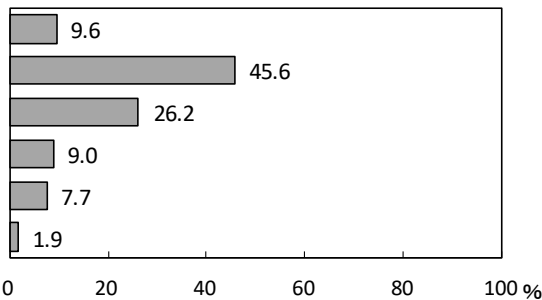
■居住年数

	回答数	比率(%)
2年未満	50	3.9
2年以上5年未満	55	4.3
5年以上10年未満	86	6.7
10年以上20年未満	157	12.2
20年以上	914	71.3
無回答	20	1.6
全体	1,282	100.0



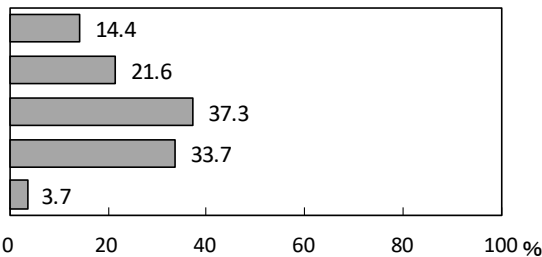
■家族構成

	回答数	比率(%)
三世代世帯(祖父母、父母、子どもなど)	123	9.6
二世代世帯(夫婦と子どもなど)	584	45.6
夫婦のみ	336	26.2
単身世帯	116	9.0
その他	99	7.7
無回答	24	1.9
全体	1,282	100.0



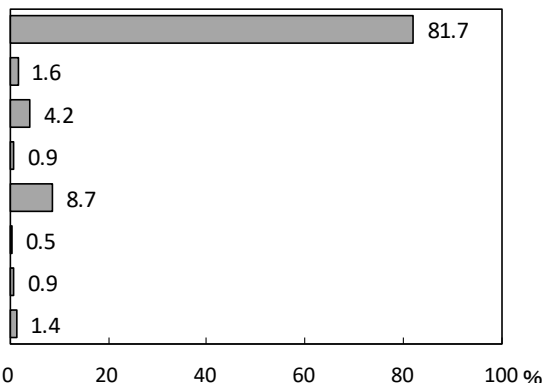
■同居家族(複数回答)

	回答数	比率(%)
就学前(0~6歳)	102	14.4
小学生・中学生	153	21.6
65歳以上	264	37.3
いずれもない	238	33.7
無回答	26	3.7
全体	707	100.0



■居住形態

	回答数	比率(%)
一戸建て持ち家	1,048	81.7
一戸建て借家	20	1.6
共同持ち家(分譲マンション等)	54	4.2
公営の賃貸住宅	11	0.9
民間の賃貸集合住宅(マンション・アパート等)	112	8.7
社宅・寮	7	0.5
その他	12	0.9
無回答	18	1.4
全体	1,282	100.0



Ⅱ 結果の概要

結果の概要

1 まち全体の印象について

“東松山市に愛着を感じている”（「愛着がある」または「どちらかといえば愛着がある」）と回答した人は、全体では7割を超えています。「愛着がある」と回答した割合は、70歳以上で5割弱と最も高く、30歳代で2割半ばと最も低くなっており、その他の年代では3割弱～3割半ばとなっています。

“住みよいと感じている”（「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」）と回答した人は、全体の7割以上となっています。さらに、住みよさを愛着度別でみると、愛着度が高いほど「住みよい」と回答する割合が高く、反対に愛着度が低いほど「住みにくい」とする割合が高くなっています。

定住意向では「現在のところに住み続けたい」と回答した人は、全体では6割半ばとなっています。また、定住意向を愛着度別でみると愛着度が上がるほど、住みよさ別でみると住みよさが上がるほど高くなっています。

東松山市の印象について“よい”（「よい」または「どちらかといえばよい」）と感じている割合が高い項目は〈自然環境〉〈買物などの日常生活の利便性〉〈人柄・土地柄〉〈歴史と伝統〉となっています。一方“わるい”（「わるい」または「どちらかといえばわるい」）が“よい”を上回っている項目は〈働く場〉〈道路や公園等の生活の基盤施設〉〈活気とにぎわい〉〈街並みの美しさ〉〈市の発展性〉〈都市としての個性や魅力〉となっています。

2 健康や医療・福祉について

最初にかかる医療機関を「決めている」と回答した人は、全体の7割強となっています。また、最初にかかる医療機関の種類は「近所の医院・診療所・クリニック」が8割と最も高くなっています。

健康づくりのために心がけていることは「食事に気をつける」と回答した人が6割強と高くなっています。次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」が6割と続いています。

経年比較をみると、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」「散歩や運動などをする」が平成23年度調査以降で最も高くなっています。「食事に気をつける」は平成30年度と比べ5.3ポイント減で最も減少しています。また、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」「散歩や運動などをする」「ストレスをためないよう気分転換をはかる」は、平成30年度から健康づくりのために心がけていることとして増加しています。

“子育て環境が整っている”（「整っている」または「どちらかといえば整っている」）と回答した人は、3割半ばとなっています。また、未就学児と同居している回答者、小学生・中学生と同居している回答者とも、“子育て環境が整っている”は4割台となっており、“子育て環境が整っていない”を上回っています。子育て環境が整っていない理由としては「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」などが高くなっています。

新型コロナウイルスの感染症対策に「取り組んでいる」と回答した人は、9割半ばを占めています。感染症対策のために取り組んでいることとしては「咳エチケット、マスクの着用をする」が10割弱を占め最も高く、次いで「手洗い、手指消毒をする」が僅差で続き、「3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける」が8割弱と続いています。

3 環境について

“環境に配慮した生活を心がけている”（「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」）と回答した人は、8割半ばと高くなっています。具体的に行っている環境活動は「ごみの分別を徹底している」が最も高く、男性・女性ともに9割を超えており、「マイバッグを利用している」「部屋の電気等をこまめに消している」「家の周りなどに植物を植えている」などが続いています。いずれの項目も女性が男性を上回っています。

環境問題では、『すでに深刻な問題である』については、「地球温暖化」が6割半ばと最も高く、「ごみの増加や不法投棄」「身近な緑や農地の減少」「有害化学物質による人体への影響」などが続いています。経年比較では、継続して最も高い「地球温暖化」が、平成30年度調査結果をさらに上回り、過去最高の割合となっています。また、「ごみの増加や不法投棄」では平成30年度調査から17.2ポイント増と大きく増加しています。

『重点的に取り組んでいく必要がある』については「地球温暖化」が5割弱で高く、「ごみの増加や不法投棄」「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」「省エネや新エネルギー」「身近な緑や農地の減少」などと続いています。平成30年度調査と比較すると、「地球温暖化」は16.6ポイント、「ごみの増加や不法投棄」「酸性雨や大気汚染」は5ポイント以上増加しています。

省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況について、「利用している」は「建物の断熱化」が最も高く、「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車」が最も高く、次いで「家庭用蓄電池」となっています。

4 防災について

防災情報の取得方法は「テレビ」と回答した人が8割、「緊急速報メール」が7割強、「防災行政無線」が5割となっています。

避難行動を求められたら行うことでは「自宅が安全なため避難しない」が4割、「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」が3割強、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」が2割弱となっています。

災害に備えて行っていることでは「保存飲料水・食料品を準備している」と回答した人は5割強、「家族や親族との連絡方法を決めている」が3割半ば、「非常用持ち出し袋を用意している」が3割弱となっています。平成30年度調査と比較すると、「家財を補強している」で16.4ポイント、「避難場所や経路を確認している」「防災訓練に参加している」「応急手当等の研修に参加している」「消火器を準備している」が5ポイント以上減少しています。

5 防犯・交通について

防犯のために必要なことでは「防犯灯や街灯の数を増やす」と回答した人は6割台半ばと最も高くなっており、男性よりも女性の方が8.8ポイント上回っています。また、平成30年度調査と比較すると、「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は3.7ポイント増加しています。

主に利用している交通手段は「自家用車（自分で運転）」と回答した人は7割台半ばで最も高くなっており、男性が女性を11.8ポイント上回り、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性が男性を15.1ポイント上回っています。

市内循環バスの利用状況は過去1年以内に「利用したことがある」と回答した人は1割台で、「利用したことがない」が9割弱を占めています。年代別にみると、20歳代で「利用したことがある」が2割を超え高くなっています。市内循環バスを利用した理由は「買い物」が3割強で最も高くなっています。「通勤・通学」では男性が女性を13.4ポイント、「公共施設を利用するため」は男性が女性を8.2ポイント上回っています。市内循環バスを利用したことがない理由は「ほかの交通手段を利用しているから」が6割と最も高くなっています。

デマンドタクシーの利用状況は「利用したことがある」は1割台半ばで、「利用したことが

ない」が8割強を占めています。年代別では「利用したことがある」は70歳以上で3割強と高くなっています。デマンドタクシーを利用した理由は「通院」が7割で最も高くなっています。デマンドタクシーを利用したことがない理由は「ほかの交通手段を利用しているから」が6割強と最も高くなっています。

6 市民生活について

インターネットの利用状況では「スマートフォン（携帯電話）で利用している」と回答した人が7割弱、「パソコンで利用している」が4割弱、「タブレット端末で利用している」が1割強となっています。性別でみると、「パソコンで利用している」は男性が女性を22.1ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況としては「スポーツや野外活動」が2割台半ば、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」が1割台半ば、「芸術的なもの」「健康・福祉に関すること」「娯楽的なもの」は1割弱となっています。また「特に行っていない」は4割台前半となっています。

生涯学習等の活動を行っている目的では「健康・体力づくりをする」が3割台前半、「趣味を豊かにする」が2割台後半、「生きがいを高める」が2割台半ばとなっています。平成23年度調査から比較すると「特に行っていない」が増加傾向にあります。

運動（スポーツなど）を行う頻度では、週1回以上行っている“習慣的に運動を行っている”と回答した人は5割台後半となっています。一方「行わなかった」と回答した人は2割近くとなっています。職業別でみると、“習慣的に運動を行っている”は家事・育児・介護に専業の方と学生で7割と高くなっていますが、有職者では“習慣的に運動を行っている”は男性・女性とも5割となっています。

日本スリーデーマーチの参加については6割が1回以上の参加経験があり、18歳・19歳で10割、20歳代で7割以上となっています。居住年数でみると、居住期間が長くなるほど“参加したことがある”が増える傾向にあります。参加理由は、「学校行事だったから」と回答した人は4割台前半と最も高く、「市の代表的なイベントだから」「家族や友人・知人と交流するため」と続いています。

地域活動への参加状況では“地域の活動に参加している”（「よく参加している」または「ときどき参加している」）と回答した人は全体の3割台半ばとなっていますが、20歳代では1割と低くなっています。

ボランティア活動への参加について「現在活動している」と回答した人は、1割未満となっています。活動している分野は「スポーツ」が3割で最も高く、「子どもの健全育成」が2割台半ば、「地域安全」が2割台前半となっています。

7 人権・男女平等について

人権の意識については「高齢者」と回答した人は4割、「障害者」が3割台半ば、「インターネットによる人権侵害」「子ども」が3割台前半、「女性」「拉致問題」が2割台半ばとなっています。「女性」で女性が男性を18.2ポイント、「子ども」で女性が男性を7.4ポイント上回っています。

LGBTについては「知っていた」と回答した人は5割台半ば、「言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった」が2割台前半、「知らなかった」が2割となっています。年代別では年代が高くなるほど「知っていた」は減少傾向にあり、18歳・19歳で9割、70歳以上で3割となっています。

男女の地位の平等感については、〈学校教育の場〉では「平等である」と回答した人は5割、〈家庭生活〉では4割となっています。〈家庭生活〉〈職場〉〈政治の場〉〈法律や制度の上で〉〈社会通念・慣習・しきたりなど〉〈社会全体〉では“男性優遇と感じている”（「男性が優遇されている」または「どちらかといえば男性が優遇されている」）と回答した人の割合が高くなっています。

『男は仕事、女は家庭』という考え方には“反対である”（「反対」または「どちらかといえば反対」）と回答した人は4割で、“賛成である”（「賛成」または「どちらかといえば賛成」）と回答した人を上回っていますが、年代別で見ると70歳以上では“賛成である”と“反対である”のポイント差が11.4ポイントと最も小さくなっています。

8 購買行動について

各種商品の消費活動場所については「市内の大型店・チェーン店」と回答した人は最も高く、〈食料品〉では9割、〈衣服・服飾品〉では6割前半、〈家具・家電〉では6割後半となっています。「市外の大型店・チェーン店」と回答した人は〈衣服・服飾品〉が2割で、18歳・19歳、20歳代では3割前半～後半、それ以降は年齢が高くなるほど減少傾向にあります。また「通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）」と回答した人は〈衣服・服飾品〉の18歳・19歳で2割前半、〈家具・家電〉の20歳代で2割と高くなっています。

日用品の買物での利便性について、1割前半が「不便さを感じている」と回答しています。その理由で最も多いのが「近くにお店がない」で7割となっています。次いで「家族等の協力がないと買い物ができない」で、女性が男性を10.1ポイント上回っています。

9 公共施設について

公共施設（市の建物）を維持するためにすべきことについては、“実施すべき”（「実施すべき」または「どちらかといえば実施すべき」）と感じている割合が高い項目は〈あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする〉が6割前半となっています。“実施すべきでない”（「実施すべきでない」または「どちらかといえば実施すべきでない」）が“実施すべき”を上回っている項目は〈施設の開館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約〉〈ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる〉となっています。

減らしていくべき公共施設（市の建物）については「利用する人が少ない施設」と回答した人が3割前半と最も高く、「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」は2割後半となっています。性別で見ると「利用する人がいつも同じで、たくさんの方が利用していない施設」は男性が女性を6.0ポイント上回り、「交通の便が悪い場所にある施設」は女性が男性を5.4ポイント上回っています。

10 市政情報について

知りたいと思う市政情報は「健康・医療」と回答した人は4割後半となっており、女性が男性を8.7ポイント上回っています。「福祉・介護」と回答した人は3割後半と高くなっており、女性が男性を8.2ポイント上回っています。また「市政の運営（施策・計画・財政）」では男性が女性を17.4ポイント上回っています。

市政情報の入手方法は「広報ひがしまつやま」と回答した人が7割後半、「市からのお知らせや回覧」は4割前半と高くなっています。平成23年度以降の調査結果と比較すると「東松山市のホームページ」「メール配信サービス（東松山いんぷおメール）」「Twitter（ツイッター）」は増加傾向にありますが、「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

市政情報の取得状況では“市政情報を得られている”（「得られている」または「ある程度得られている」）と回答した人は5割となっています。また“市政情報を得られている”は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあります。

広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況では“読んでいる”（「よく読んでいる」または「時々読んでいる」）と回答した人は7割前半となっています。また、“読んでいる”は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあります。

広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法では「自治会等からの配布」が9割前半と大半を占めています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由については、「読むのが面倒」が全体の3割と最も高く、次いで「市政に関心がない」「内容がおもしろくない」が2割、「役立つ記事がない」が1割台後半、「「広報ひがしまつやま」を知らない」が1割台前半と続いています。「読むのが面倒」では特に女性の18歳・19歳が8割台前半と高くなっています。

11 市政について

市の職員については、〈礼儀正しい〉〈わかりやすく説明してくれる〉〈言葉づかいがよい〉〈話をきちんと聞いてくれる〉などで肯定的な評価が高くなっています。

東松山市の将来像では「快適に暮らせる安全のまち」が5割台半ばと高く、次いで「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」が4割台半ば、「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」が3割台半ばと続いています。

よくなってきた事業では「子育てしやすい環境づくり」と回答した人は1割台後半と最も高く、次いで「市民病院の充実」が1割台半ば、「安全で快適な道路の整備と維持管理」「健康づくりの推進」が1割台前半と続いています。性・年代別でみると、男性の30～40歳代と女性の30～50歳代で「子育てしやすい環境づくり」、男性の18歳・19歳、60歳代以降と女性の70歳以上で「市民病院の充実」、男性の18歳・19歳、20歳代、50歳代、女性の18歳・19歳、20歳代で「安全で快適な道路の整備と維持管理」が1位となっています。

重点的に取り組むべき事業は「河川・下水道の整備」と回答した人が2割と最も高く、次いで「高齢者支援の充実」が1割台後半、「保健・医療体制の充実」「子育てしやすい環境づくり」「市民病院の充実」が1割台半ばと続いています。性・年代別でみると、男性の40歳代、60歳代以降と女性の40～50歳代で「河川・下水道の整備」、男性の60歳代、女性の60歳代以降で「高齢者支援の充実」、男性の18歳・19歳、女性の40歳代で「保健・医療体制の充実」、男性の20～30歳代、50歳代と女性の20～30歳代で「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。

12 地域資源について

東松山市の地域資源については、回答した人の過半数にあたる360人が「やきとり（やきとん、かしら）」をあげています。そのほかにも「日本スリーデーマーチ」（315件）、「箭弓稲荷神社」（226件）、「ぼたん」（182件）などがあげられています。

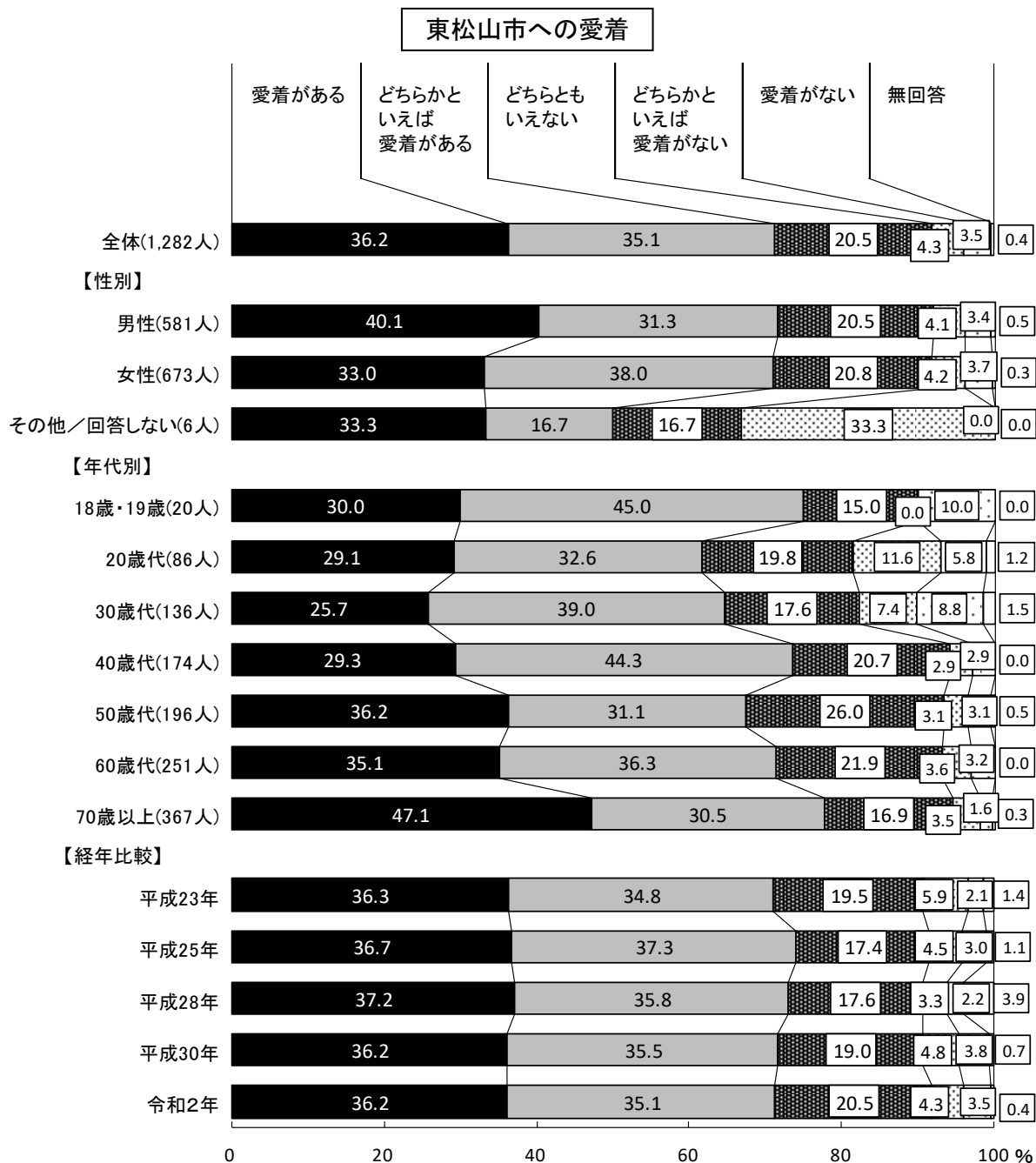
Ⅲ 調査の結果

1 まち全体の印象について

1-1 東松山市への愛着

◆ “東松山市に愛着を感じている” 71.3% ◆

問1 あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

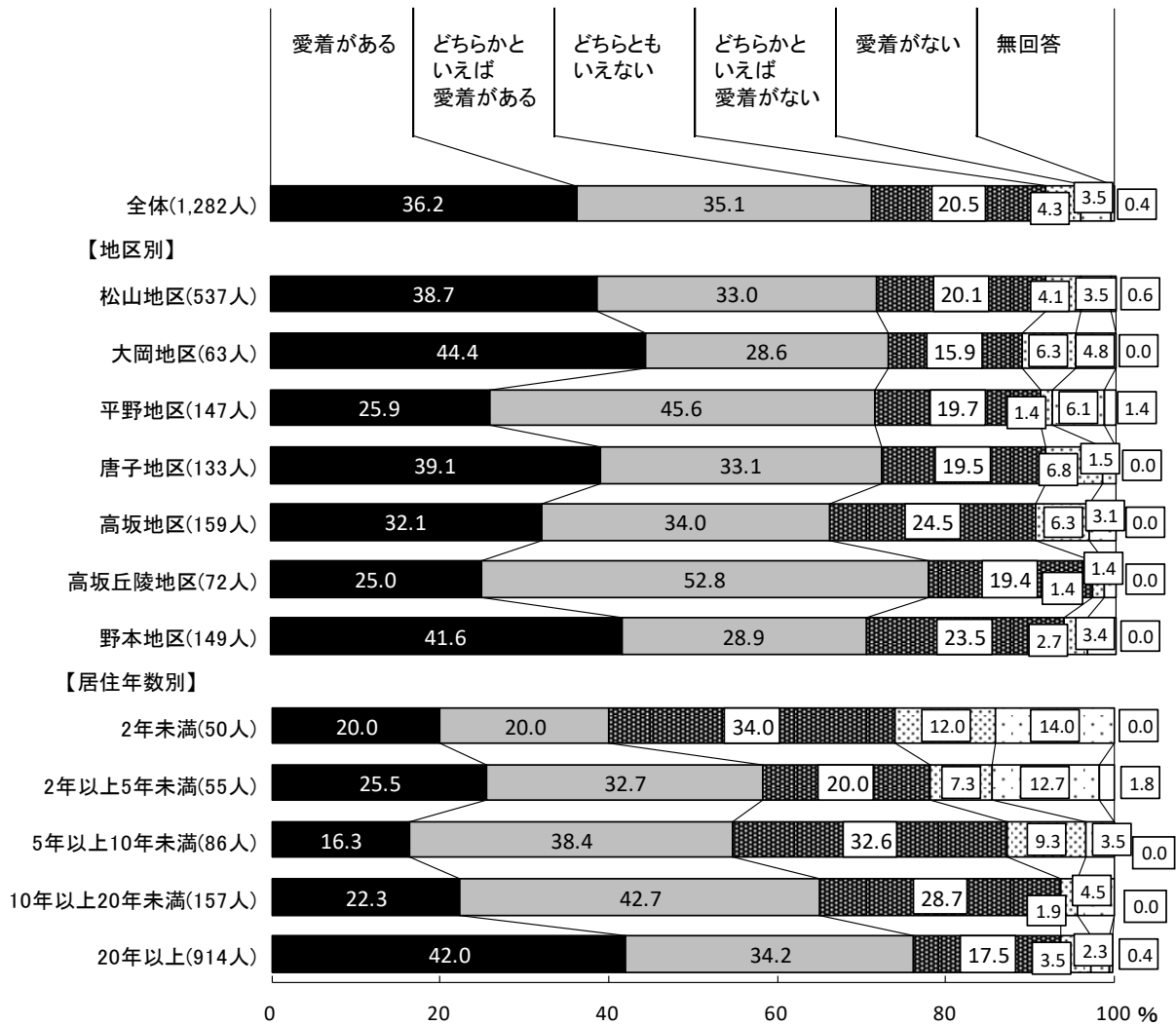


全体では「愛着がある」は36.2%、「どちらかといえば愛着がある」は35.1%と高く、両者をあわせた71.3%が“東松山市に愛着を感じている”と回答しています。

年代別でみると「愛着がある」と回答している割合は70歳以上で47.1%と最も高く、30歳代で25.7%と最も低くなっています。高年齢層に向けておおむね割合が高くなる傾向にあります。

平成30年度調査と比較すると、ほとんど変化はありませんが、平成25年度以降、“東松山市に愛着を感じている”の割合が減少傾向となっています。

東松山市への愛着



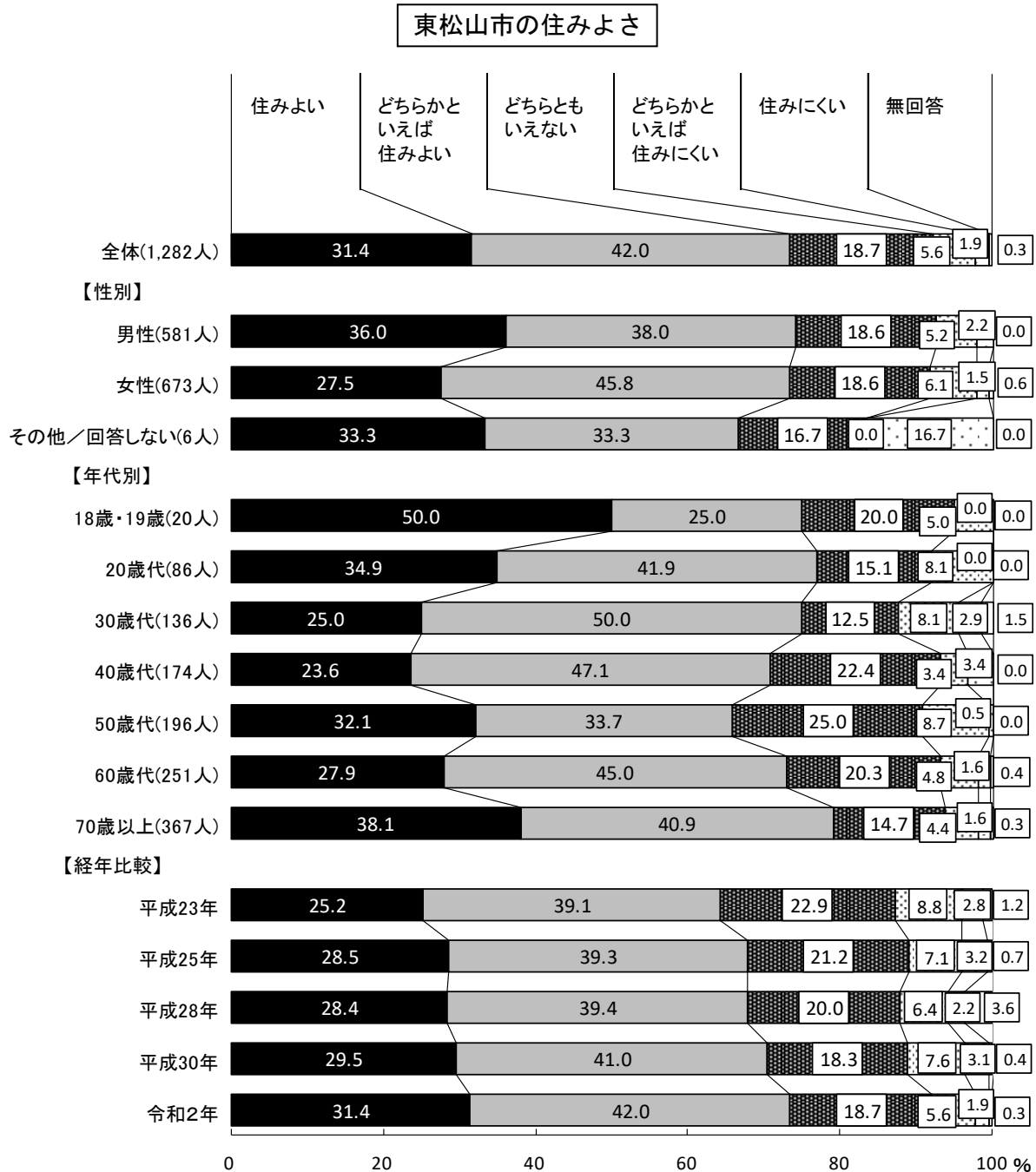
地区別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、高坂地区を除き7割以上となっており、特に、高坂丘陵地区は77.8%と最も高くなっています。

居住年数別でみると“東松山市に愛着を感じている”は、年数が長くなるほど高くなる傾向にあり、20年以上では76.2%となっています。

1-2 東松山市の住みよさ

◆ “住みよいと感じている” 73.4%◆

問2 あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

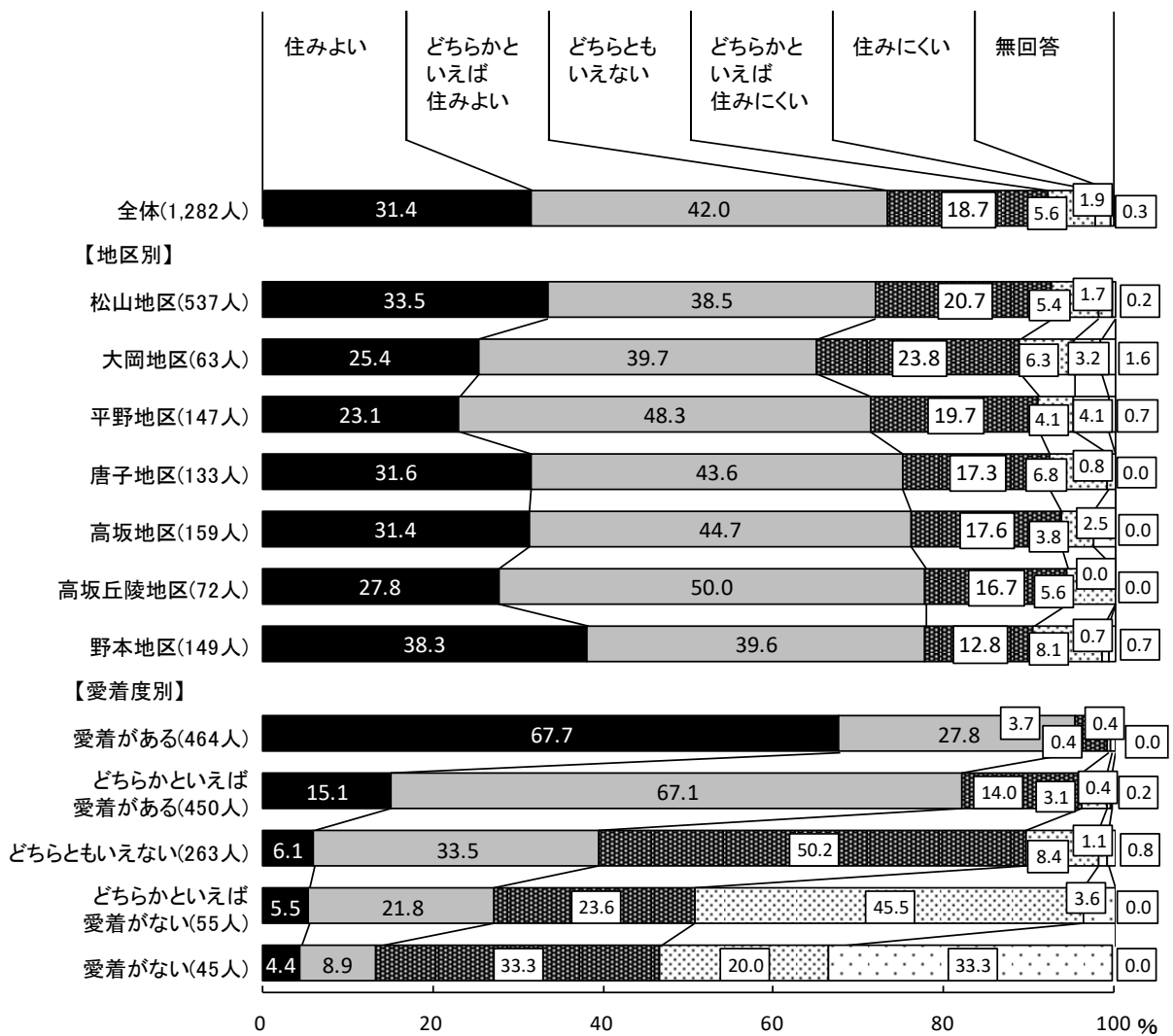


全体で見ると「住みよい」は31.4%、「どちらかといえば住みよい」は42.0%と高く、両者をあわせた73.4%が“住みよいと感じている”と回答しています。

年代別で見ると“住みよいと感じている”は、50歳代を除くと、全ての年代で7割台となっており、70歳以上では79.0%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると“住みよいと感じている”が2.9ポイント増加しており、平成23年度調査以降、増加傾向にあります。

東松山市の住みよさ



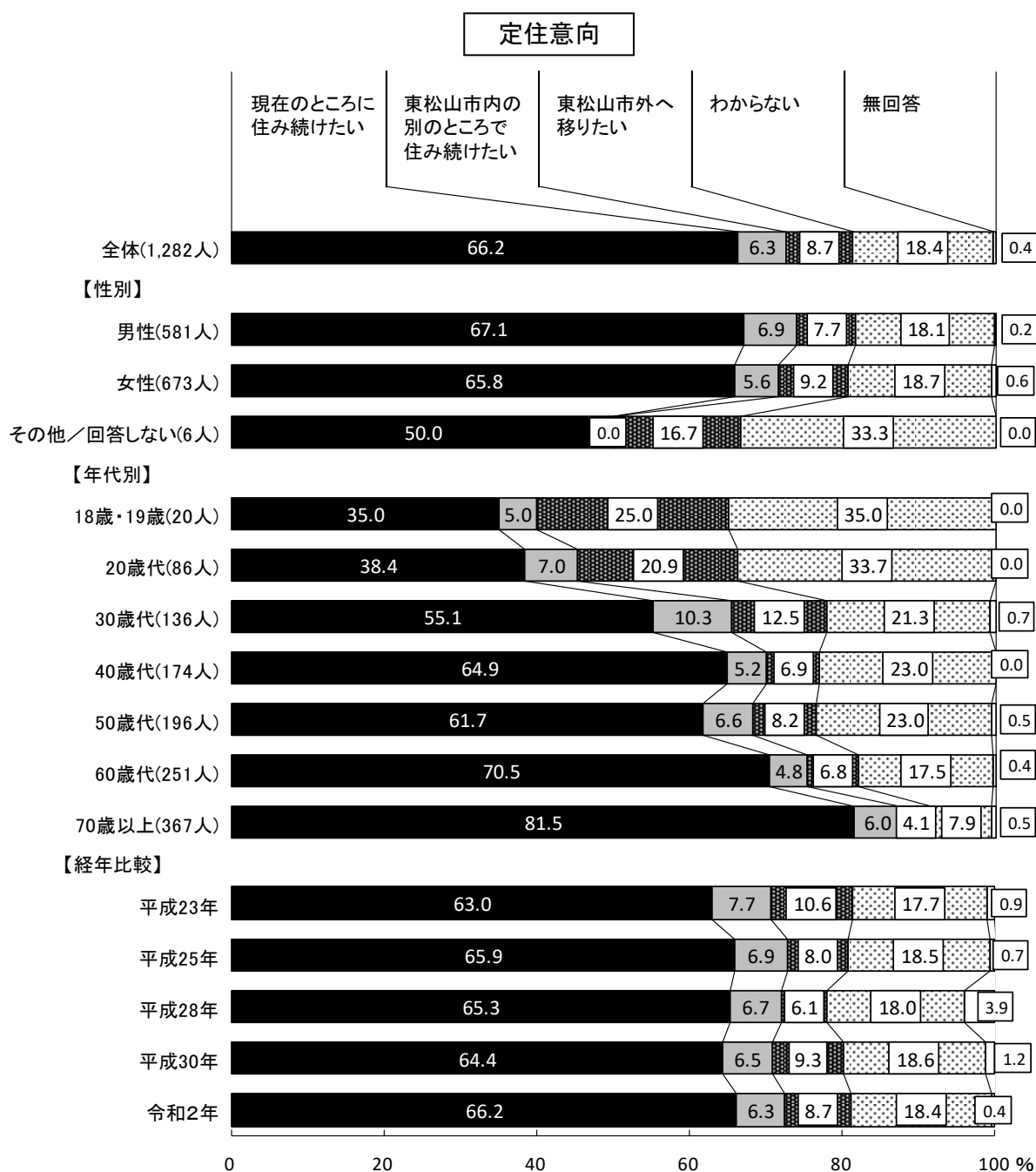
地区別でみると「住みよいと感じている」は、大岡地区を除き7割以上となっています。また、野本地区は「住みよい」と回答した割合が38.3%と、他の地区と比べ高くなっています。

愛着度別でみると、愛着度が高いほど「住みよい」と回答した割合が高く、愛着があるでは67.7%と7割近くを占め、高くなっています。一方で、愛着がないでは「住みにくい」とする割合が33.3%となっています。

1-3 定住意向

◆定住意向は 66.2%◆

問3 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

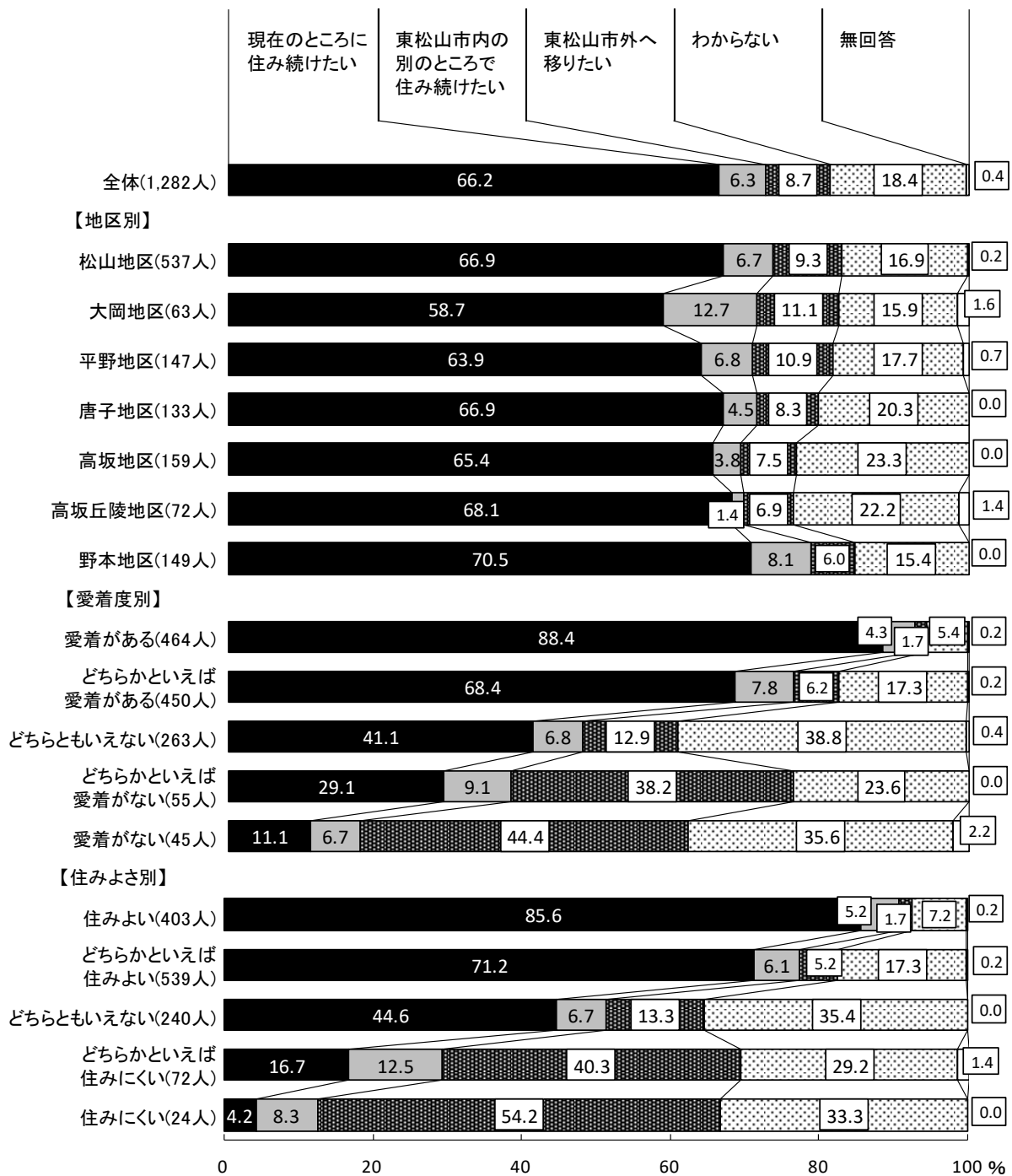


全体で見ると「現在のところに住み続けたい」は66.2%と高くなっています。

年代別で見ると「現在のところに住み続けたい」は、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、70歳以上で81.5%となっています。また、「東松山市外へ移りたい」「わからない」と回答した割合は18歳・19歳、20歳代で5割台半ば～6割と他の年代に比べて高くなっています。

平成30年度調査と比較すると「現在のところに住み続けたい」が1.8ポイント増加しています。

定住意向



地区別でみると「現在のところに住み続けたい」は、野本地区で70.5%と高くなっています。

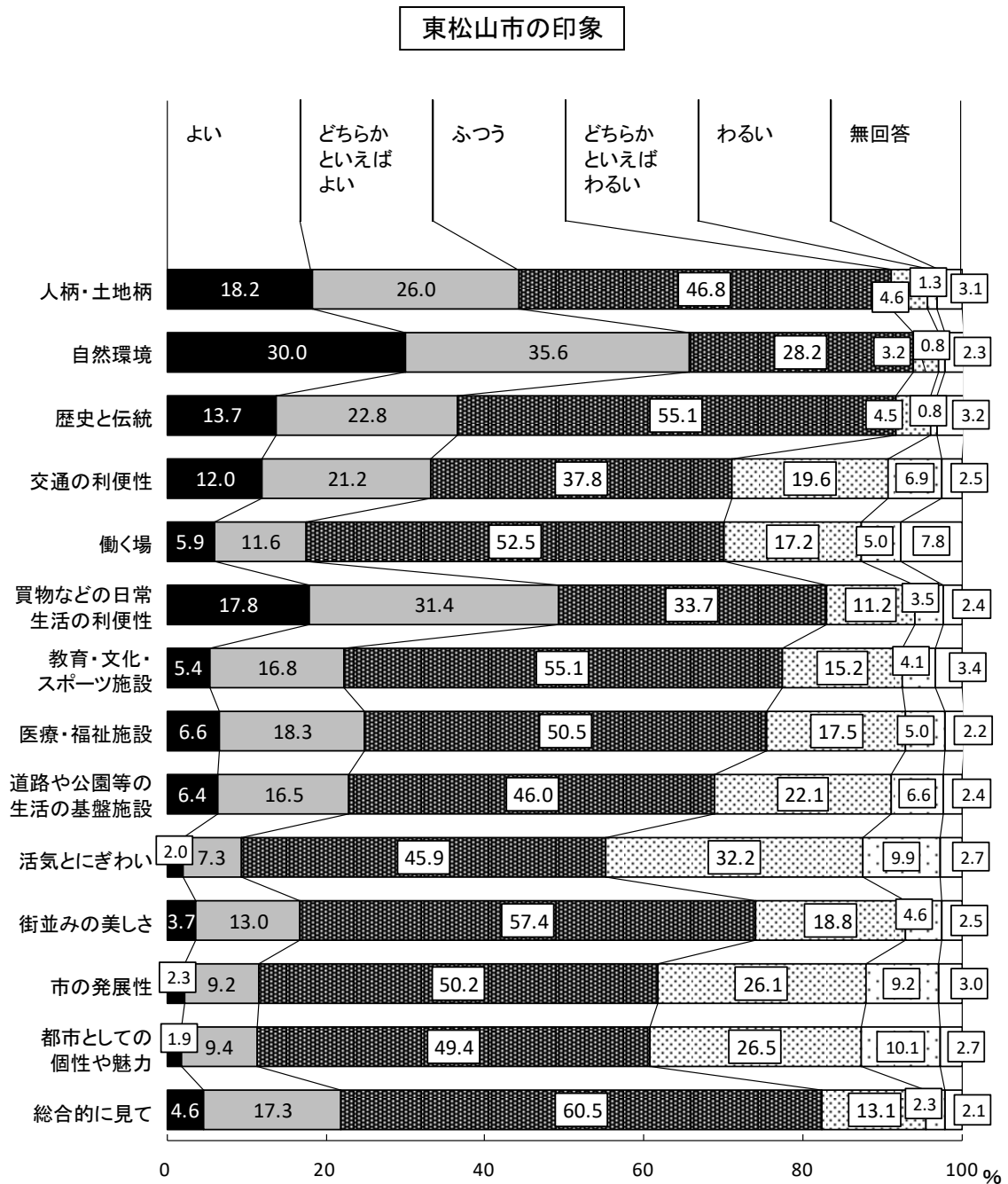
愛着度別でみると、愛着度が高いほど定住意向が高く、「現在のところに住み続けたい」は、「愛着がある」で88.4%となっています。

住みよさ別でみると、住みよさが高いほど定住意向も高く、「現在のところに住み続けたい」は、「住みよい」で85.6%となっています。

1-4 東松山市の印象

◆〈自然環境〉〈買物などの日常生活の利便性〉〈人柄・土地柄〉等の評価が高くなっている◆

問4 あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

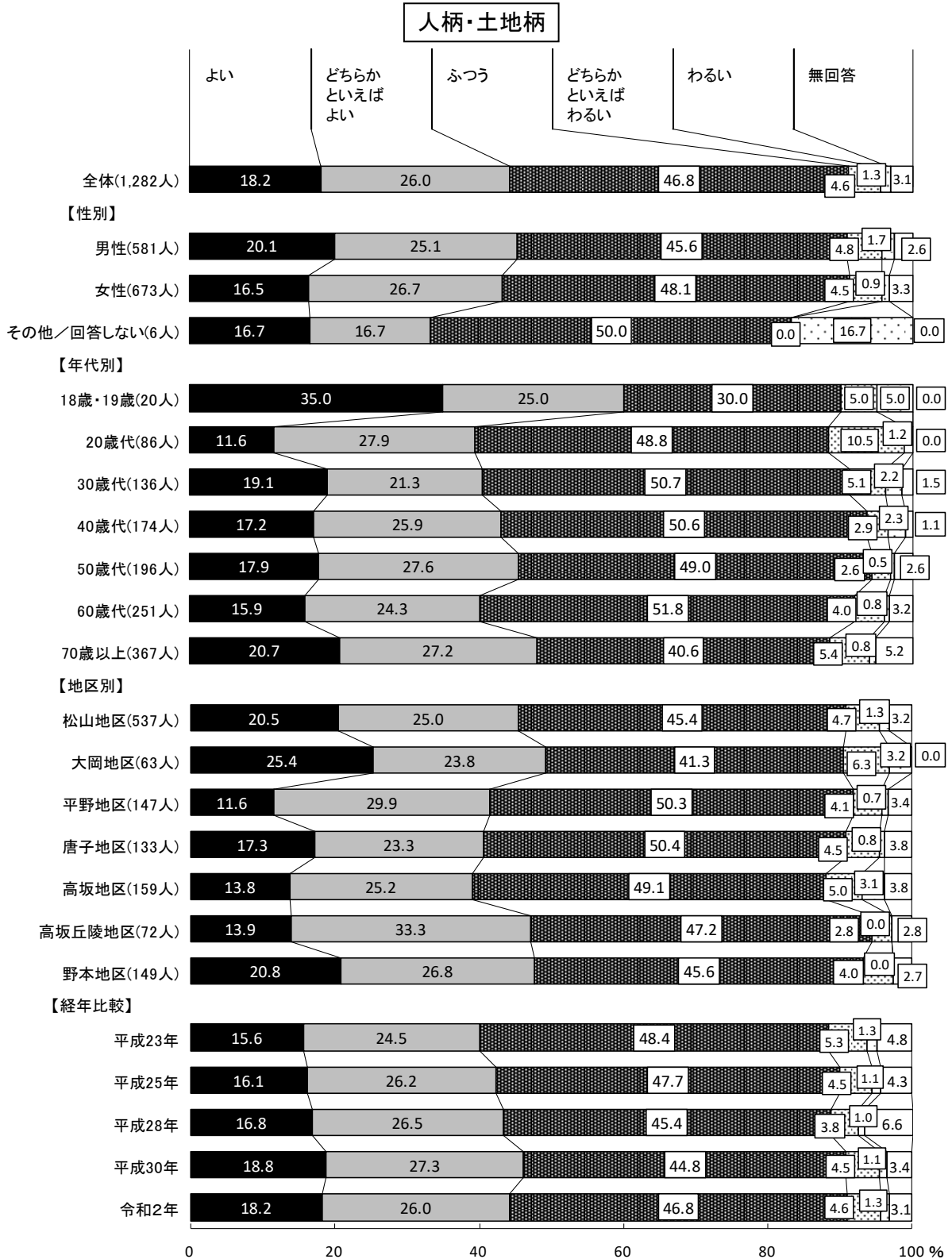


〈全体の概観〉

「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた“よい”が「わるい」と「どちらかといえばわるい」を合わせた“わるい”を上回る項目は〈人柄・土地柄〉〈自然環境〉〈歴史と伝統〉〈交通の利便性〉〈買物などの日常生活の利便性〉〈教育・文化・スポーツ施設〉〈医療・福祉施設〉〈総合的に見て〉の8項目となっており、それ以外の項目では“わるい”が“よい”を上回っています。

人柄・土地柄

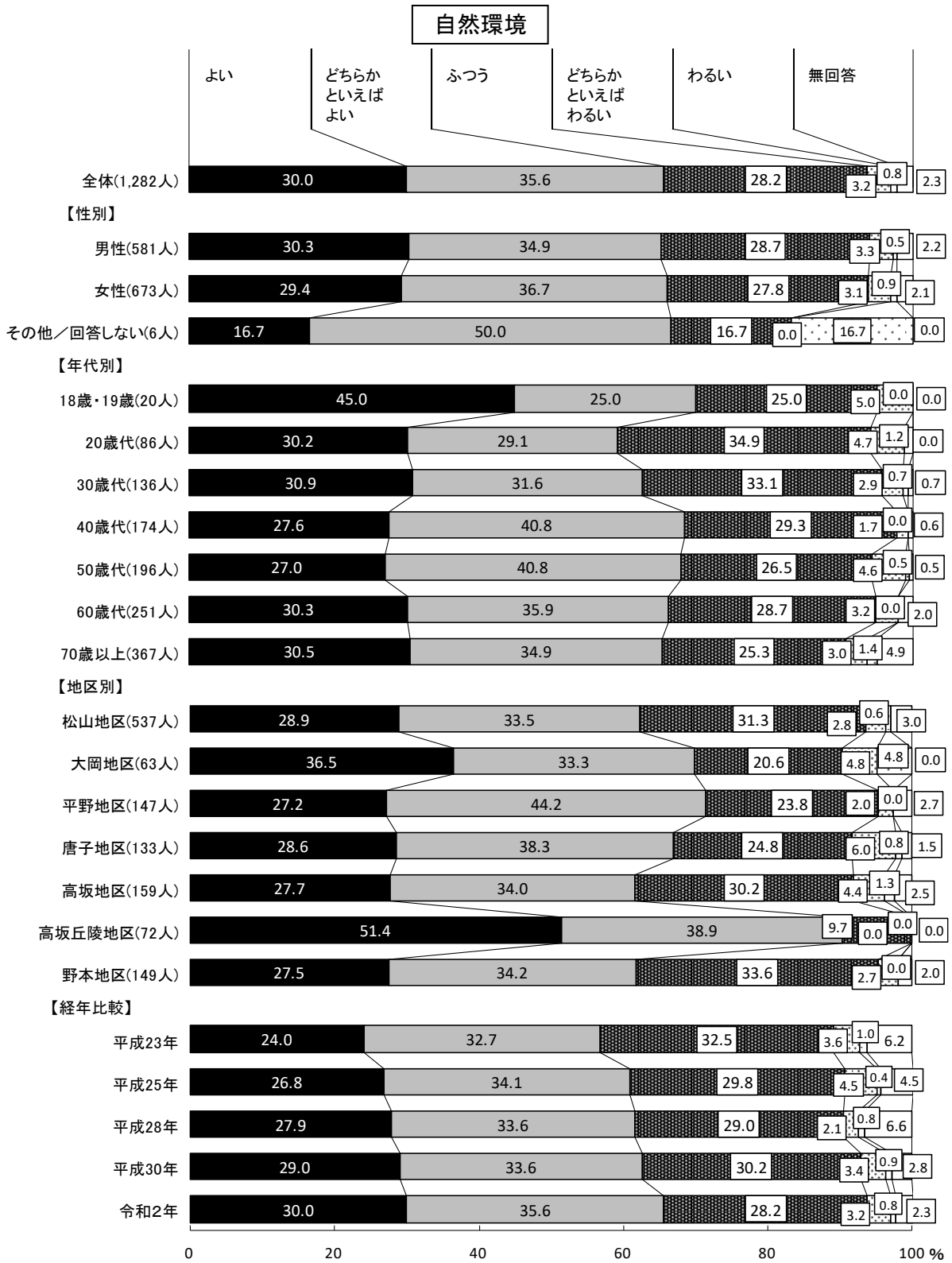
◆ “よい” 44.2%、“わるい” 5.9%◆



全体では「ふつう」(46.8%)、「よい」(44.2%)、「わるい」(5.9%)となっており、平成30年度調査と比較すると“よい”が1.9ポイント減少しています。
 年代別では“よい”は18歳・19歳が60.0%と最も高くなっています。
 地区別でみると“よい”は大岡地区で49.2%と最も高くなっています。

自然環境

◆ “よい” 65.6%、“わるい” 4.0%◆



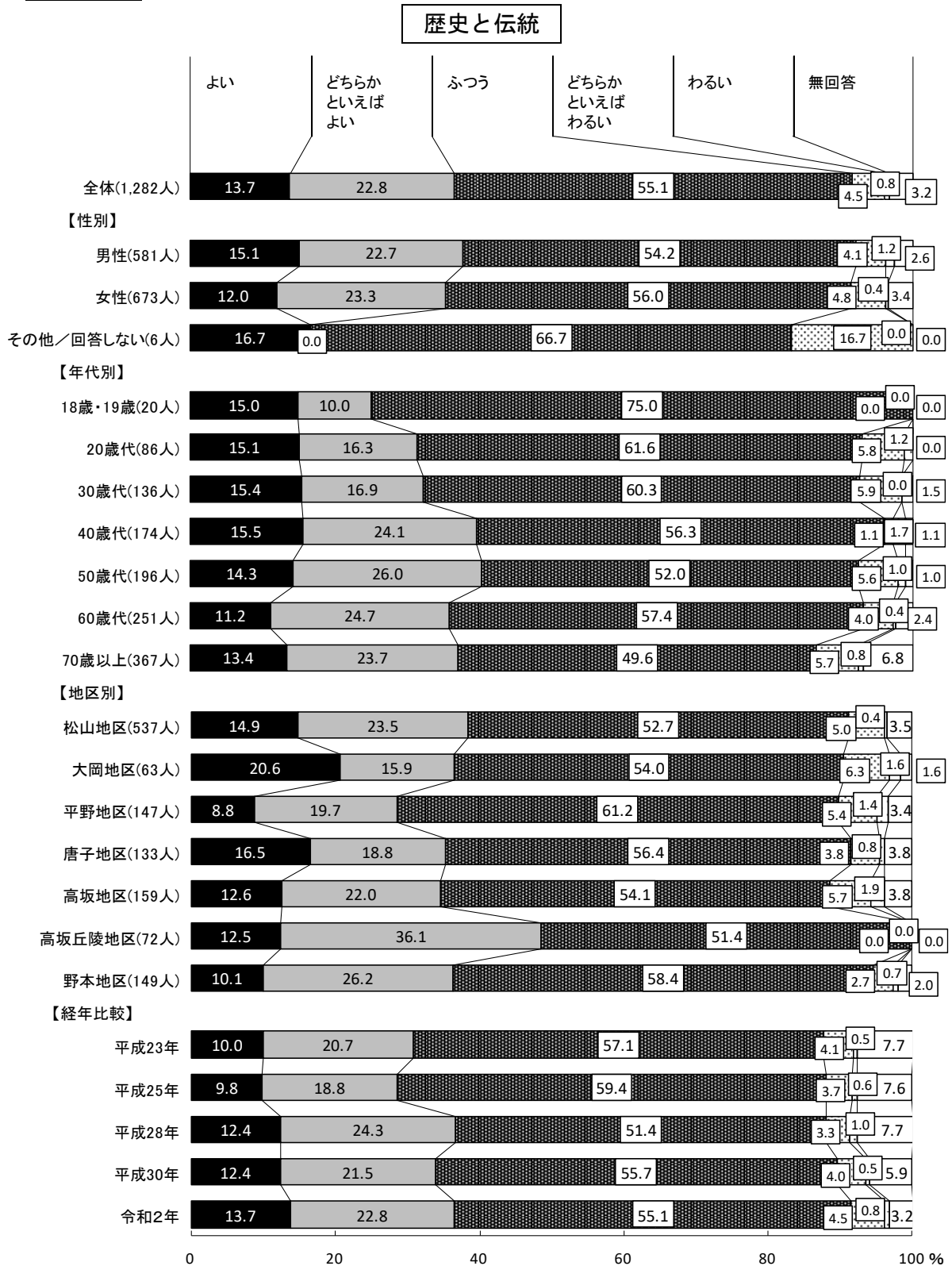
全体では“よい” (65.6%)、「ふつう」 (28.2%)、“わるい” (4.0%) となっており、平成30年度調査と比較すると“よい”が3.0ポイント増えています。

年代別でみると“よい”は18歳・19歳で70.0%と最も高くなっています。

地区別でみると“よい”は高坂丘陵地区で90.3%と最も高くなっています。

歴史と伝統

◆ “よい” 36.5%、“わるい” 5.3%◆



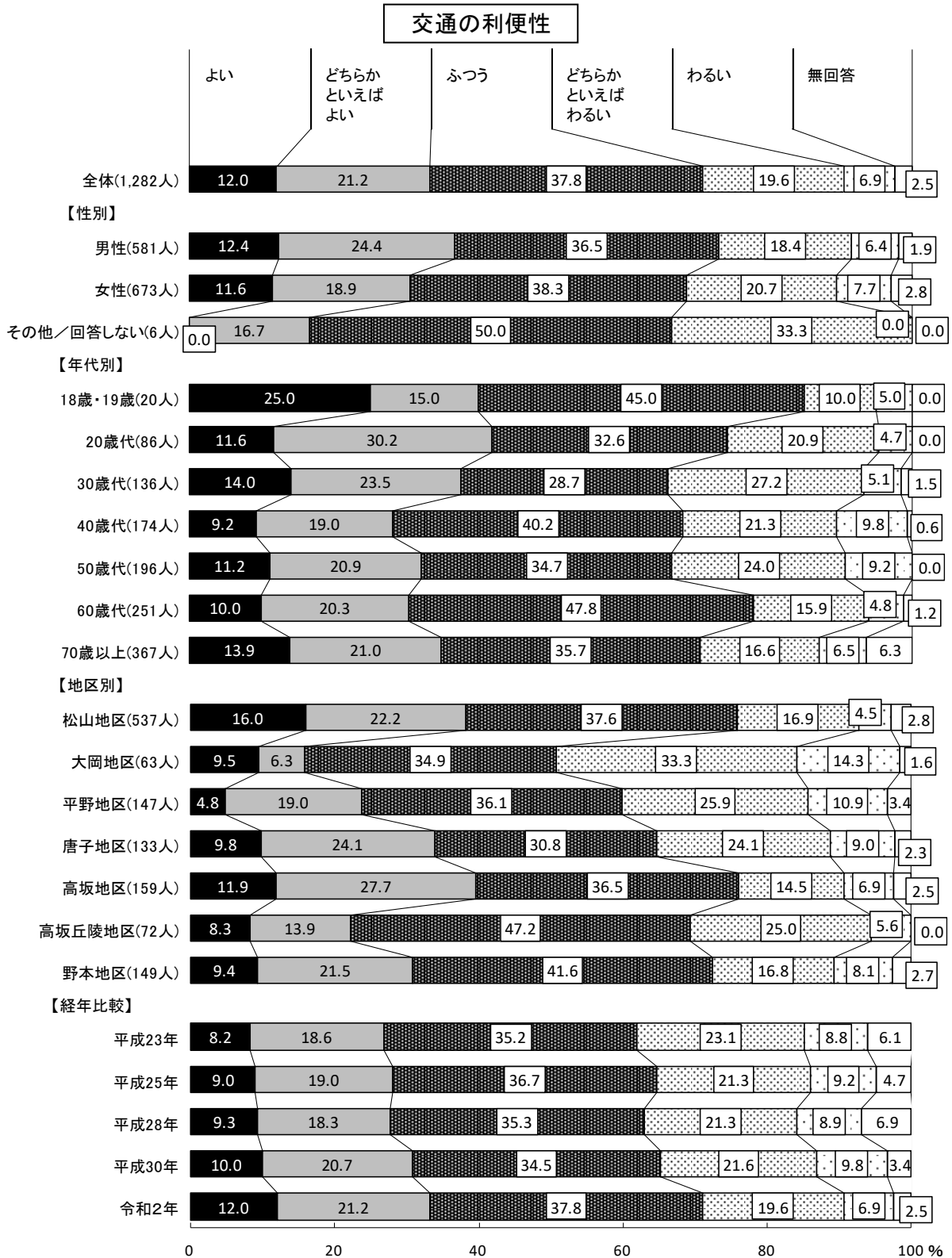
全体では「ふつう」(55.1%)、「よい」(36.5%)、「わるい」(5.3%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が2.6ポイント増加しています。

年代別でみると「よい」は50歳代で40.3%と最も高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂丘陵地区で48.6%と最も高くなっています。

交通の利便性

◆ “よい” 33.2%、“わるい” 26.5% ◆

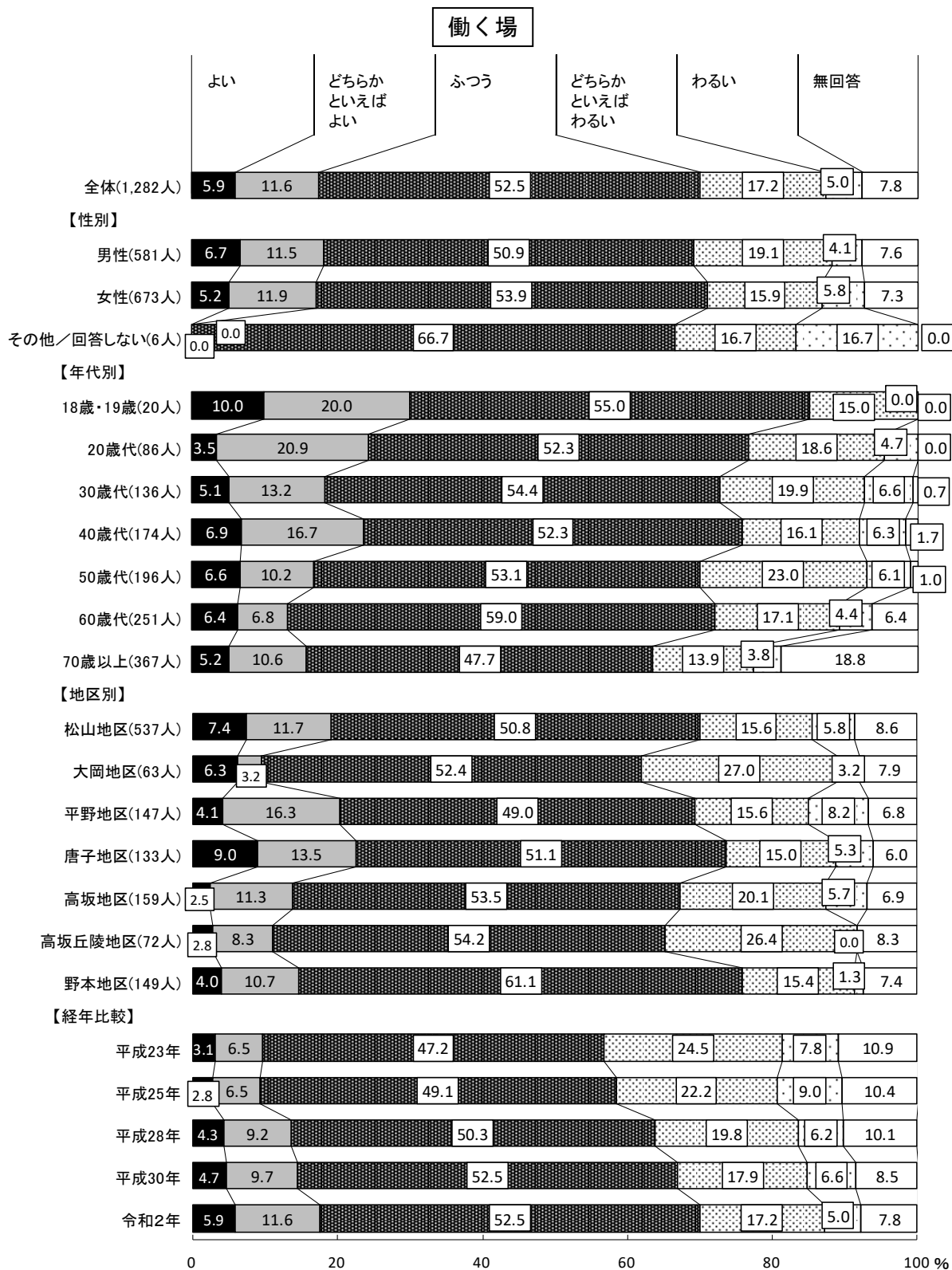


全体では「ふつう」(37.8%)、「よい」(33.2%)、「わるい」(26.5%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が2.5ポイント増加しています。

年代別でみると「わるい」は30歳代、40歳代、50歳代で3割台と高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂地区で39.6%、松山地区で38.2%と高くなっています。一方「わるい」は大岡地区で47.6%と最も高くなっています。

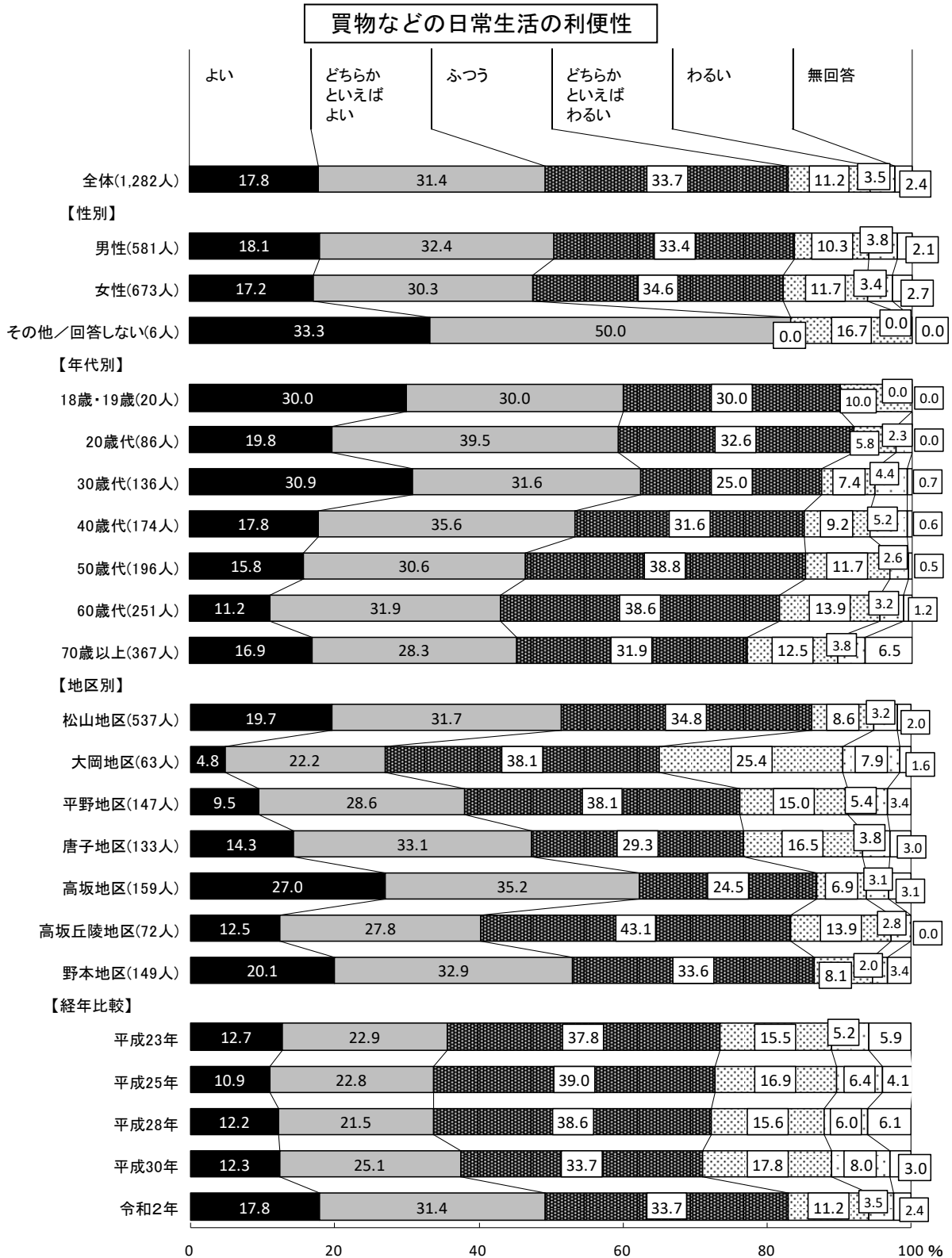
働く場 ◆ “よい” 17.5%、“わるい” 22.2%◆



全体では「ふつう」(52.5%)、「わるい」(22.2%)、「よい」(17.5%)、となっており、平成30年度調査と比較すると“よい”が3.1ポイント増加しています。
 年代別でみると“わるい”は50歳代で29.1%と最も高くなっています。
 地区別でみると“わるい”は大岡地区で30.2%と最も高くなっています。

買物などの日常生活の利便性

◆ “よい” 49.2%、“わるい” 14.7%◆



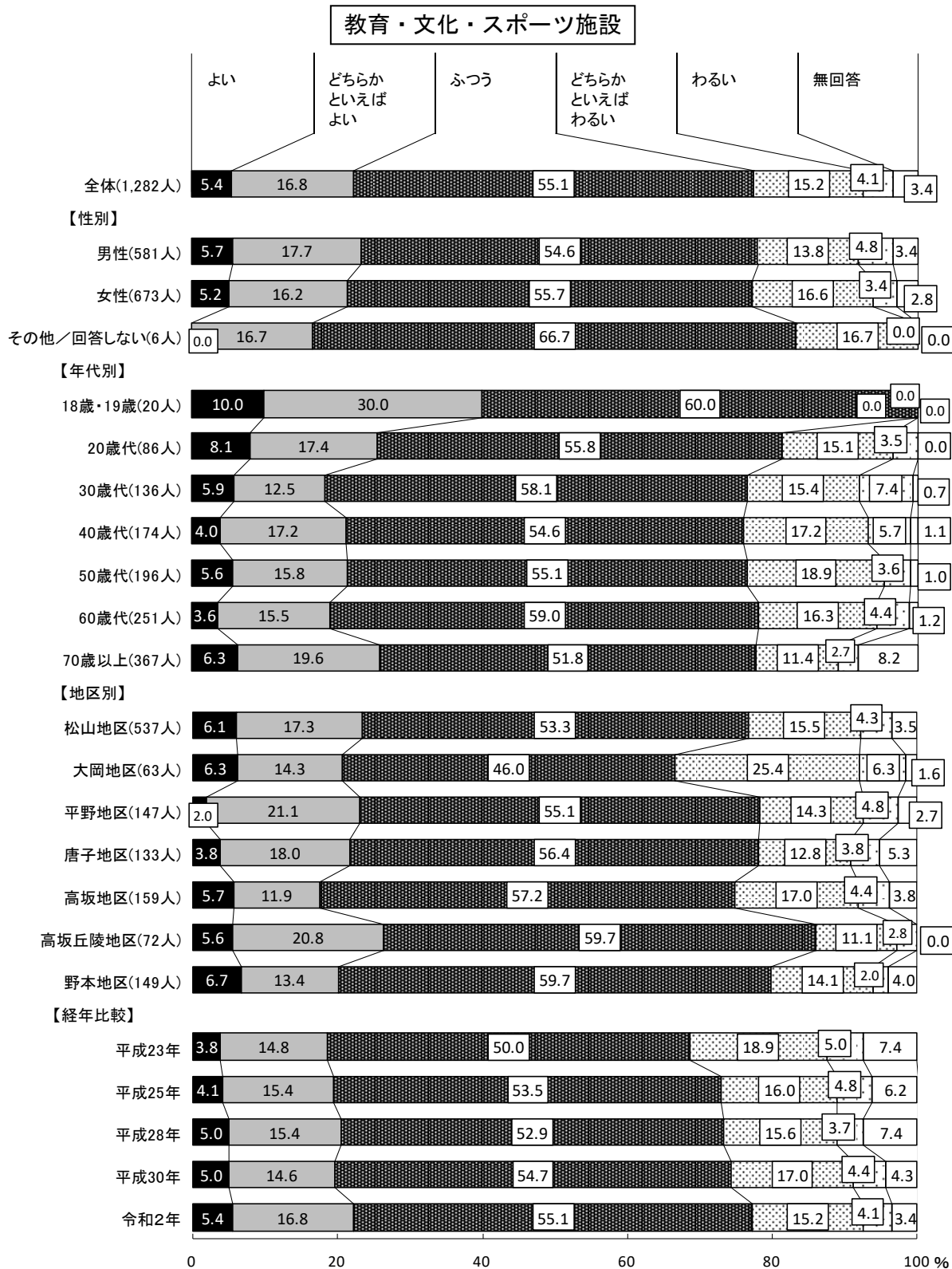
全体では“よい” (49.2%)、「ふつう」 (33.7%)、“わるい” (14.7%) となっており、平成30年度調査と比較すると“よい”が11.8ポイント増加しています。

年代別で見ると“よい”は18歳・19歳、20歳代、30歳代で約6割と高くなっています。

地区別で見ると“よい”は高坂地区で62.2%と最も高くなっています。一方“わるい”は大岡地区で33.3%と最も高くなっています。

教育・文化・スポーツ施設

◆ “よい” 22.2%、“わるい” 19.3%◆



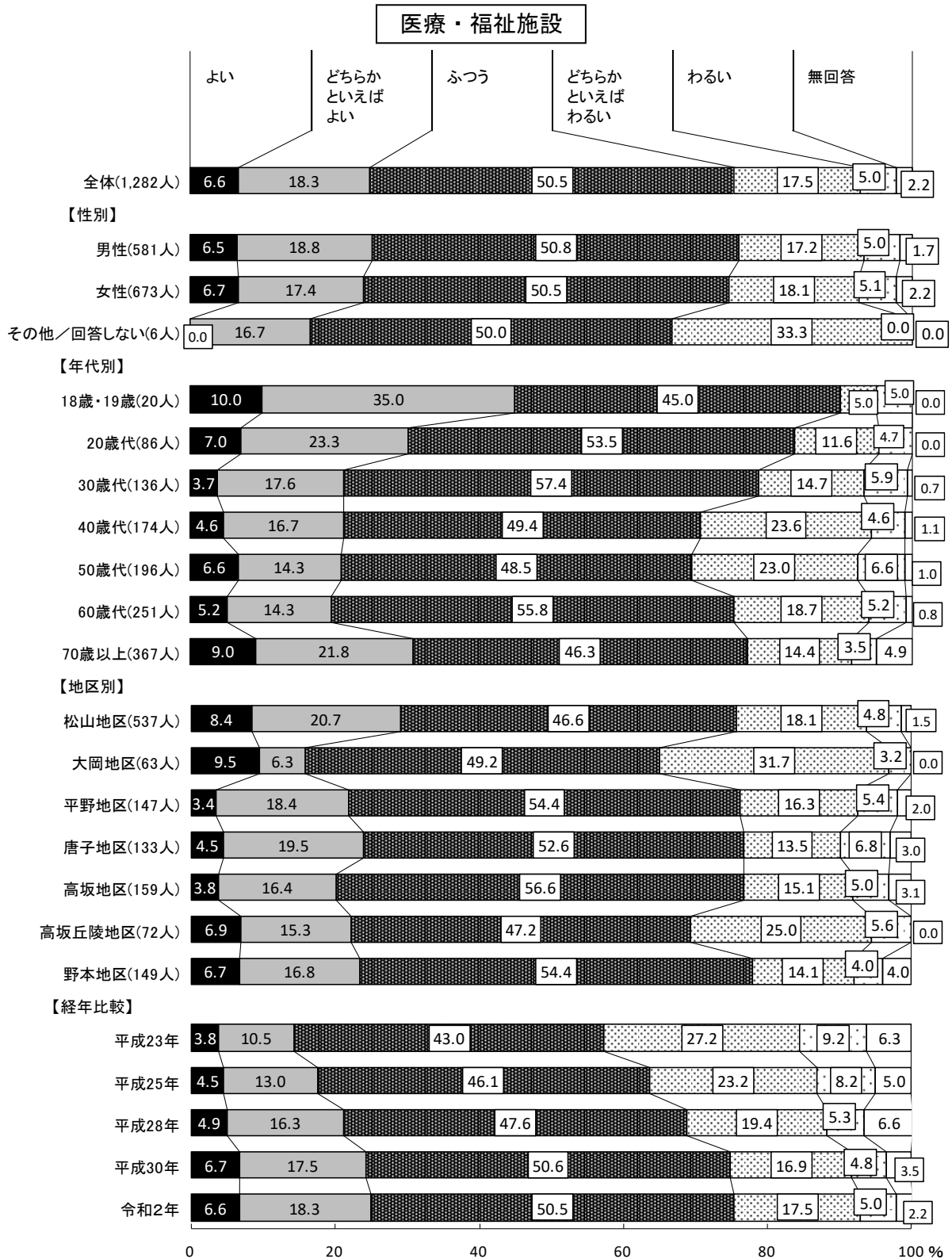
全体では「ふつう」(55.1%)、「よい」(22.2%)、「わるい」(19.3%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が2.6ポイント増加しています。

年代別でみると「よい」は18歳・19歳で40.0%と最も高くなっています。

地区別でみると「わるい」は大岡地区で31.7%と最も高くなっています。

医療・福祉施設

◆ “よい” 24.9%、“わるい” 22.5% ◆



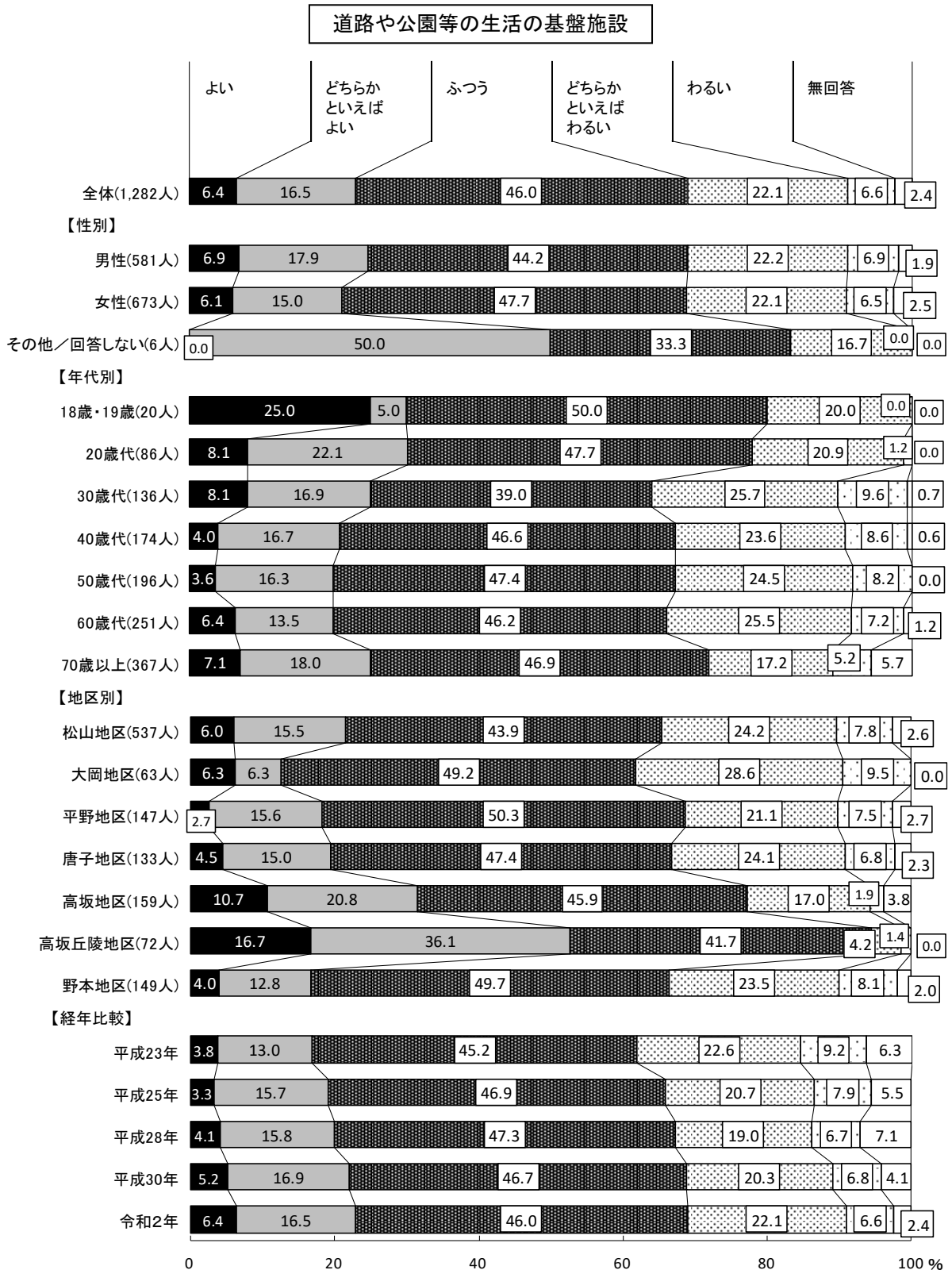
全体では「ふつう」(50.5%)、「よい」(24.9%)、「わるい」(22.5%) となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が0.7ポイント増加しています。

年代別でみると「よい」は18歳・19歳で45.0%、20歳代、70歳以上で約3割と高くなっています。

地区別でみると「わるい」は大岡地区、高坂丘陵地区で3割以上と高くなっています。

道路や公園等の生活の基盤施設

◆ “よい” 22.9%、“わるい” 28.7% ◆



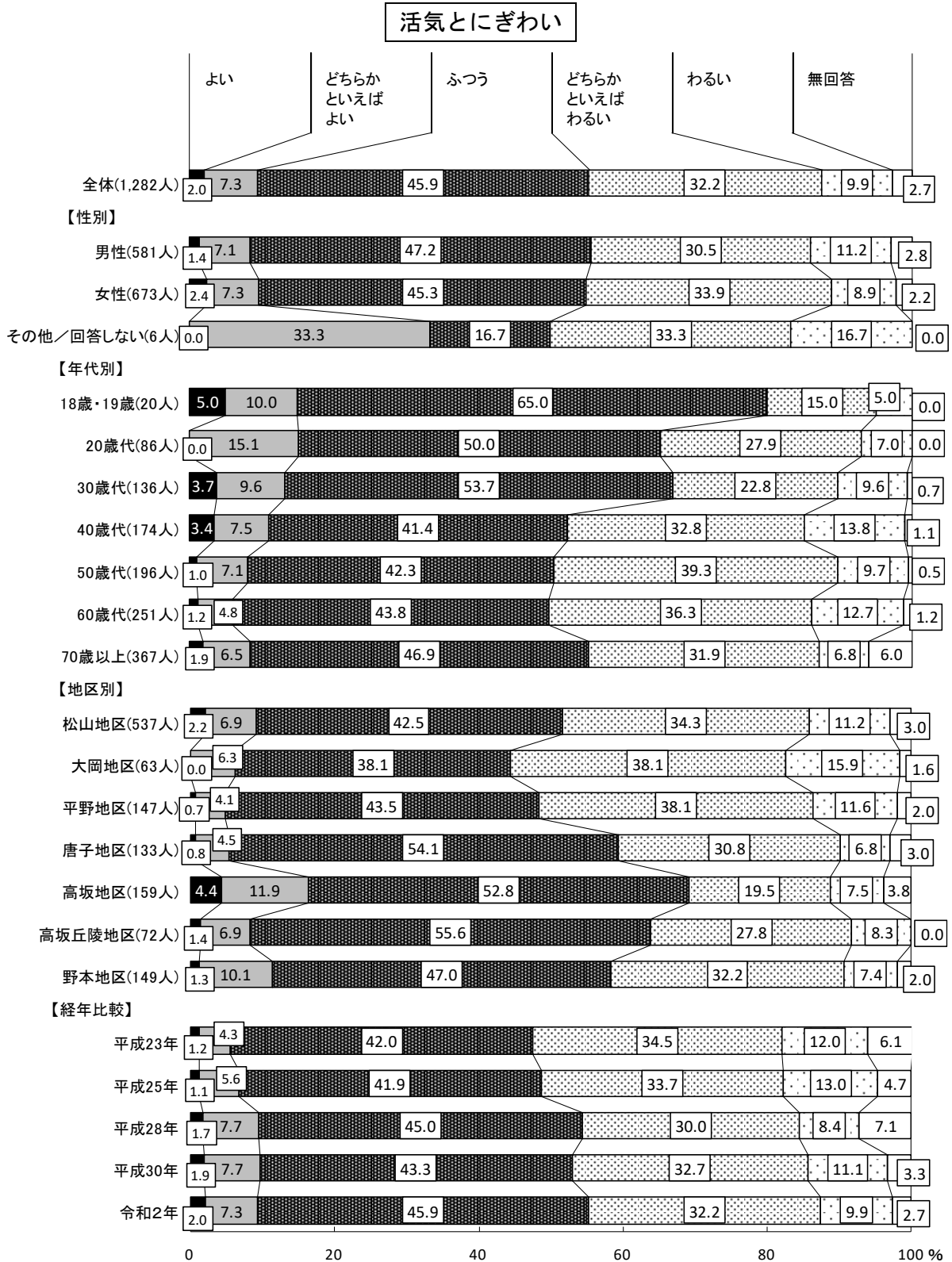
全体では「ふつう」(46.0%)、「わるい」(28.7%)、「よい」(22.9%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が0.8ポイント増加しています。

年代別で見ると「わるい」は30歳代で35.3%と最も高くなっています。

地区別で見ると「よい」は高坂丘陵地区で52.8%と群を抜いて高くなっています。一方「わるい」は大岡地区で38.1%と最も高くなっています。

活気とにぎわい

◆ “よい” 9.3%、“わるい” 42.1% ◆



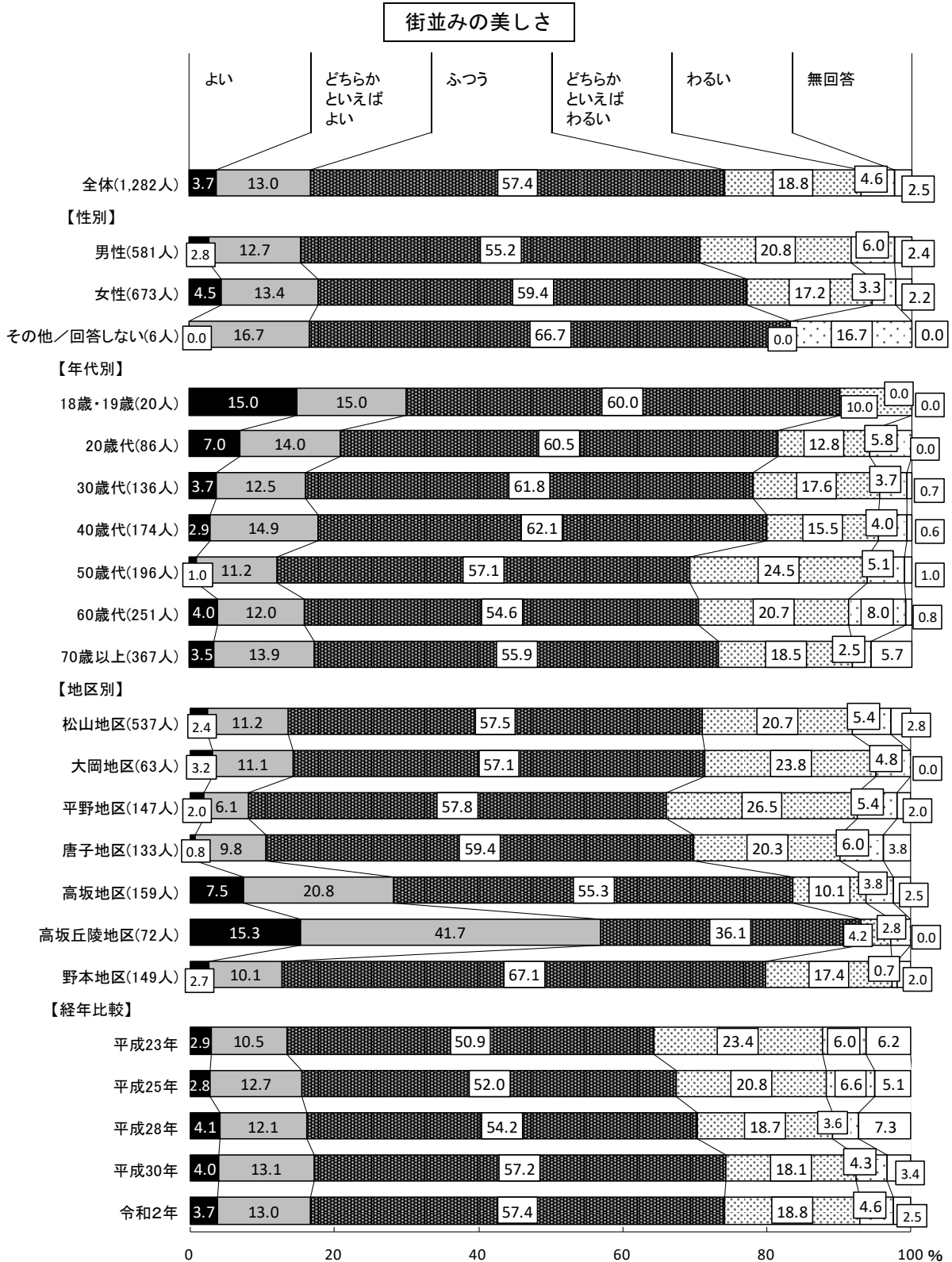
全体では「ふつう」(45.9%)、「わるい」(42.1%)、「よい」(9.3%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が0.3ポイント減少しています。

年代別でみると「わるい」は50歳代、60歳代で約5割と高くなっています。

地区別でみると「わるい」は大岡地区で54.0%と最も高くなっています。

街並みの美しさ

◆ “よい” 16.7%、“わるい” 23.4% ◆



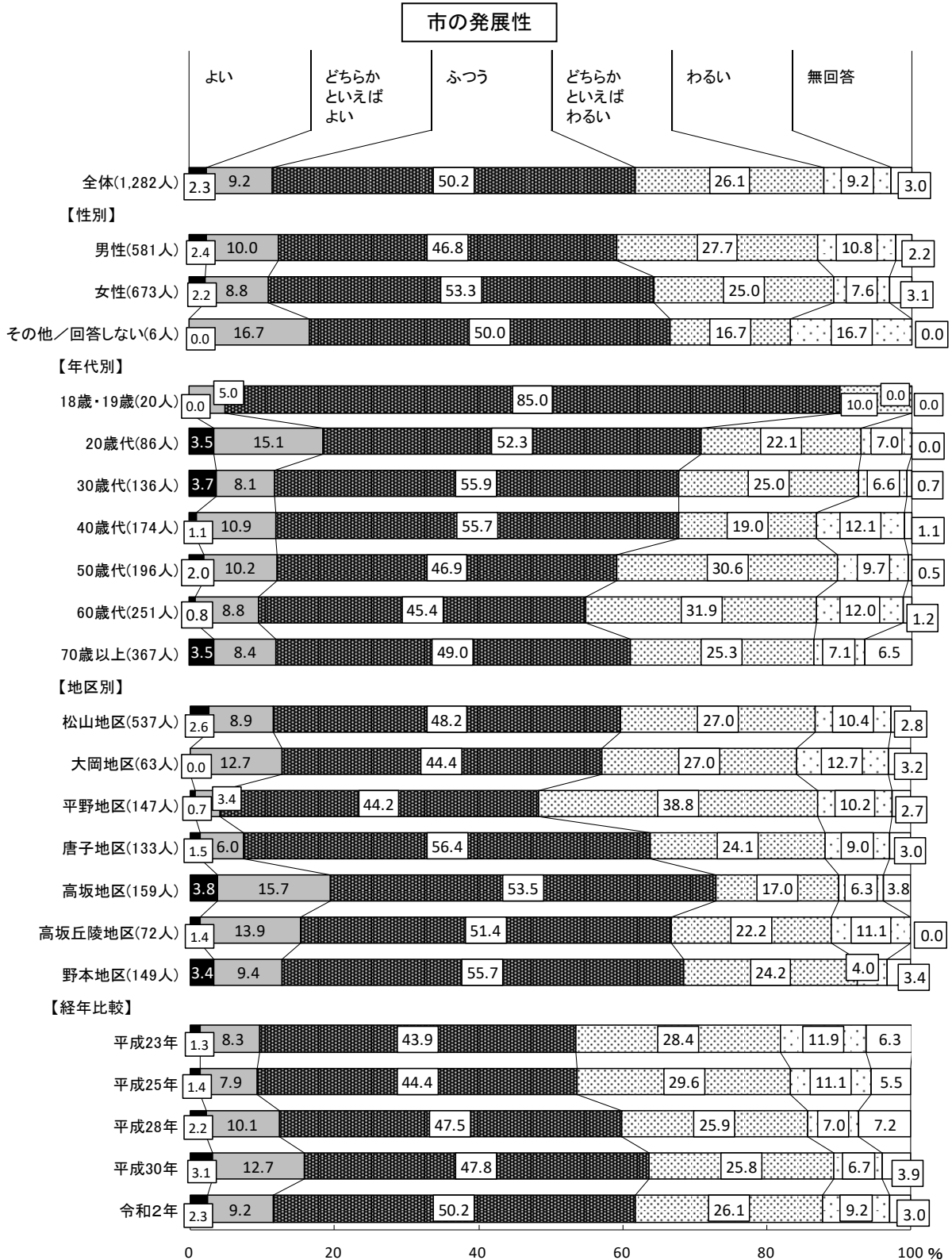
全体では「ふつう」(57.4%)、「わるい」(23.4%)、「よい」(16.7%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が0.4ポイント減少しています。

年代別でみると「よい」は18歳・19歳で30.0%と最も高くなっています。一方「わるい」は50歳代、60歳代で2割台後半と高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂丘陵地区で57.0%と群を抜いて高くなっています。平野地区では「よい」は8.1%にとどまっています。

市の発展性

◆ “よい” 11.5%、“わるい” 35.3%◆



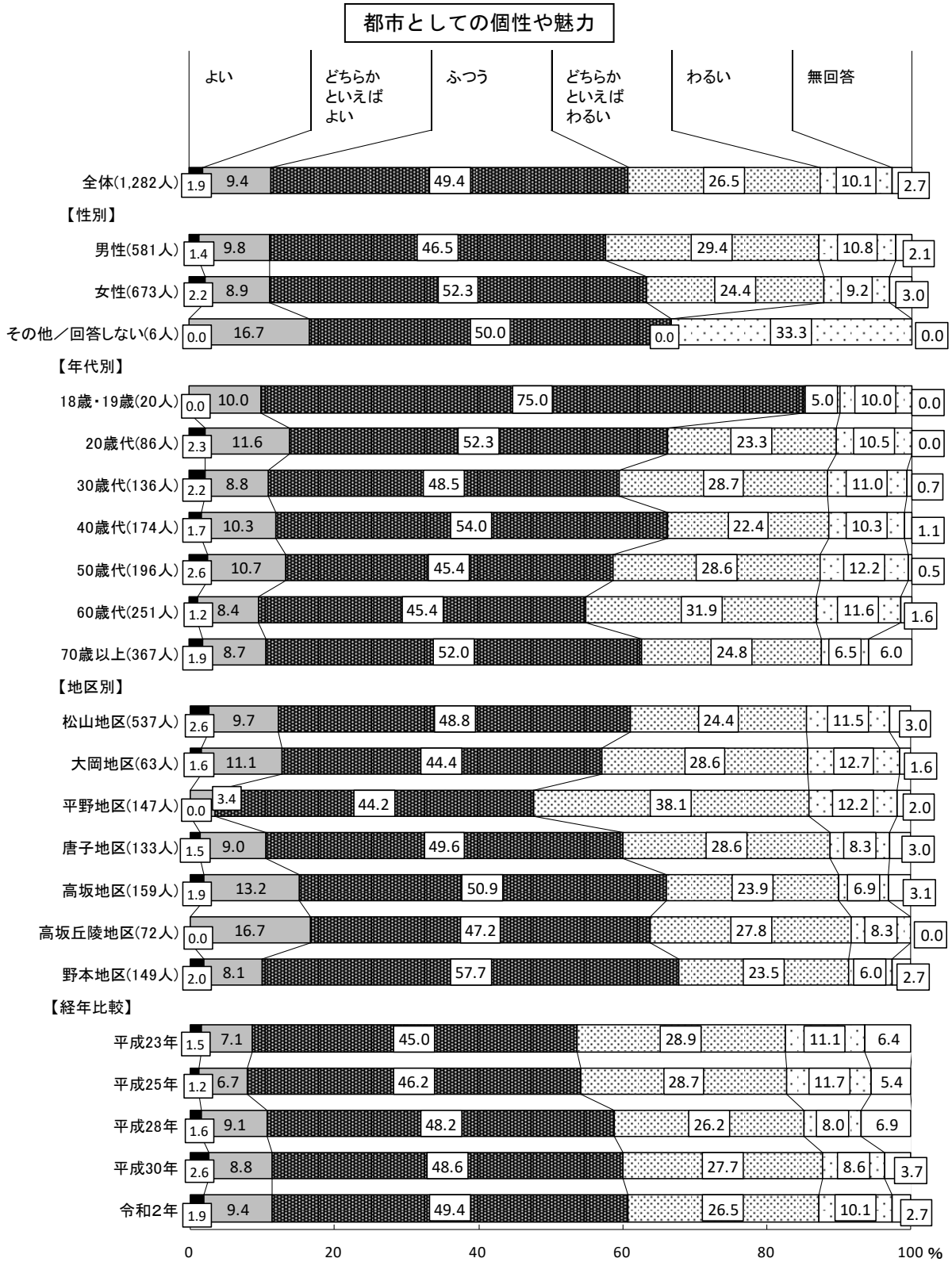
全体では「ふつう」(50.2%)、「わるい」(35.3%)、「よい」(11.5%) となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が4.3ポイント減少しています。

年代別でみると「よい」は20歳代で18.6%と最も高くなっています。一方「わるい」は50歳代、60歳代で4割以上と高くなっています。

地区別でみると「よい」は高坂地区で19.5%と最も高くなっています。一方「わるい」は平野地区で49.0%と最も高くなっています。

都市としての個性や魅力

◆ “よい” 11.3%、“わるい” 36.6% ◆



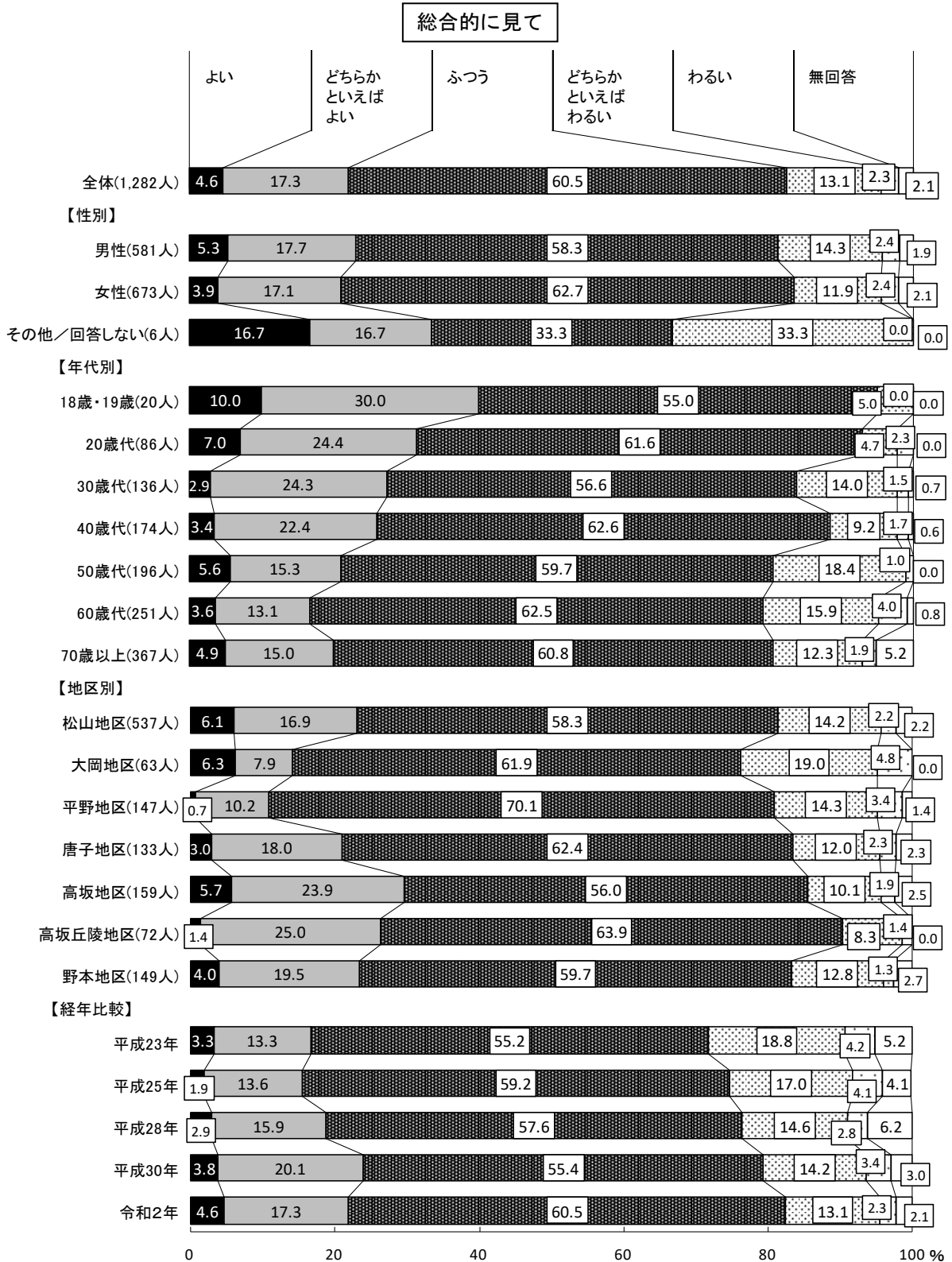
全体では「ふつう」(49.4%)、「わるい」(36.6%)、「よい」(11.3%)となっており、平成30年度調査と比較すると「よい」が0.1ポイント減少しています。

年代別でみると「わるい」は60歳代で43.5%と最も高くなっています。

地区別でみると「わるい」が「よい」を各地区で上回り、平野地区では「わるい」が50.3%と最も高くなっています。

総合的に見て

◆ “よい” 21.9%、“わるい” 15.4%◆



全体では「ふつう」(60.5%)、「よい」(21.9%)、「わるい」(15.4%)となっており、平成30年度調査と比較すると、「よい」が2.0ポイント減少しています。

年代別でみると「よい」は年代が上がるほど減少する傾向にあります。

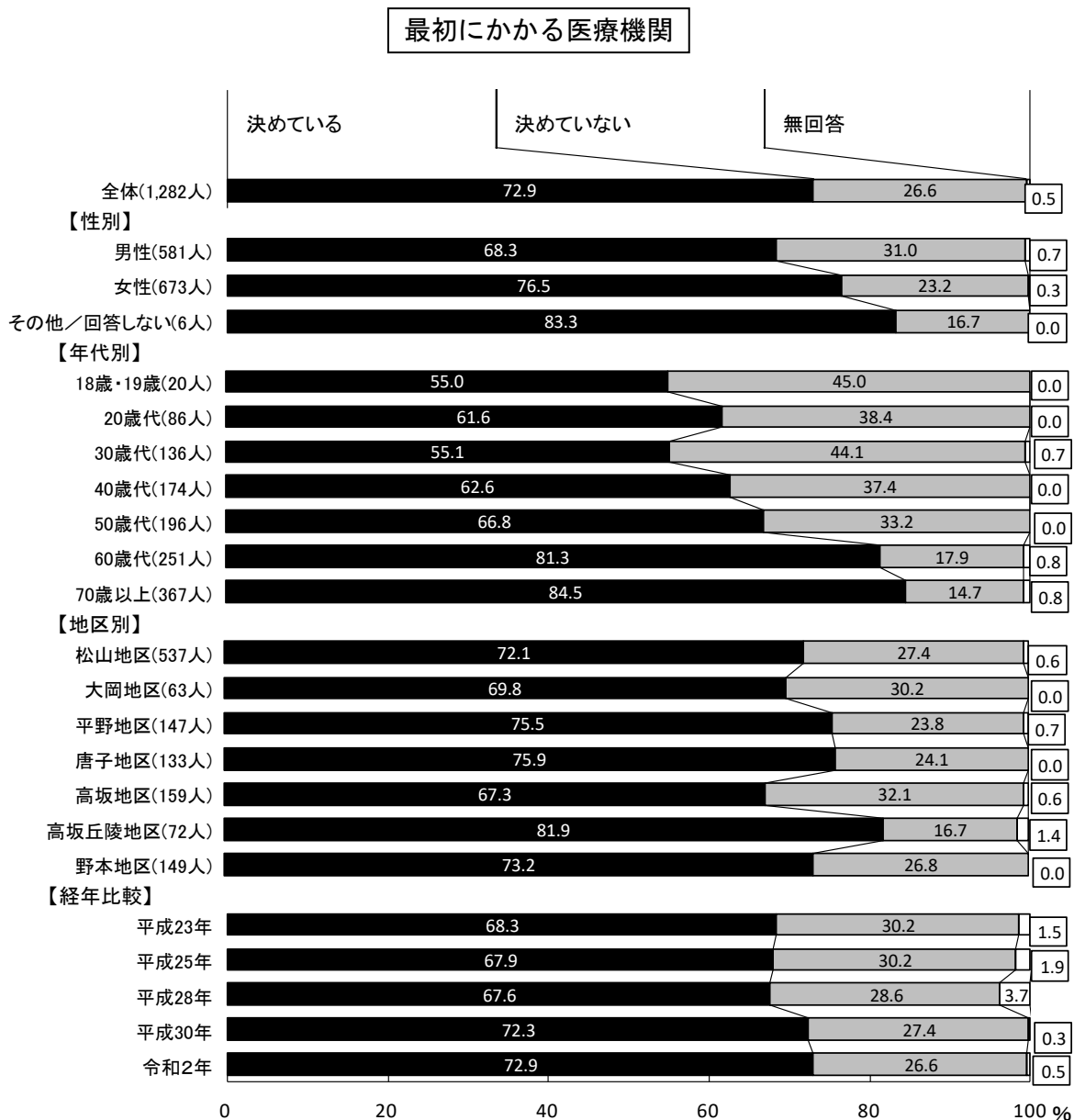
地区別でみると「よい」は高坂地区で29.6%と最も高くなっています。一方「わるい」は大岡地区で23.8%と最も高くなっています。

2 健康や医療・福祉について

2-1 最初にかかる医療機関

◆「決めている」72.9%◆

問5 あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「決めている」(72.9%)、「決めていない」(26.6%)となっています。

性別で見ると「決めている」は女性(76.5%)が男性(68.3%)を8.2ポイント上回っています。

年代別で見ると「決めている」は18歳・19歳～50歳代で5割台半ば～6割台半ばとなっていますが、60歳代、70歳以上で約8割となっています。

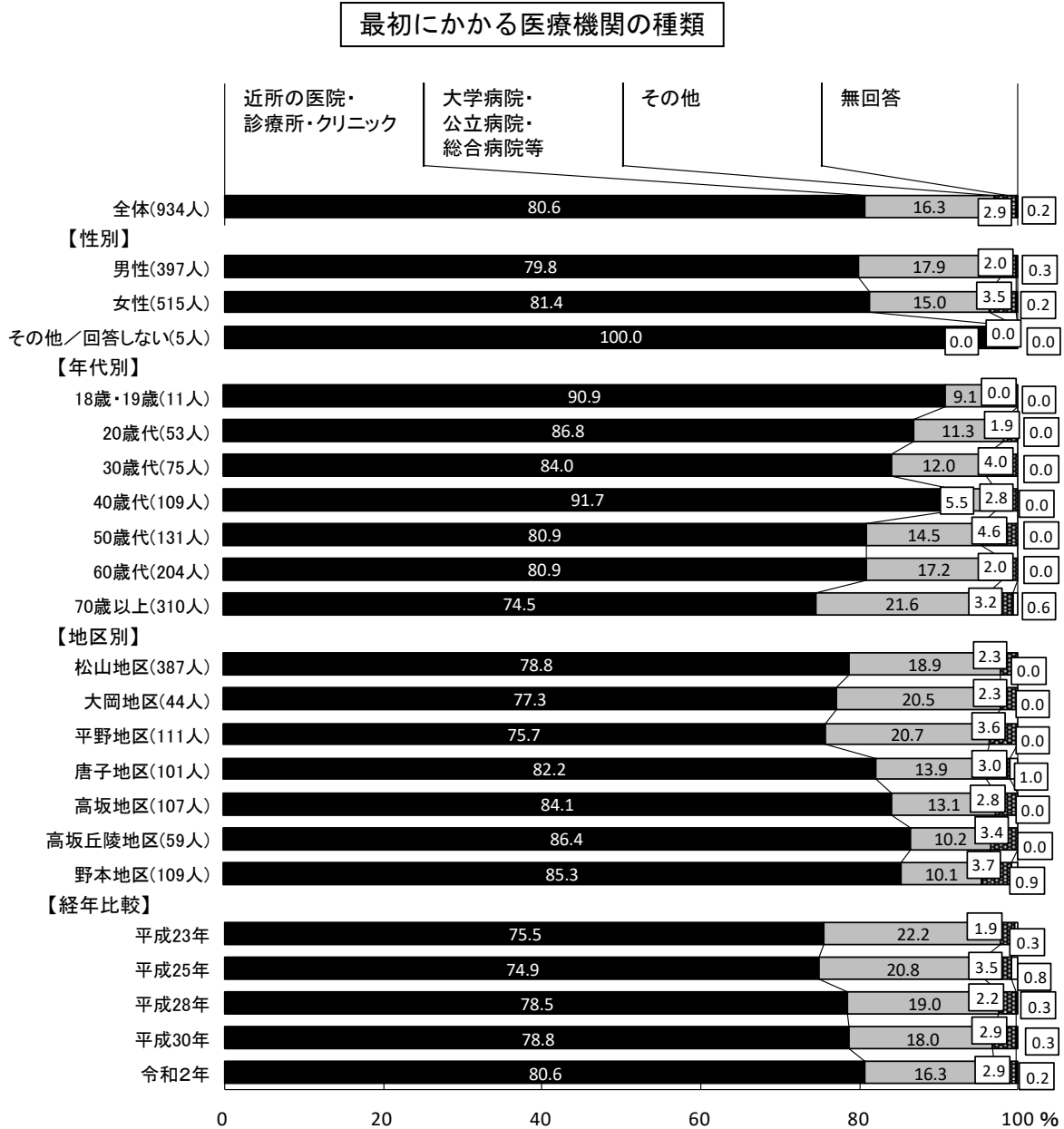
地区別で見ると「決めている」は高坂丘陵地区で8割を超え、松山地区、平野地区、唐子地区、野本地区で7割台と高くなっています。

平成30年度調査以降「決めている」は7割以上となっています。

2-2 最初にかかる医療機関の種類

◆「近所の医院・診療所・クリニック」80.6%◆

(問5で「決めている」とお答えの方におたずねします)
問5-1 それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体では「近所の医院・診療所・クリニック」(80.6%)、「大学病院・公立病院・総合病院等」(16.3%)、「その他」(2.9%)となっています。

年代別で見るといずれの年代も「近所の医院・診療所・クリニック」が最も高くなっており、18歳・19歳、40歳代で9割を超え高くなっています。また、70歳以上では「大学病院・公立病院・総合病院等」が21.6%と他の年代に比べて高くなっています。

地区別で見るといずれの地区も「近所の医院・診療所・クリニック」が7割台半ば～8割台半ばと高くなっています。

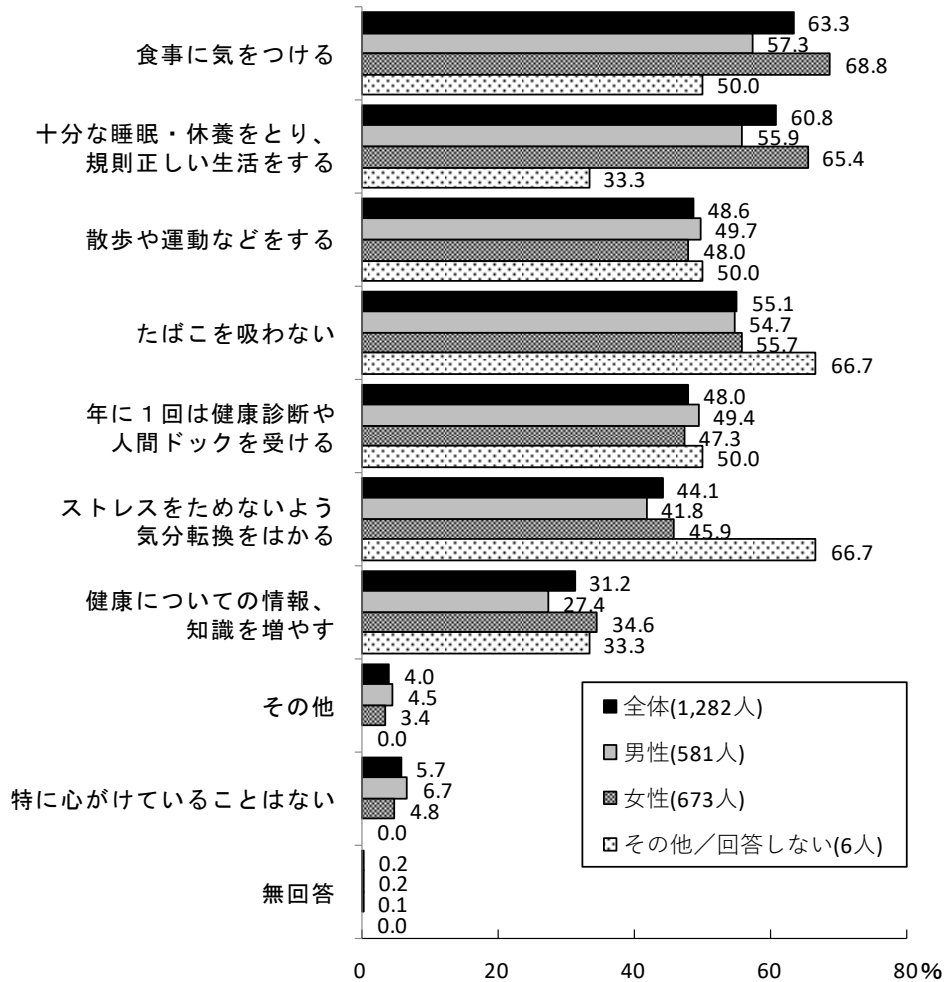
平成23年度調査以降「近所の医院・診療所・クリニック」は増加傾向にあり、今回調査では8割を超え最も高くなっています。

2-3 健康づくりのために心がけていること

◆「食事に気をつける」63.3%、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」60.8%◆

問6 あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

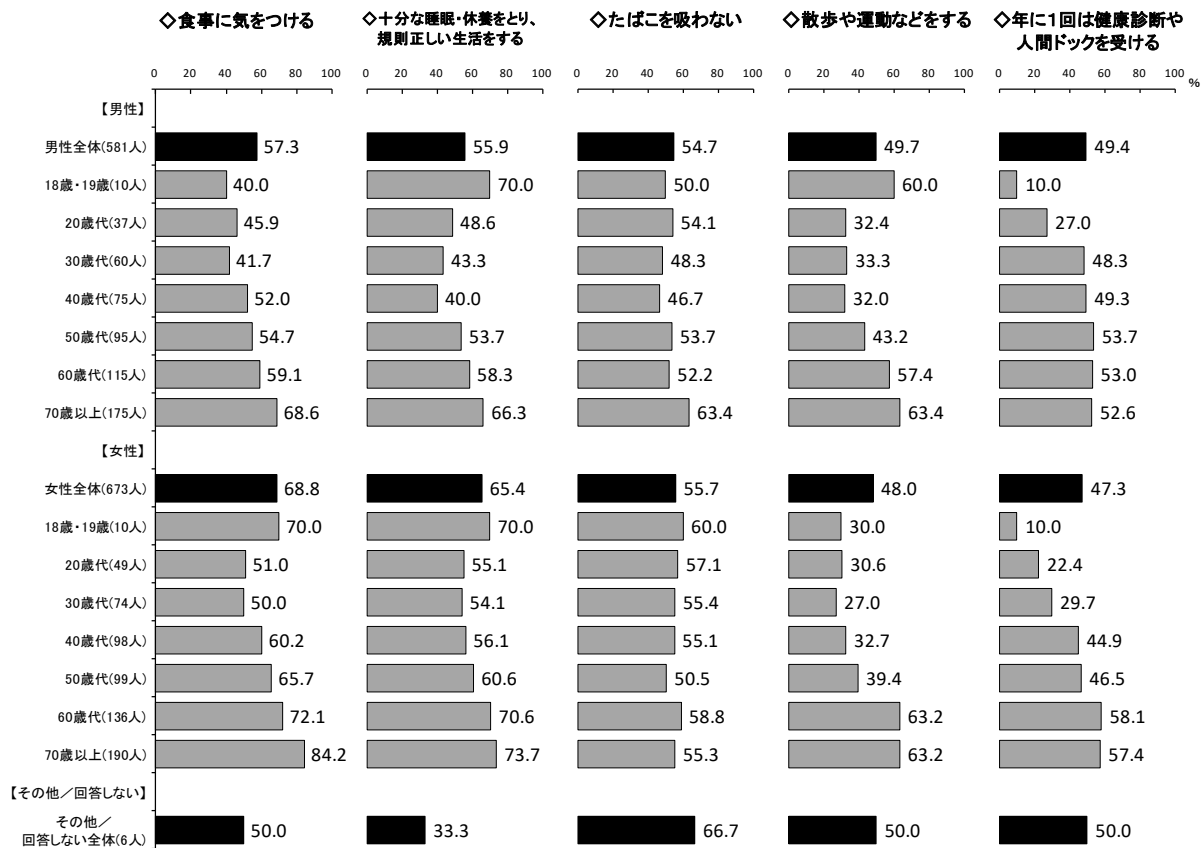
健康づくりのために心がけていること（全体・性別）



全体では「食事に気をつける」が63.3%で最も高く、次いで「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」(60.8%)、「たばこを吸わない」(55.1%)、「散歩や運動などをする」(48.6%)、「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」(48.0%)の順で続いています。

性別で見ると「食事に気をつける」は女性(68.8%)が男性(57.3%)を11.5ポイント、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は女性(65.4%)が男性(55.9%)を9.5ポイント、「健康についての情報、知識を増やす」は女性(34.6%)が男性(27.4%)を7.2ポイント上回っています。

健康づくりのために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「食事に気をつける」は男性では70歳以上で7割近く、女性では60歳代以降の年代で7割以上となっています。

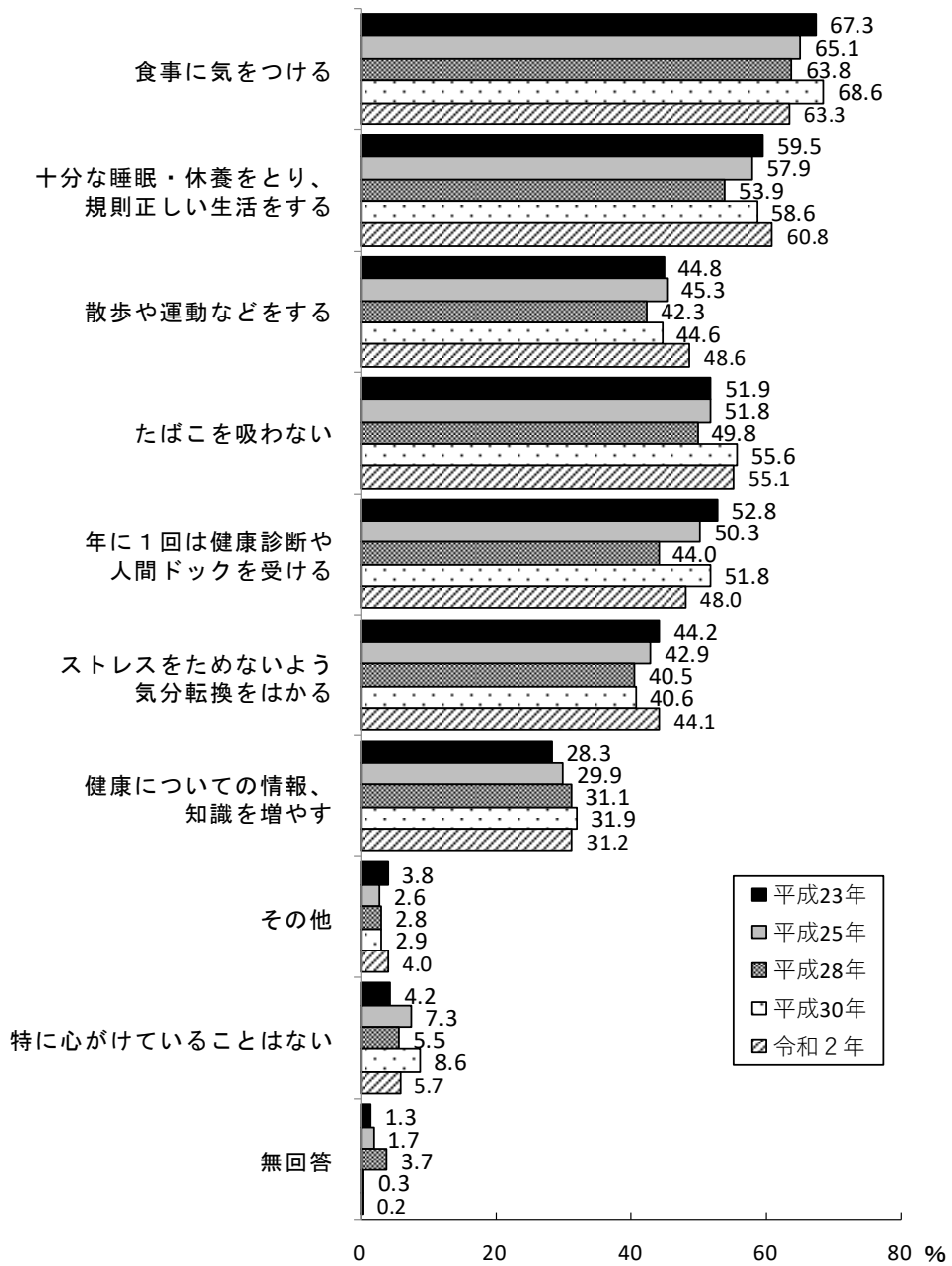
「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」は男性・女性ともにほとんどの年代で5割以上となっていますが、男性では20歳代、30歳代、40歳代で4割台と他の年代に比べて低くなっています。

「たばこを吸わない」は、男性では70歳代で63.4%、女性では20歳代、60歳代が6割近くとやや高くなっています。

「散歩や運動などをする」は、男性の18歳・19歳、60歳代以降、女性の60歳代以降の年代で5割台後半～6割台前半と高くなっています。

「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、男性では50歳代以降、女性では60歳代以降で5割台となっており、特に女性の60歳代と70歳以上ではいずれも6割近くと高くなっています。

健康づくりのために心がけていること（経年比較）



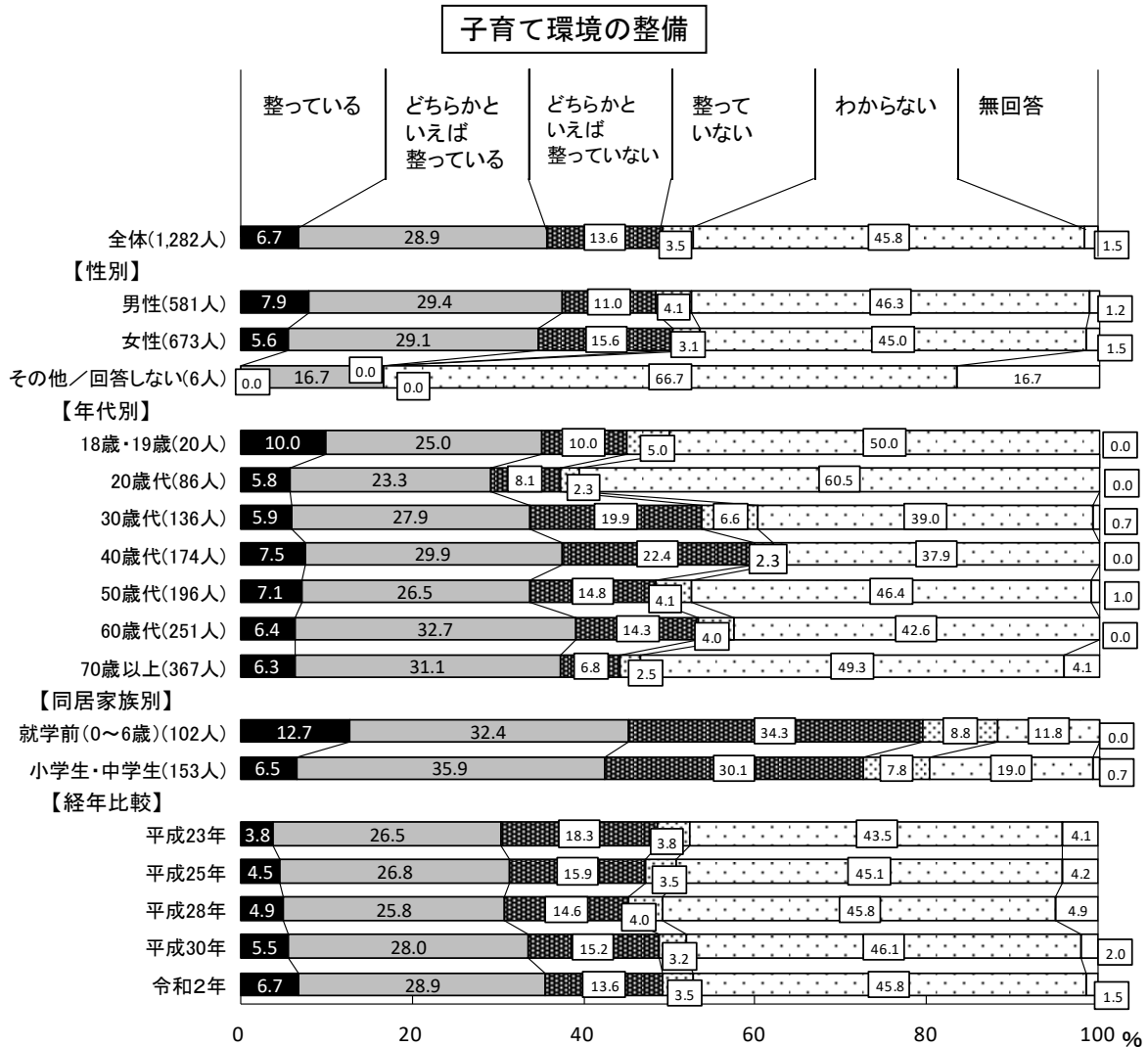
※「年に1回は健康診断や人間ドックを受ける」は、平成25年度までは「年に1回は健康診断を受ける」。

経年で比較すると、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」が60.8%、「散歩や運動などをする」が48.6%で平成23年度調査以降最も高くなっています。「食事に気をつける」は63.3%で平成30年度調査と比較すると、5.3ポイント減で最も減少しています。また、「十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする」「散歩や運動などをする」「ストレスをためないよう気分転換をはかる」は、平成30年度調査から増加しています。

2-4 子育て環境の整備

◆ “子育て環境が整っている” 35.6%◆

問7 あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「整っている」は6.7%、「どちらかといえば整っている」は28.9%で、両者をあわせた35.6%が“子育て環境が整っている”と回答しています。また「整っていない」(3.5%)と「どちらかといえば整っていない」(13.6%)の両者をあわせた“子育て環境は整っていない”との回答は17.1%となっています。

年代別で見ると“子育て環境が整っている”は、60歳代で39.1%、40歳代、70歳以上でそれぞれ37.4%と高くなっています。一方で子育て世代である30歳代、40歳代では“子育て環境は整っていない”が2割台半ばと他の年代に比べ高くなっています。

同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯で見ると、就学前(0~6歳)の子と同居では“子育て環境が整っている”(45.1%)が“子育て環境は整っていない”(43.1%)を2.0ポイント上回っており、小学生・中学生と同居では“子育て環境が整っている”(42.4%)が“子育て環境は整っていない”(37.9%)を4.5ポイント上回っています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、平成23年度調査以降、“子育て環境は整っている”は緩やかな増加傾向にあり、今年度調査では最も高くなっています。

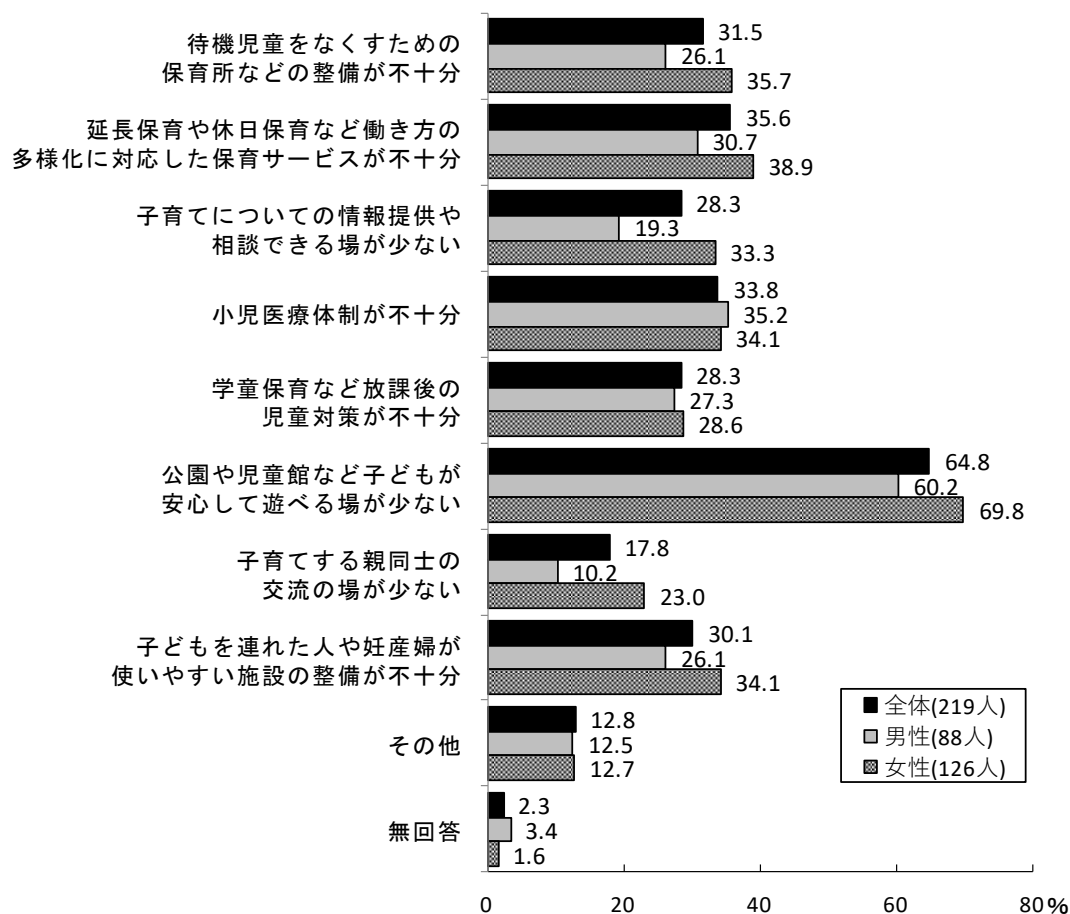
2-5 子育て環境が整っていない理由

- ◆「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」64.8%、「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」35.6%◆

(問7で「どちらかといえば整っていない」または「整っていない」とお答えの方におたずねします)

問7-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

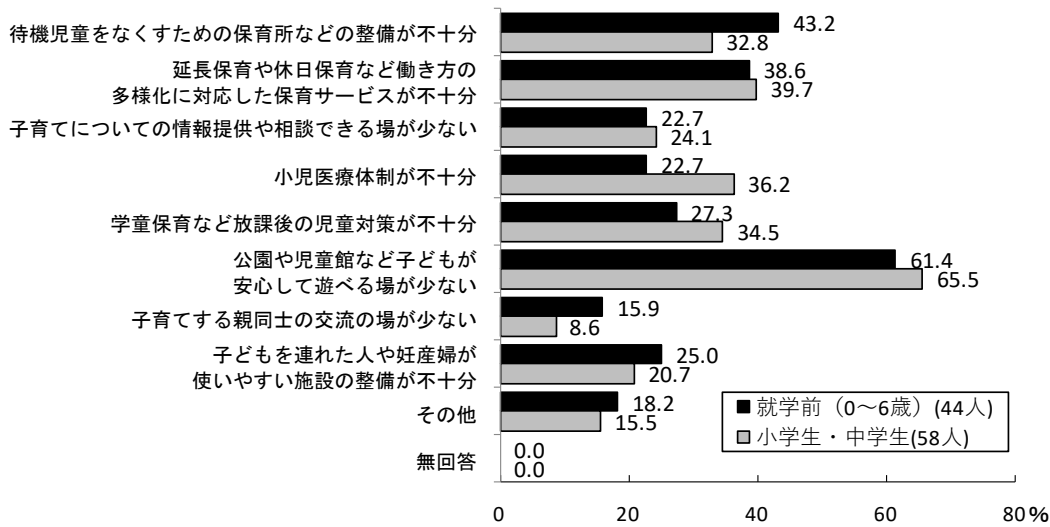
子育て環境が整っていない理由(全体・性別)



全体で見ると「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」が64.8%で最も高く、次いで「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」(35.6%)などが続いています。

性別で見ると「子育てについての情報提供や相談できる場が少ない」は女性(33.3%)が男性(19.3%)を14.0ポイント、「子育てする親同士の交流の場が少ない」は女性(23.0%)が男性(10.2%)を12.8ポイント上回っています。また、「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」「子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分」では女性が男性を5ポイント以上上回っています。

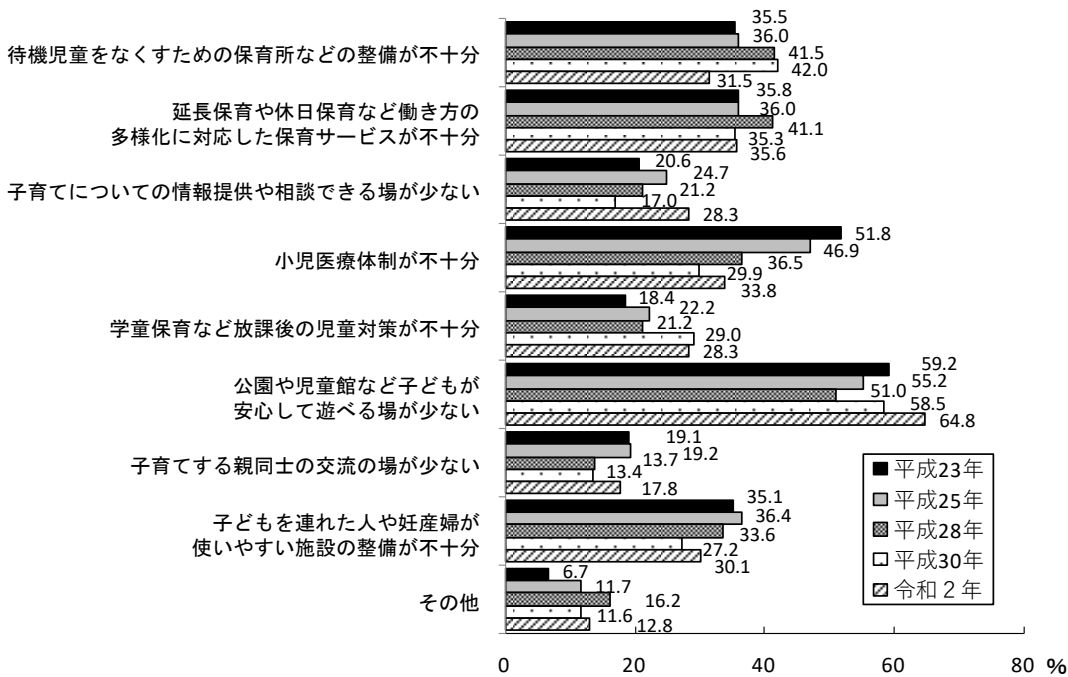
子育て環境が整っていない理由（同居家族別）



同居家族別のうち、子育て中の家族のいる世帯でみると、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」は、就学前（0～6歳）の子と同居が61.4%、小学生・中学生と同居が65.5%とそれぞれ最も高くなっています。

次いで就学前（0～6歳）の子と同居では「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」が43.2%、「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」が38.6%、「学童保育など放課後の児童対策が不十分」（27.3%）と続いています。また、小学生・中学生と同居では「延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分」（39.7%）、「小児医療体制が不十分」（36.2%）、「学童保育など放課後の児童対策が不十分」（34.5%）と続いています。

子育て環境が整っていない理由（経年比較）

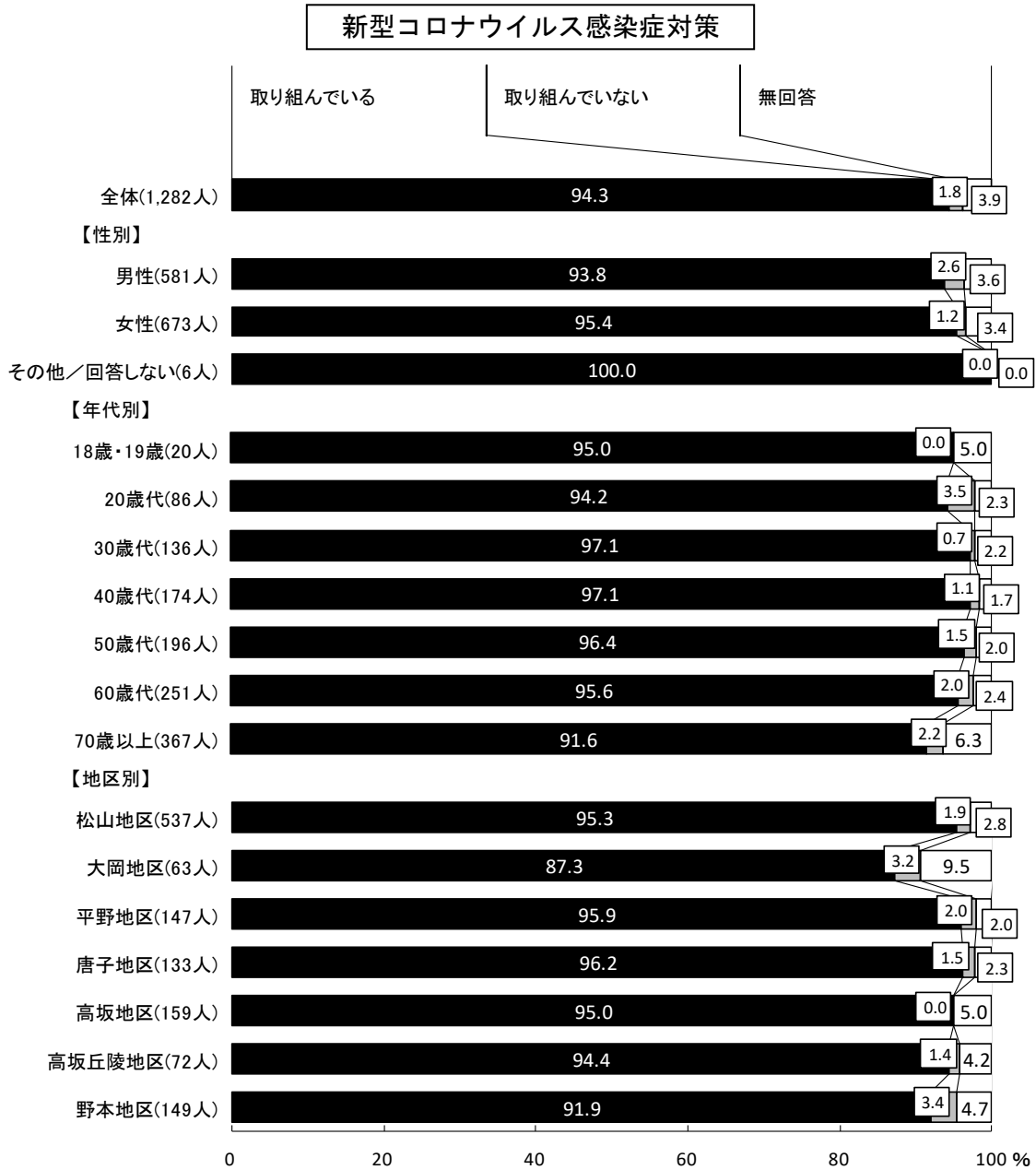


平成30年度調査と比較すると、ほとんどの項目で増加傾向にあり、特に「子育てについての情報提供や相談できる場が少ない」が11.3ポイント、「公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない」が6.3ポイント増加しています。一方「待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分」は10.5ポイント減少しています。

2-6 新型コロナウイルス感染症対策

◆ “取り組んでいる” 94.3% ◆

問8 あなたは、新型コロナウイルスの感染症対策に取り組んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「新型コロナウイルス感染症対策」は新設の設問です。

全体で見ると「取り組んでいる」が94.3%、「取り組んでいない」が1.8%と、「取り組んでいる」が大半を占めています。

性別で見ると「取り組んでいる」は女性（95.4%）が男性（93.8%）を1.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「取り組んでいる」は全ての年代で9割を超えており、特に30歳代、40歳代ではともに97.1%と最も高くなっています。

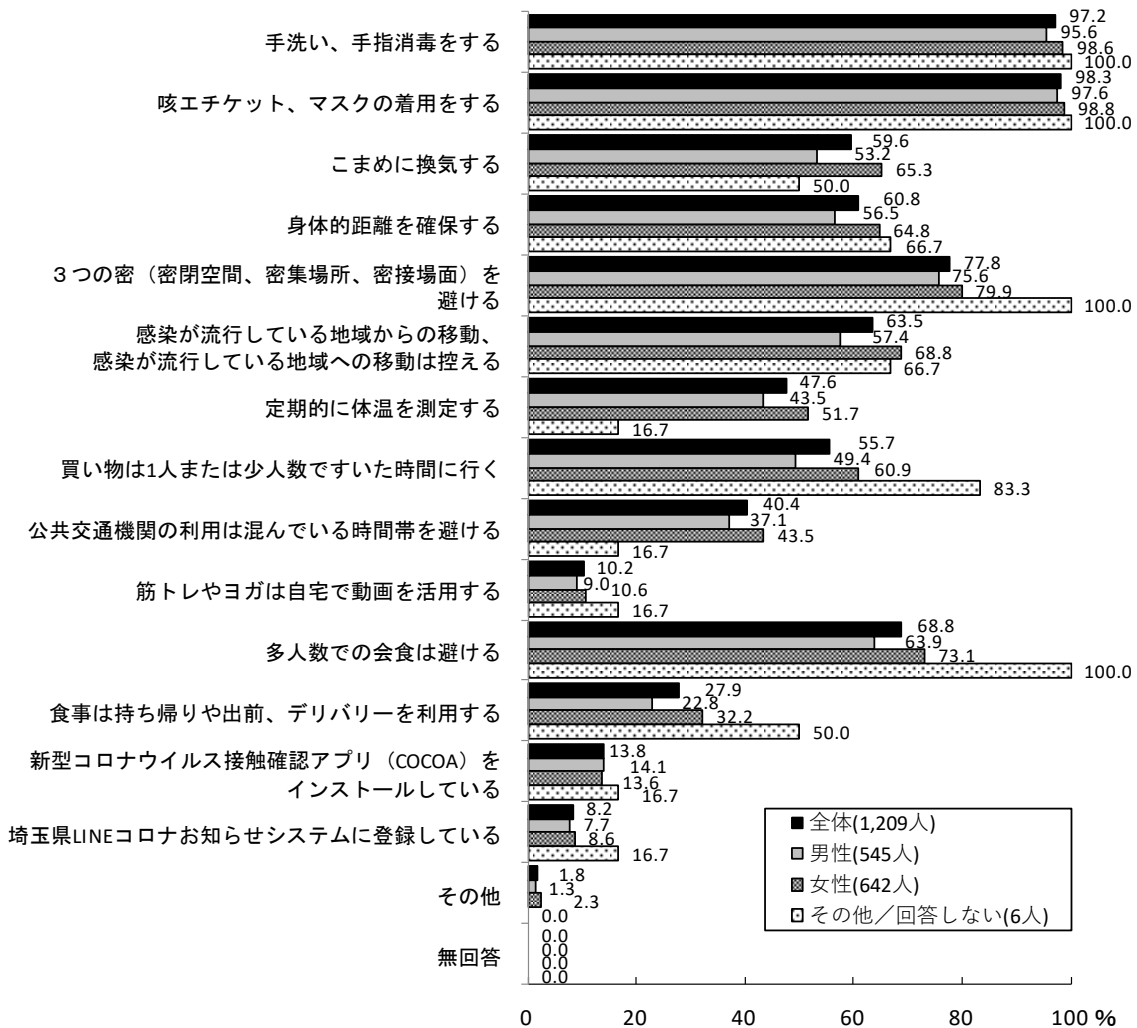
2-7 感染症対策のために取り組んでいること

◆「咳エチケット、マスクの着用をする」98.3%、「手洗い、手指消毒をする」97.2%◆

(問8で1とお答えの方におたずねします。)

問8-1 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

感染症対策のために取り組んでいること（全体・性別）

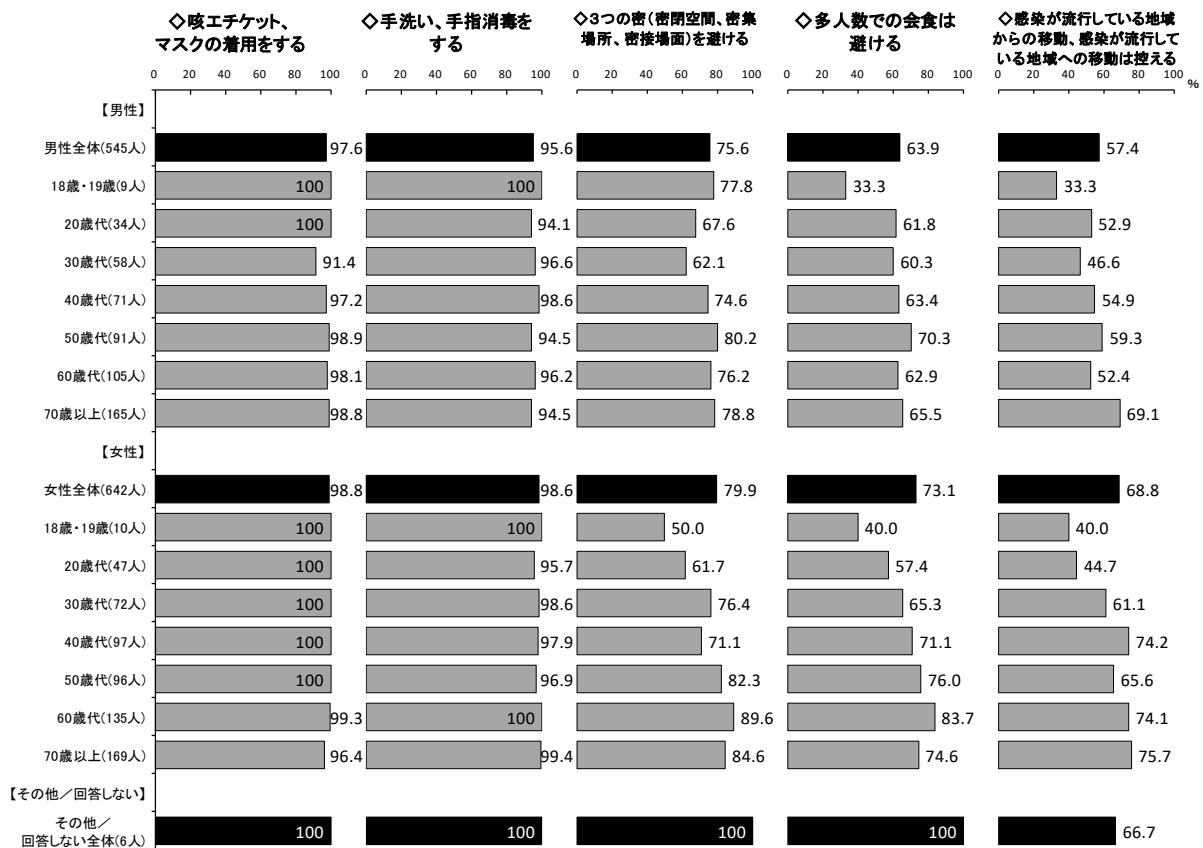


※「感染症対策のために取り組んでいること」は新設の設問です。

全体で見ると「咳エチケット、マスクの着用をする」が98.3%を占め最も高く、次いで「手洗い、手指消毒をする」(97.2%)、「3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける」(77.8%)などが続いています。

性別で見ると全般的に女性が男性に比べ高く、特に「こまめに換気する」は女性(65.3%)が男性(53.2%)を12.1ポイント、「感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える」は女性(68.8%)が男性(57.4%)を11.4ポイント、「買い物は1人または少人数ですいた時間に行く」は女性(60.9%)が男性(49.4%)を11.5ポイント上回っています。また、「身体的距離を確保する」「定期的に体温を測定する」「公共交通機関の利用は混んでいる時間帯を避ける」「多人数での会食は避ける」「食事は持ち帰りや出前、デリバリーを利用する」は女性が男性を5ポイント以上上回っています。

感染症対策のために取り組んでいること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「咳エチケット、マスクの着用をする」は男性・女性ともに9割以上と大半を占めており、特に男性の18歳・19歳、20歳代、女性の18歳・19歳、20～50歳代では100%となっています。

「手洗い、手指消毒をする」は男性・女性ともに9割台半ば以上と大半を占めており、特に男性の18歳・19歳、女性の18歳・19歳、60歳代では100%となっています。

「3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける」は男性の20歳代（67.6%）、30歳代（62.1%）、女性の18歳・19歳（50.0%）、20歳代（61.7%）で他の年代に比べ低くなっています。

「多人数での会食は避ける」はほとんどの年代で6割以上となっていますが、男性・女性ともに18歳・19歳で3～4割台と他の年代に比べて低くなっています。

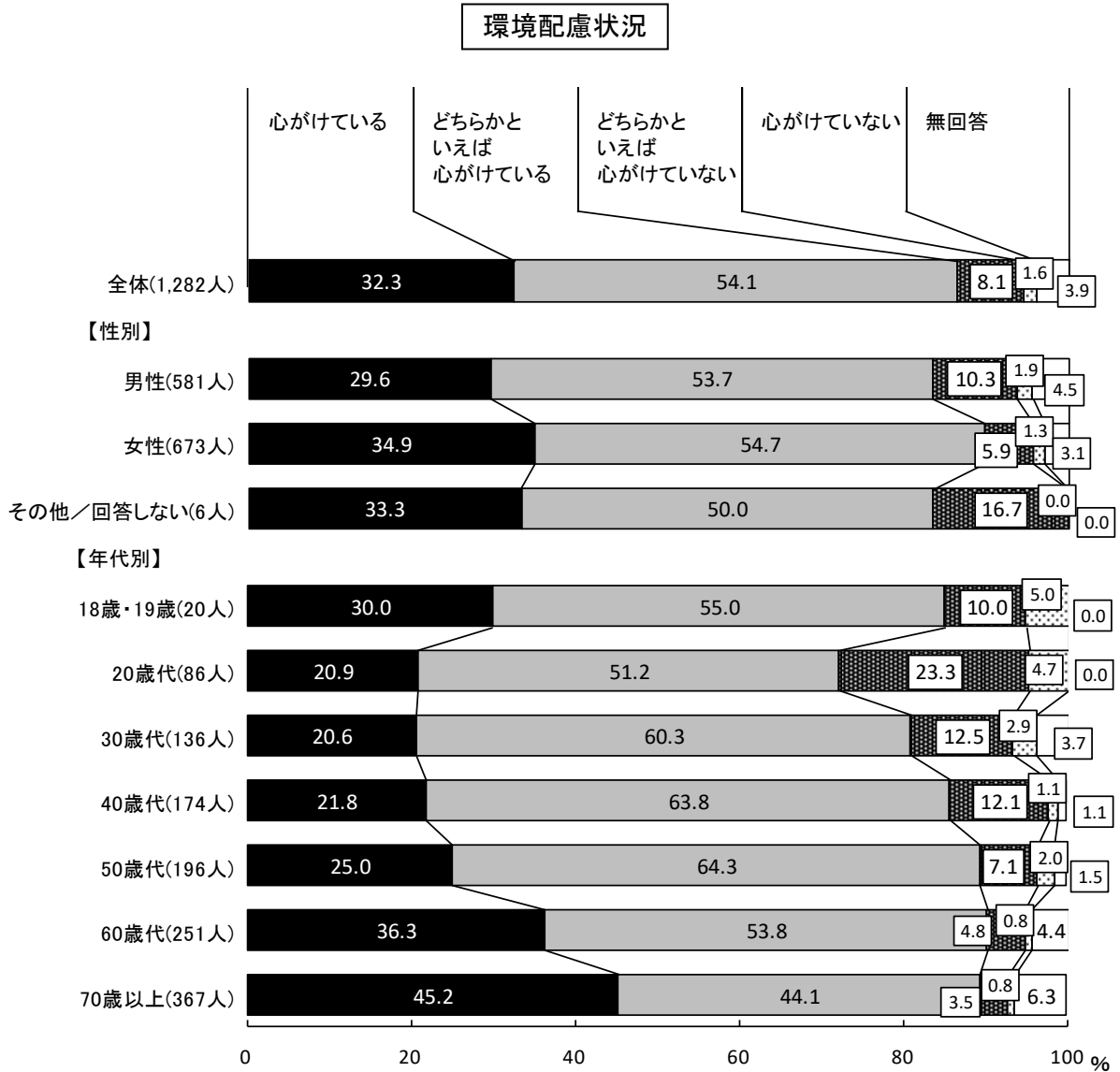
「感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える」は女性の40歳代、60歳代以降でそれぞれ7割台半ばと高くなっています。

3 環境について

3-1 環境配慮状況

◆ “環境に配慮した生活を心がけている” 86.4%◆

問9 あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「心がけている」は32.3%、「どちらかといえば心がけている」は54.1%で、両者をあわせた86.4%が“環境に配慮した生活を心がけている”と回答しています。

性別で見ると“環境に配慮した生活を心がけている”は女性(89.6%)が男性(83.3%)を6.3ポイント上回っています。

年代別で見ると「心がけている」は70歳以上で45.2%と最も高く、次いで60歳代で36.3%となっています。また“環境に配慮した生活を心がけている”は、60歳代で90.1%と最も高く、50歳代、70歳以上でもともに89.3%となっています。一方、20歳代では「心がけていない」(4.7%)と「どちらかといえば心がけていない」(23.3%)の両者をあわせた“環境に配慮した生活を心がけていない”が28.0%と、他の年代に比べ高くなっています。

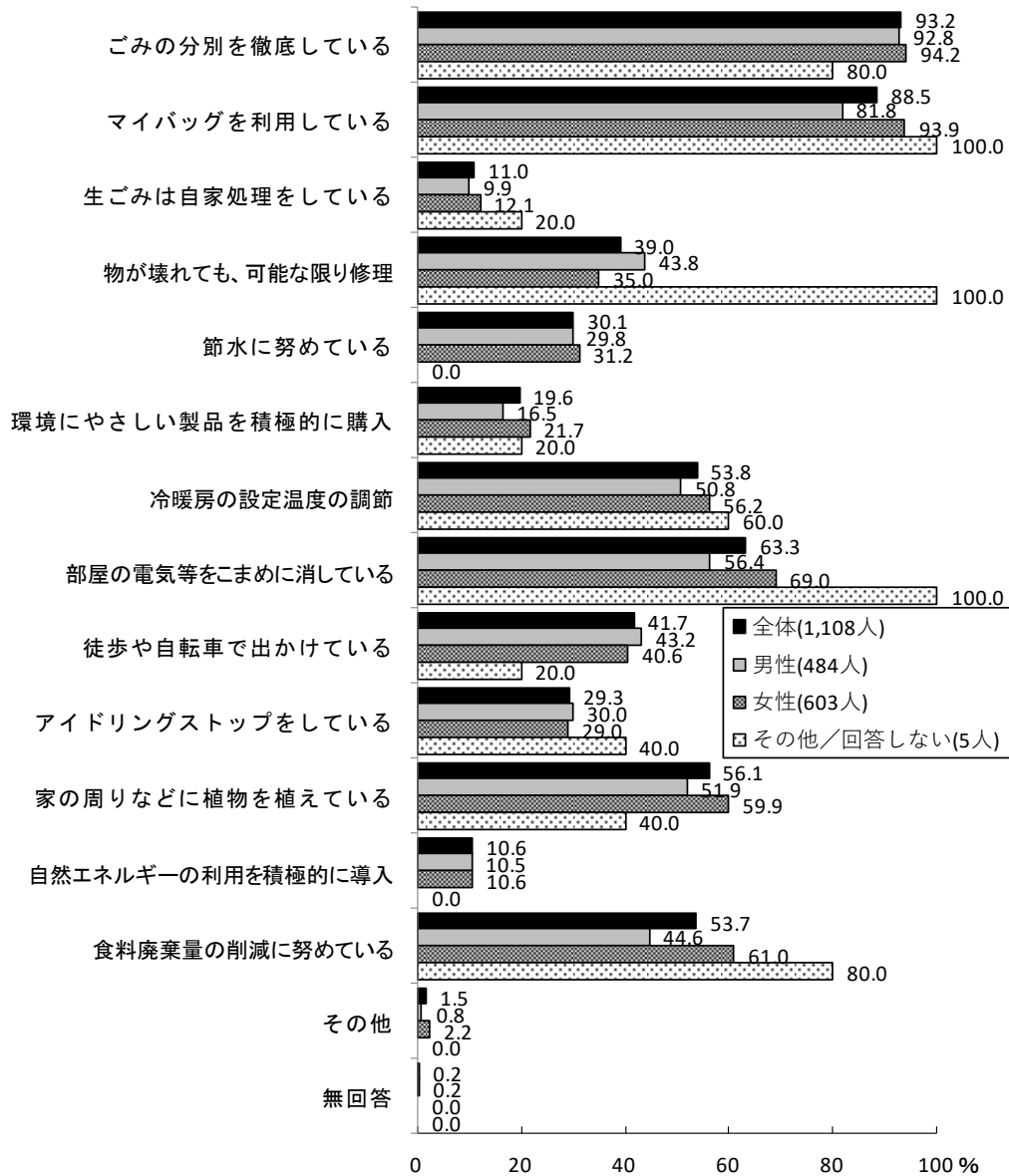
3-2 環境配慮のために心がけていること

◆「ごみの分別を徹底している」93.2%◆

(問9で「心がけている」または「どちらかといえば心がけている」とお答えの方におたずねします)

問9-1 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

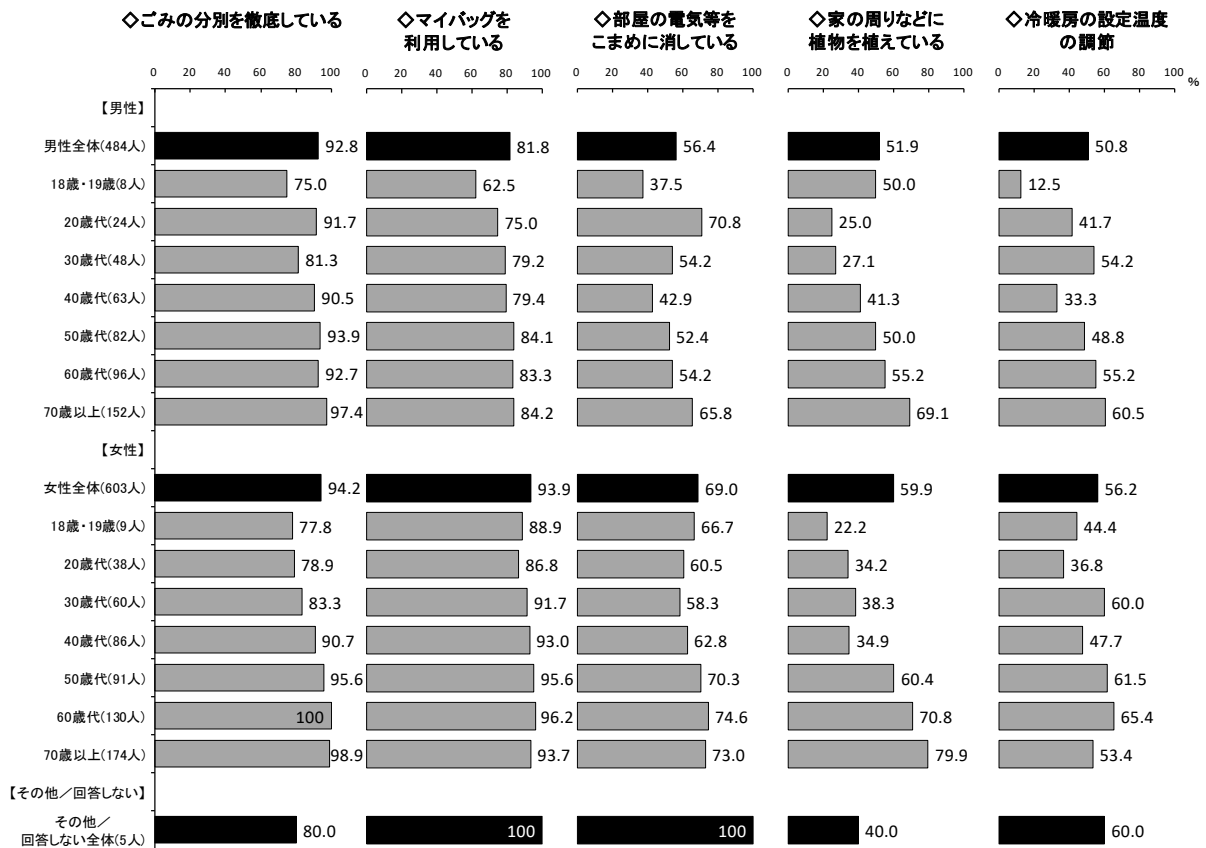
環境配慮のために心がけていること（全体・性別）



全体では「ごみの分別を徹底している」が93.2%で最も高く、次いで「マイバッグを利用している」(88.5%)、「部屋の電気等をこまめに消している」(63.3%)、「家の周りなどに植物を植えている」(56.1%)、「冷暖房の設定温度の調節」(53.8%)と続いています。

性別で見ると「マイバッグを利用している」「部屋の電気等をこまめに消している」「食料廃棄量の削減に努めている」は女性が男性を10ポイント以上上回っています。

環境配慮のために心がけていること（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「ごみの分別を徹底している」は男性・女性とも全ての年代で高い割合で行われており、特に女性の60歳代では100%となっています。

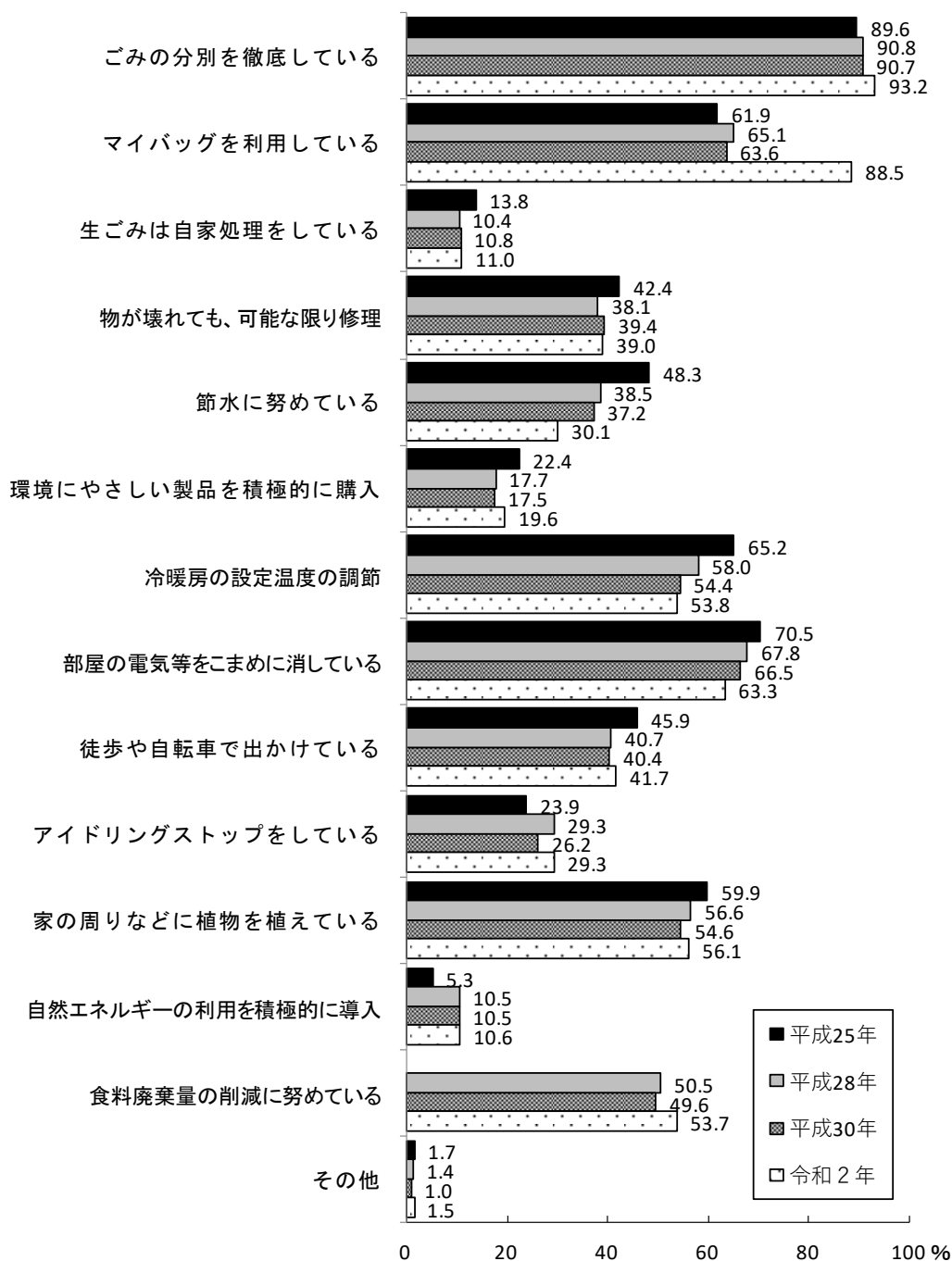
「マイバッグを利用している」は女性では30歳代以降で9割を超え高くなっています。男性は50歳代以降で8割を超え高くなっています。

「部屋の電気等をこまめに消している」は男性では20歳代が70.8%と最も高く、女性では50歳代以降で7割台と高くなっています。

「家の周りなどに植物を植えている」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど割合が高い傾向となっており、男性・女性ともに70歳以上が最も高く、男性では69.1%、女性では79.9%となっています。

「冷暖房の設定温度の調節」は男性の70歳以上（60.5%）が最も高く、女性では60歳代（65.4%）が最も高くなっています。

環境配慮のために心がけていること（経年比較）



※「食料廃棄量の削減に努めている」は、平成28年度からの選択肢です。

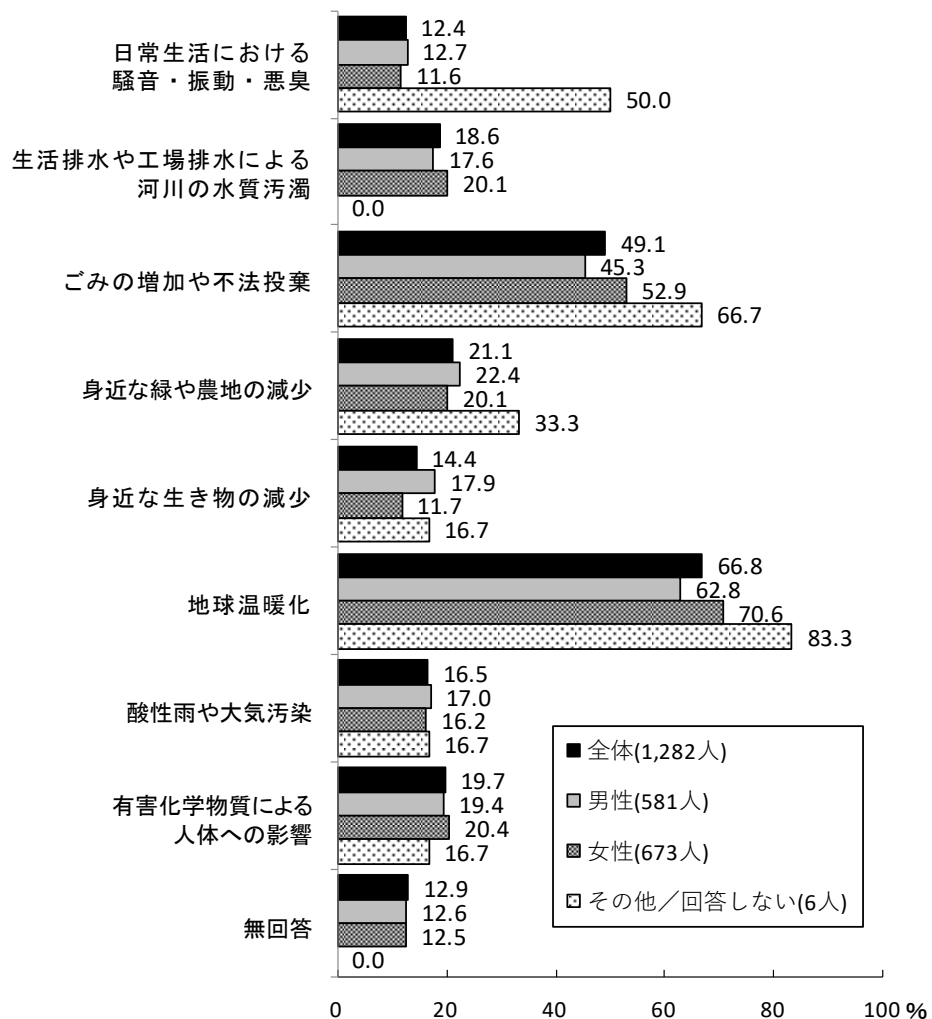
平成30年度調査と比較すると「マイバッグを利用している」が24.9ポイントと大幅に増加しています。また、「食料廃棄量の削減に努めている」が4.1ポイント増加しています。一方「節水に努めている」は7.1ポイント減少しています。平成25年度調査以降、「ごみの分別を徹底している」は増加傾向がみられます。

3-3 環境問題の深刻度・重要度

◆「地球温暖化」「ごみの増加や不法投棄」が深刻度、重要度ともに比較的高い◆

問 10 環境問題について、次にあげる項目で、「すでに深刻な問題である」ということと、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」ということについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

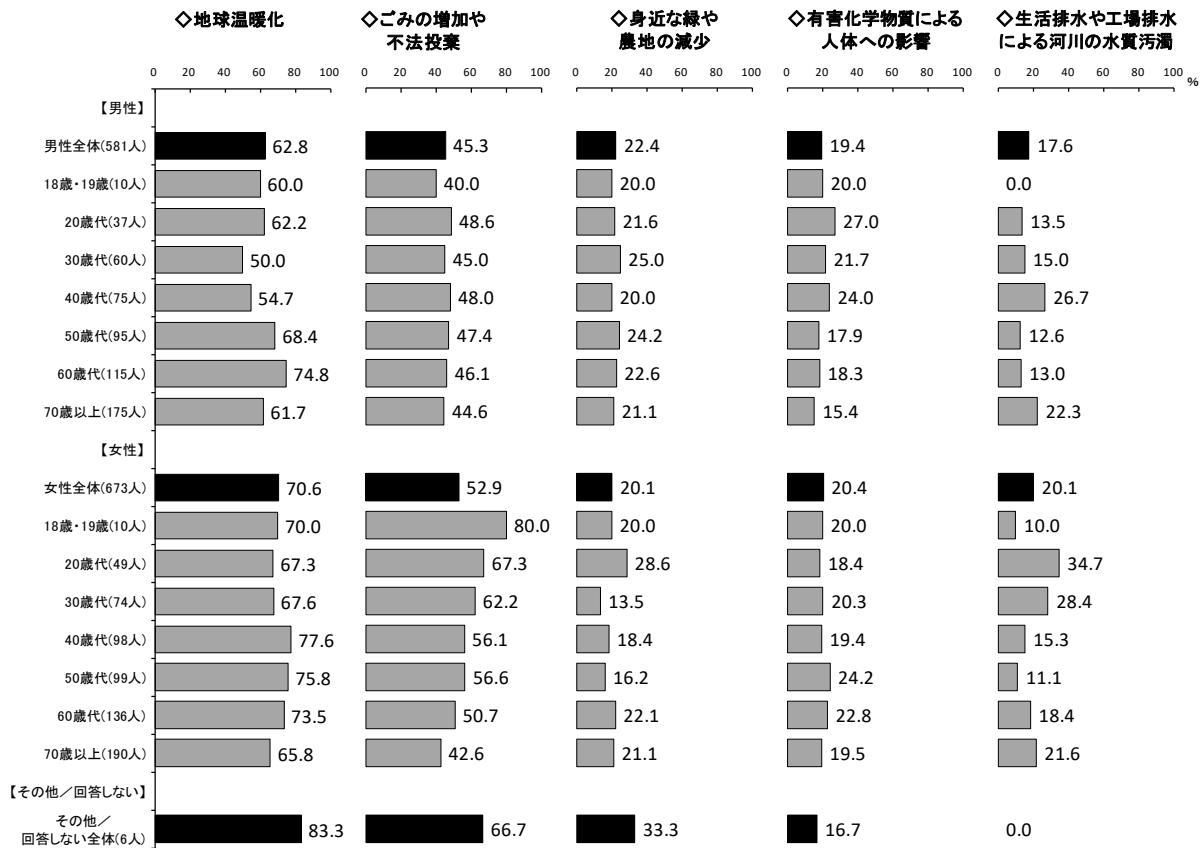
深刻と考える環境問題（全体・性別）



深刻と考える環境問題は、猛暑の影響か全体では「地球温暖化」が 66.8%と最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」(49.1%)、「身近な緑や農地の減少」(21.1%)、「有害化学物質による人体への影響」(19.7%)、「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」(18.6%)、「酸性雨や大気汚染」(16.5%)、「身近な生き物の減少」(14.4%)、「日常生活における騒音・振動・悪臭」(12.4%)と続いています。

性別でみると「ごみの増加や不法投棄」「地球温暖化」は女性が男性を5ポイント以上、「身近な生き物の減少」は男性(17.9%)が女性(11.7%)を6.2ポイント上回っています。

深刻と考える環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「地球温暖化」は男性の60歳代(74.8%)、女性の40歳代(77.6%)が最も高くなっています。

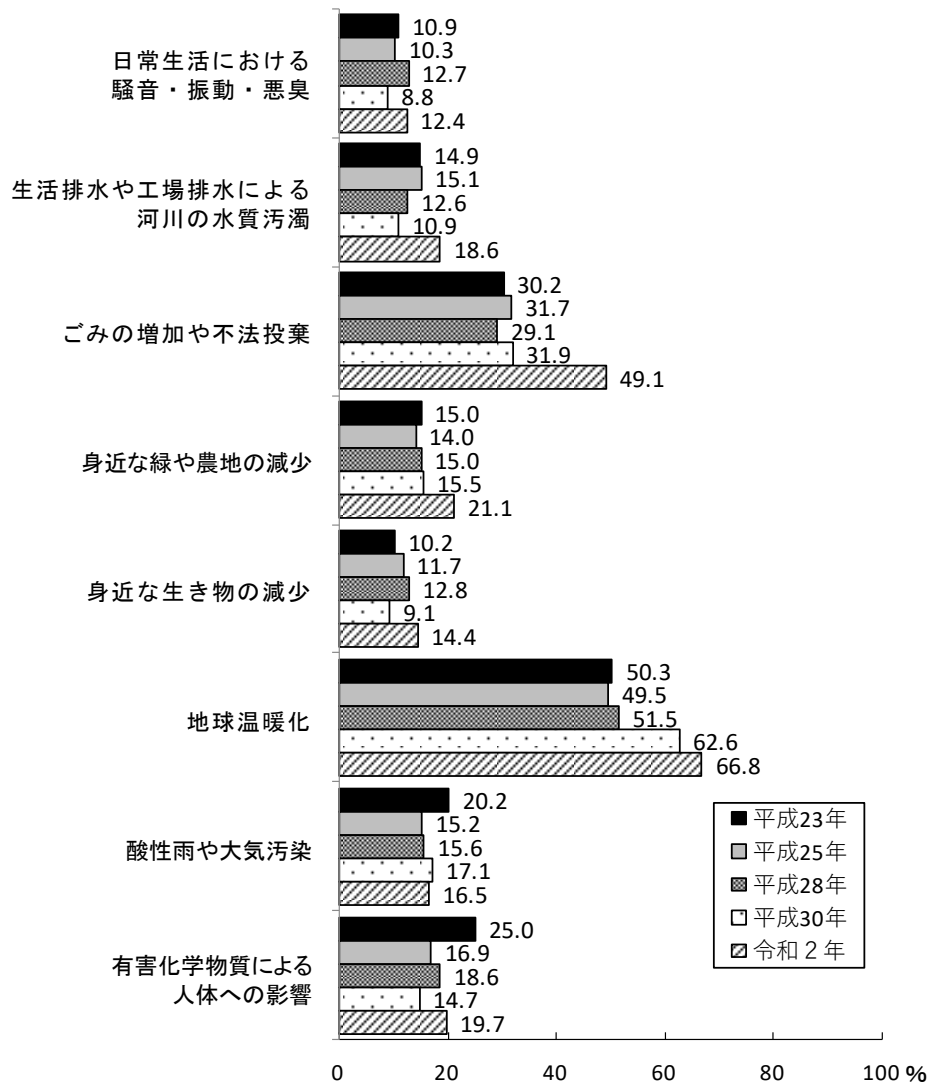
「ごみの増加や不法投棄」は女性の年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向となっており、70歳以上では42.6%と最も低くなっています。

「身近な緑や農地の減少」は男性に大きな差はみられませんが、女性の20歳代では28.6%と他の年代に比べ高くなっています。

「有害化学物質による人体への影響」は男性の20歳代(27.0%)、女性の50歳代(24.2%)が最も高くなっています。

「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」は男性の40歳代(26.7%)、女性の20歳代(34.7%)が最も高くなっています。

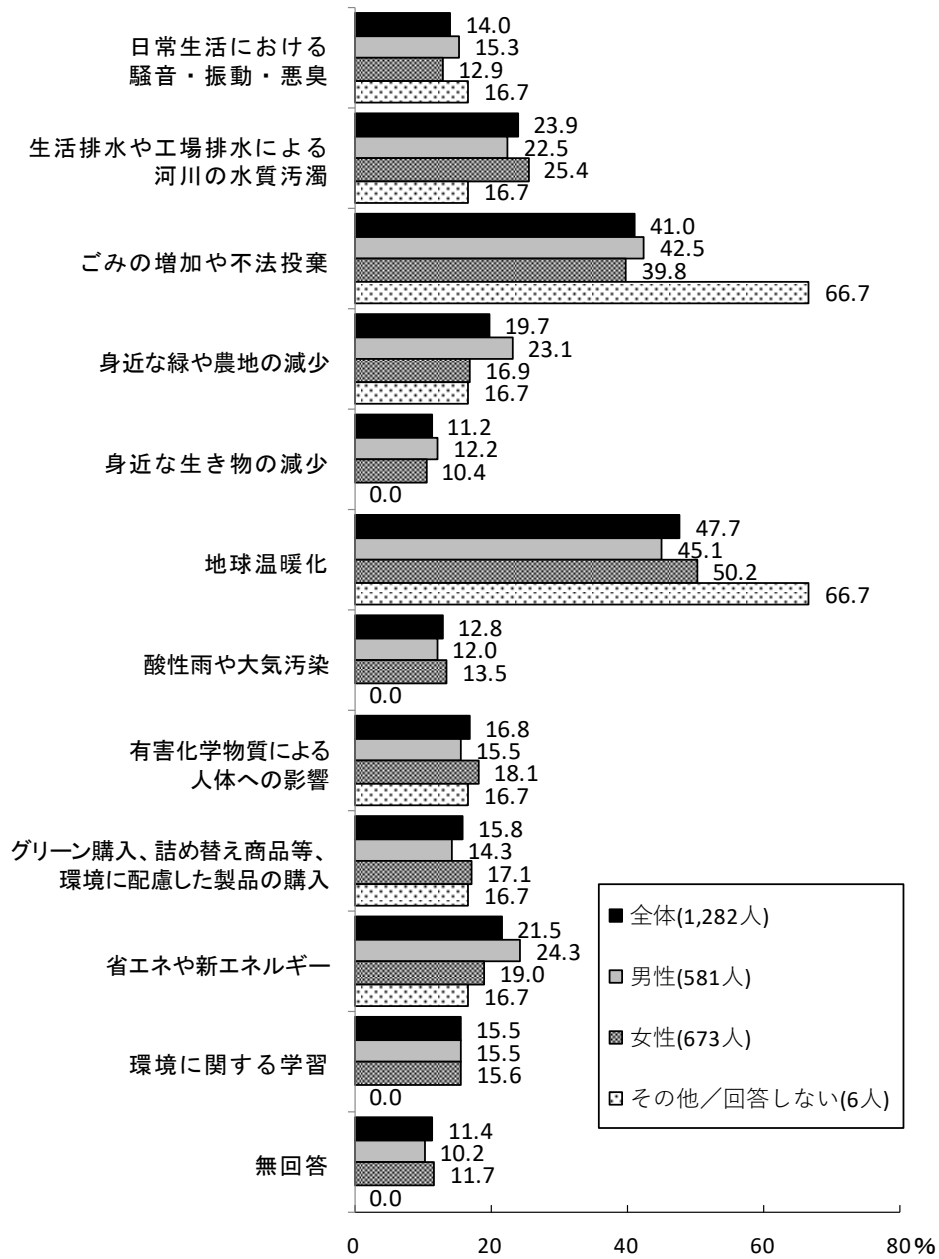
深刻と考える環境問題(経年比較)



平成30年度調査と比較するとほとんど全ての項目で増加傾向にあり、特に「ごみの増加や不法投棄」は17.2ポイント増加しています。また、「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」「身近な緑や農地の減少」「身近な生き物の減少」「有害化学物質による人体への影響」は5ポイント以上増加しています。

平成23年度調査以降、「ごみの増加や不法投棄」「身近な緑や農地の減少」「地球温暖化」は増加傾向がみられます。

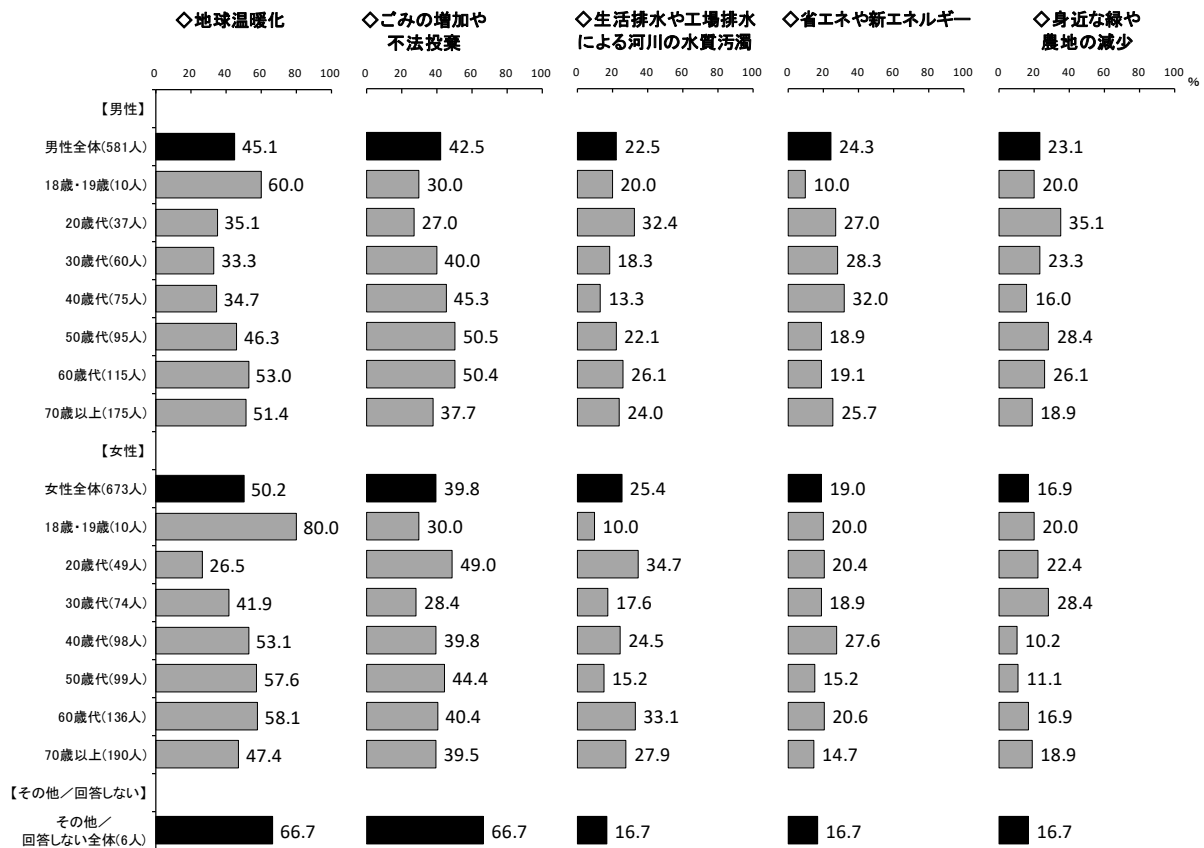
重点的に取り組んでいく必要がある環境問題(全体・性別)



重点的に取り組んでいく必要がある環境問題は、全体でみると「地球温暖化」が47.7%で最も高く、次いで「ごみの増加や不法投棄」(41.0%)、「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」(23.9%)、「省エネや新エネルギー」(21.5%)、「身近な緑や農地の減少」(19.7%)と続いています。

性別でみると「身近な緑や農地の減少」は男性(23.1%)が女性(16.9%)を6.2ポイント、「省エネや新エネルギー」は男性(24.3%)が女性(19.0%)を5.3ポイント上回っています。また「地球温暖化」は女性(50.2%)が男性(45.1%)を5.1ポイント上回っています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「地球温暖化」は男性・女性ともに18歳・19歳が最も高く、男性が60.0%、女性が80.0%となっています。

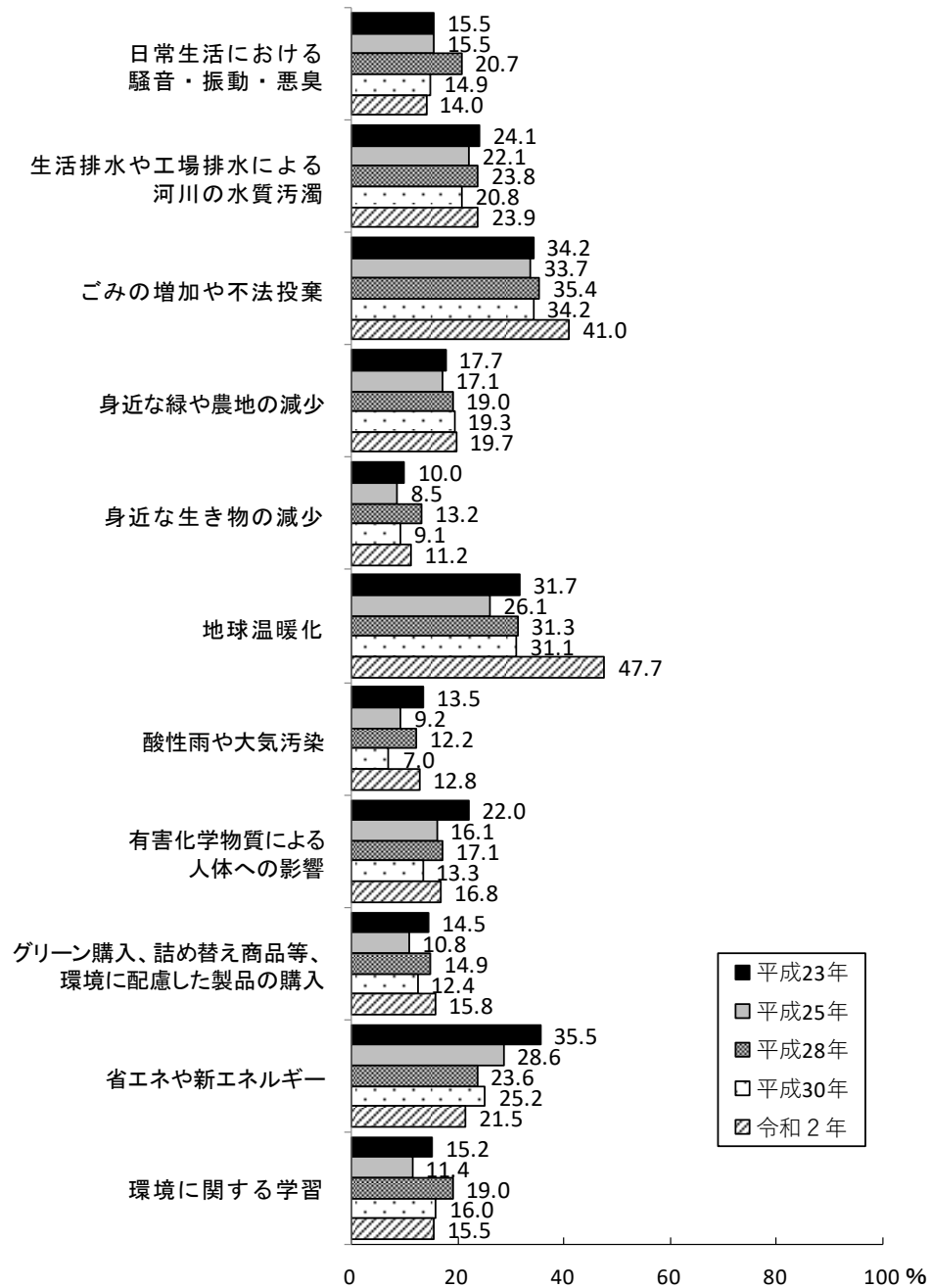
「ごみの増加や不法投棄」は、男性の50歳代（50.5%）、60歳代（50.4%）、女性の20歳代（49.0%）が高くなっています。

「生活排水や工場排水による河川の水質汚濁」は男性・女性ともに20歳代が最も高く、男性が32.4%、女性が34.7%となっています。また、女性の60歳代（33.1%）も高くなっています。

「省エネや新エネルギー」は、男性の30歳代を除く全ての年代で1割台から2割台となっています。

「身近な緑や農地の減少」は男性の20歳代で35.1%、女性の30歳代で28.4%と最も高くなっています。

重点的に取り組んでいく必要がある環境問題（経年比較）

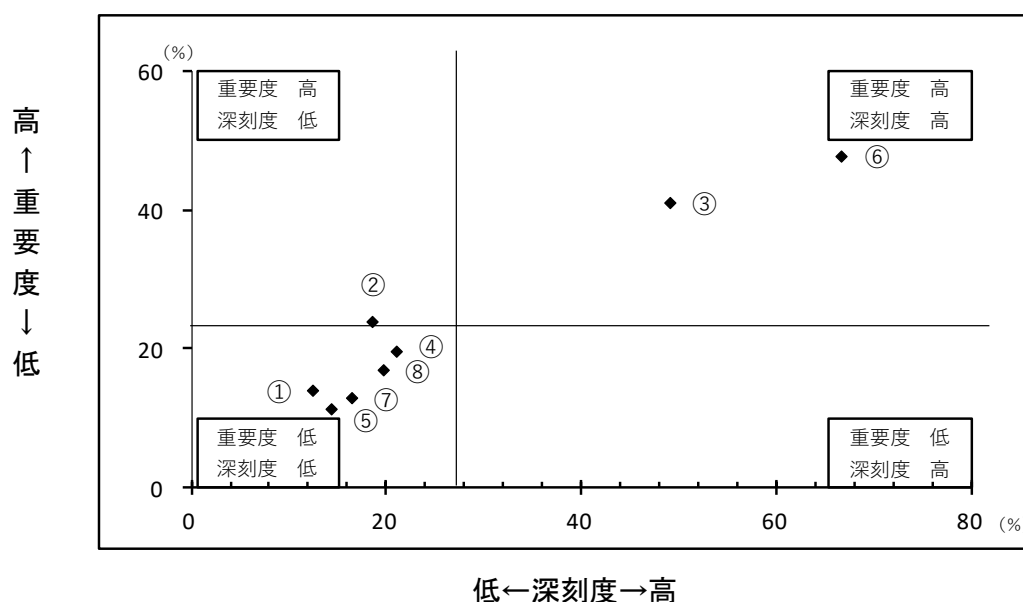


平成30年度調査と比較するとほとんど全ての項目で増加傾向にあり、特に「地球温暖化」は16.6ポイント増加しています。また、「ごみの増加や不法投棄」「酸性雨や大気汚染」は5ポイント以上増加しています。一方、「省エネや新エネルギー」が3.7ポイント減少しています。平成23年度調査以降、「身近な緑や農地の減少」は増加傾向、「省エネや新エネルギー」は減少傾向がみられます。

■環境問題の深刻度及び重要度

(%)

		深刻度	重要度
①	日常生活における騒音・振動・悪臭	12.4	14.0
②	生活排水等による河川の水質汚濁	18.6	23.9
③	ごみの増加や不法投棄	49.1	41.0
④	身近な緑や農地の減少	21.1	19.7
⑤	身近な生き物の減少	14.4	11.2
⑥	地球温暖化	66.8	47.7
⑦	酸性雨や大気汚染	16.5	12.8
⑧	有害化学物質による人体への影響	19.7	16.8
⑨	グリーン購入等環境に配慮した製品の購入		15.8
⑩	省エネや新エネルギー		21.5
⑪	環境に関する学習		15.5
	無回答	12.9	11.4



上記のグラフでは「すでに深刻な問題である (=深刻度)」を横方向、「重点的に取り組んでいく必要がある (=重要度)」を縦方向に示しています。

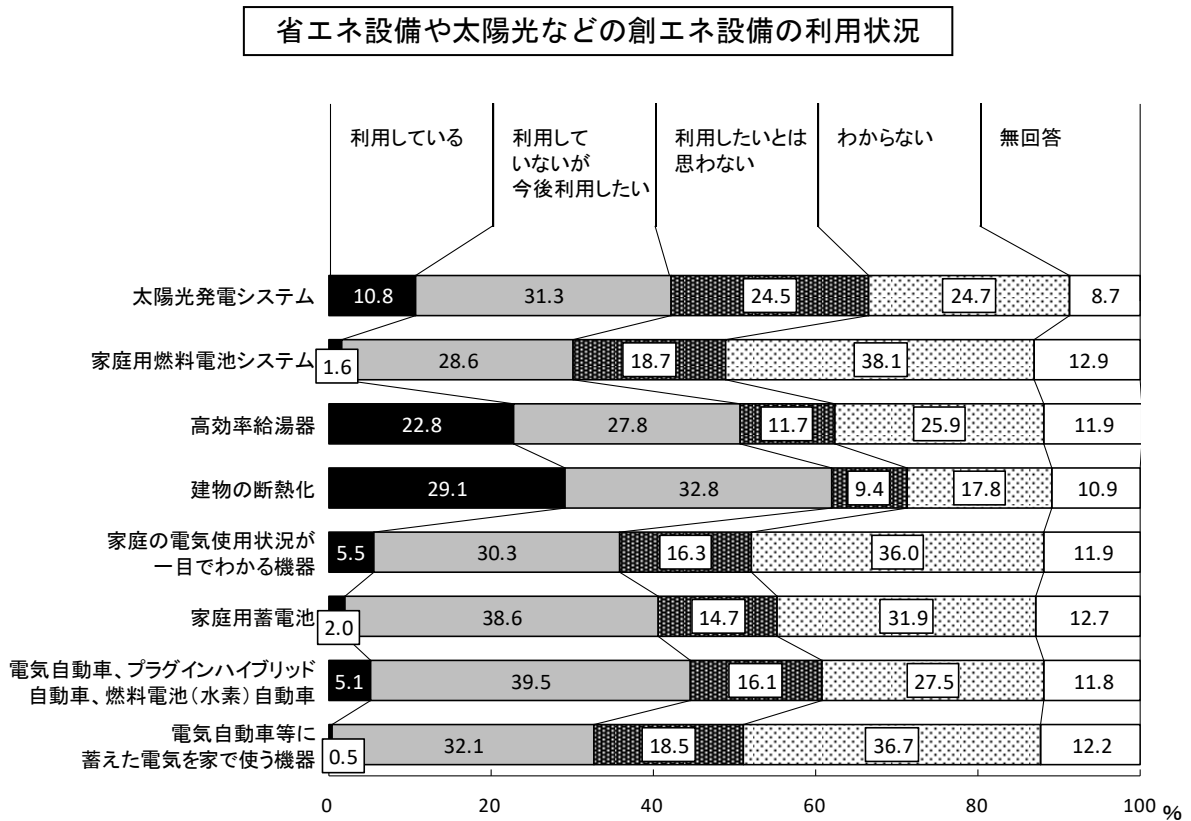
図中、右上の領域に位置する「③ごみの増加や不法投棄」「⑥地球温暖化」は、深刻度・重要度ともに高くなっています。左上の領域に位置する「②生活排水等による河川の水質汚濁」は重要度が高くなっています。

一方、その他の項目については深刻度・重要度ともに低くなっています。

3-4 省エネ設備や太陽光などの創エネ設備の利用状況

◆「建物の断熱化」29.1%◆

問 11 あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池（水素）自動車」は、平成 28 年度調査までは「電気自動車やハイブリッド車」。

※「家庭用蓄電池」「電気自動車等に蓄えた電気を家で使う機器」は平成 30 年度調査からの項目です。

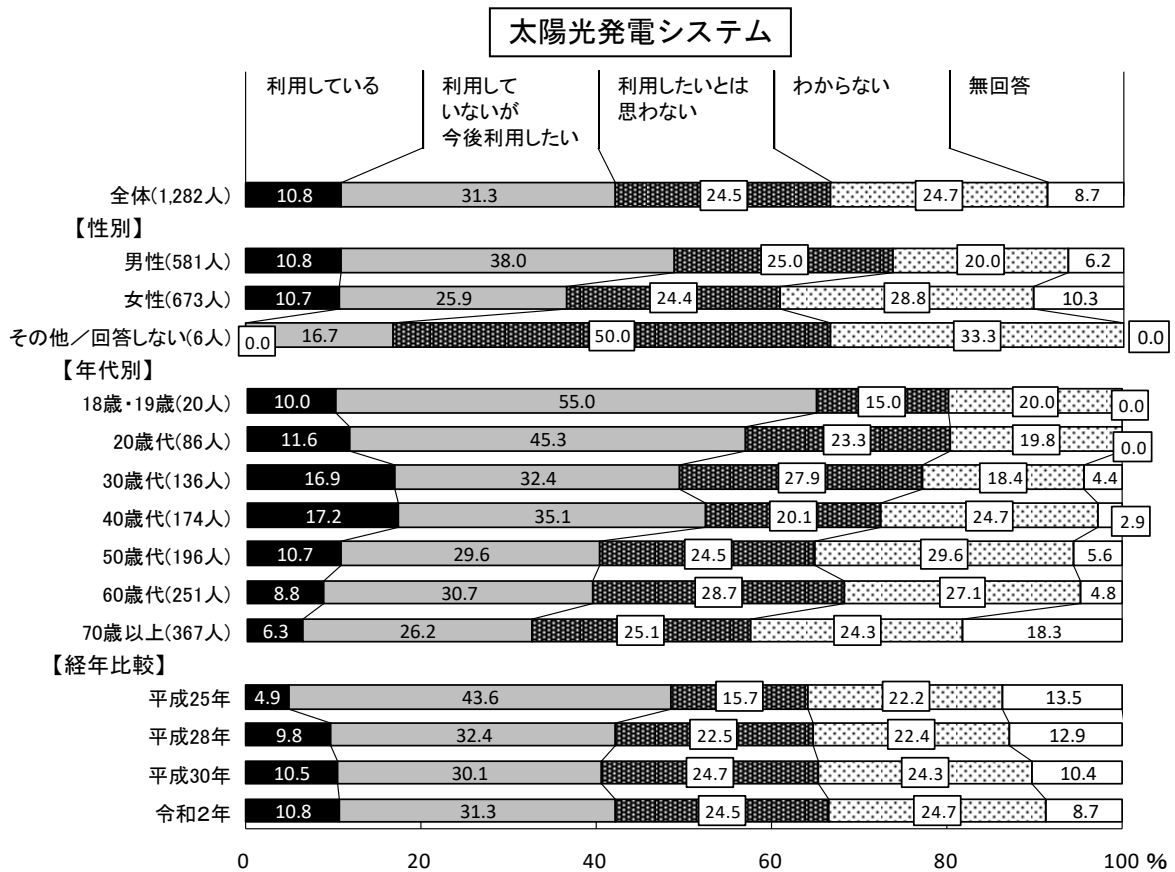
「利用している」は「建物の断熱化」が 29.1%で最も高く、次いで「高効率給湯器」が 22.8%となっています。

「利用していないが今後利用したい」は「電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車」が 39.5%で最も高く、次いで「家庭用蓄電池」が 38.6%となっています。

「利用したいとは思わない」は「太陽光発電システム」が 24.5%で最も高く、次いで「家庭用燃料電池システム」が 18.7%となっています。

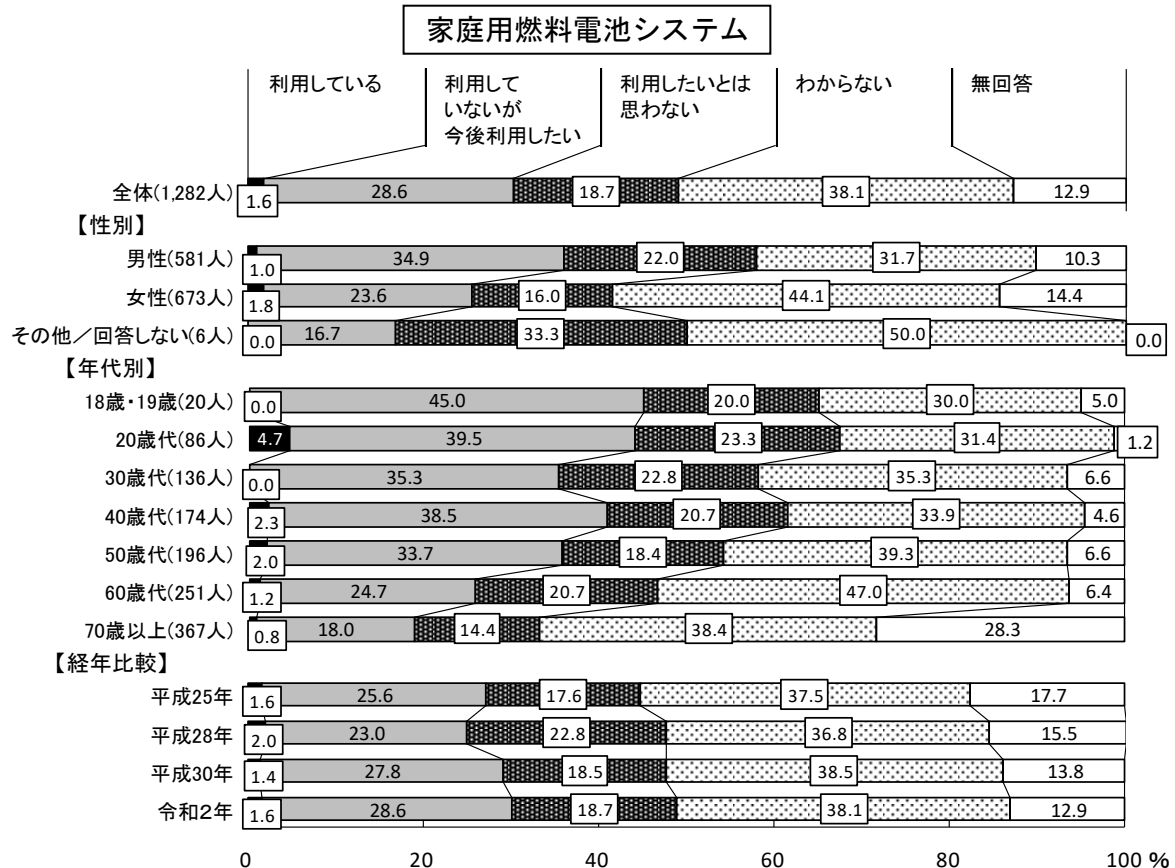
太陽光発電システム

◆「利用している」10.8%、「利用していないが今後利用したい」31.3%◆



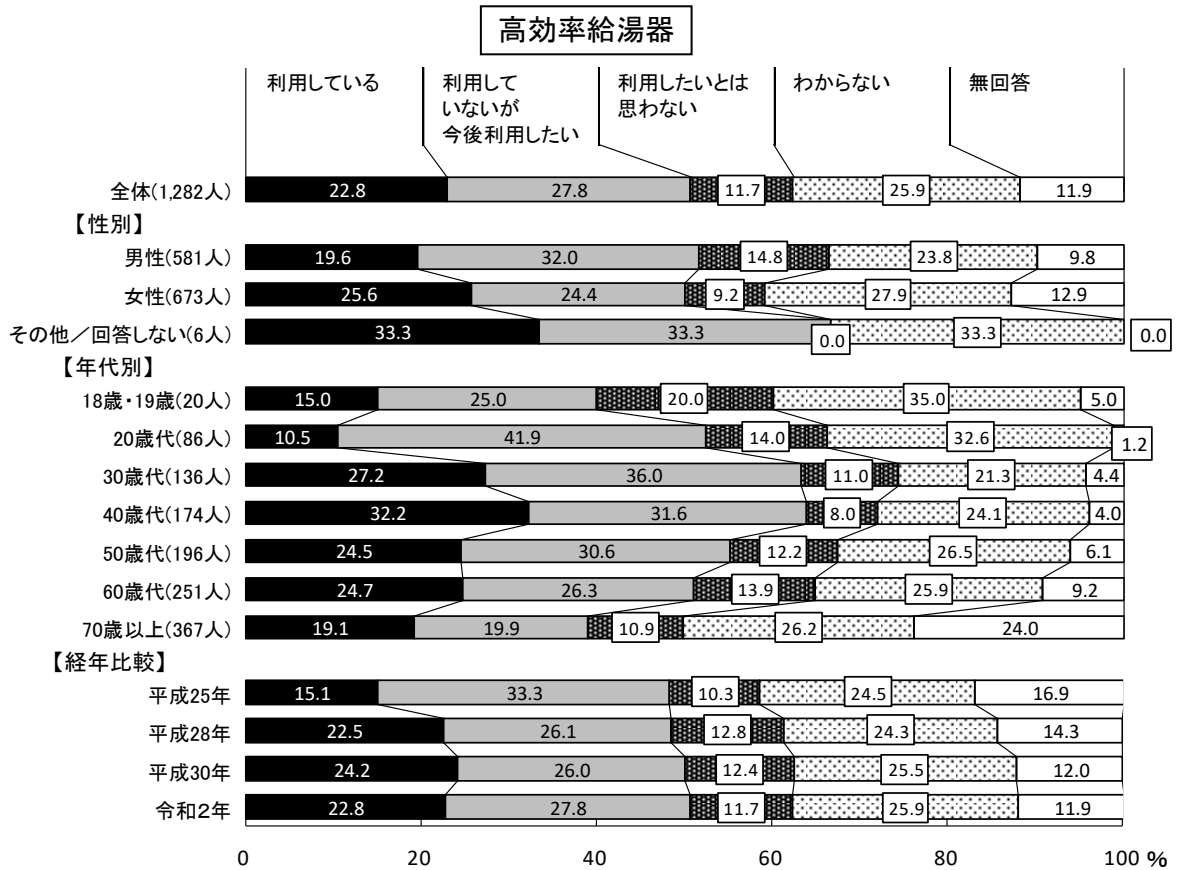
家庭用燃料電池システム

◆「利用している」1.6%、「利用していないが今後利用したい」28.6%◆



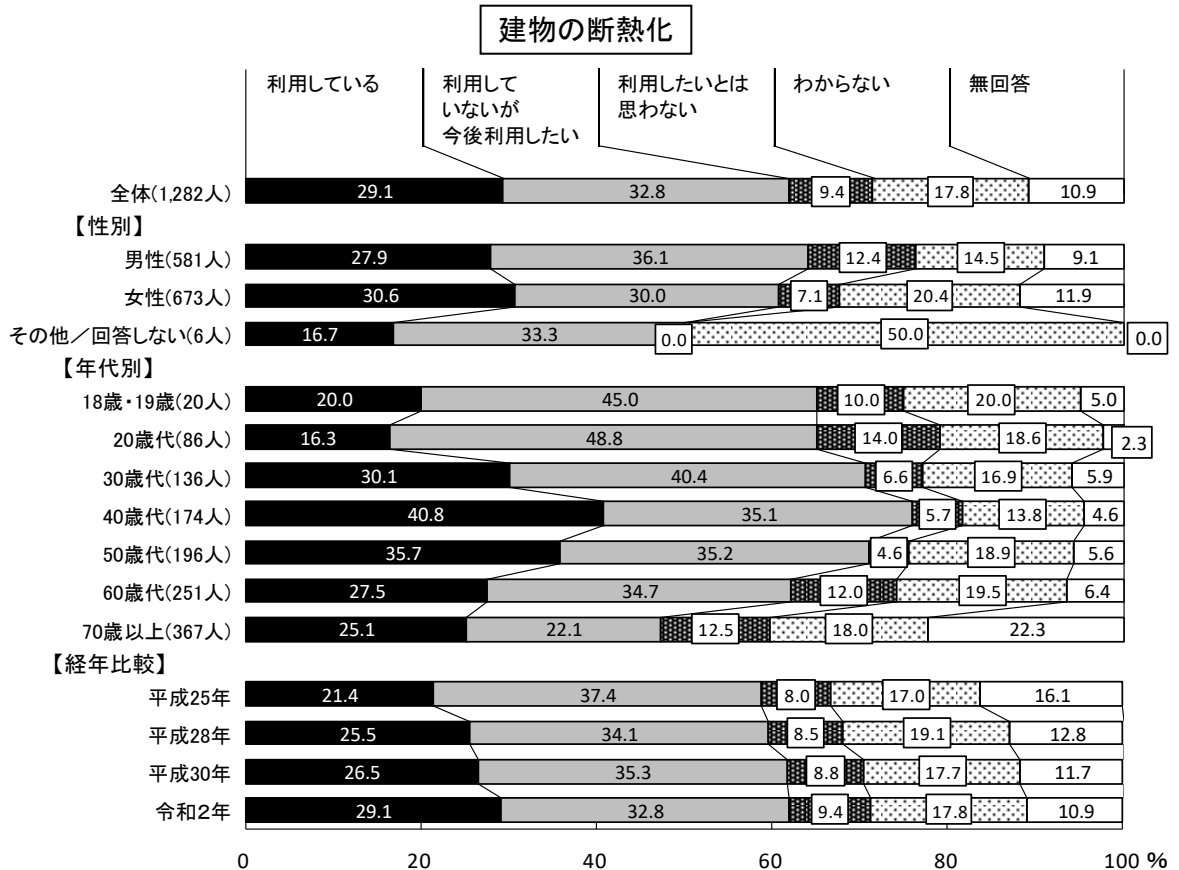
高効率給湯器

◆「利用している」22.8%、「利用していないが今後利用したい」27.8%◆



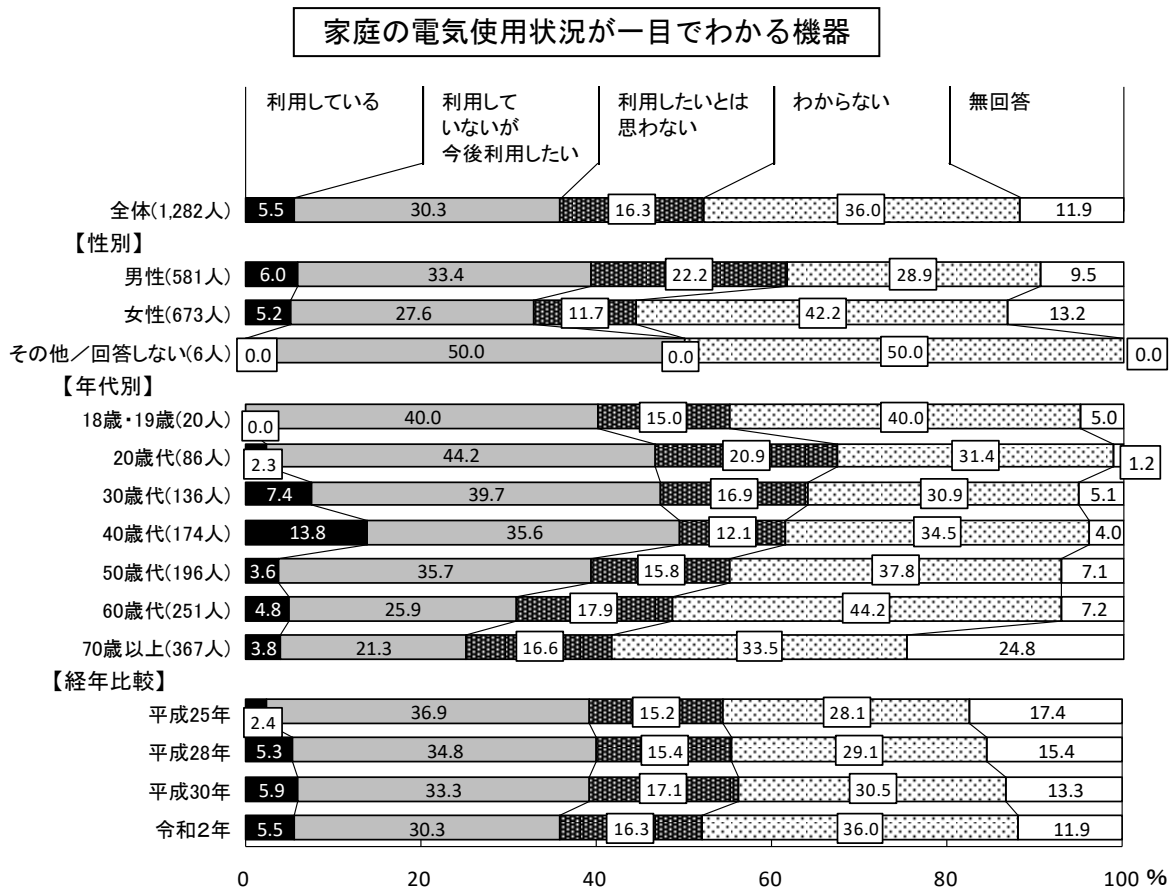
建物の断熱化

◆「利用している」29.1%、「利用していないが今後利用したい」32.8%◆



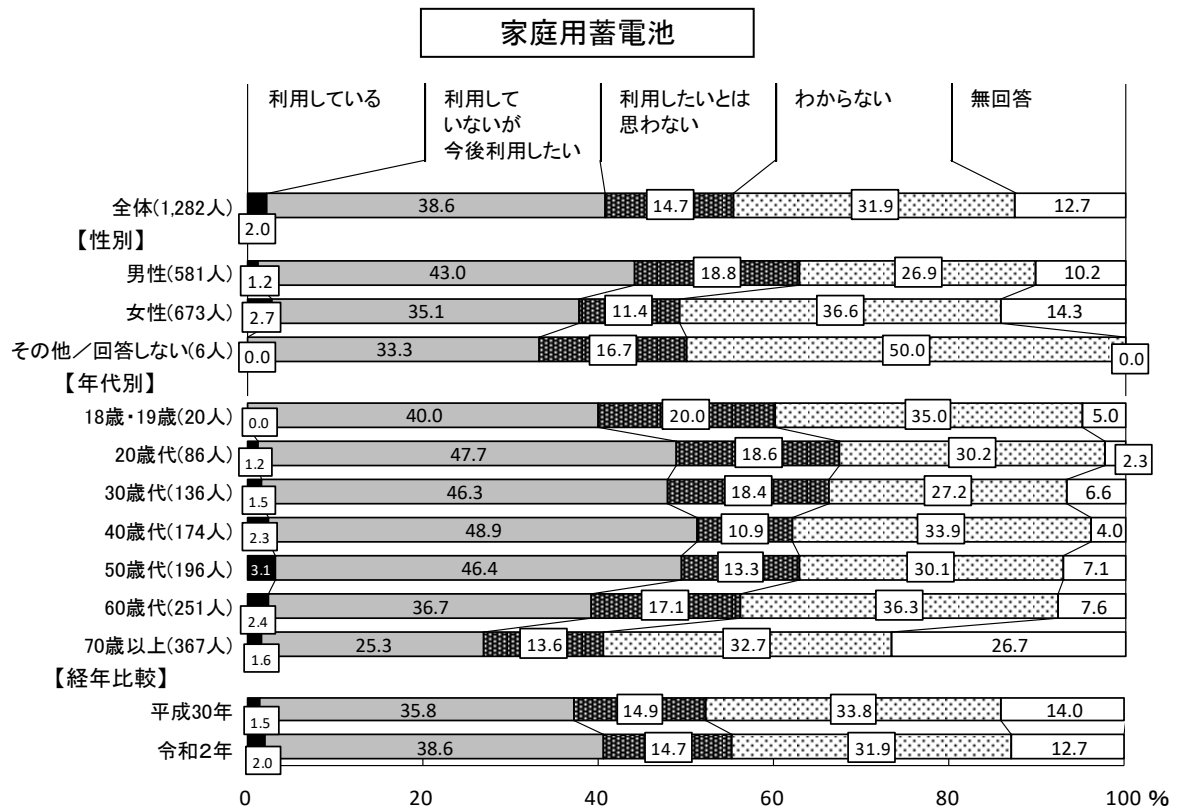
家庭の電気使用状況が一目でわかる機器

◆「利用している」5.5%、「利用していないが今後利用したい」30.3%◆



家庭用蓄電池

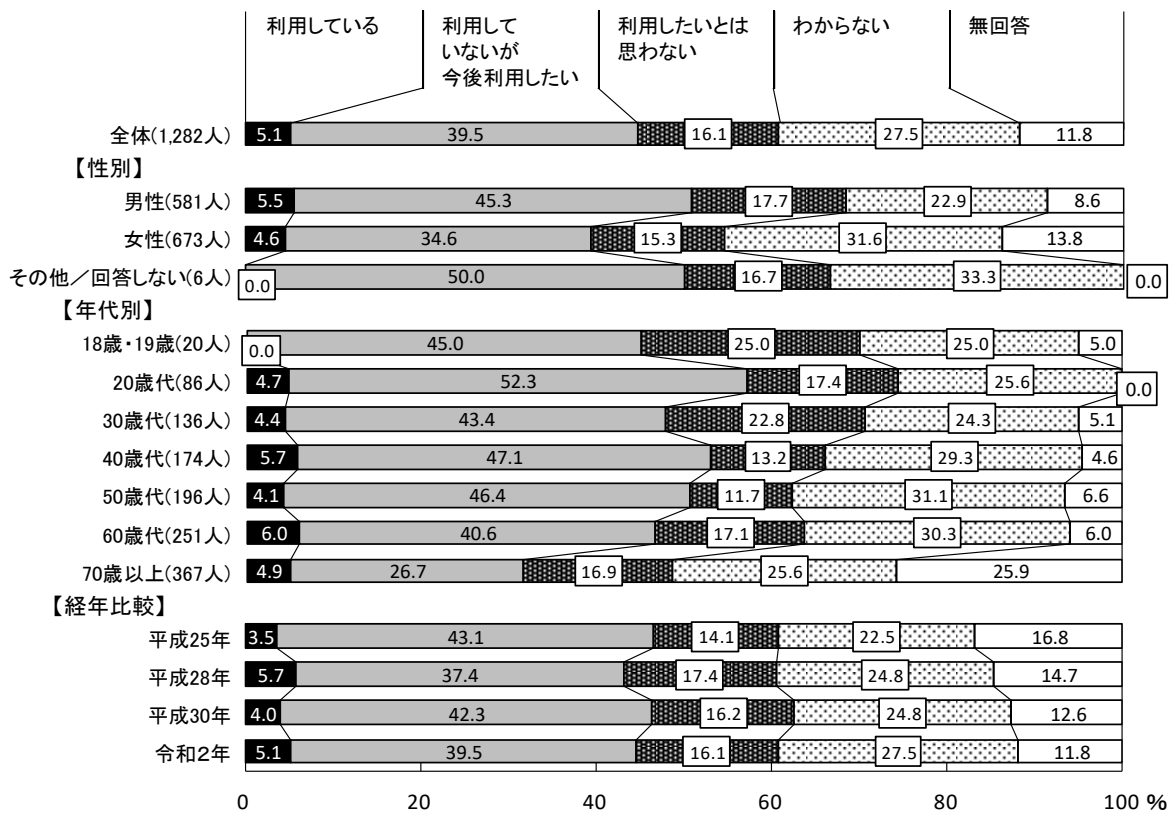
◆「利用している」2.0%、「利用していないが今後利用したい」38.6%◆



電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車

◆「利用している」5.1%、「利用していないが今後利用したい」39.5%◆

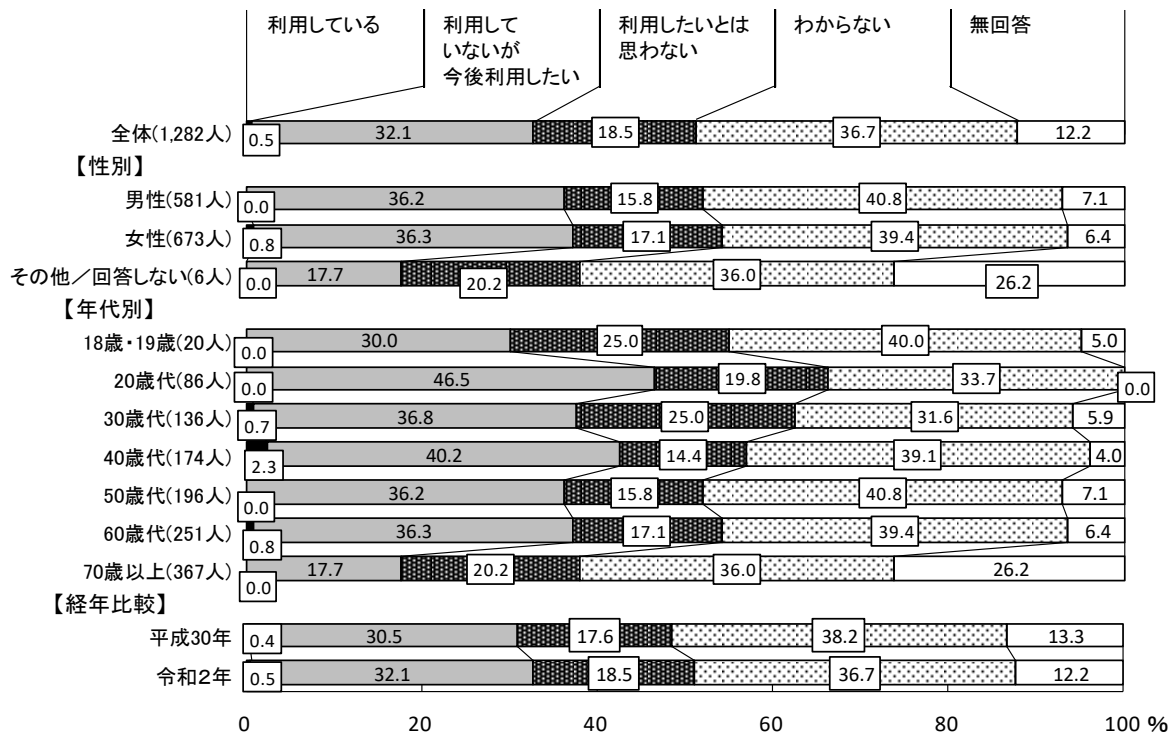
電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車



電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器

◆「利用している」0.5%、「利用していないが今後利用したい」32.1%◆

電気自動車やプラグインハイブリッド車に蓄えた電気を家で使う機器



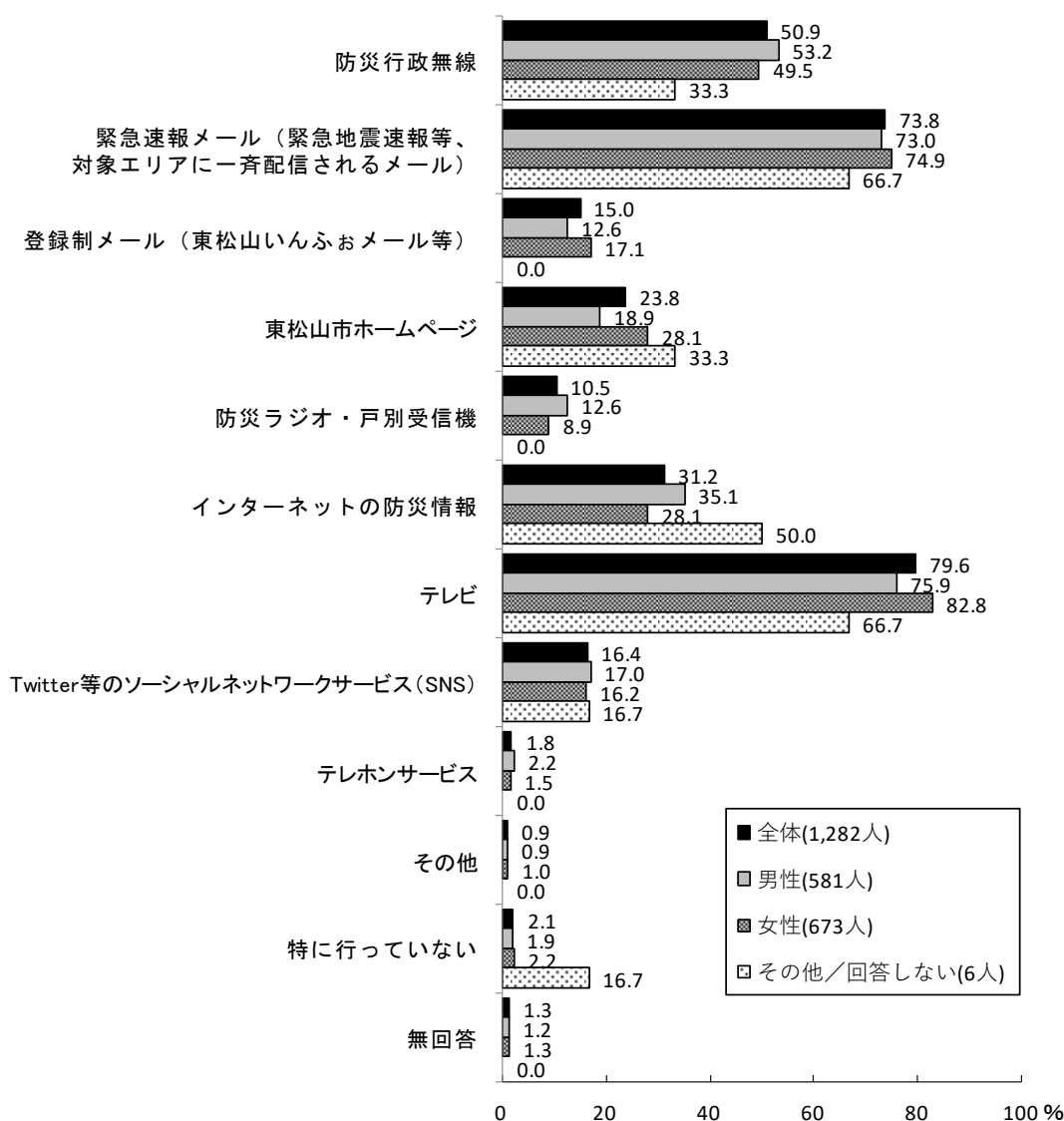
4 防災について

4-1 防災情報の取得方法

◆「テレビ」79.6%、「緊急速報メール」73.8%◆

問 12 あなたは、災害時の防災情報（避難情報）をどのように取得していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

防災情報の取得方法（全体・性別）

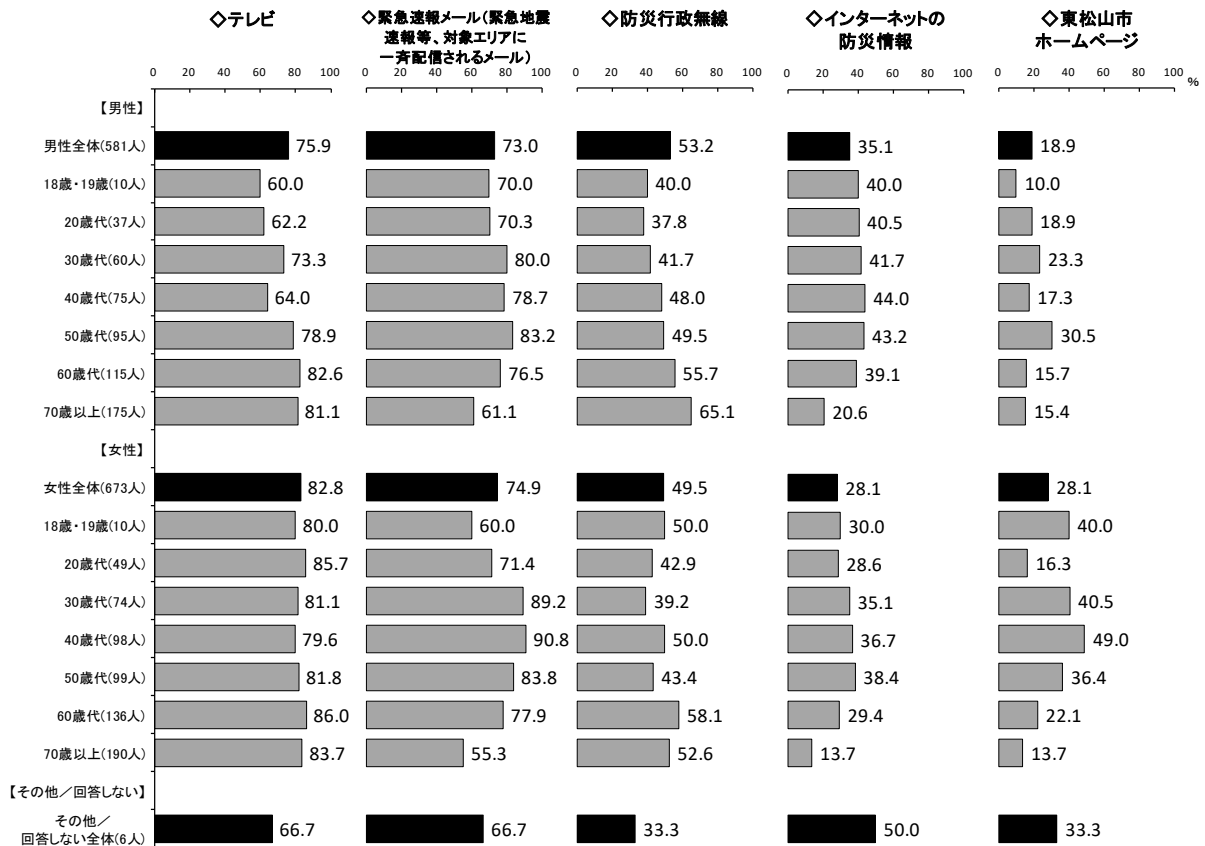


※「防災情報の取得方法」は新設の設問です。

全体では「テレビ」が79.6%で最も高く、次いで「緊急速報メール」（73.8%）、「防災行政無線」（50.9%）、「インターネットの防災情報」（31.2%）、「東松山市ホームページ」（23.8%）と続いています。

性別でみると「東松山市ホームページ」は女性（28.1%）が男性（18.9%）を9.2ポイント、「テレビ」は女性（82.8%）が男性（75.9%）を6.9ポイント上回っています。一方「インターネットの防災情報」は男性（35.1%）が女性（28.1%）を7.0ポイント上回っています。

防災情報の取得方法（上位5位 性・年代別）



性・年代別で見ると「テレビ」は男性・女性ともにほとんどの年代で7～8割台となっていますが、男性の18歳・19歳、20歳代、40歳代では6割台と低くなっています。

「緊急速報メール」は女性の30歳代(89.2%)、40歳代(90.8%)、50歳代(83.8%)で高くなっています。一方、男性・女性ともに70歳以上で5割台半ば～6割と低くなっています。

「防災行政無線」は男性では年齢が高くなるほど割合が高くなり、70歳以上で65.1%と最も高くなっています。女性では60歳代で58.1%と最も高くなっています。

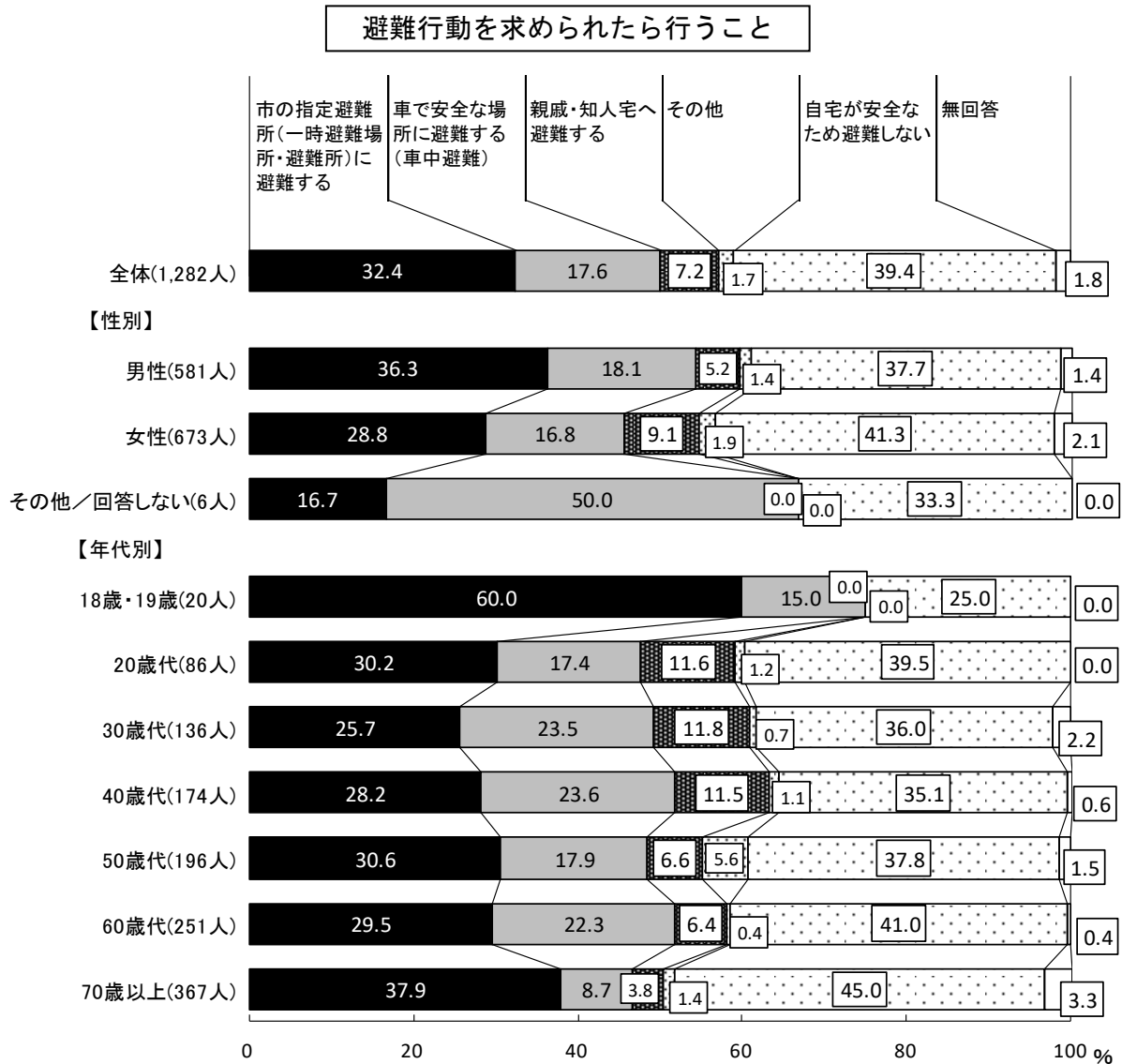
「インターネットの防災情報」は男性・女性ともに70歳以上の割合が低く、男性が20.6%、女性が13.7%となっています。

「東松山市ホームページ」は男性では50歳代(30.5%)、女性では40歳代(49.0%)が最も高くなっています。

4-2 避難行動を求められたら行うこと

- ◆「自宅が安全なため避難しない」39.4%、「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」32.4%◆

問 13 あなたは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「避難行動を求められたら行うこと」は新設の設問です。

全体では「自宅が安全なため避難しない」が39.4%で最も高く、次いで「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」（32.4%）、「車で安全な場所に避難する（車中避難）」（17.6%）、「親戚・知人宅へ避難する」（7.2%）と続いています。

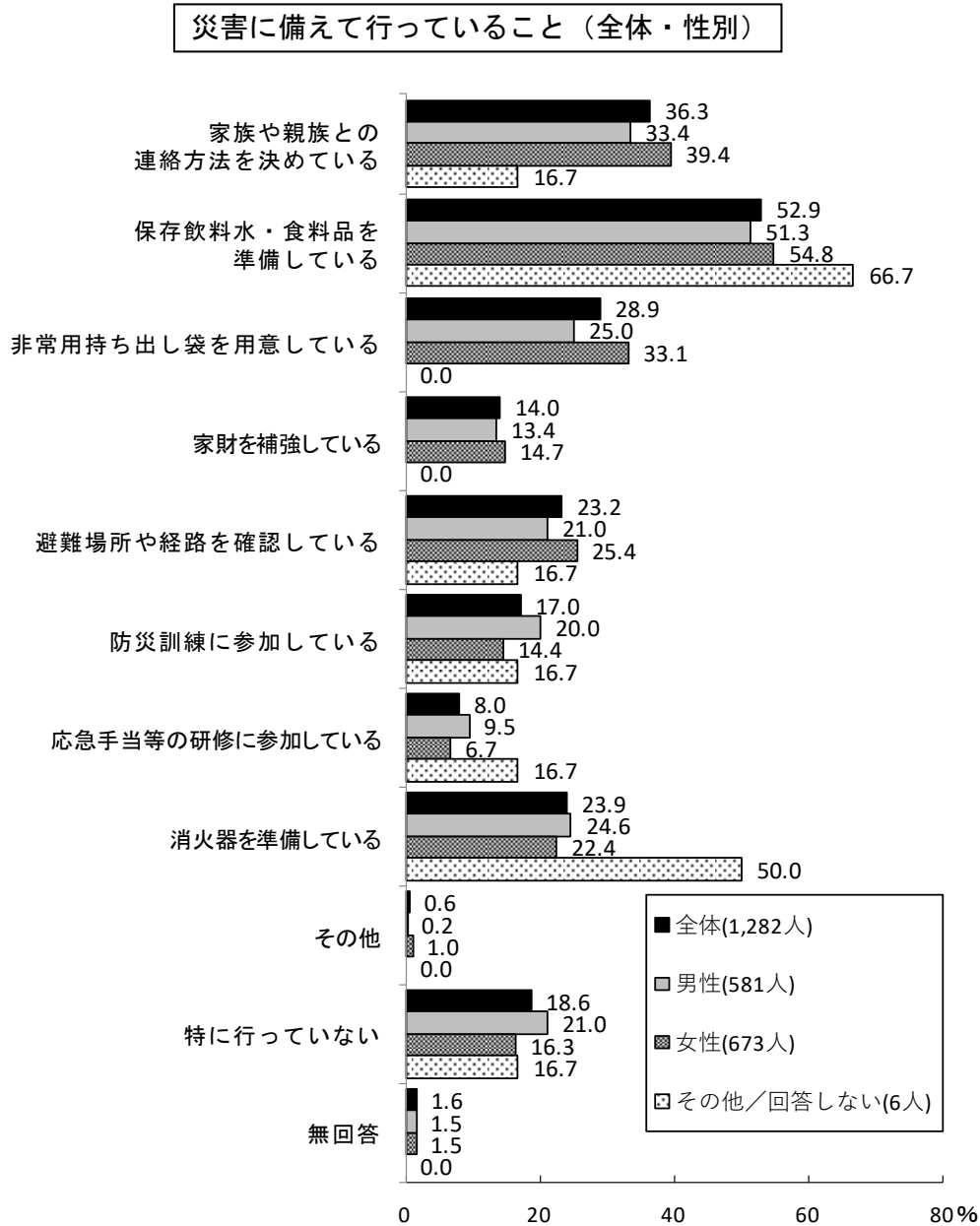
性別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」で男性（36.3%）が女性（28.8%）を7.5ポイント上回っています。

年代別でみると「市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する」は18歳・19歳で60.0%と他の年代に比べ高くなっています。

4-3 災害に備えて行っていること

◆「保存飲料水・食料品を準備している」52.9%、「家族や親族との連絡方法を決めている」36.3%◆

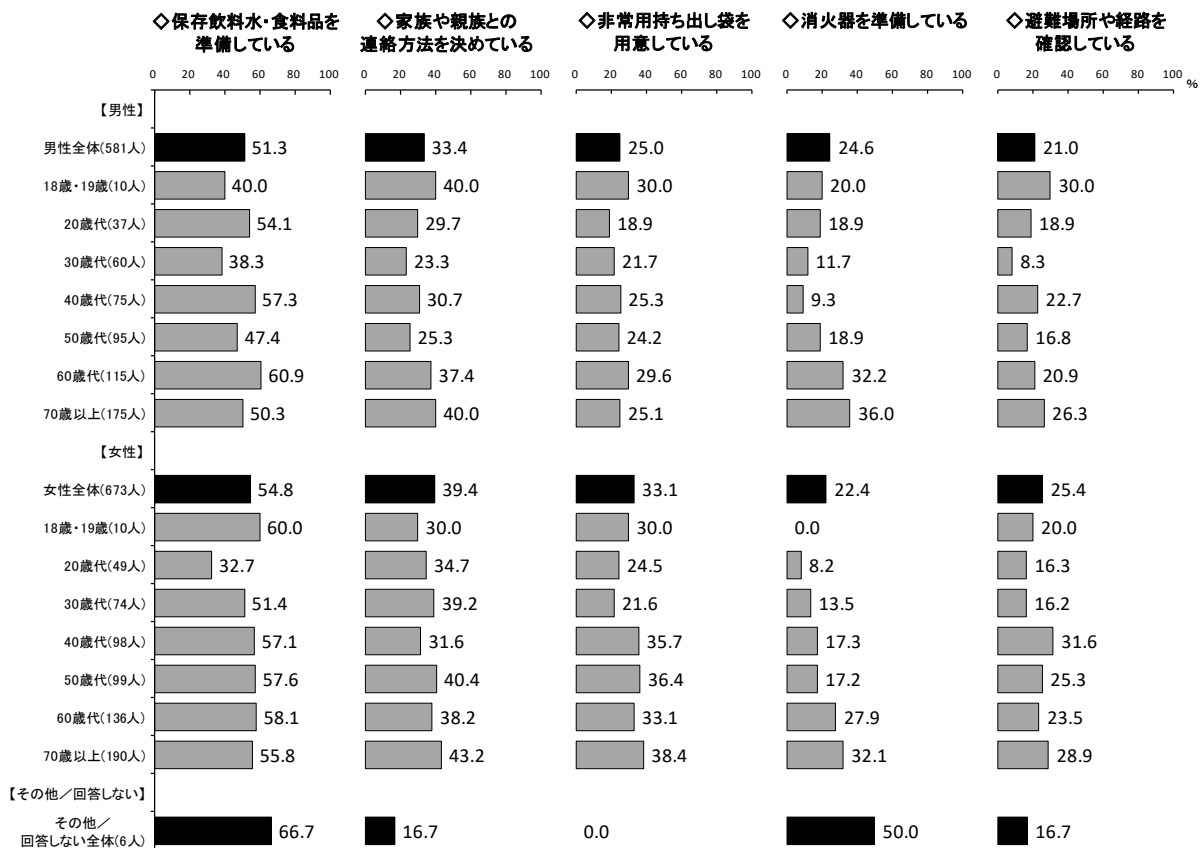
問 14 あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「保存飲料水・食料品を準備している」が52.9%で最も高く、次いで「家族や親族との連絡方法を決めている」(36.3%)、「非常用持ち出し袋を用意している」(28.9%)、「消火器を準備している」(23.9%)、「避難場所や経路を確認している」(23.2%)と続いています。

性別で見ると「家族や親族との連絡方法を決めている」で女性(39.4%)が男性(33.4%)を6.0ポイント、「非常用持ち出し袋を用意している」で女性(33.1%)が男性(25.0%)を8.1ポイント上回っています。一方「防災訓練に参加している」で男性(20.0%)が女性(14.4%)を5.6ポイント上回っています。

災害に備えて行っていること（上位5位 性・年代別）



性・年代別でみると「保存飲料水・食料品を準備している」は男性の60歳代、女性の18歳・19歳で6割以上となっています。

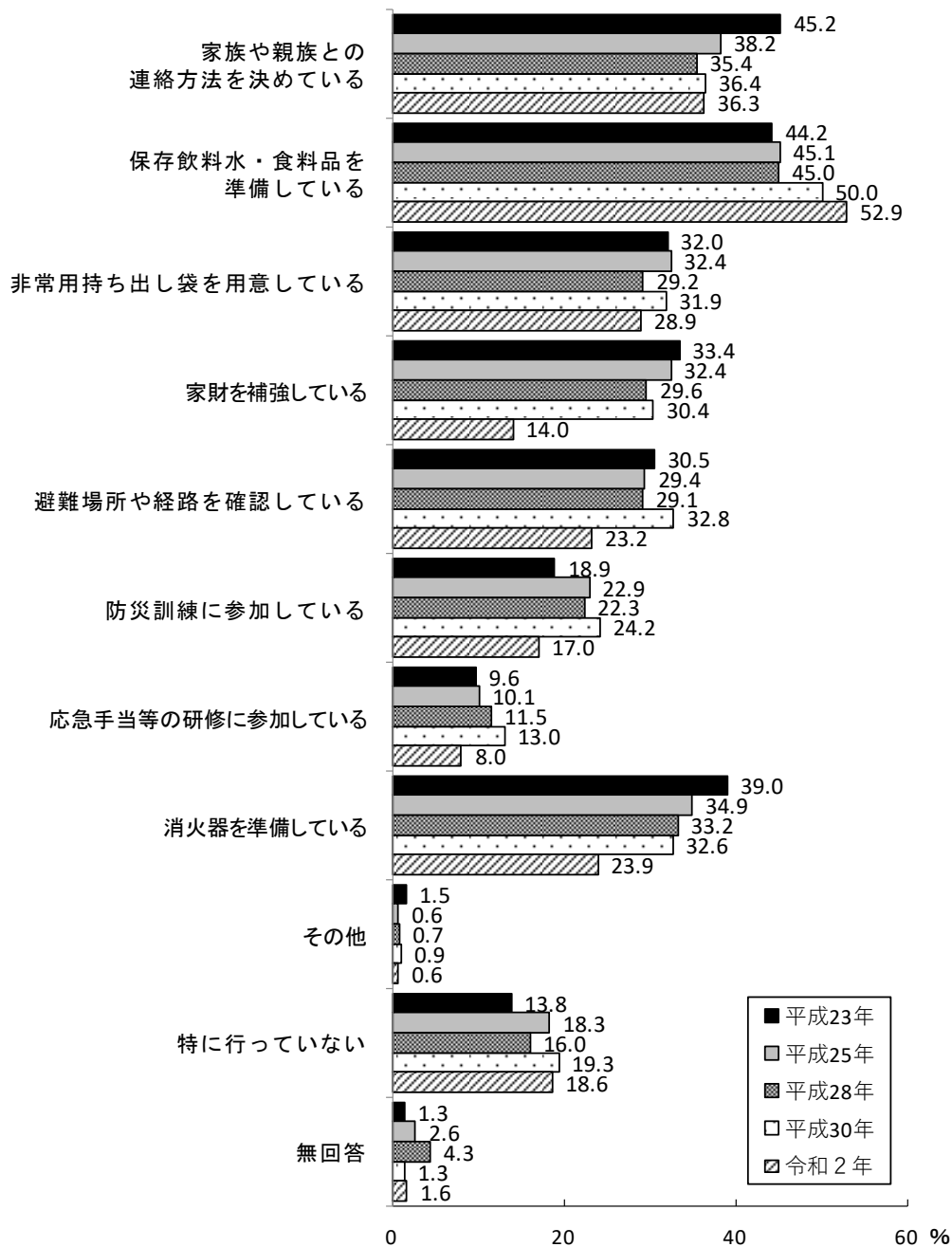
「家族や親族との連絡方法を決めている」は男性の18歳・19歳、70歳以上、女性の50歳代、70歳以上で4割以上となっています。

「非常用持ち出し袋を用意している」は男性では18歳・19歳(30.0%)、60歳代(29.6%)、女性では70歳以上(38.4%)が高くなっています。

「消火器を準備している」は男性の60歳代以降で3割台と高くなっています。女性では年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では32.1%と最も高くなっています。

「避難場所や経路を確認している」は男性の18歳・19歳(30.0%)、女性の40歳代(31.6%)が3割以上と高くなっています。

災害に備えて行っていること（経年比較）



平成30年度調査と比較するとほとんど全ての項目で減少傾向にあり、特に「家財を補強している」が16.4ポイント減と大幅に減少しています。また「避難場所や経路を確認している」「防災訓練に参加している」「応急手当等の研修に参加している」「消火器を準備している」では5ポイント以上減少しています。一方、「保存飲料水・食料品を準備している」が2.9ポイント増加しています。

平成23年度調査以降、「保存飲料水・食料品を準備している」が増加傾向、「消火器を準備している」は減少傾向にあります。

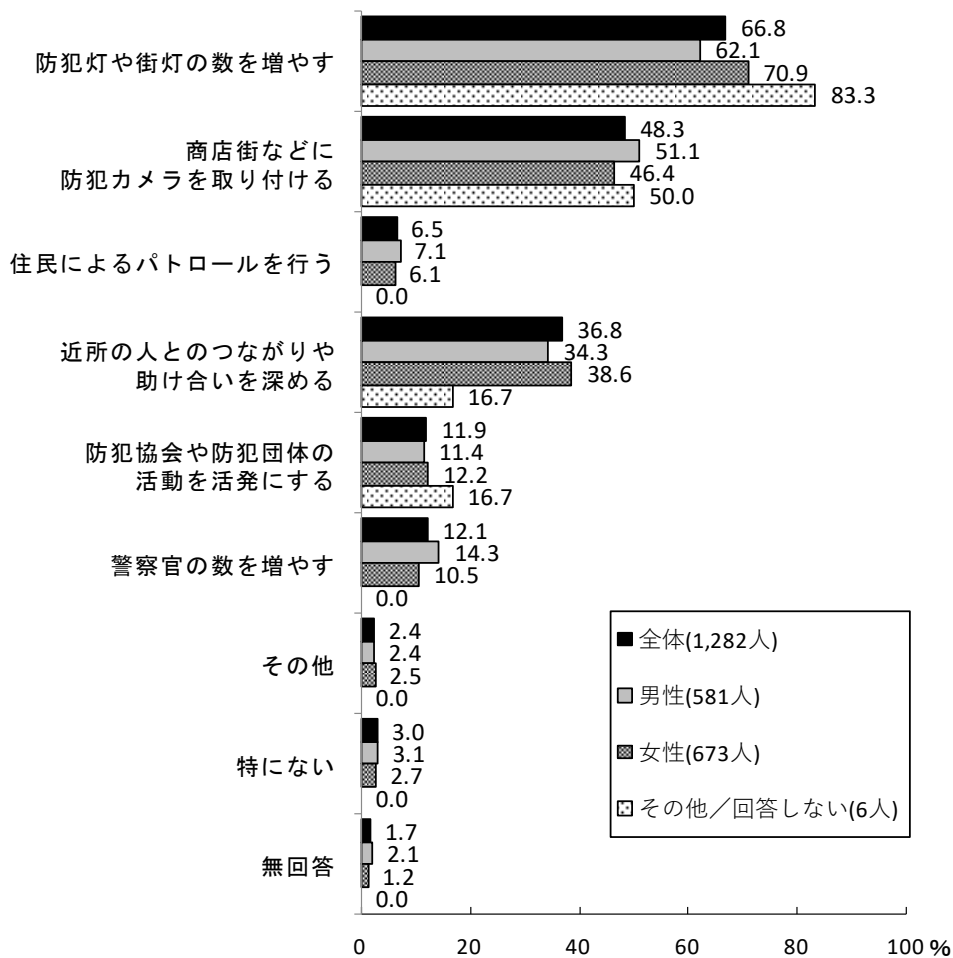
5 防犯・交通について

5-1 防犯のために必要なこと

◆「防犯灯や街灯の数を増やす」66.8%、「商店街などに防犯カメラを取り付ける」48.3%◆

問 15 あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

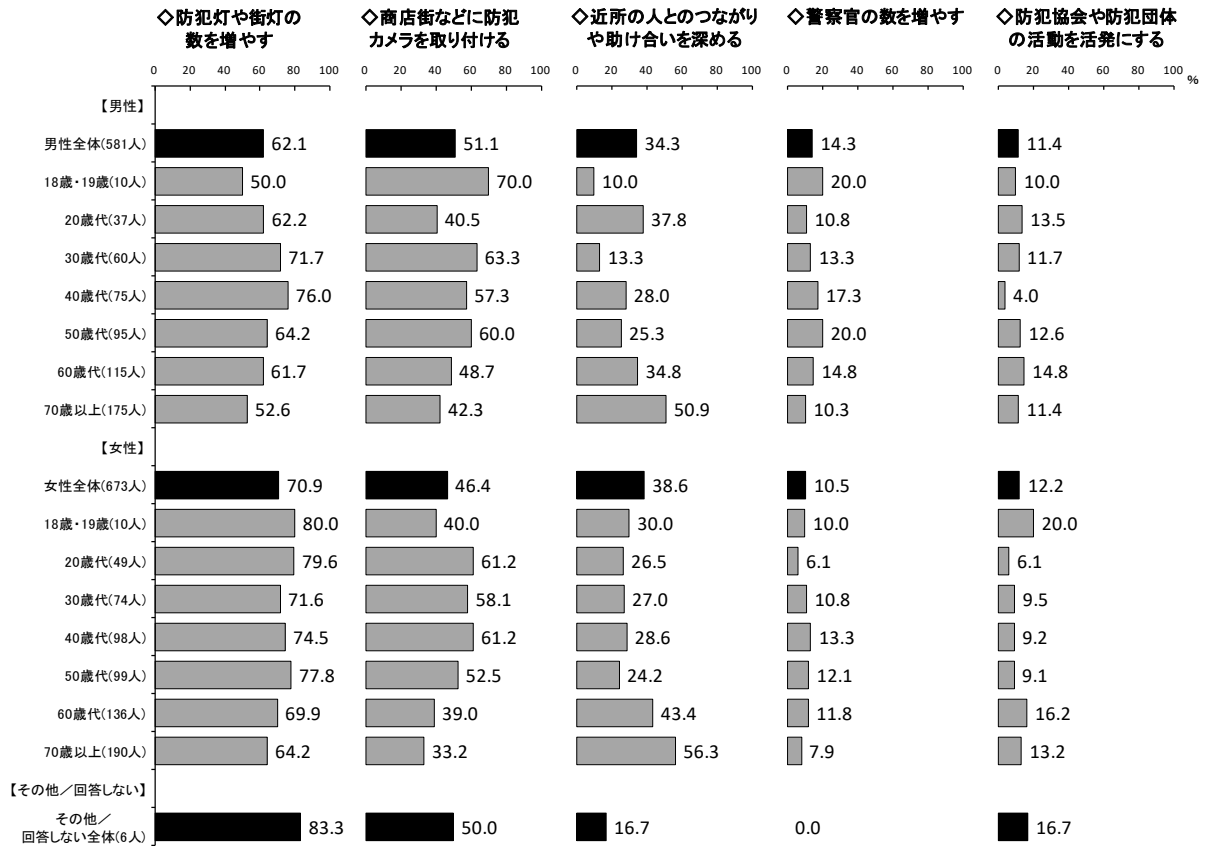
防犯のために必要なこと（全体・性別）



全体では「防犯灯や街灯の数を増やす」が66.8%で最も高く、次いで「商店街などに防犯カメラを取り付ける」(48.3%)、「近所の人とのつながりや助け合いを深める」(36.8%)、「警察官の数を増やす」(12.1%)、「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」(11.9%)と続いています。

性別で見ると「防犯灯や街灯の数を増やす」は女性(70.9%)が男性(62.1%)を8.8ポイント上回っています。

防犯のために必要なこと（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「防犯灯や街灯の数を増やす」は男性の30歳代、40歳代で7割を超え、女性の18歳・19歳では80.0%となっています。

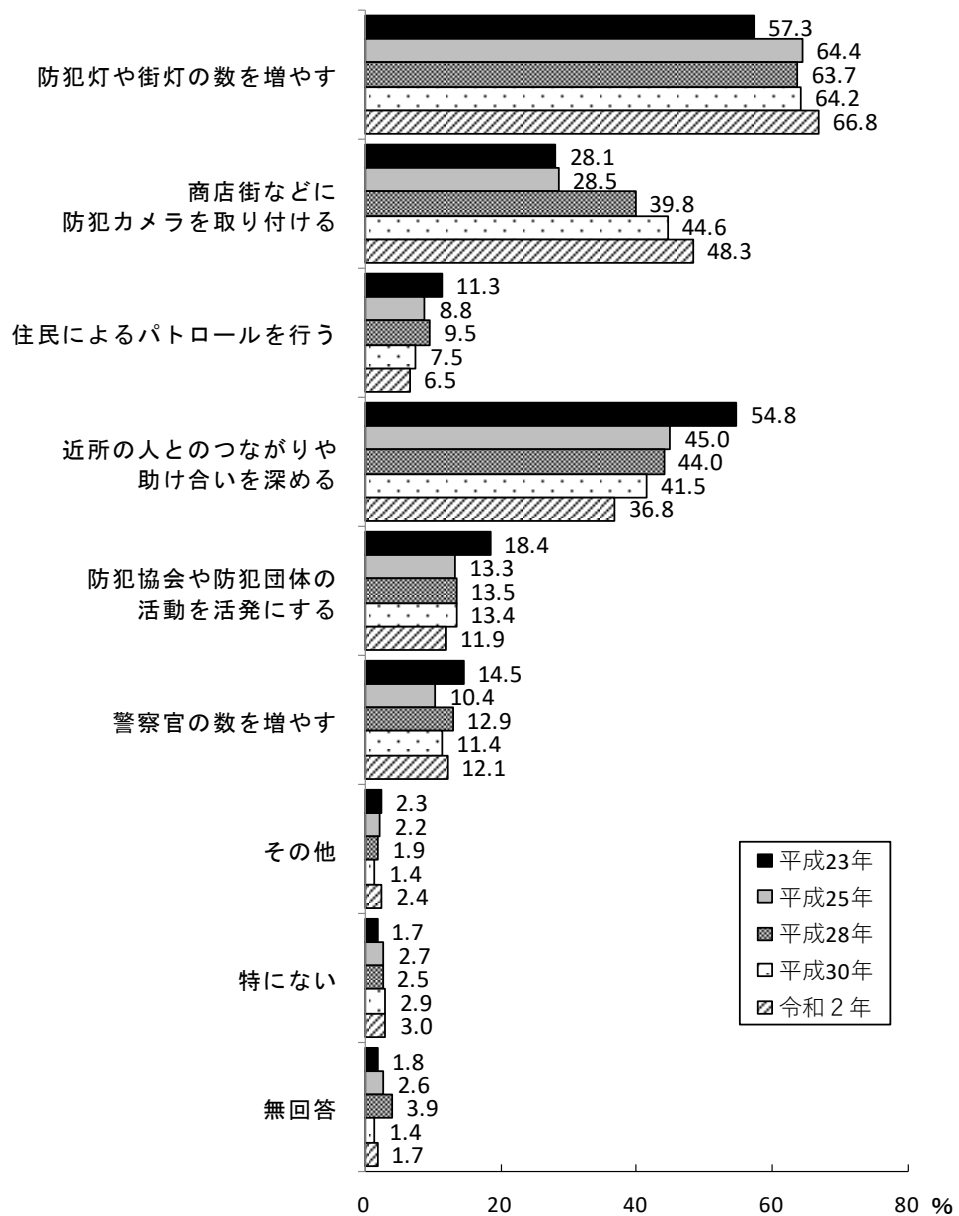
「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は男性の18歳・19歳で70.0%と最も高く、30歳代、50歳代も6割を超え高くなっています。女性では20歳代、30歳代、40歳代で約6割と高くなっています。

「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳以上の男性（50.9%）と女性（56.3%）がそれぞれ最も高くなっています。

「警察官の数を増やす」は男性の18歳・19歳、50歳代がともに20.0%と高くなっています。

「防犯協会や防犯団体の活動を活発にする」は女性の18歳・19歳（20.0%）で高くなっています。

防犯のために必要なこと（経年比較）



平成 30 年度調査と比較すると「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は 3.7 ポイント増加しています。一方「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は 4.7 ポイント減少しています。

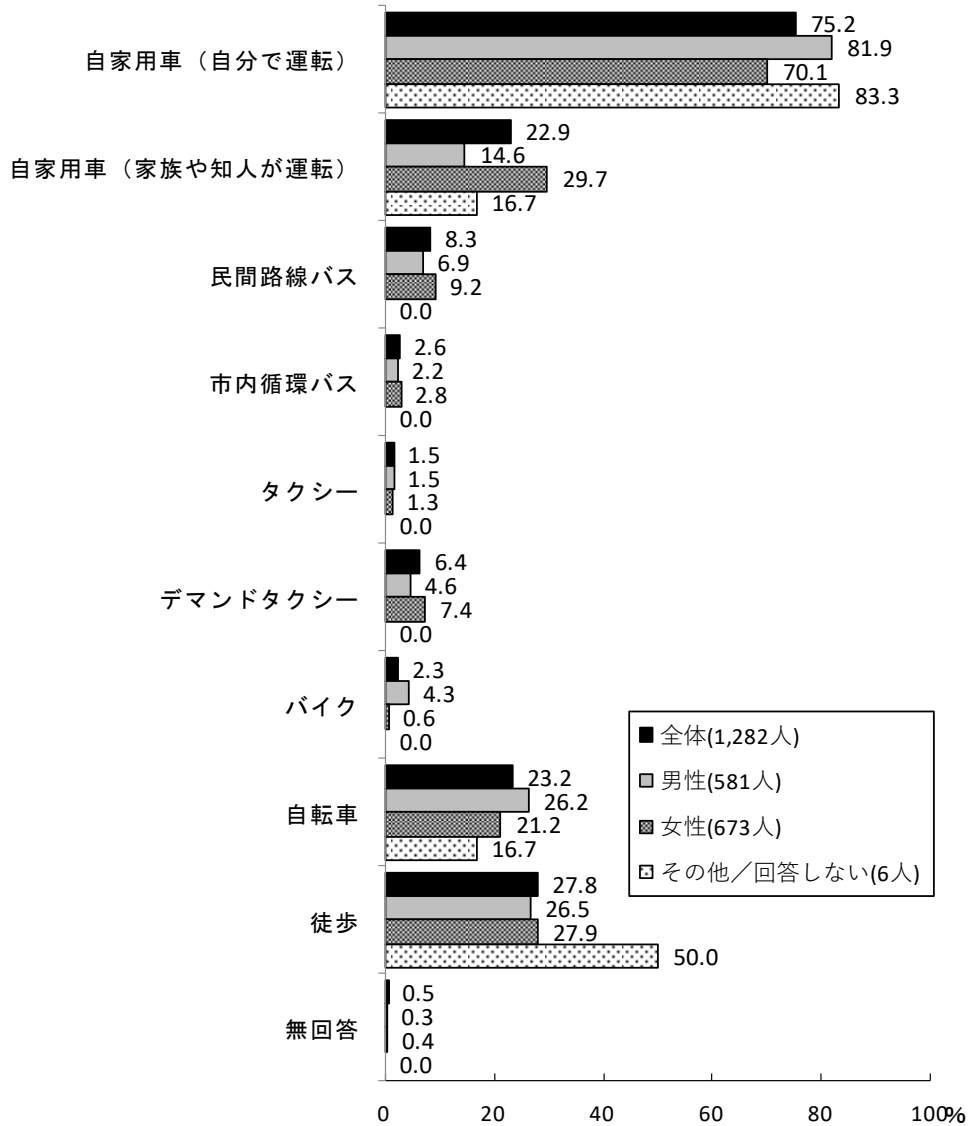
平成 23 年度調査以降、「防犯灯や街灯の数を増やす」「商店街などに防犯カメラを取り付ける」は増加傾向、「住民によるパトロールを行う」「近所の人とのつながりや助け合いを深める」は減少傾向となっています。

5-2 主に利用している交通手段

◆「自家用車（自分で運転）」75.2%、「徒歩」27.8%、「自転車」23.2%◆

問 16 あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

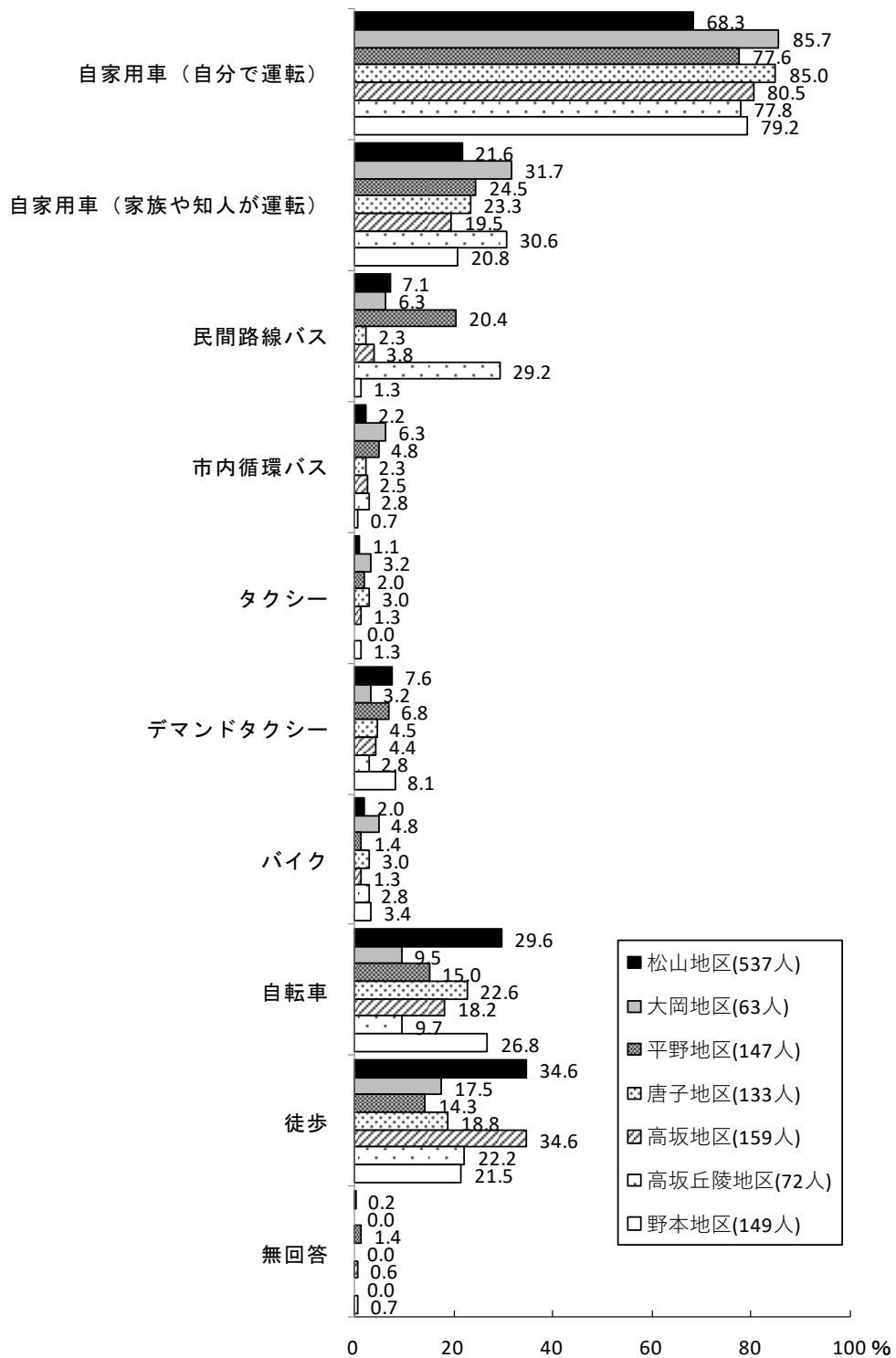
主に利用している交通手段（全体・性別）



全体では「自家用車（自分で運転）」が75.2%で最も高く、次いで「徒歩」（27.8%）、「自転車」（23.2%）、「自家用車（家族や知人が運転）」（22.9%）、「民間路線バス」（8.3%）と続いています。

性別で見ると「自家用車（自分で運転）」は男性（81.9%）が女性（70.1%）を11.8ポイント、「自転車」は男性（26.2%）が女性（21.2%）を5.0ポイント上回っています。一方、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（29.7%）が男性（14.6%）を15.1ポイント上回っています。

主に利用している交通手段(地区別)



地区別でみると、全ての地区で「自家用車(自分で運転)」が最も高くなっています。特に、大岡地区で85.7%と最も高くなっています。

「徒歩」は、松山地区、高坂地区でもともに34.6%と高くなっています。

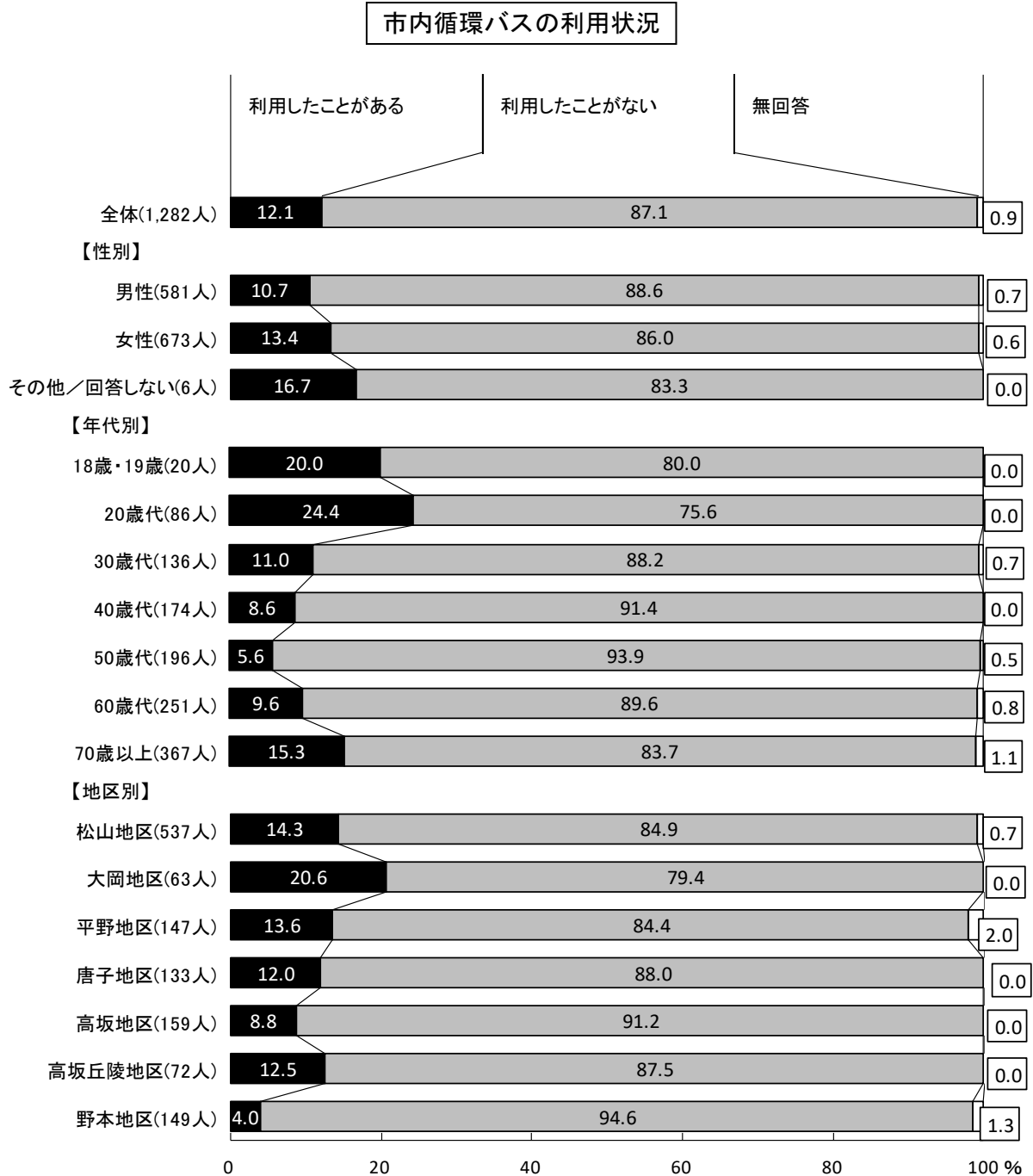
「自転車」は松山地区で29.6%となっています。

「民間路線バス」は高坂丘陵地区で29.2%、平野地区で20.4%と高くなっています。

5-3 市内循環バスの利用状況

◆「利用したことがある」12.1%◆

問 17 あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が12.1%、「利用したことがない」が87.1%と、「利用したことがない」が大半を占めています。

性別で見ると「利用したことがある」は女性(13.4%)が男性(10.7%)を2.7ポイント上回っています。

年代別で見ると「利用したことがある」は20歳代が24.4%、次いで18歳・19歳が20.0%と高くなっています。

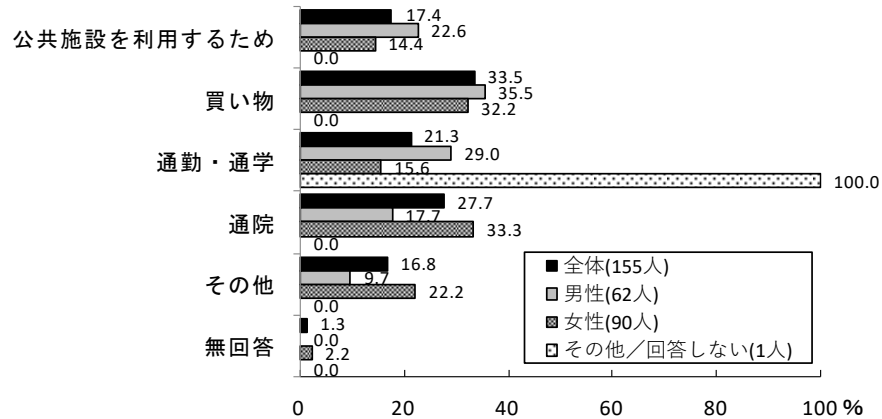
地区別では「利用したことがある」は大岡地区で20.6%と高くなっています。

5-4 市内循環バスを利用した理由

◆「買物」33.5%◆

(問17で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)
 問17-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

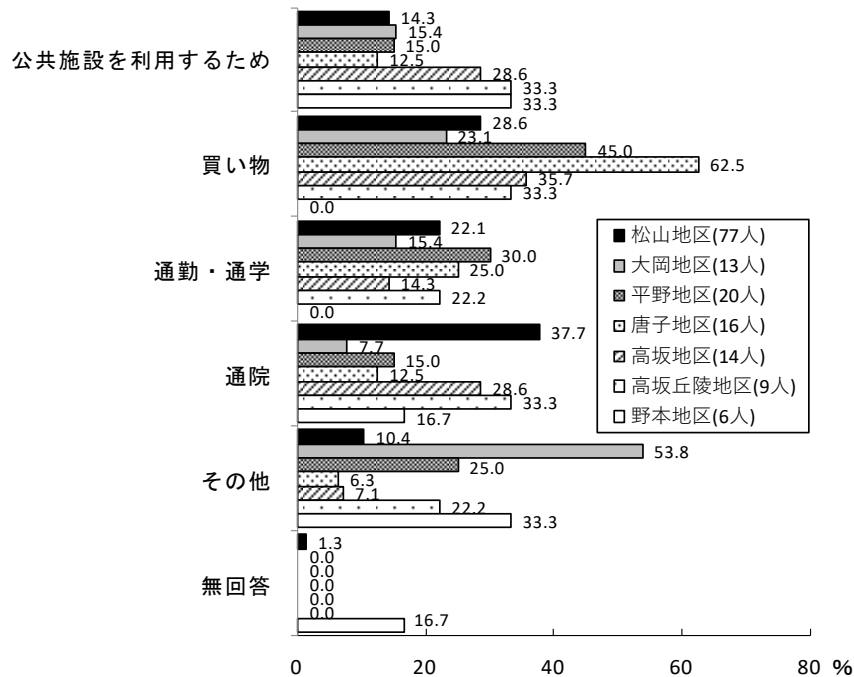
市内循環バスを利用した理由（全体・性別）



全体では「買物」が33.5%と最も高く、次いで「通院」(27.7%)、「通勤・通学」(21.3%)と続いています。

性別でみると「通勤・通学」では男性(29.0%)が女性(15.6%)を13.4ポイント上回っています。また、「公共施設を利用するため」では男性(22.6%)が女性(14.4%)を8.2ポイント上回っています。一方「通院」で女性(33.3%)が男性(17.7%)を15.6ポイント上回っています。

市内循環バスを利用した理由（地区別）



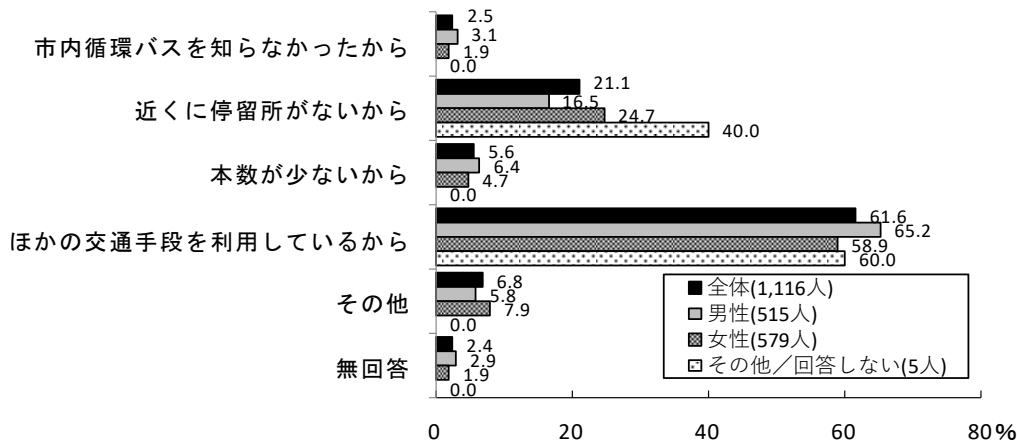
地区別でみると「公共施設を利用するため」は高坂丘陵地区、野本地区がともに33.3%と最も高く、次いで高坂地区が28.6%となっています。「買物」は唐子地区が62.5%とかなり高く、次いで平野地区が45.0%となっています。「通院」は松山地区が37.7%と高くなっています。

5-5 市内循環バスを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」61.6%◆

(問17で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)
問17-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

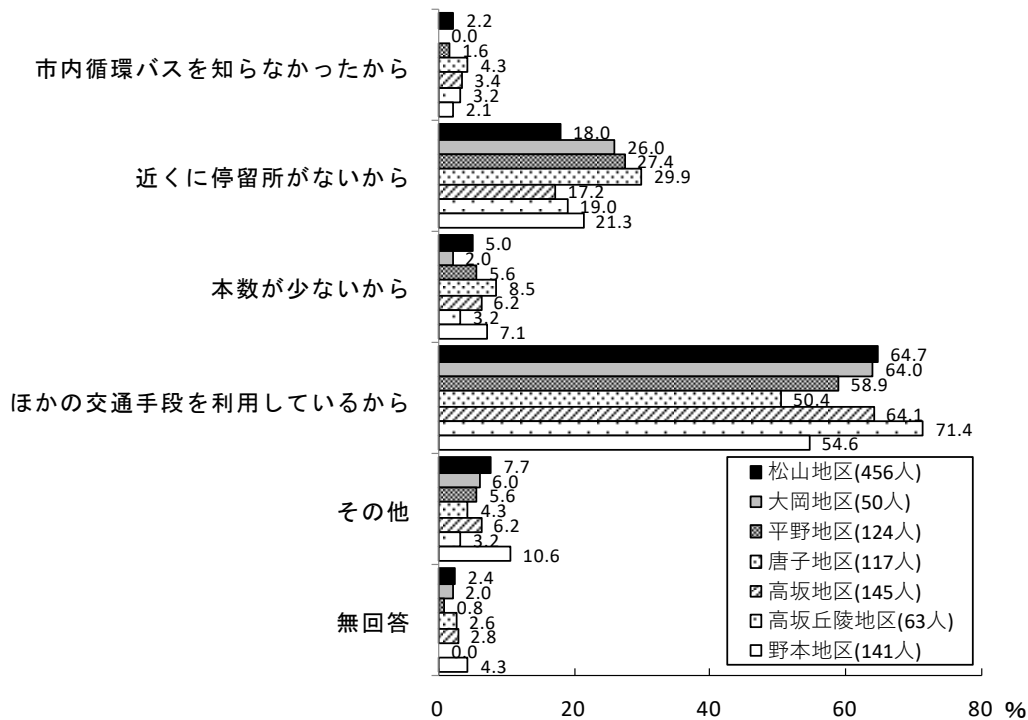
市内循環バスを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が61.6%と最も高く、次いで「近くに停留所がないから」が21.1%となっています。

性別でみると「ほかの交通手段を利用しているから」では男性(65.2%)が女性(58.9%)を6.3ポイント上回っています。一方「近くに停留所がないから」では女性(24.7%)が男性(16.5%)を8.2ポイント上回っています。

市内循環バスを利用したことがない理由(地区別)



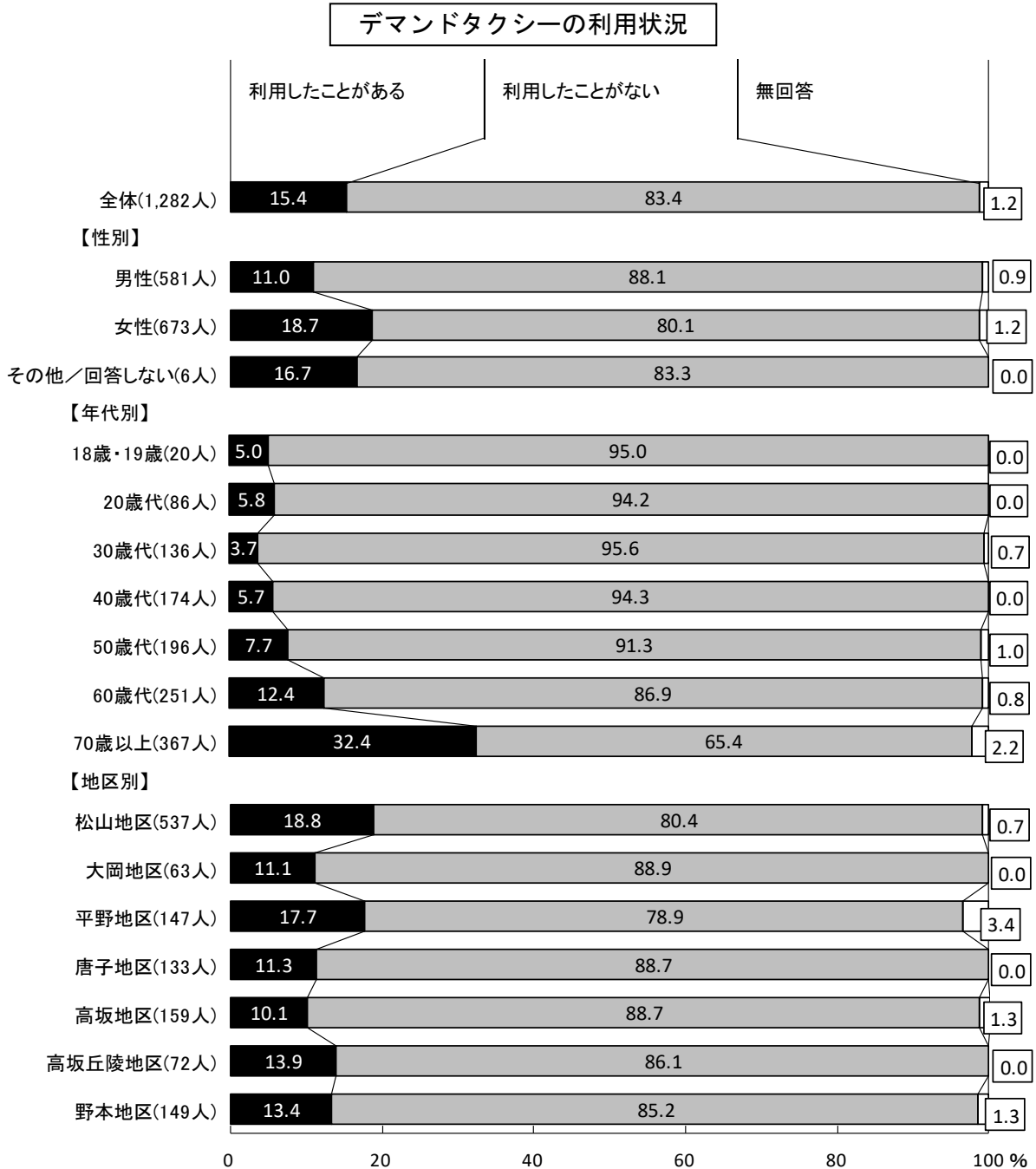
地区別でみると、全ての地区で「ほかの交通手段を利用しているから」が最も高くなっており、特に、高坂丘陵地区で7割を超え高くなっています。

「近くに停留所がないから」は唐子地区で29.9%、平野地区で27.4%、大岡地区で26.0%とやや高くなっています。

5-6 デマンドタクシーの利用状況

◆「利用したことがある」15.4%◆

問 18 あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「利用したことがある」が15.4%、「利用したことがない」が83.4%で、「利用したことがない」が大半を占めています。

性別で見ると「利用したことがある」は女性(18.7%)が男性(11.0%)を上回っています。

年代別で見ると「利用したことがある」は70歳以上が32.4%と最も高くなっています。

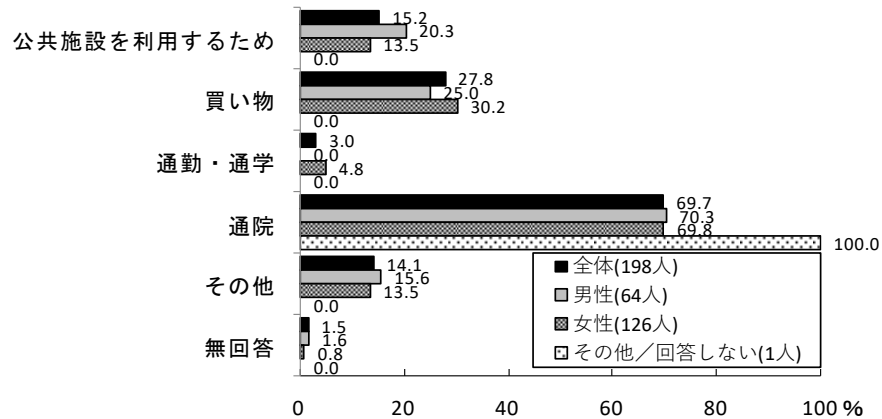
地区別で見ると「利用したことがある」は松山地区で18.8%と最も高くなっています。

5-7 デマンドタクシーを利用した理由

◆「通院」69.7%◆

(問 18 で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします)
 問 18-1 どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○
 で囲んでください。

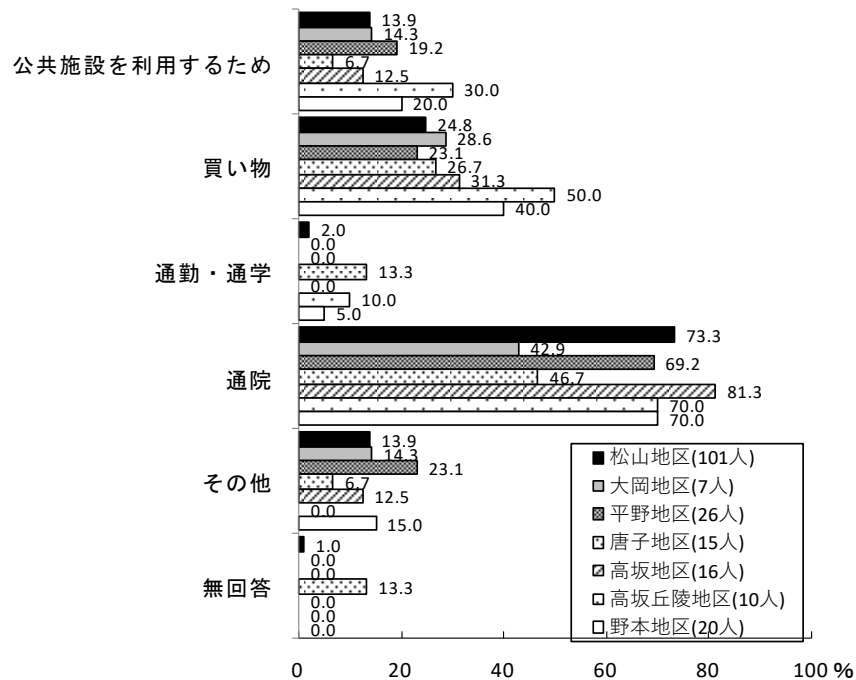
デマンドタクシーを利用した理由（全体・性別）



全体では「通院」が69.7%と最も高く、次いで「買い物」(27.8%)、「公共施設を利用するため」(15.2%)となっています。

性別でみると「公共施設を利用するため」で男性(20.3%)が女性(13.5%)を6.8ポイント上回っています。一方「買い物」で女性(30.2%)が男性(25.0%)を5.2ポイント上回っています。また「通勤・通学」でも女性(4.8%)が男性(0.0%)を4.8ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用した理由（地区別）



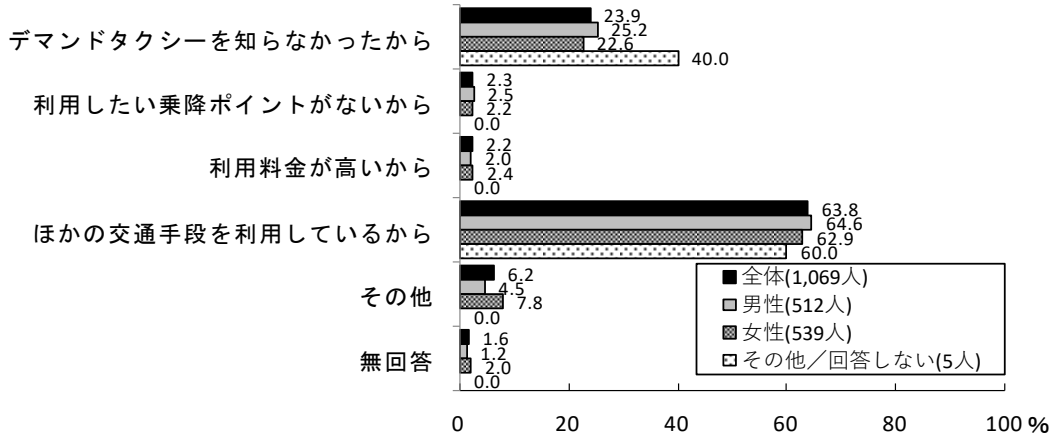
地区別でみると「公共施設を利用するため」は高坂丘陵地区で30.0%と高くなっています。「買い物」は高坂丘陵地区で50.0%と最も高く、次いで野本地区で40.0%と続いています。「通勤・通学」は唐子地区で13.3%と高くなっています。「通院」は高坂地区で81.3%と高くなっています。

5-8 デマンドタクシーを利用したことがない理由

◆「ほかの交通手段を利用しているから」63.8%◆

(問18で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします)
問18-2 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

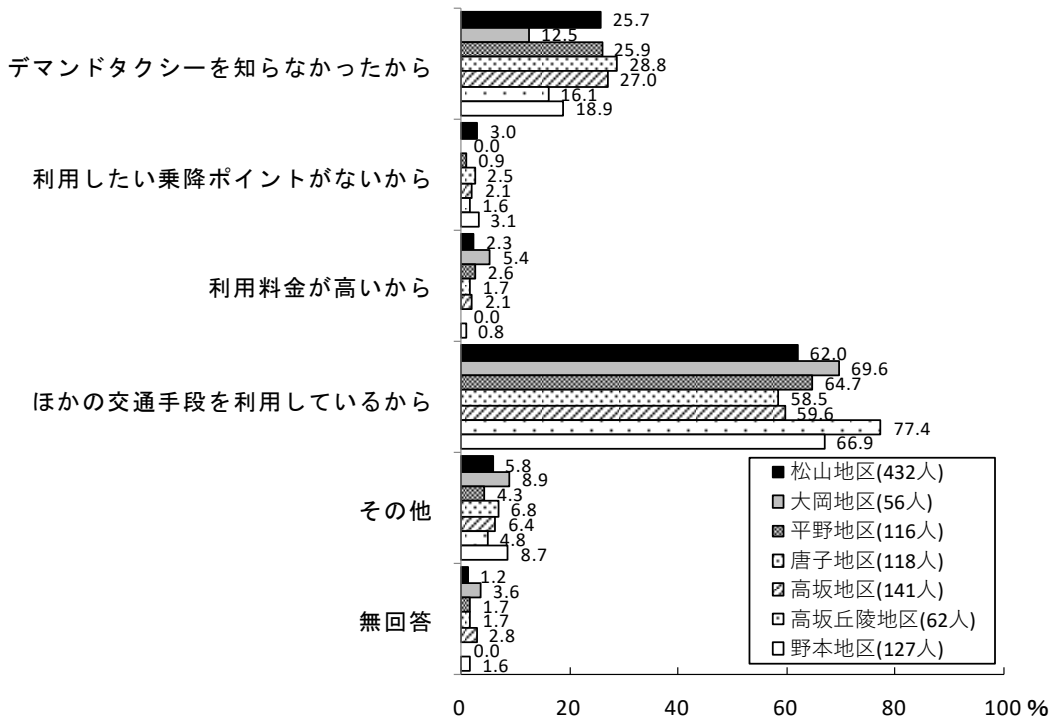
デマンドタクシーを利用したことがない理由(全体・性別)



全体では「ほかの交通手段を利用しているから」が63.8%と最も高く、次いで「デマンドタクシーを知らなかったから」が23.9%となっています。

性別でみると「デマンドタクシーを知らなかったから」で男性(25.2%)が女性(22.6%)を2.6ポイント上回っています。

デマンドタクシーを利用したことがない理由(地区別)



地区別でみると全ての地区で「ほかの交通手段を利用しているから」が最も高くなっており、特に、高坂丘陵地区で77.4%と最も高く、次いで大岡地区で69.6%となっています。「デマンドタクシーを知らなかったから」は唐子地区が28.8%と最も高くなっています。

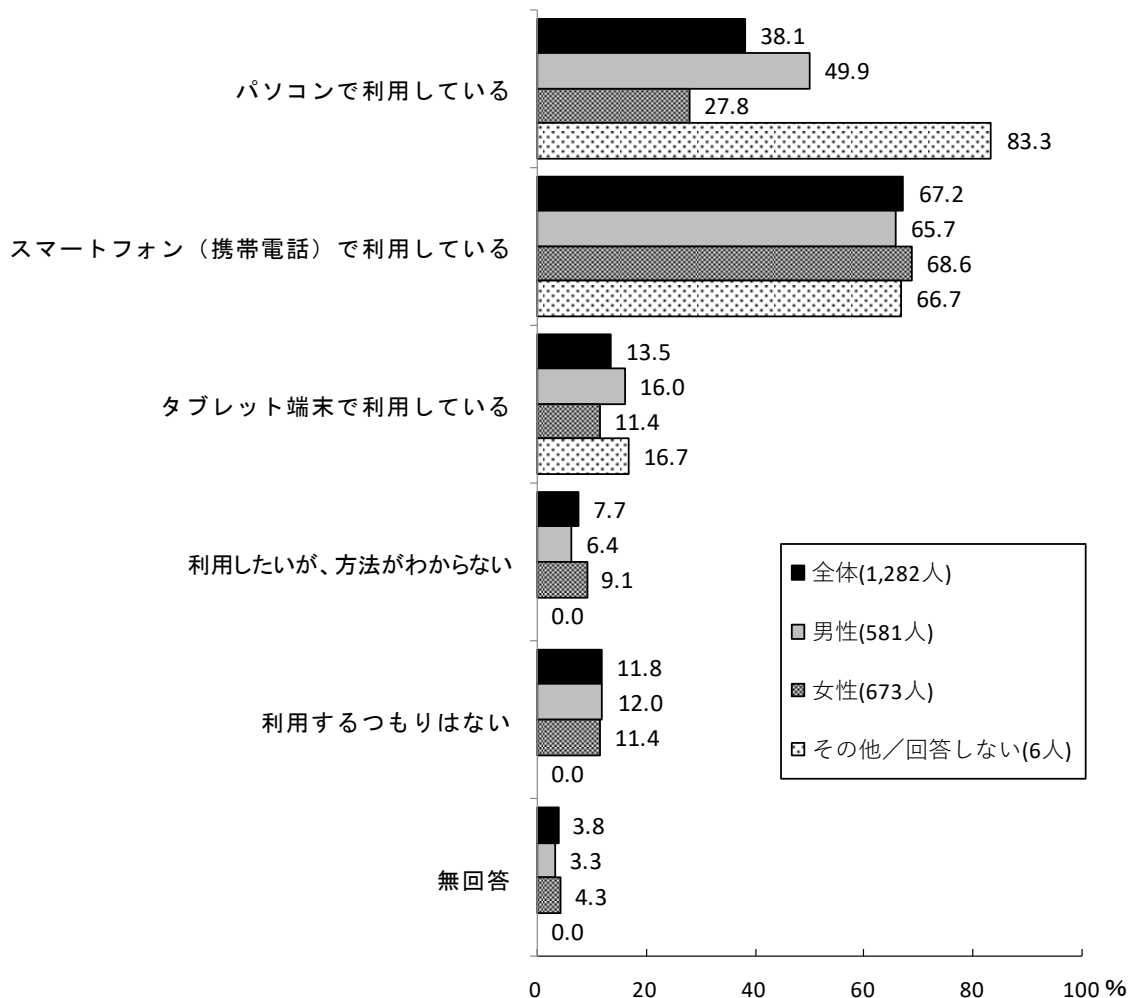
6 市民生活について

6-1 インターネットの利用状況

◆「スマートフォン（携帯電話）で利用している」67.2%◆

問 19 あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

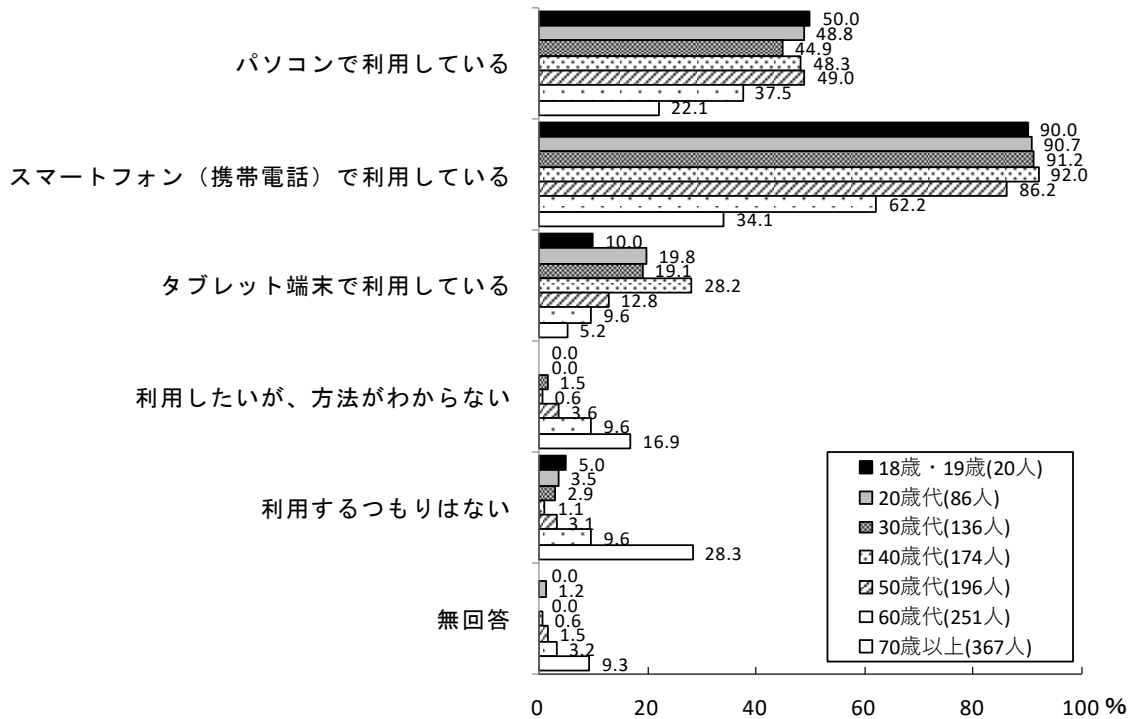
インターネットの利用状況（全体・性別）



全体で見ると「スマートフォン（携帯電話）で利用している」が67.2%と最も高く、次いで「パソコンで利用している」が38.1%、「タブレット端末で利用している」が13.5%と続いています。なお「利用したいが、方法がわからない」が7.7%、「利用するつもりはない」が11.8%となっています。

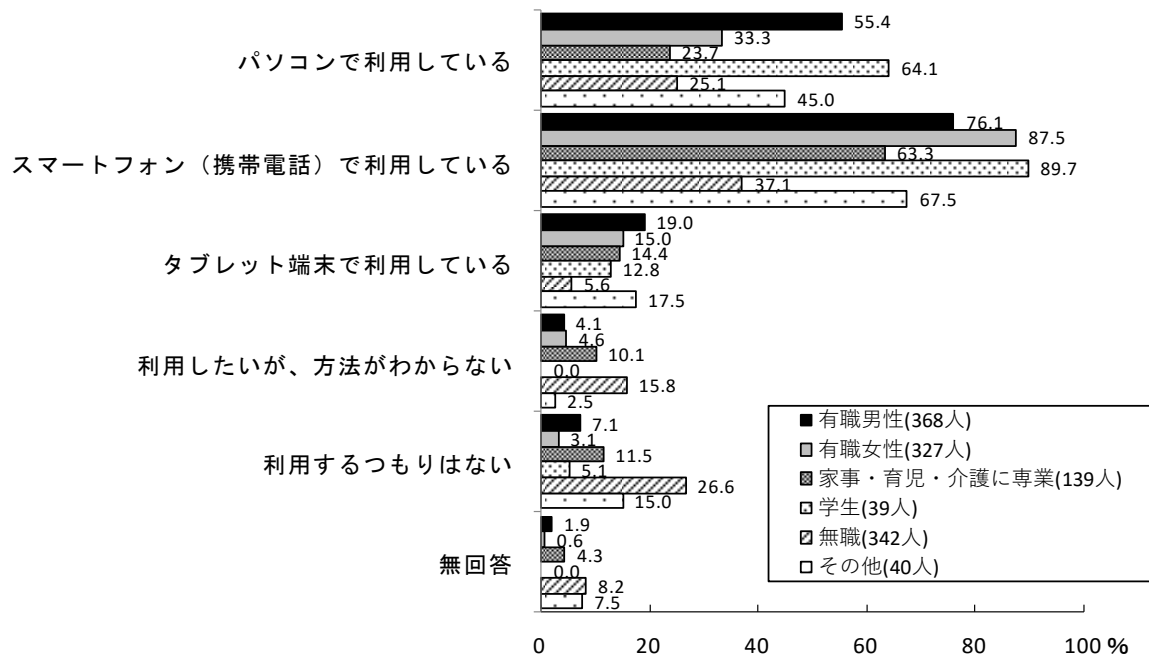
性別で見ると「パソコンで利用している」で男性（49.9%）が女性（27.8%）を22.1ポイントと差をつけ、大きく上回っています。また「タブレット端末で利用している」でも男性（16.0%）が女性（11.4%）を4.6ポイント上回っています。

インターネットの利用状況（年代別）



年代別でみると「パソコンで利用している」は18歳・19歳で5割とやや高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は18歳・19歳、20歳代、30歳代、40歳代で9割以上を占め高くなっています。また「タブレット端末で利用している」は40歳代で28.2%と他の年代に比べ高くなっています。「利用したいが、方法がわからない」「利用するつもりはない」はそれぞれ70歳以上で最も高くなっています。

インターネットの利用状況（職業別）



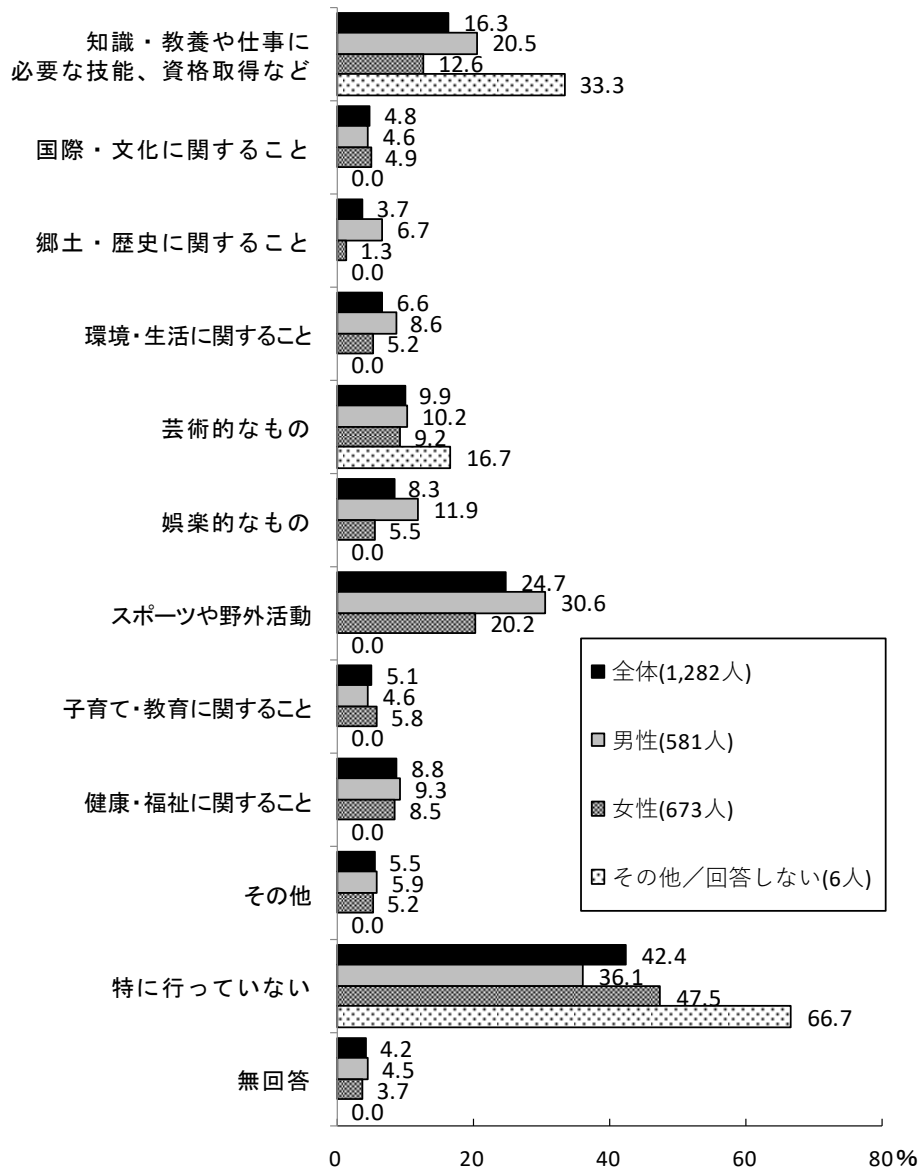
職業別でみると「パソコンで利用している」は学生で64.1%と最も高く、有職男性も55.4%と高くなっています。「スマートフォン（携帯電話）で利用している」は学生(89.7%)、有職女性(87.5%)が高くなっています。

6-2 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動」24.7%、
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」16.3%◆

問 20 あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

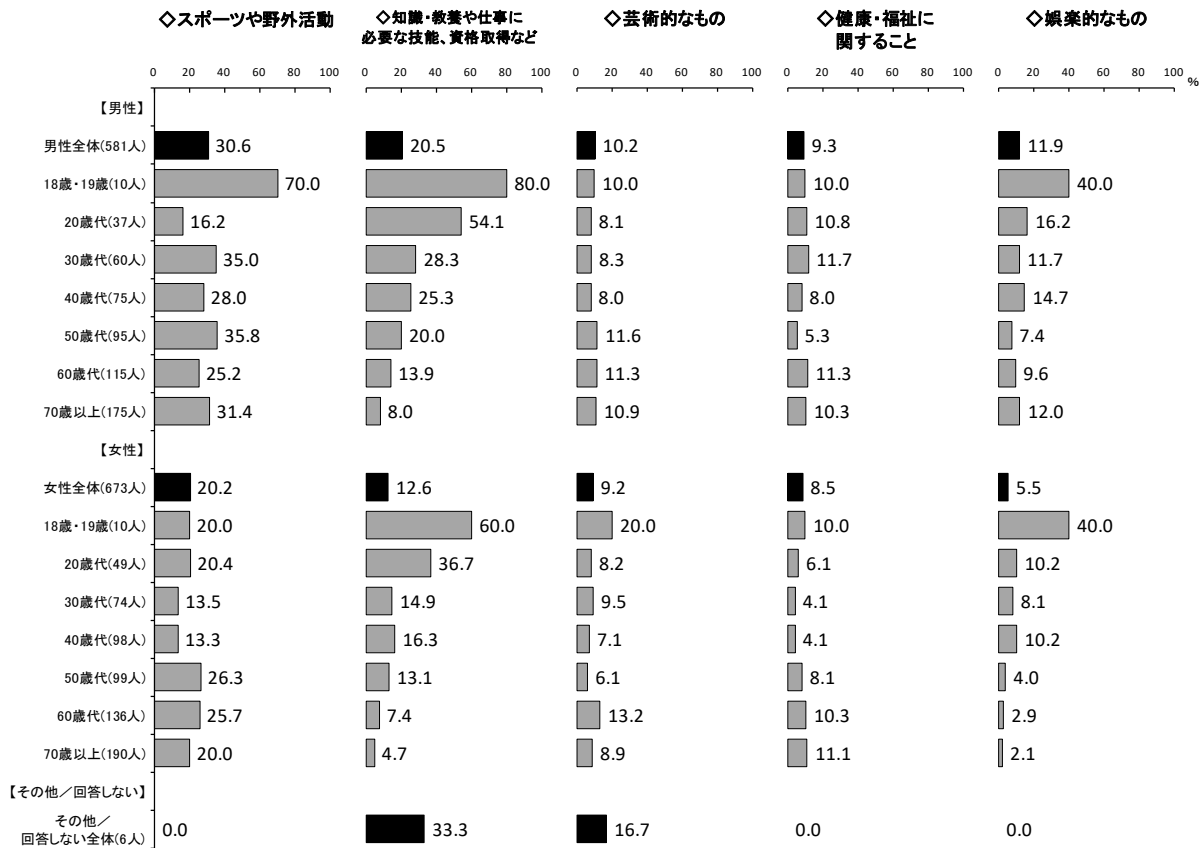
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体では「スポーツや野外活動」(24.7%)、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」(16.3%)、「芸術的なもの」(9.9%)、「健康・福祉に関すること」(8.8%)、「娯楽的なもの」(8.3%)と続いています。また「特に行っていない」は42.4%となっています。

性別で見ると「スポーツや野外活動」で男性(30.6%)が女性(20.2%)を10.4ポイント上回っています。また、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」で男性(20.5%)が女性(12.6%)を7.9ポイント、「郷土・歴史に関すること」で男性(6.7%)が女性(1.3%)を5.4ポイント、「娯楽的なもの」で男性(11.9%)が女性(5.5%)を6.4ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況(上位5項目 性・年代別)



性・年代別で見ると「スポーツや野外活動」は男性の18歳・19歳で70.0%と最も高く、30歳代、50歳代、70歳以上も3割以上と高くなっています。女性では50～60歳代で2割台半ばと高くなっています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が低くなる傾向があり、男性の18歳・19歳で80.0%、女性の18歳・19歳で60.0%とそれぞれ最も高くなっています。

「芸術的なもの」は女性の18歳・19歳で20.0%と最も高くなっています。

「健康・福祉に関すること」はほとんど差がありません。

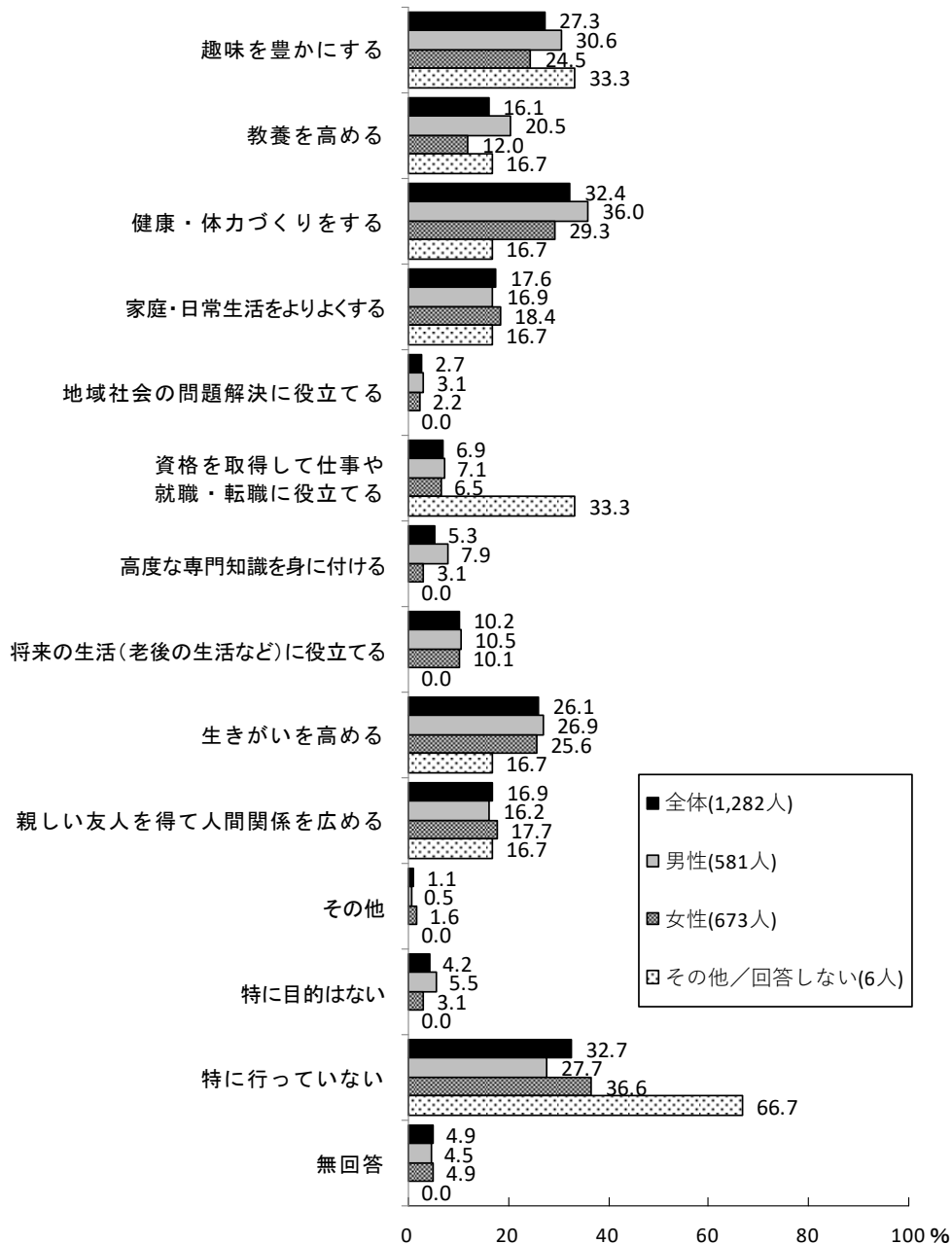
「娯楽的なもの」は男性・女性ともに18歳・19歳で40.0%と最も高くなっています。

6-3 生涯学習等の活動を行っている目的

◆「健康・体力づくりをする」32.4%◆

問 21 あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

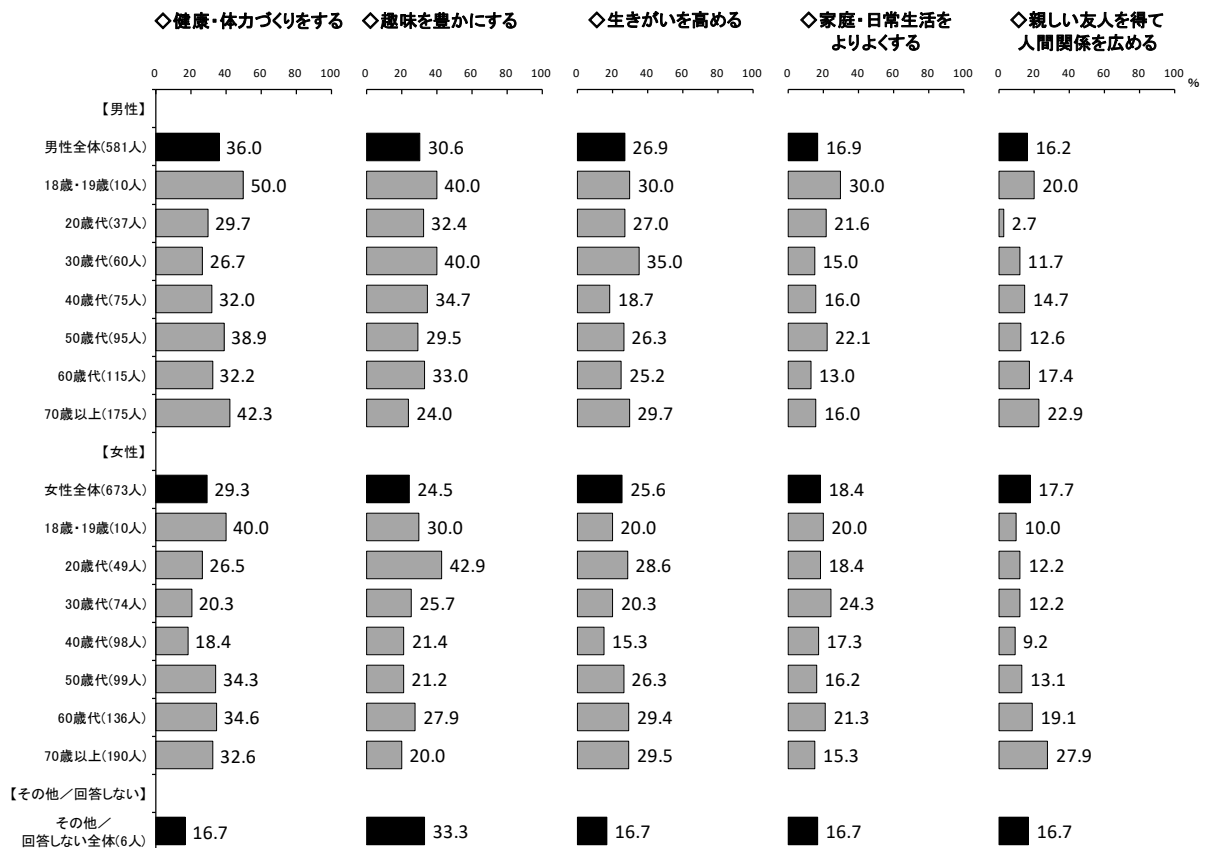
生涯学習等の活動を行っている目的（全体・性別）



全体では「健康・体力づくりをする」が32.4%で最も高く、次いで「趣味を豊かにする」(27.3%)、「生きがいを高める」(26.1%)、「家庭・日常生活をよりよくする」(17.6%)、「親しい友人を得て人間関係を広める」(16.9%)が続いています。また「特に行っていない」は32.7%となっています。

性別で見ると「趣味を豊かにする」で男性(30.6%)が女性(24.5%)を6.1ポイント、「教養を高める」で男性(20.5%)が女性(12.0%)を8.5ポイント、「健康・体力づくりをする」で男性(36.0%)が女性(29.3%)を6.7ポイント上回っています。

生涯学習等の活動を行っている目的（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「健康・体力づくりをする」は男性・女性ともに18歳・19歳で最も高く、男性で50.0%、女性で40.0%となっています。

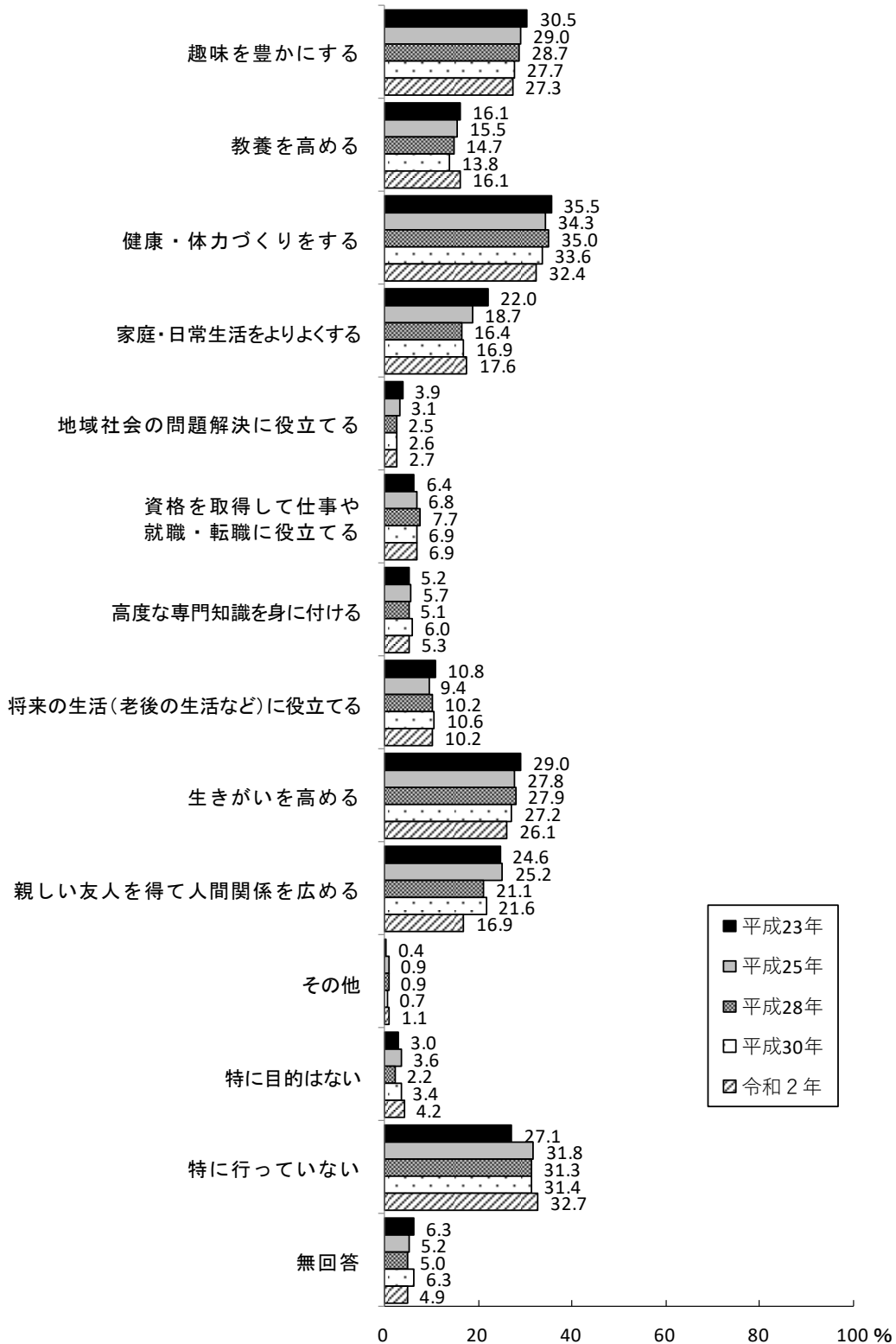
「趣味を豊かにする」は男性の18歳・19歳、30歳代、女性の20歳代で4割を上回っています。

「生きがいを高める」は男性の30歳代で3割台半ばと高くなっています。一方、男性・女性ともに40歳代で最も低く、男性が18.7%、女性が15.3%となっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は男性の18歳・19歳で30.0%、女性の30歳代で24.3%と最も高くなっています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は男性・女性とも年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で22.9%、女性の70歳以上で27.9%とそれぞれ最も高くなっています。また、男性は18歳・19歳も20.0%と高くなっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）



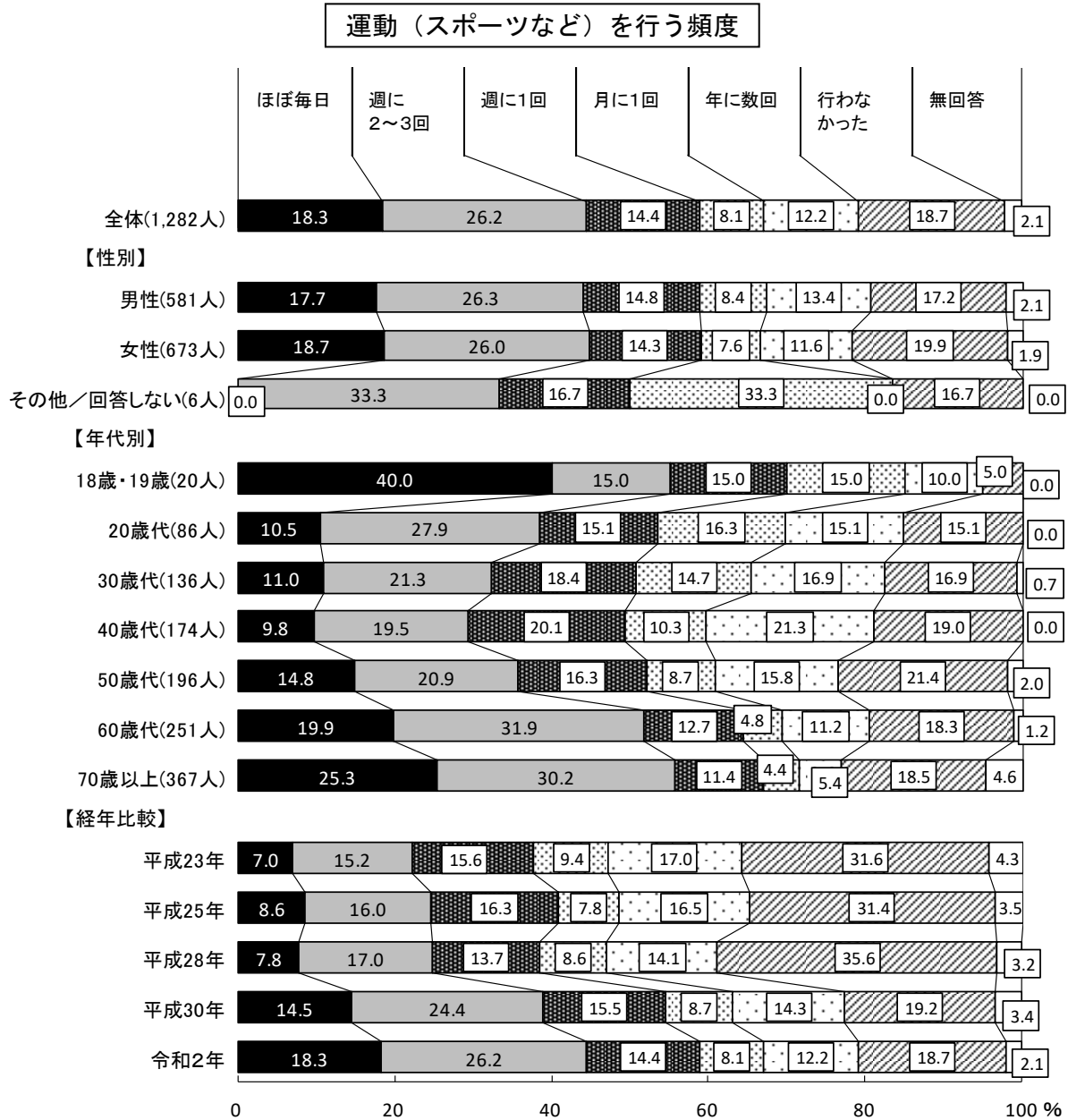
平成30年度調査と比較すると、「親しい友人を得て人間関係を広める」は4.7ポイント減少しています。

平成23年度調査以降、多くの項目で減少傾向となっているものの、ほとんど変化はありません。

6-4 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 58.9%◆

問 22 あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



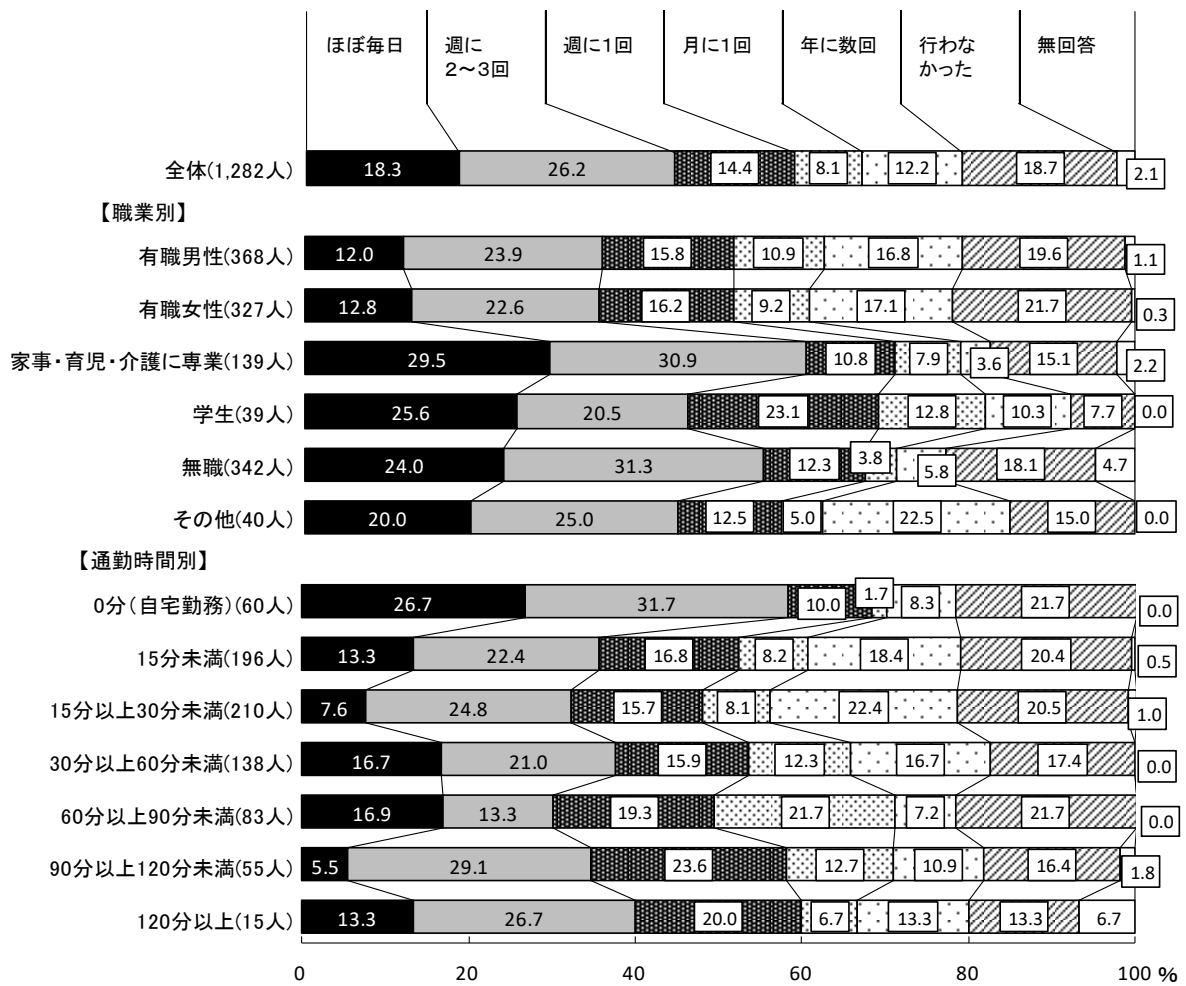
全体で見ると「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」を合わせた“習慣的に運動を行っている”は58.9%と高く、一方で「行わなかった」は18.7%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

性別で見ると“習慣的に運動を行っている”は男性・女性ともに5割台後半となっており、ほとんど差はありません。

年代別で見ると“習慣的に運動を行っている”は18歳・19歳が70.0%と最も高くなっています。また、40歳代が49.4%と最も低く、それ以降は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、70歳以上は66.9%となっています。

平成28年度調査以降、“習慣的に運動を行っている”は増加傾向にあり、平成30年度調査と比較すると4.5ポイント増加しています。

運動（スポーツなど）を行う頻度



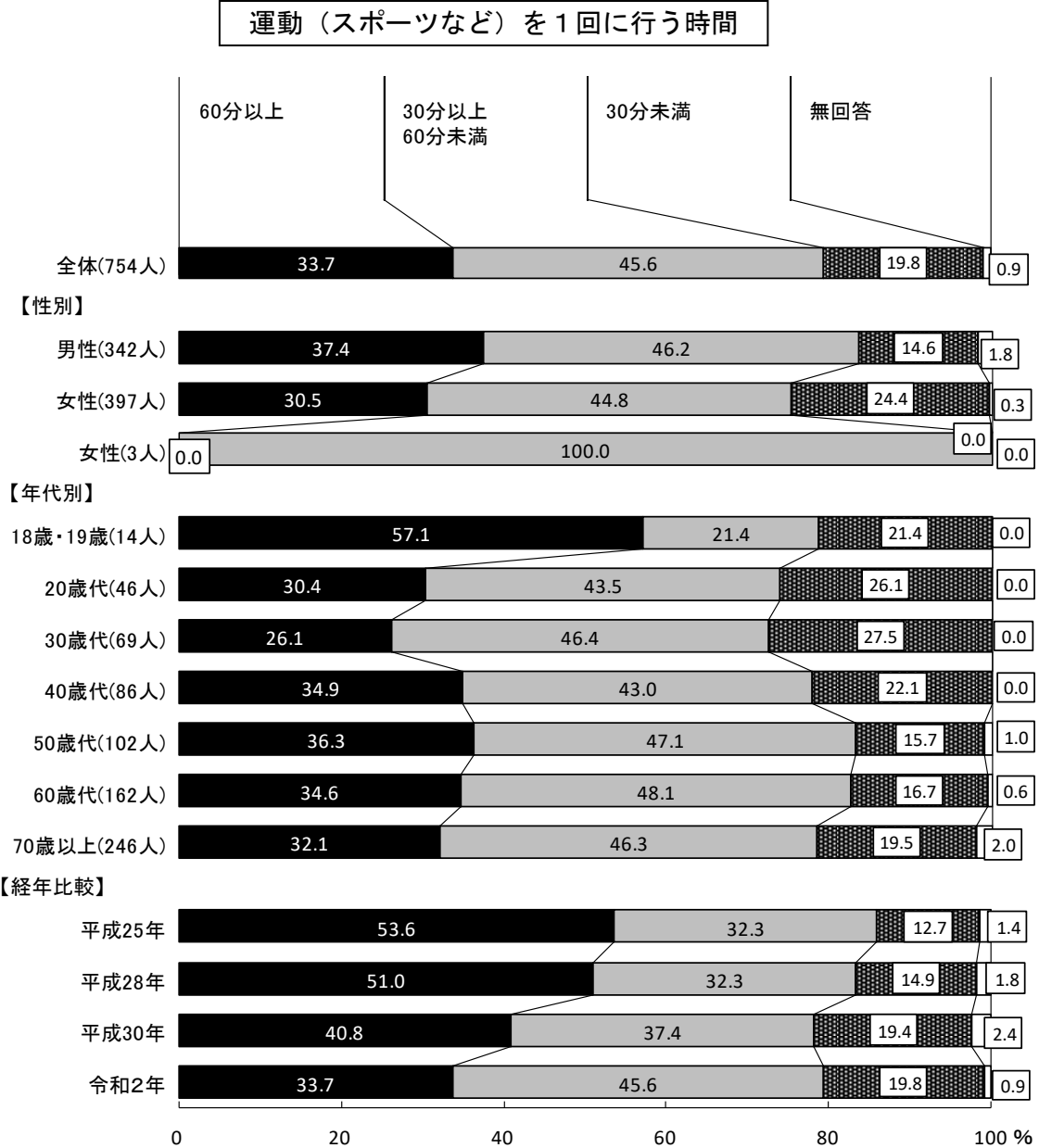
職業別でみると“習慣的に運動を行っている”は家事・育児・介護に専業が71.2%、学生が69.2%と高くなっています。最も低い有職女性でも、51.6%と過半数を超えています。

通勤時間別でみると“習慣的に運動を行っている”は通勤時間0分(自宅勤務)が68.4%と最も高く、通勤時間120分以上の長距離通勤層も60.0%となっています。通勤時間15分以上30分未満が48.1%と最も低くなっていますが、半数近いことから、全体として“習慣的に運動を行っている”ということがうかがえます。

6-5 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」33.7%◆

(問22で「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」とお答えの方におたずねします)
問22-1 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



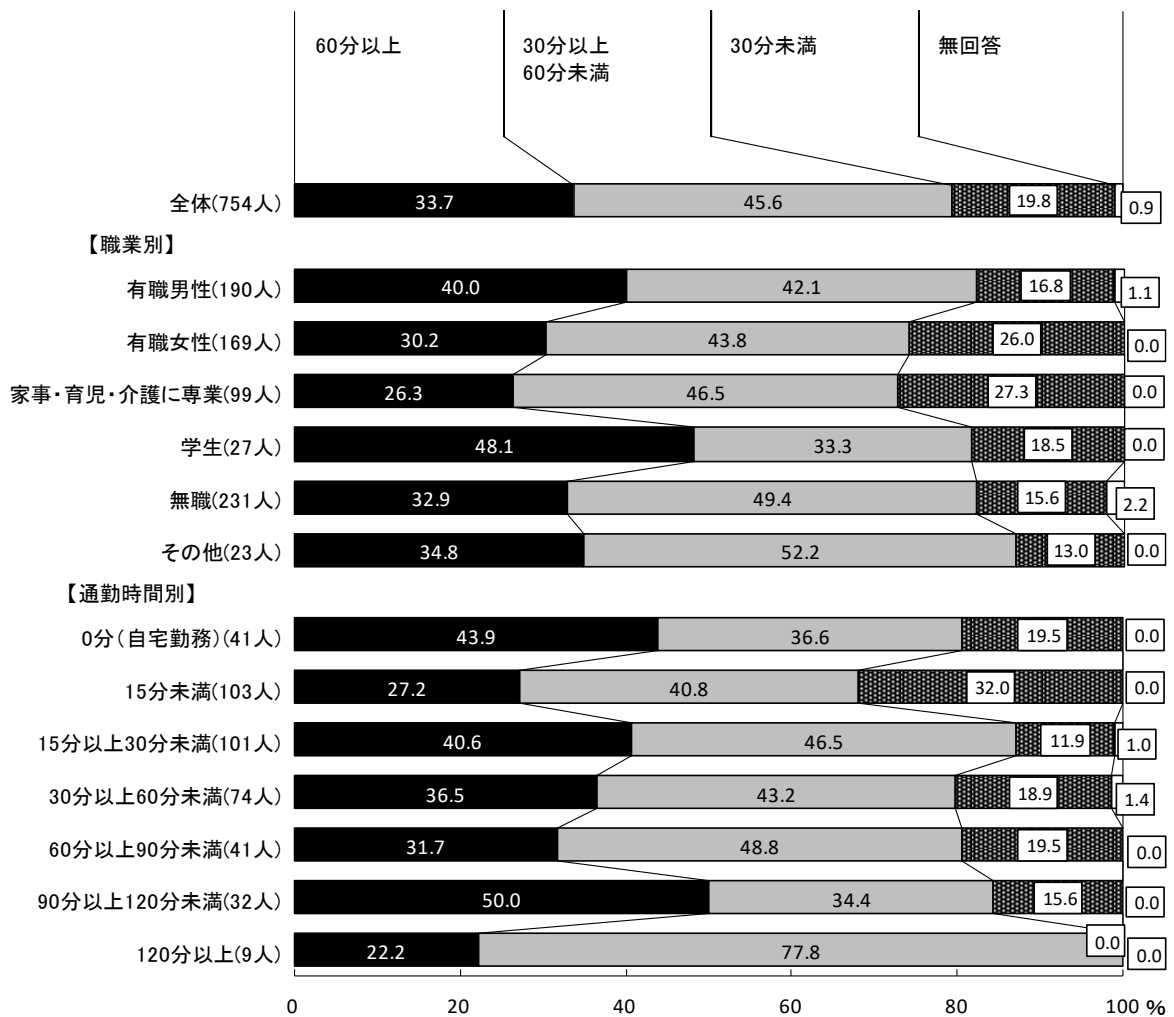
全体では「30分以上 60分未満」が45.6%と最も高く、「60分以上」が33.7%、「30分未満」が19.8%となっています。

性別で見ると、男性・女性とも「30分以上 60分未満」が最も高くなっています。「60分以上」では男性（37.4%）が女性（30.5%）を6.9ポイント上回っています。

年代別で見ると「60分以上」は18歳・19歳で57.1%と最も高く、30歳代で26.1%と最も低くなっています。「30分未満」は20歳代（26.1%）と30歳代（27.5%）が高くなっています。

平成30年度調査と比較すると「60分以上」は7.1ポイント減少しており、平成23年度調査以降、減少傾向にあります。一方「30分以上 60分未満」は8.2ポイント増加しています。

運動（スポーツなど）を1回に行う時間



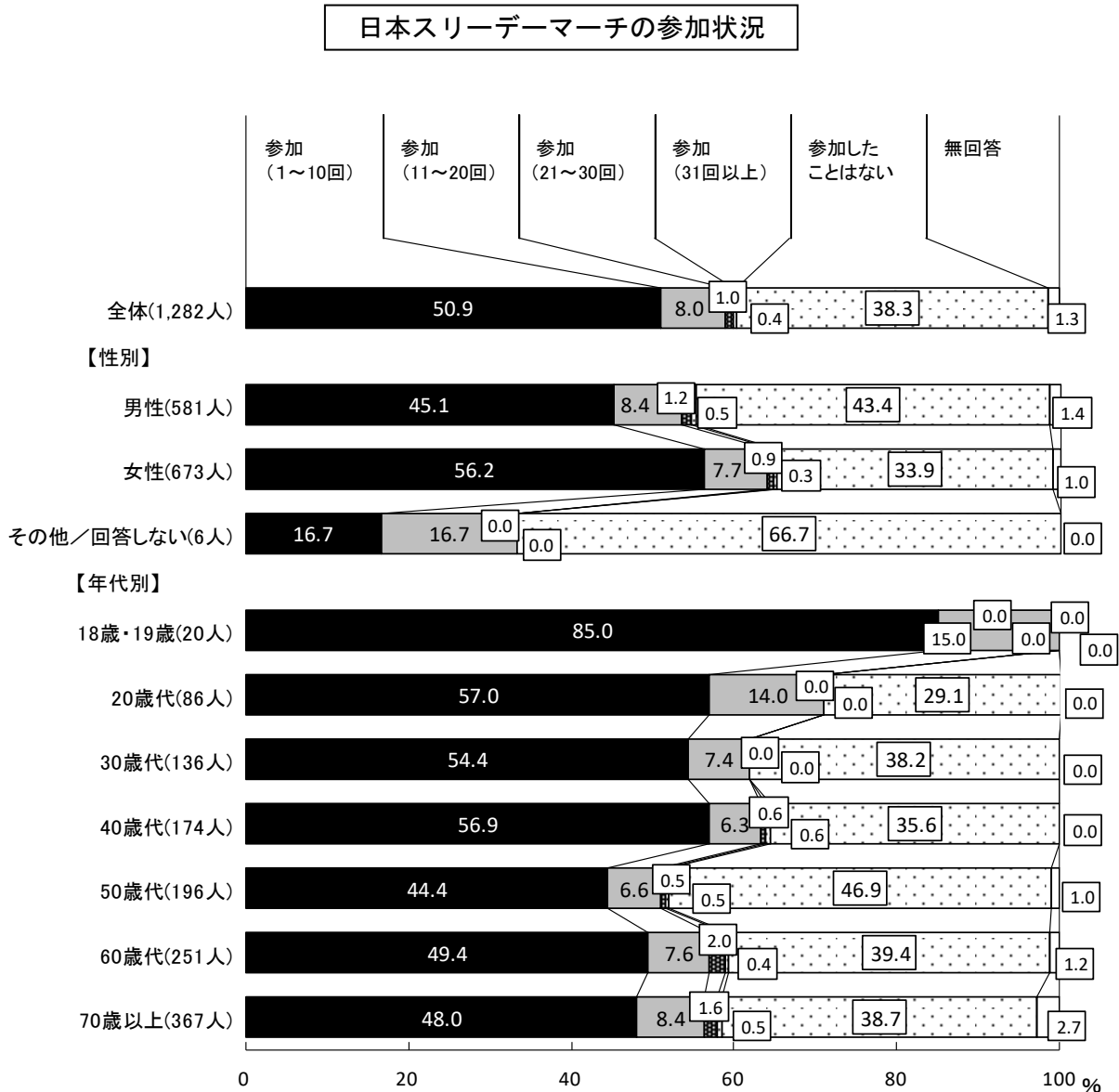
職業別でみると「60分以上」は学生で48.1%と最も高く、次いで有職男性が40.0%となっています。「30分未満」は有職女性(26.0%)と家事・育児・介護に専業(27.3%)で高くなっています。

通勤時間別でみると「60分以上」は通勤時間90分以上120分未満で50.0%と最も高く、次いで通勤時間0分(自宅勤務)が43.9%となっています。「30分以上60分未満」は通勤時間120分以上が77.8%、「30分未満」は通勤時間15分未満が32.0%とそれぞれ最も高くなっています。

6-6 日本スリーデーマーチの参加状況

◆ “参加したことがある（1～10回）” 50.9%、“参加したことはない” 38.3%◆

問 23 あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。※令和元年度と2年度の日本スリーデーマーチは中止ですので、平成30年度までの参加状況でお答えください。

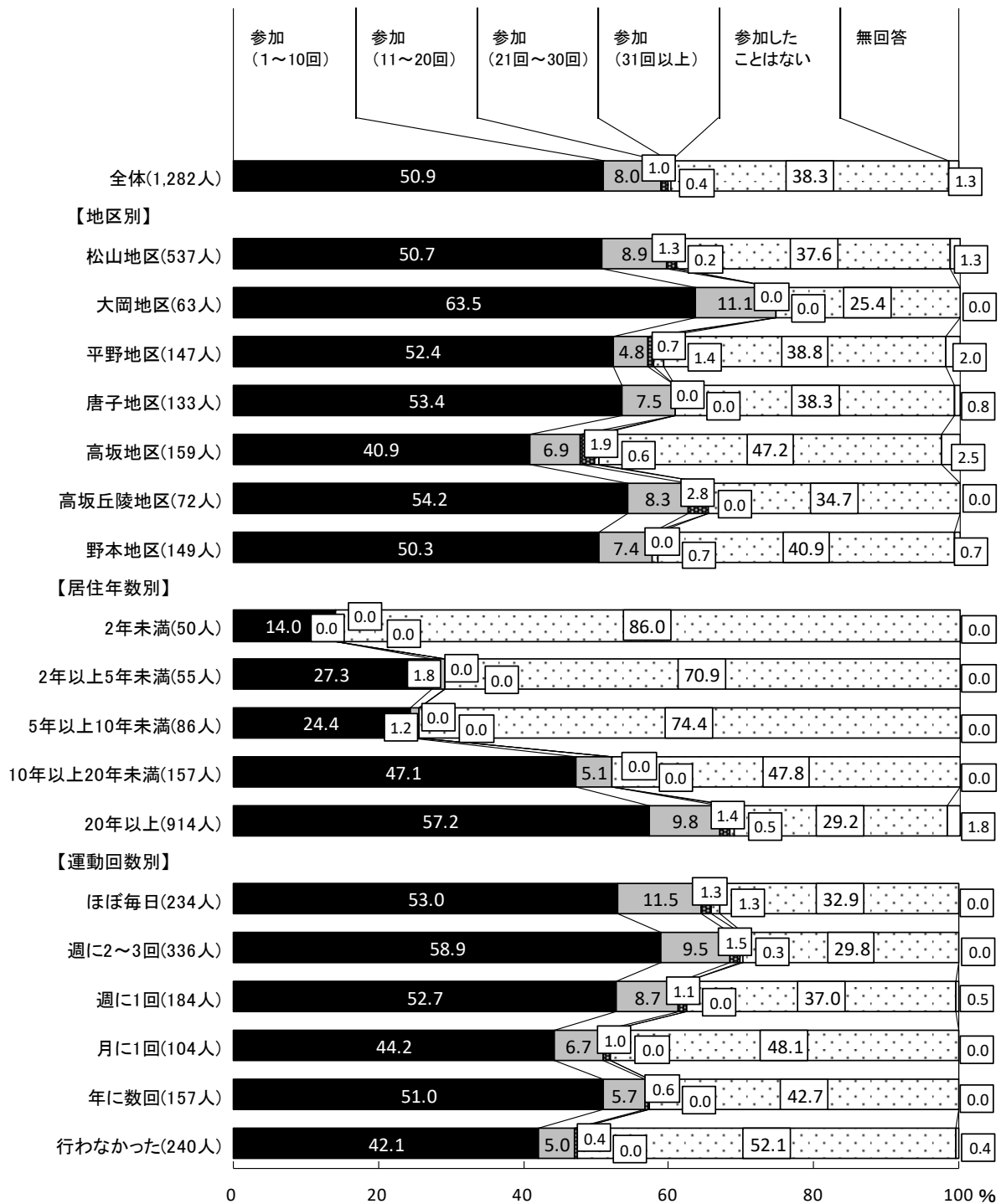


全体では「参加したことがある（1～10回）」が50.9%と最も高く、「参加したことはない」が38.3%、「参加したことがある（11～20回）」が8.0%と続いています。

性別でみると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（56.2%）が男性（45.1%）を11.1ポイント上回っています。

年代別でみると「参加したことがある（1～10回）」は18歳・19歳で85.0%と最も高く、次いで20歳代で57.0%となっています。一方「参加したことはない」は50歳代で46.9%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



地区別では「参加したことがある（1～10回）」は大岡地区が63.5%と最も高く、高坂地区を除く全ての地区で5割台となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く47.2%となっています。

居住年数でみると、年数が長くなるほど“参加したことがある”が増加しています。「20年以上」では68.9%の市民に参加経験があることがわかります。

運動回数別でみると“参加したことがある”は、週に2～3回が70.2%と最も高く、次いでほぼ毎日が67.1%、週に1回が62.5%となっています。一方「参加したことはない」は「行わなかった」で最も高く5割を超えています。

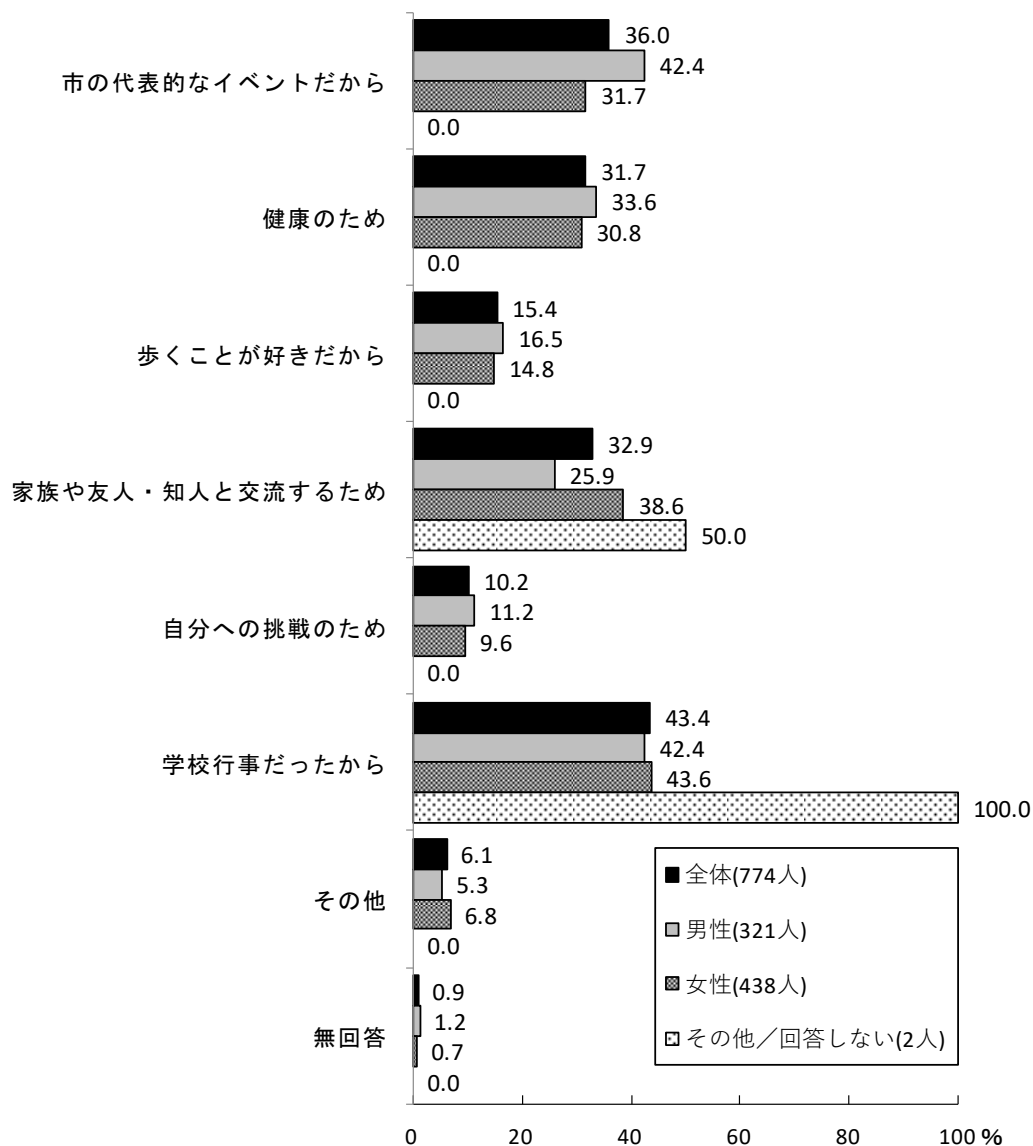
6-7 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」43.4%、「市の代表的なイベントだから」36.0%◆

(問 23 で参加したことがあるとお答えの方におたずねします)

問 23-1 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

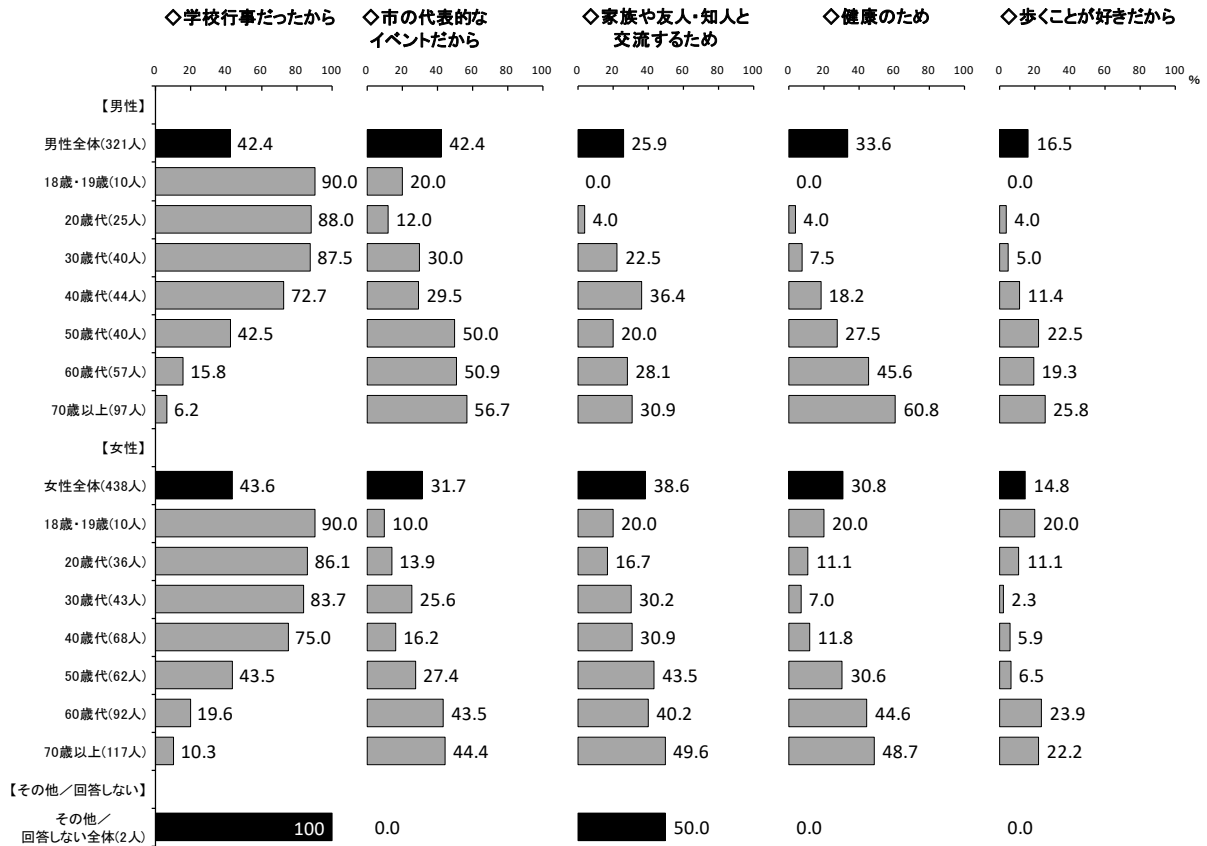
日本スリーデーマーチに参加した理由(全体・性別)



全体では「学校行事だったから」が43.4%で最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」(36.0%)、「家族や友人・知人と交流するため」(32.9%)、「健康のため」(31.7%)、「歩くことが好きだから」(15.4%)と続いています。

性別でみると「市の代表的なイベントだから」は男性(42.4%)が女性(31.7%)を10.7ポイント、「家族や友人・知人と交流するため」は女性(38.6%)が男性(25.9%)を12.7ポイント上回っています。

日本スリーデーマーチに参加した理由(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「学校行事だったから」は、男性・女性ともに18歳・19歳が9割と最も高く、次いで20歳代(男性88.0%、女性86.1%)、30歳代(男性87.5%、女性83.7%)が8割台が続いています。

「市の代表的なイベントだから」は、男性の60歳代以降で5割を上回っています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、男性の40歳代で36.4%と最も高くなっています。女性の70歳以上では49.6%と約半数を占め最も高くなっています。

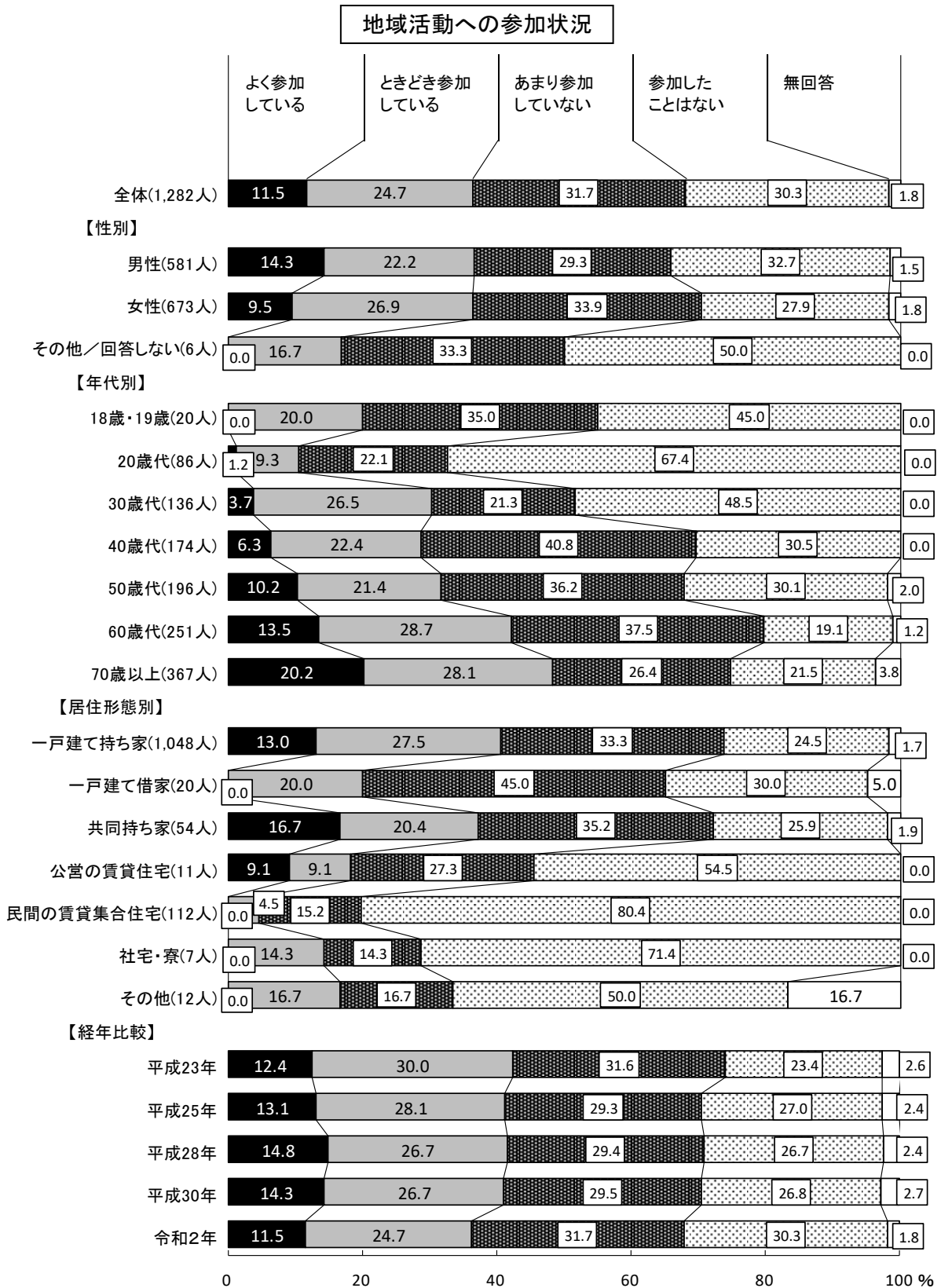
「健康のため」は、男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で60.8%、女性の70歳以上で48.7%と最も高くなっています。

「歩くことが好きだから」は、男性の50歳代、70歳以上、女性の60歳代以降で2割を上回っています。

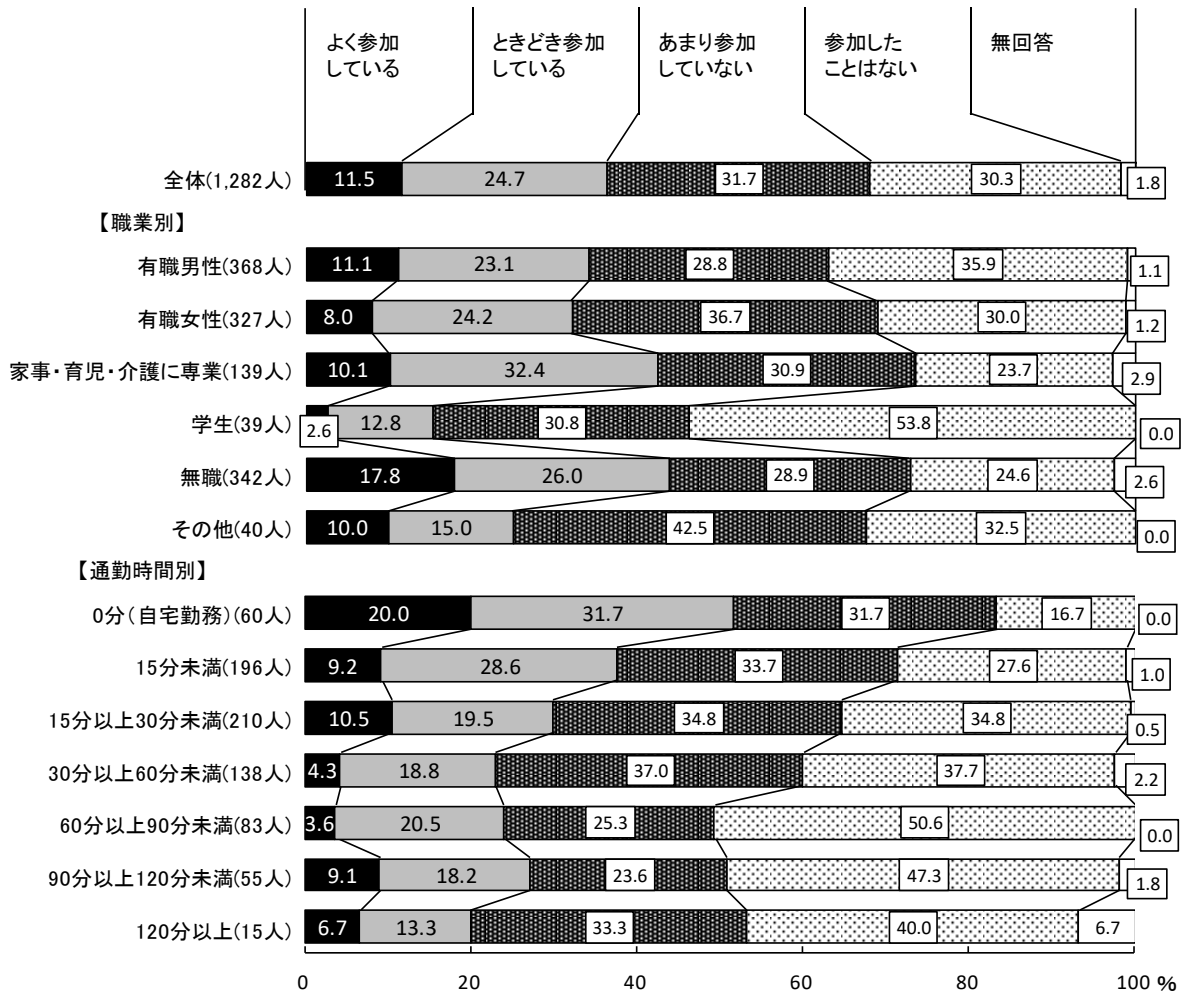
6-8 地域活動への参加状況

◆ “地域活動に参加している” 36.2%◆

問 24 あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



地域活動への参加状況



全体では「よく参加している」は11.5%、「ときどき参加している」は24.7%で、両方を合わせた36.2%が“地域活動に参加している”と回答しています。

性別でみると“地域活動に参加している”は男性・女性ともに3割台となっており、ほとんど差はありません。

年代別でみると“地域活動に参加している”は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、60歳代以降の年代で4割以上ですが、20歳代では10.5%と特に低くなっています。

居住形態別でみると“地域活動に参加している”は一戸建て持ち家で40.5%、共同持ち家で37.1%と高くなっていますが、民間の賃貸集合住宅では4.5%と低くなっています。

職業別でみると“地域活動に参加している”は家事・育児・介護に専業で42.5%、無職で43.8%と高くなっていますが、学生は15.4%と特に低くなっています。

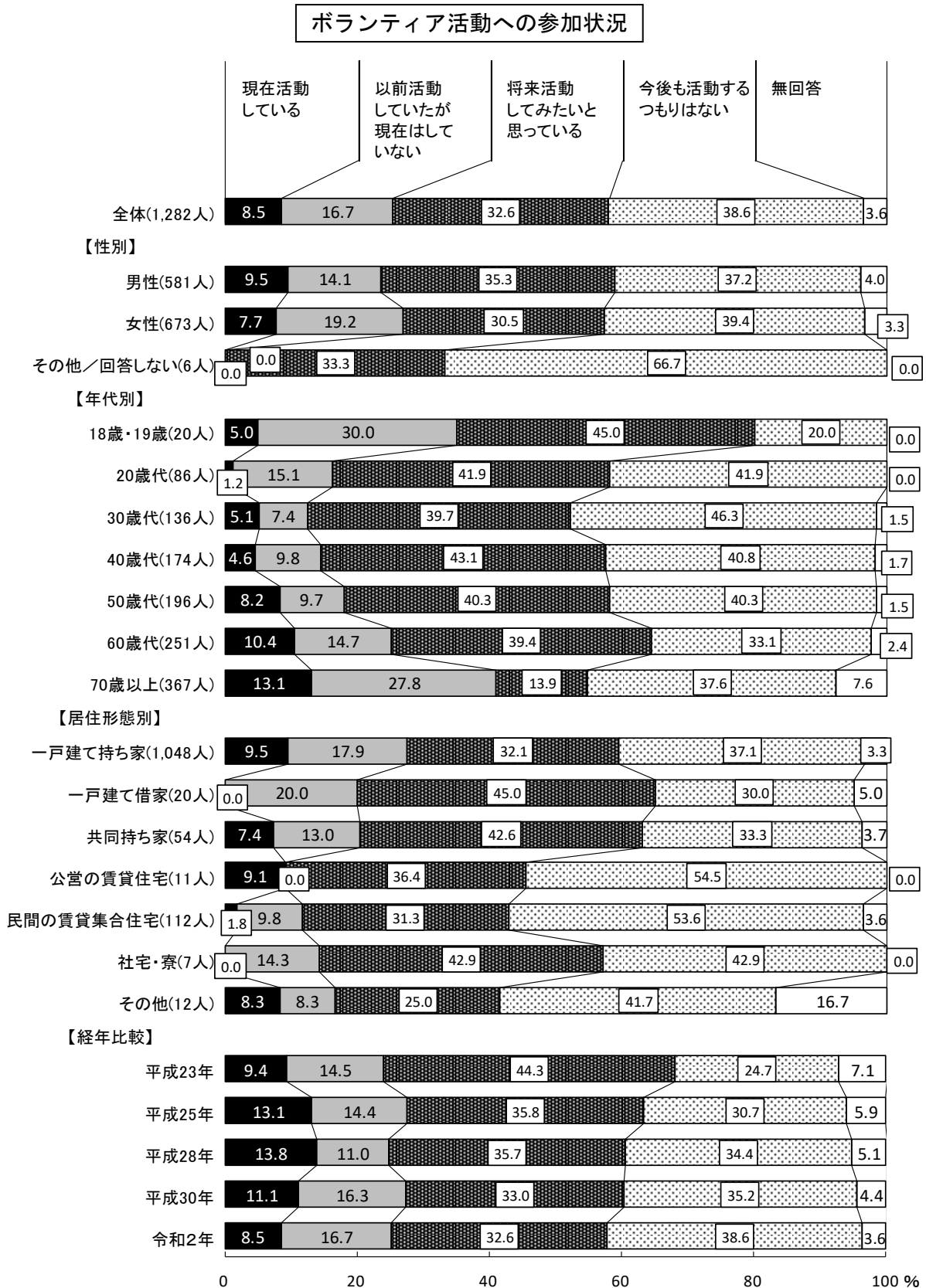
通勤時間別でみると“地域活動に参加している”は0分（自宅勤務）で51.7%と最も高く、次いで15分未満で37.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると“地域活動に参加している”は4.8ポイント減少しています。

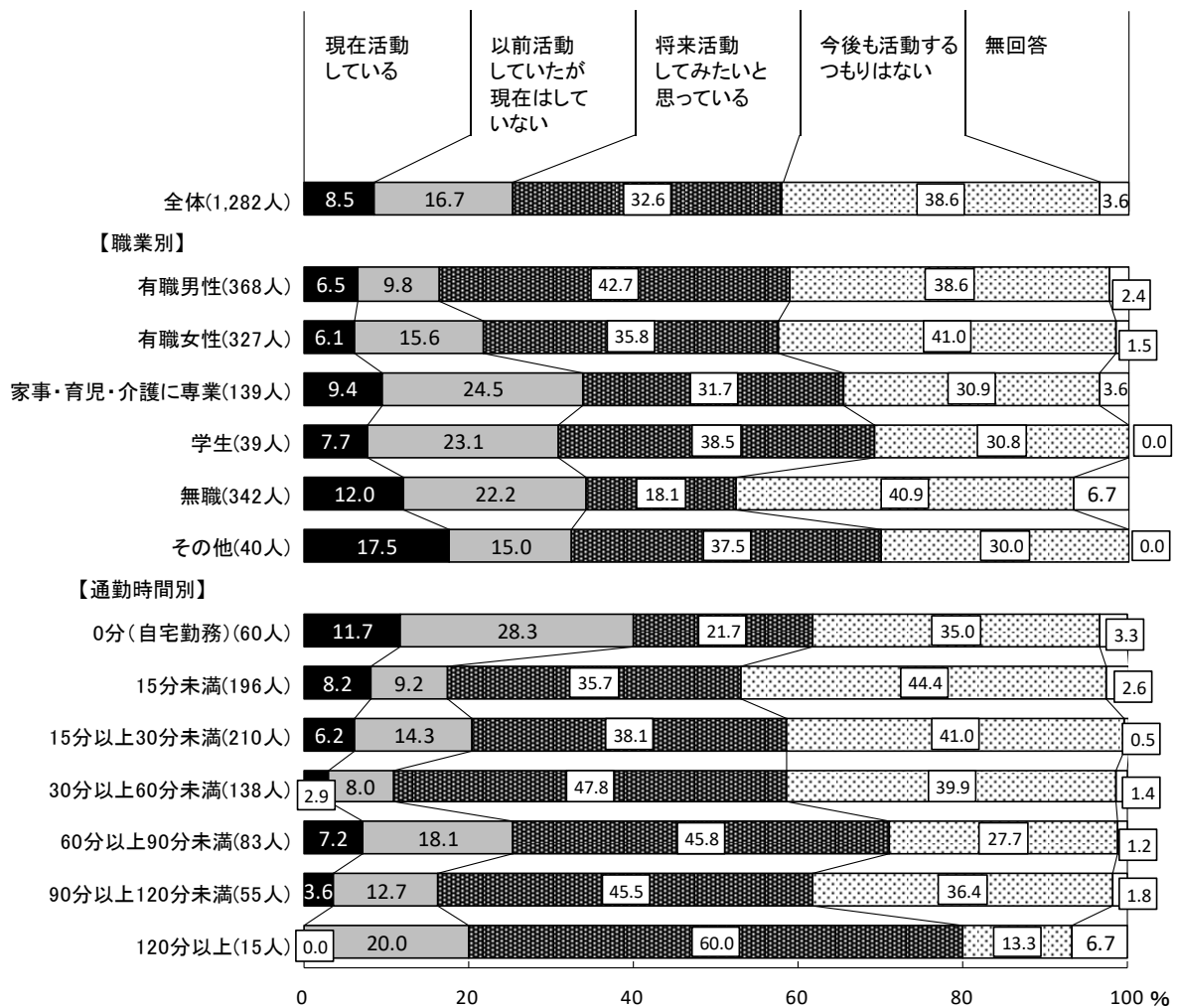
6-9 ボランティア活動への参加状況

◆ “活動経験がある” 25.2% ◆

問 25 あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



ボランティア活動への参加状況



全体では「現在活動している」は 8.5%、「以前活動していたが現在はしていない」は 16.7%で、両方を合わせた 25.2%が“活動経験がある”と回答しています。

性別でみると“活動経験がある”は女性(26.9%)が男性(23.6%)を 3.3ポイント上回っています。

年代別でみると“活動経験がある”は 70歳以上で 40.9%と最も高く、次いで 18歳・19歳で 35.0%、60歳代で 25.1%と続いています。

居住形態別でみると“活動経験がある”は一戸建て持ち家(27.4%)、一戸建て借家(20.0%)、共同持ち家(20.4%)で比較的高くなっています。

職業別でみると“活動経験がある”は無職で 34.2%と最も高く、次いで家事・育児・介護に専業で 33.9%となっています。

通勤時間別でみると“活動経験がある”は 0分(自宅勤務)で 40.0%と最も高く、次いで 60分以上 90分未満で 25.3%となっています。0分(自宅勤務)は「現在活動している」でも 11.7%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると“活動経験がある”は 2.2ポイント減少しています。

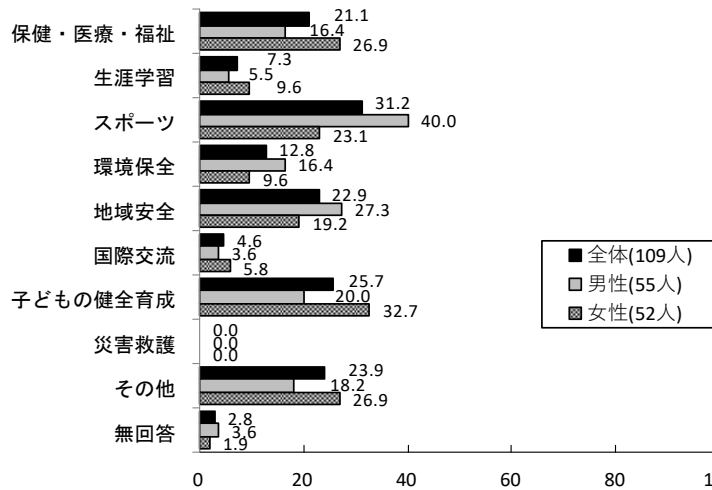
6-10 活動している分野

◆「スポーツ」31.2%、「子どもの健全育成」25.7%◆

(問 25 で「現在活動している」とお答えの方におたずねします)

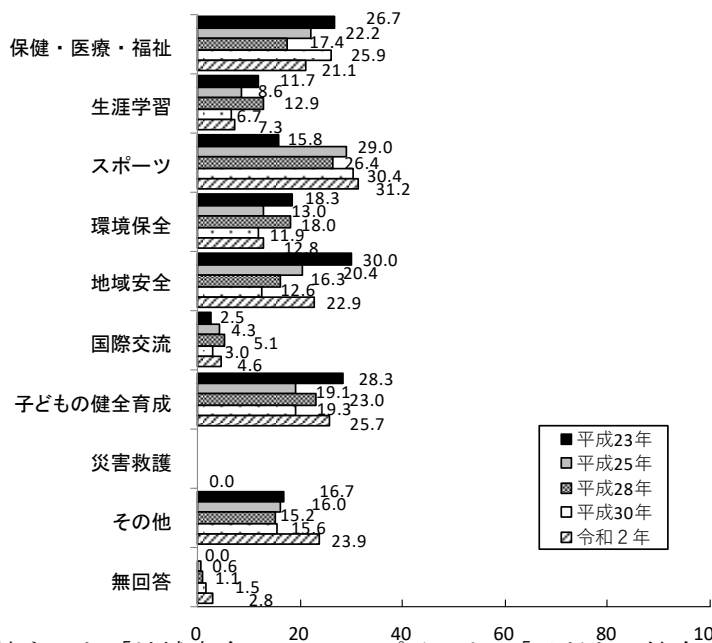
問 25-1 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

活動している分野（全体・性別）



全体では「スポーツ」が31.2%で最も高く、次いで「子どもの健全育成」(25.7%)、「地域安全」(22.9%)、「保健・医療・福祉」(21.1%)、「環境保全」(12.8%)と続いています。また、「その他」は23.9%となっており、音楽・合唱関係や慰問活動などが含まれています。性別で見ると「スポーツ」で男性(40.0%)が女性(23.1%)を16.9ポイント上回っています。一方「保健・医療・福祉」では女性(26.9%)が男性(16.4%)を10.5ポイント、「子どもの健全育成」では女性(32.7%)が男性(20.0%)を12.7ポイント上回っています。

活動している分野（経年比較）



平成30年度調査と比較すると「地域安全」は10.3ポイント、「子どもの健全育成」は6.4ポイント増加しています。一方「保健・医療・福祉」は4.8ポイント減少しています。

平成23年度調査以降「スポーツ」は増加傾向にあり、今年度調査では31.2%と最も高くなっています。

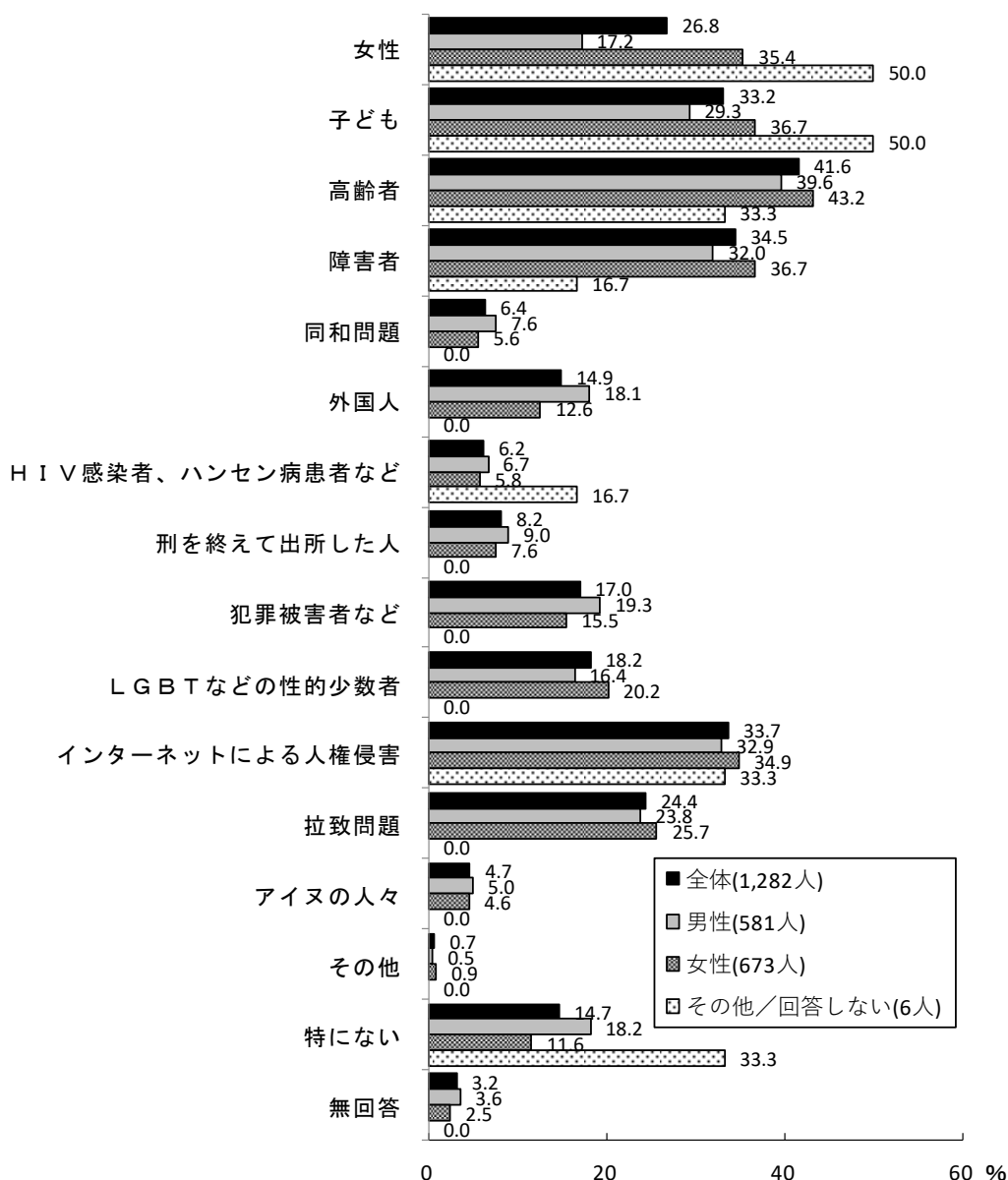
7 人権・男女平等について

7-1 人権の意識について

◆「高齢者」41.6%、「障害者」34.5%、「インターネットによる人権侵害」33.7%◆

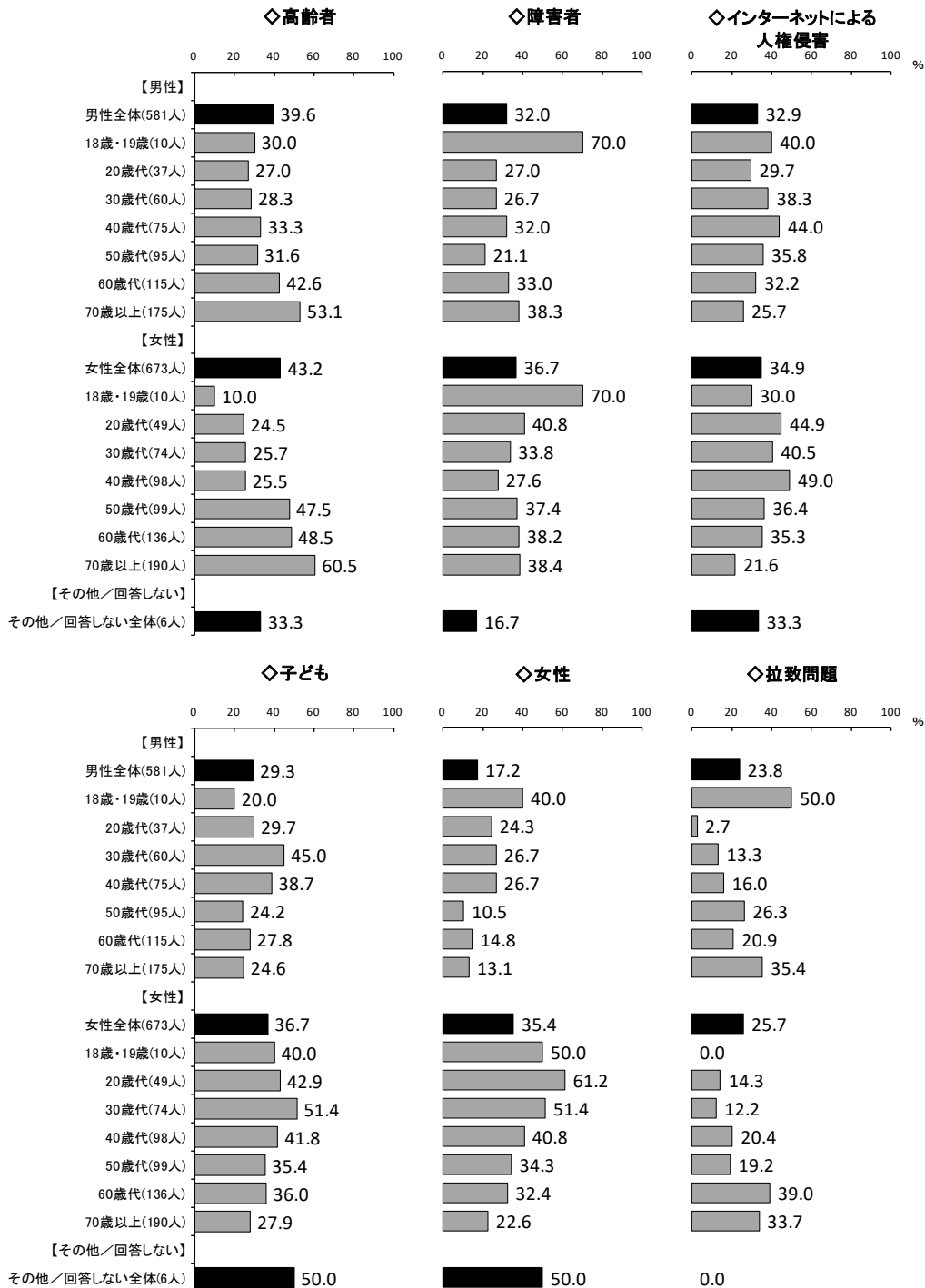
問 26 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

人権の意識について(全体・性別)



性別で見ると「女性(の人権問題)」は女性(35.4%)が男性(17.2%)を18.2ポイント、「子ども」は女性(36.7%)が男性(29.3%)を7.4ポイント上回っています。

人権の意識について（上位6項目 性・年代別）



性・年代別でみると「高齢者」は男性・女性とも年齢が高くなるにつれ、関心が高まっています。

「障害者」は男性・女性ともに18歳・19歳で7割となっています。

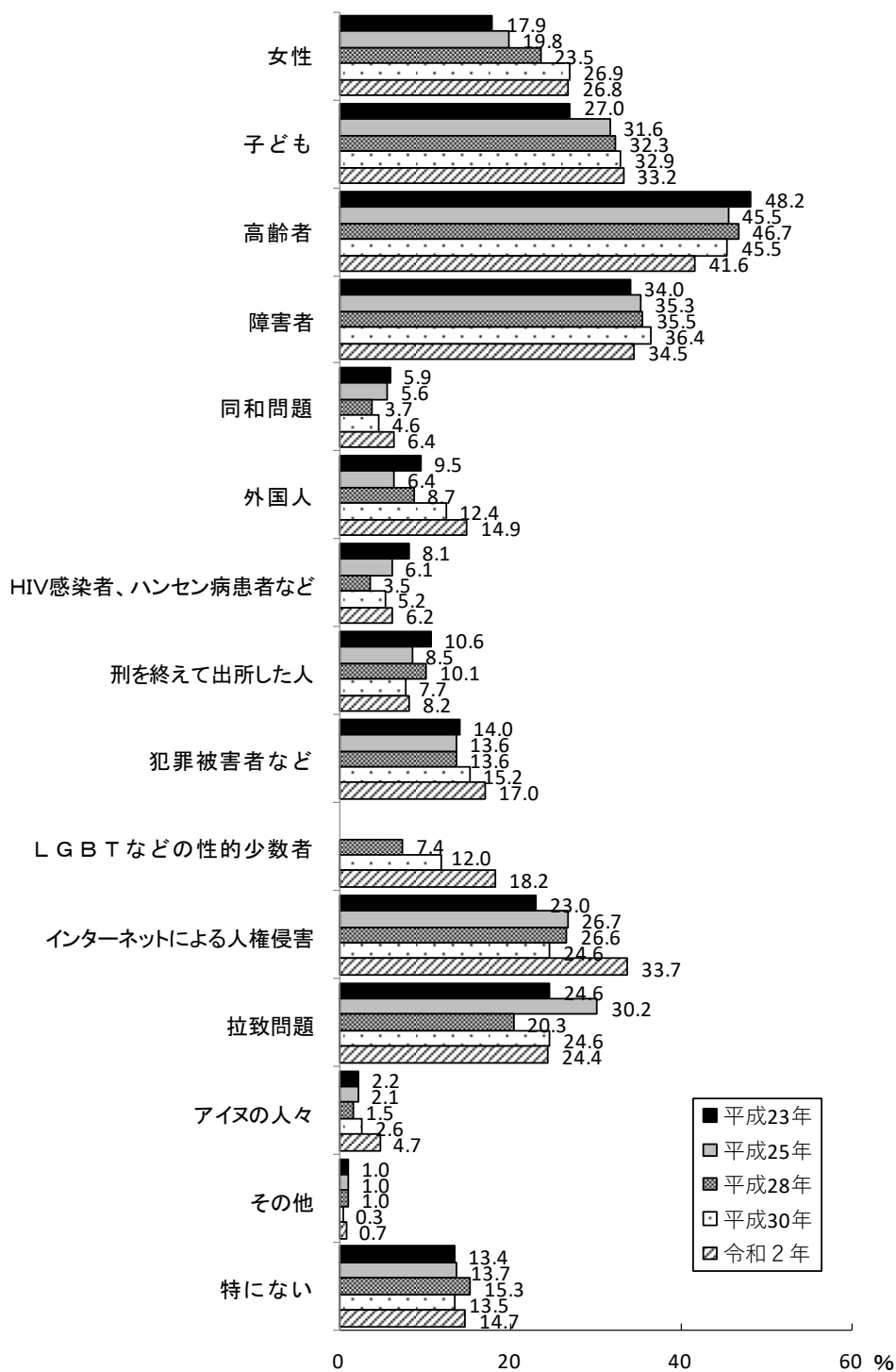
「インターネットによる人権侵害」は男性・女性ともに40歳代(男性44.0%、女性49.0%)で最も高くなっています。

「子ども」は子育て世代である女性の30歳代(51.4%)で最も高くなっています。

「女性(の人権問題)」は女性の20歳代で61.2%と最も高く、30歳代でも5割を超えています。

「拉致問題」は男性の18歳・19歳(50.0%)、女性の60歳代(39.0%)でそれぞれ最も高くなっています。

人権の意識について（経年比較）



※ 「LGBTなどの性的少数者」は、平成28年度からの選択肢です。

※ 「LGBTなどの性的少数者」は、平成28年度までは「性的指向・性同一障害などの性的少数者」でした。

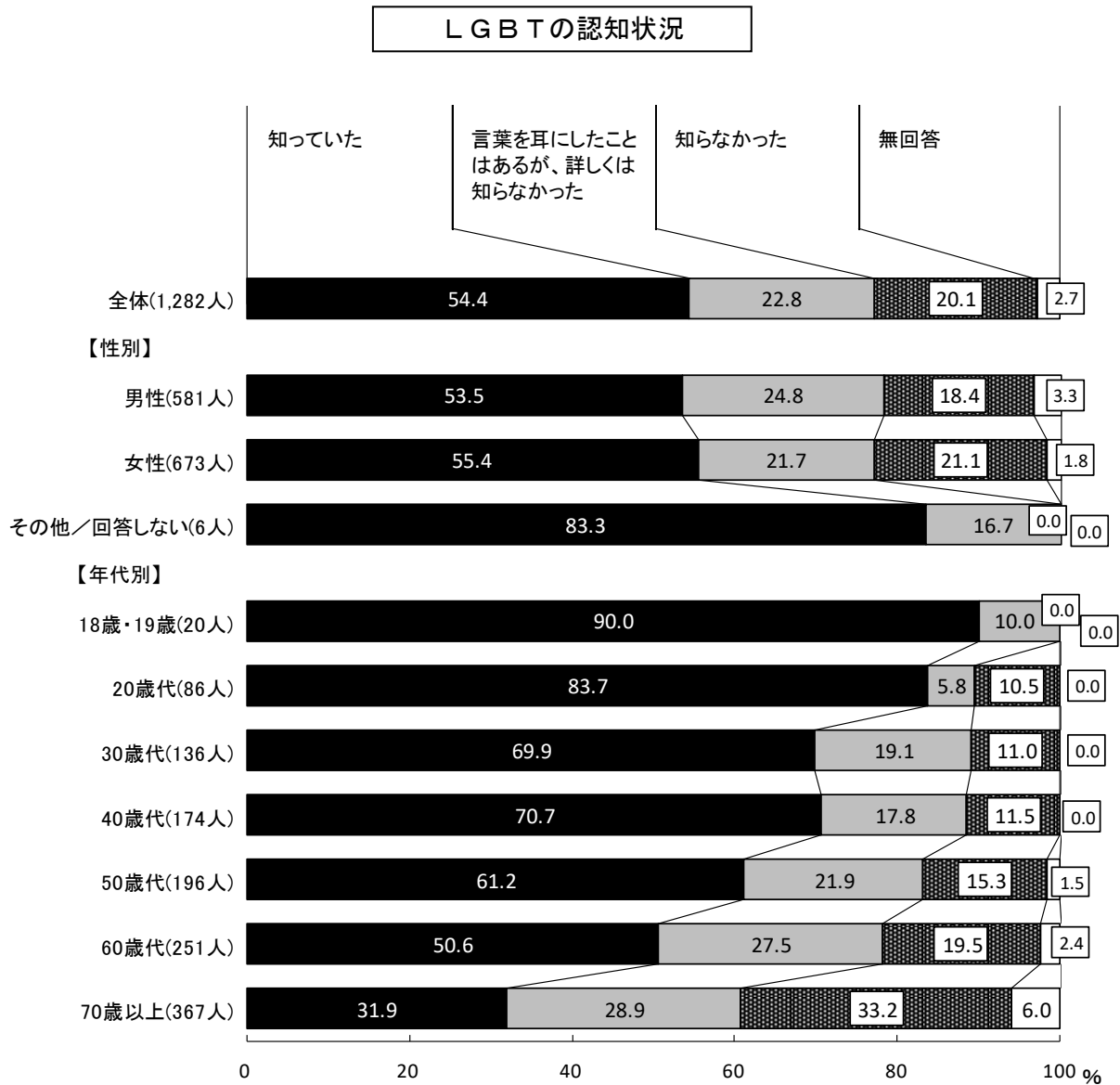
平成30年度調査と比較すると「インターネットによる人権侵害」は9.1ポイント、「LGBTなどの性的少数者」は6.2ポイント増加しています。

平成23年度調査以降「子ども」「外国人」「犯罪被害者など」「インターネットによる人権侵害」「アイヌの人々」、平成28年度調査以降、「LGBTなどの性的少数者」は増加傾向にあります。

7-2 LGBTの認知状況

◆「知っていた」54.4%、「言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった」22.8%◆

問 27 あなたは、LGBTという言葉を知っていましたか。またその意味を知っていましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「LGBTの認知状況」は新設の設問です。

全体では「知っていた」が54.4%、「言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった」が22.8%、「知らなかった」が20.1%と、「知っていた」が半数以上となっています。

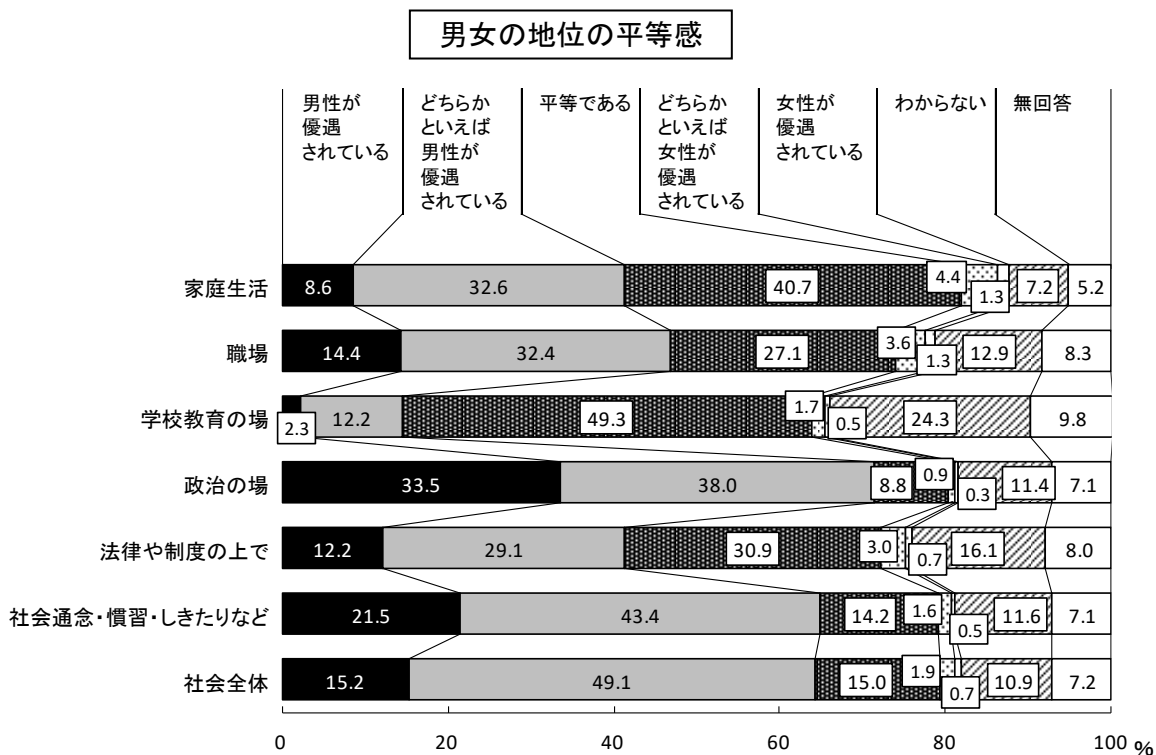
性別で見ると、男性と女性ではほとんど差はありませんが、その他/回答しないでは「知っていた」が83.3%と8割を超え高くなっています。

年代別で見ると「知っている」は年代が高くなるほど割合が減少傾向にあり、18歳・19歳で90.0%、70歳以上で31.9%となっています。「言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった」は60歳代以降で2割台後半となっています。

7-3 男女の地位の平等感

◆<学校教育の場>の平等感が最も高い◆

問 28 あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



<全体の概観と性・年代別>

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇と感じている”は<政治の場>で71.5%と最も高くなっています。次いで<社会通念・慣習・しきたりなど>が64.9%、と高くなっています。

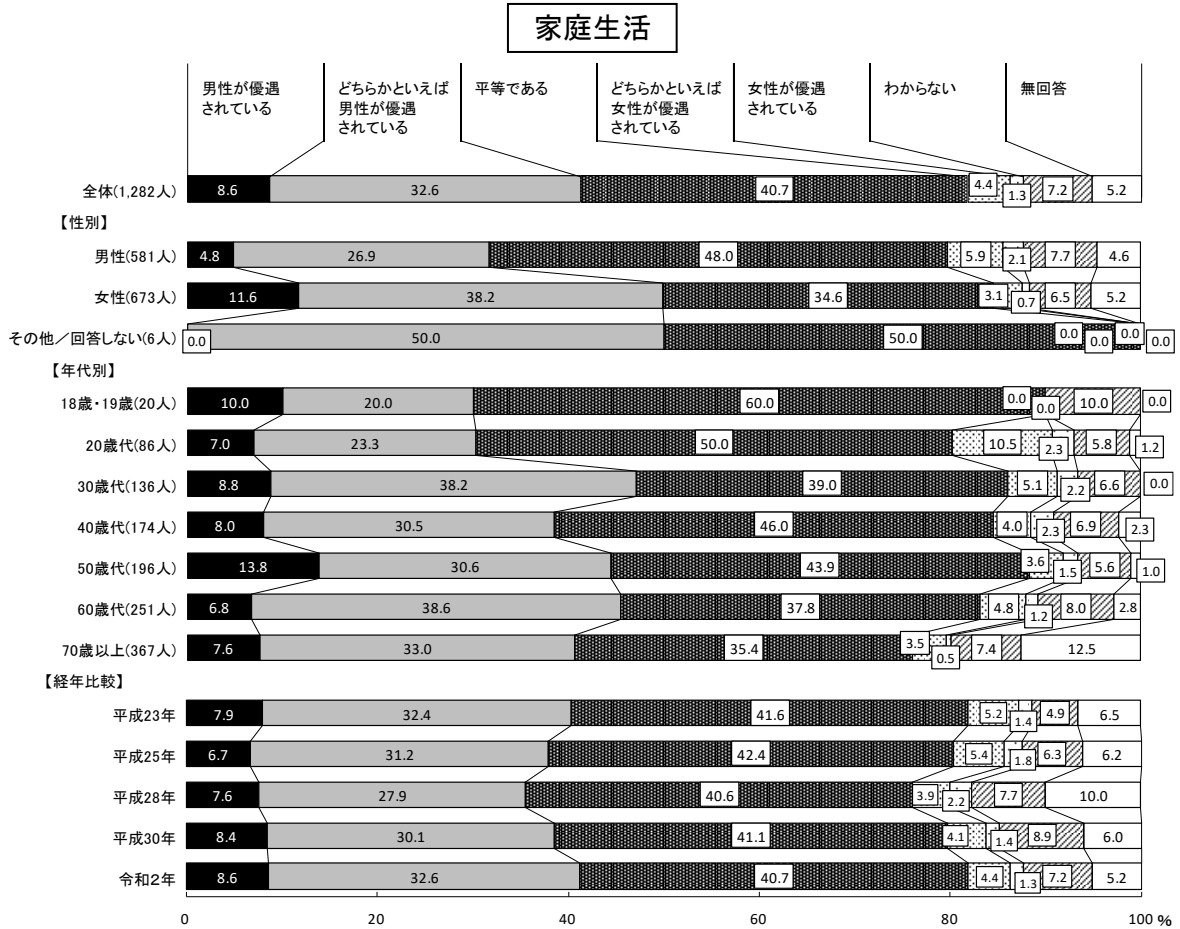
<学校教育の場>は「平等である」が49.3%と“男性優遇と感じている”(14.5%)を大きく上回っています。

性別で見ると“男性優遇と感じている”は、全ての項目で女性が男性を上回り、「平等である」でも女性が男性に比べて低くなっています。「平等である」に注目すると<法律や制度の上で>では17.7ポイントの差があります。

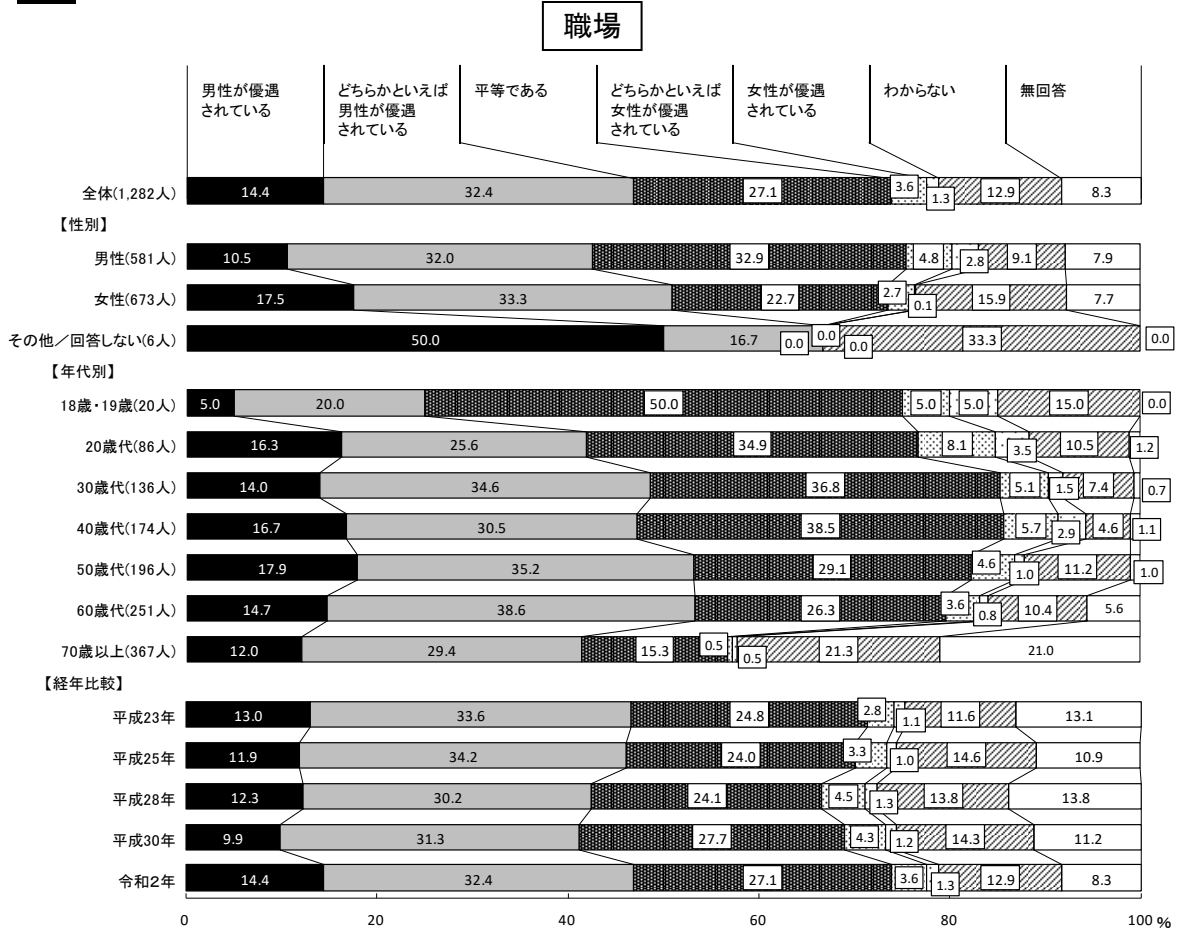
年代別で見ると“男性優遇と感じている”は<家庭生活>で30歳代、<職場><学校教育の場>で60歳代、<政治の場>で50歳代、<法律や制度の上で><社会通念・慣習・しきたりなど><社会全体>で40歳代が最も高い割合を示しています。

平成30年度調査と比較すると「平等である」は、<家庭生活><職場><政治の場>で減少しています。“男性優遇と感じている”は、全ての項目で増加しています。

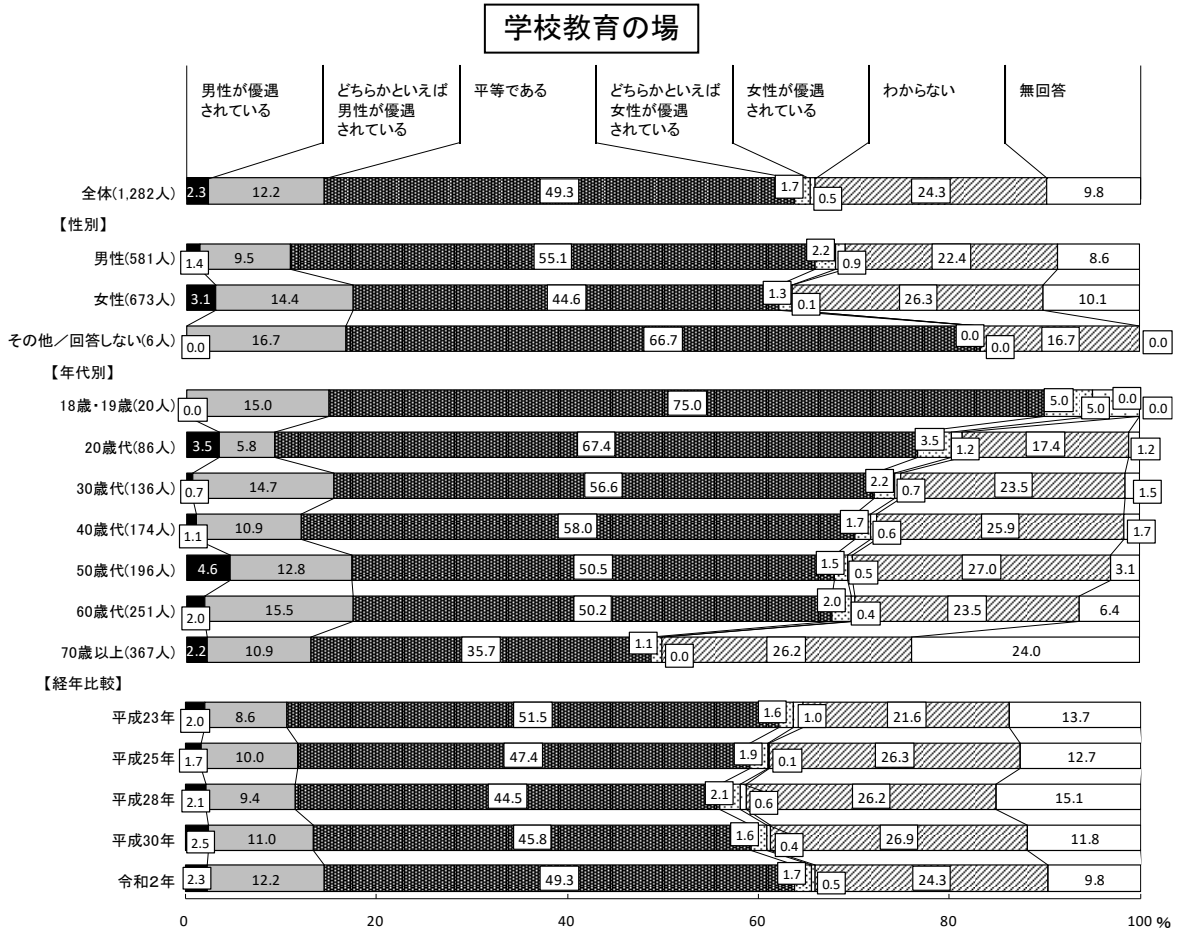
家庭生活 ◆「平等である」40.7%◆



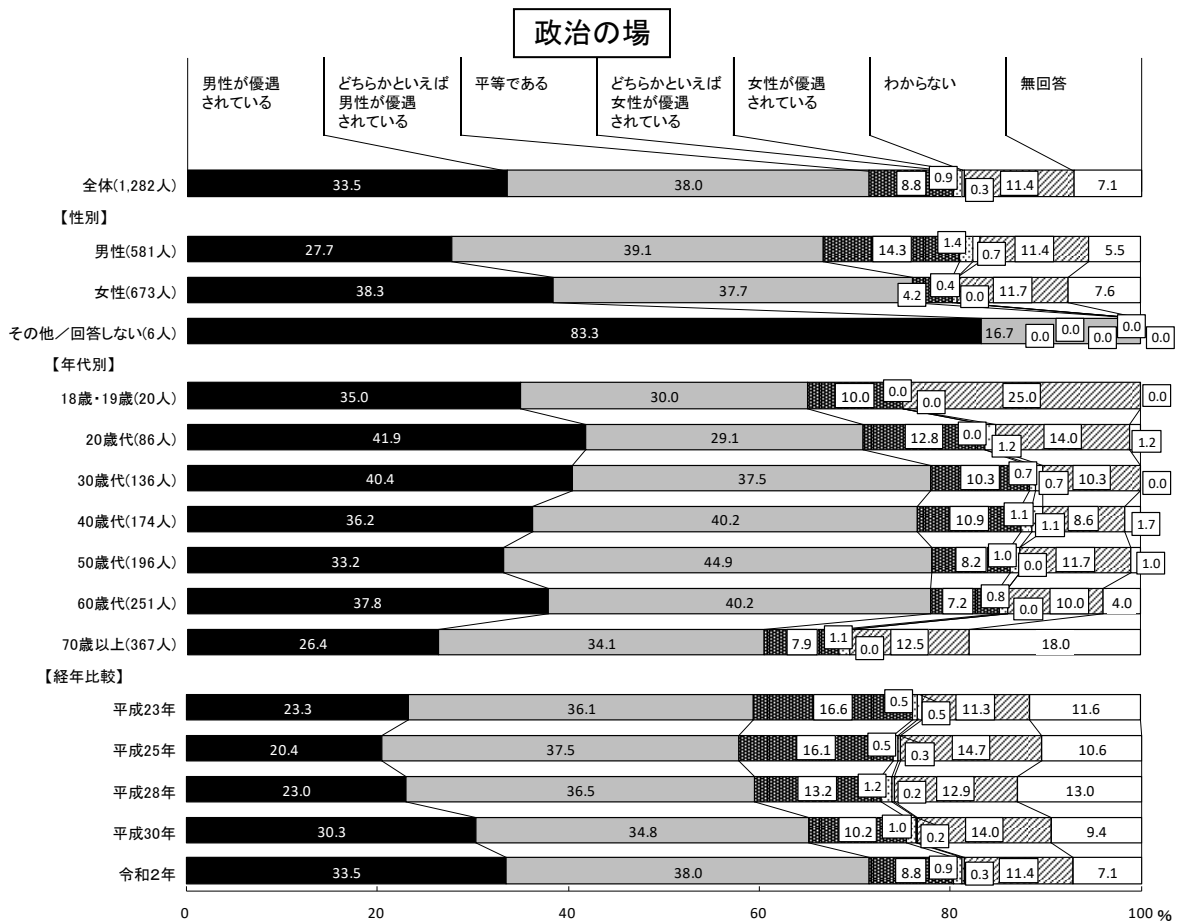
職場 ◆「平等である」27.1%◆



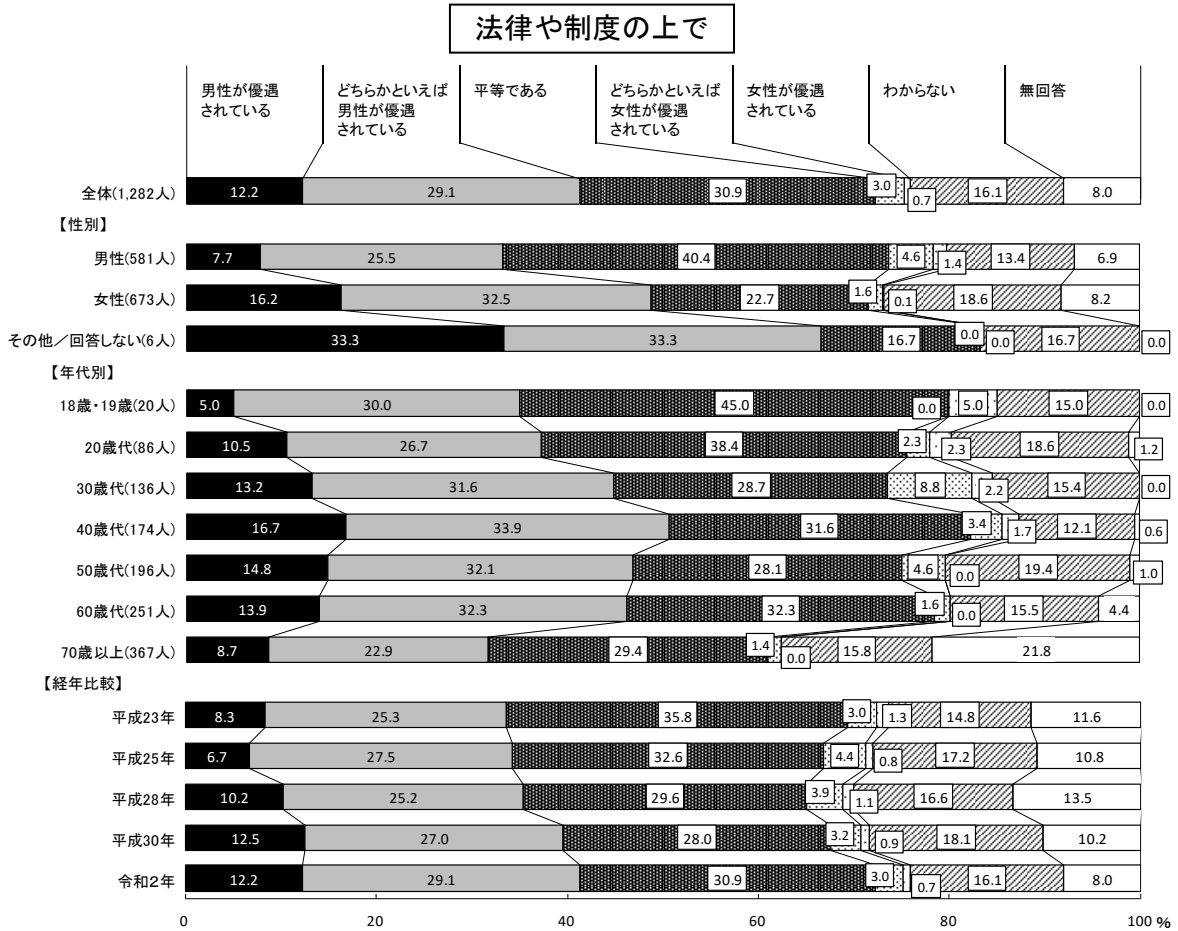
学校教育の場 ◆「平等である」49.3%◆



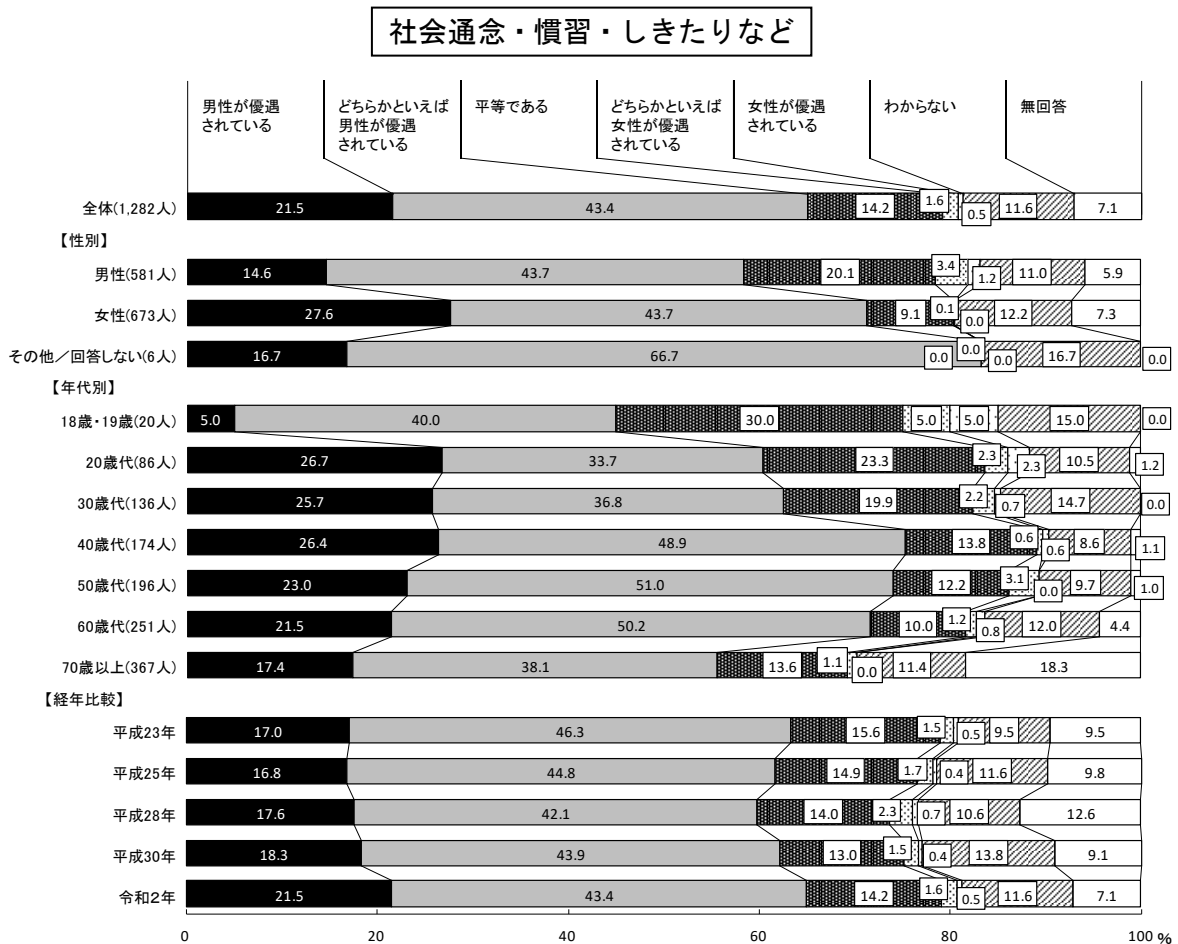
政治の場 ◆「平等である」8.8%◆



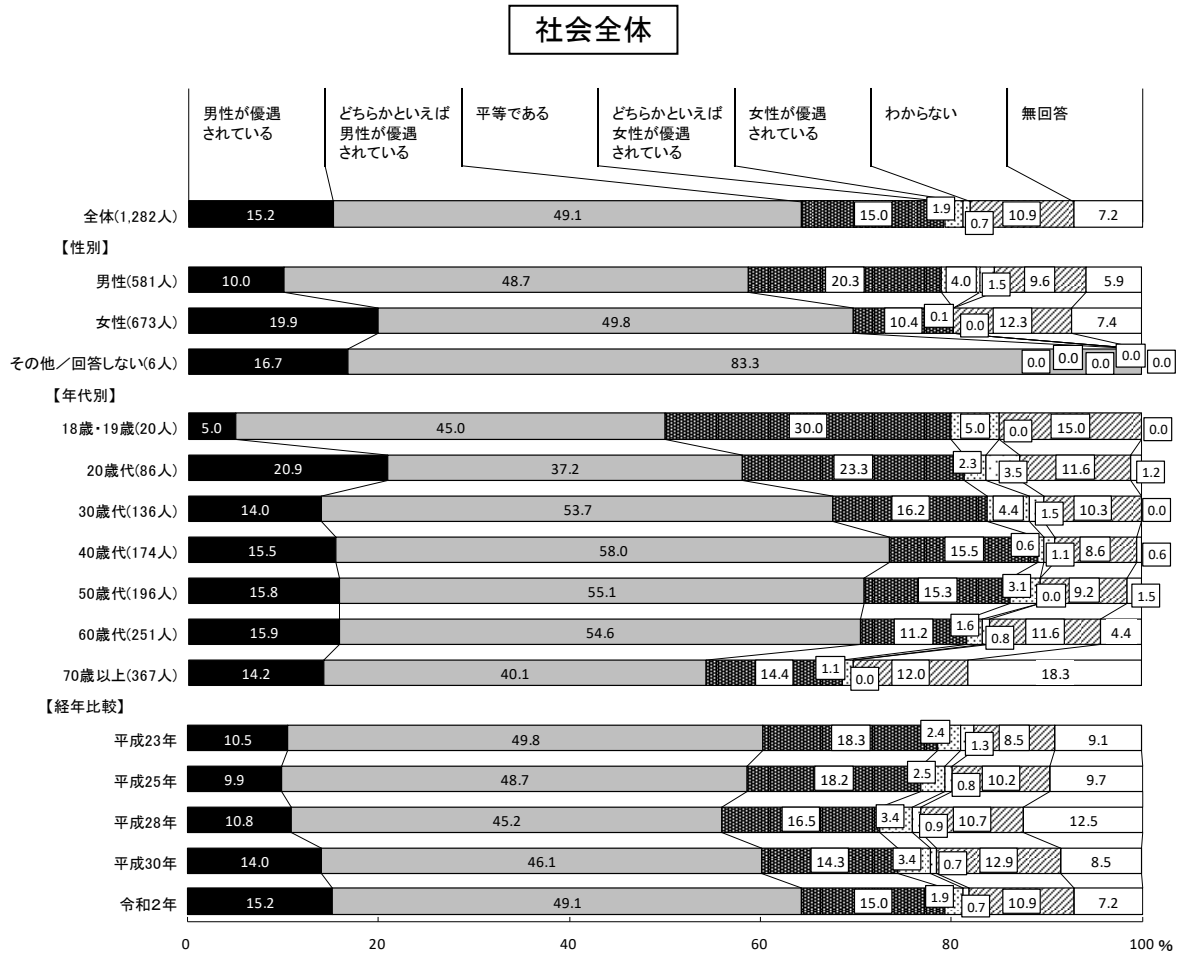
法律や制度の上で ◆「平等である」30.9%◆



社会通念・慣習・しきたりなど ◆「平等である」14.2%◆



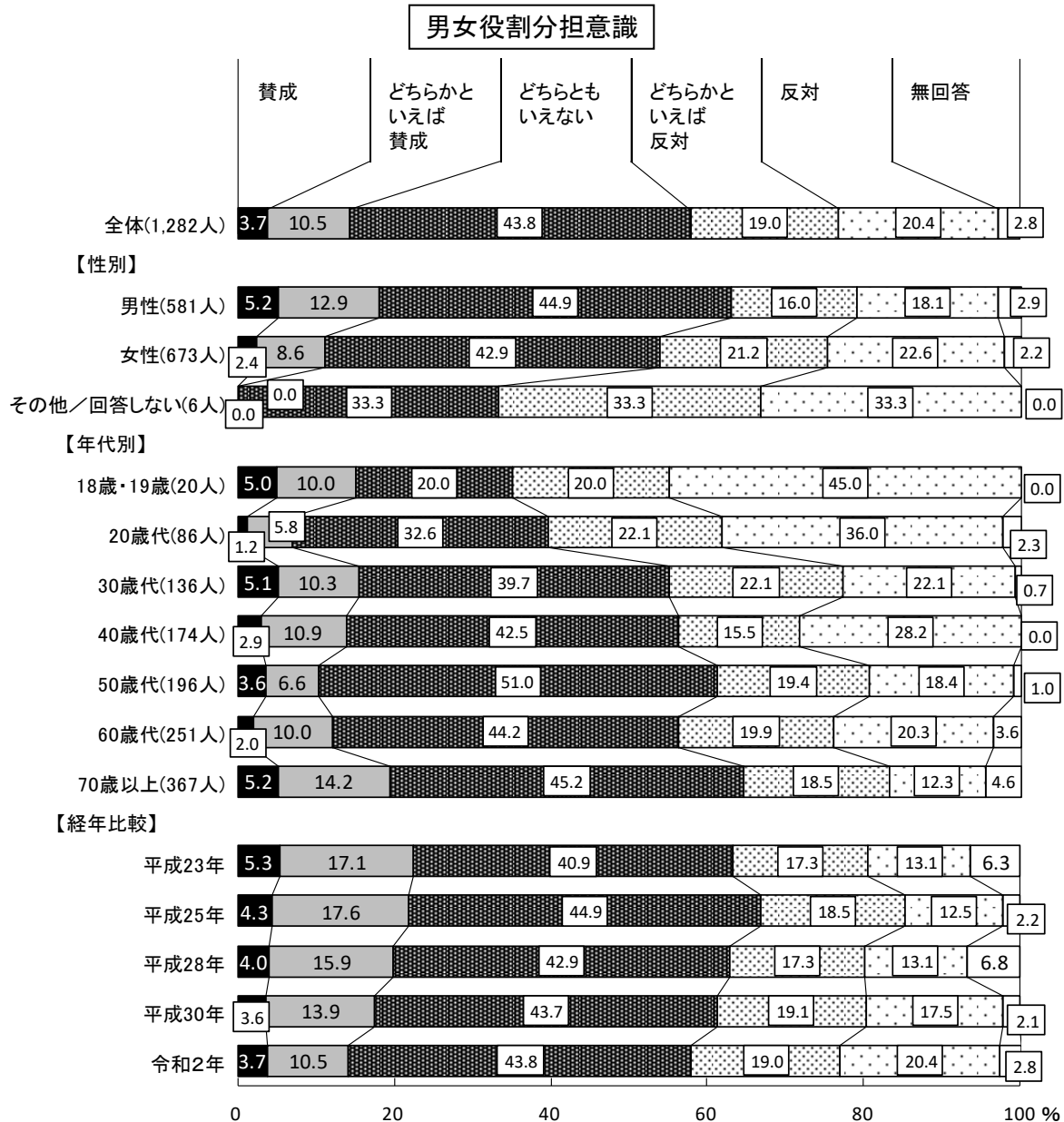
社会全体 ◆「平等である」15.0%◆



7-4 男女役割分担意識

◆ “賛成である” 14.2%、“反対である” 39.4%◆

問 29 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。
1つ選び、番号を○で囲んでください。



※平成23年度調査において「わからない」(3.5%)を選択した方は、「無回答」(2.8%)と合計して掲載しています。

全体では「賛成」が3.7%、「どちらかといえば賛成」が10.5%で“賛成である”は14.2%となっています。一方「反対」が20.4%、「どちらかといえば反対」が19.0%で“反対である”は39.4%となっており、“賛成である”(14.2%)を25.2ポイント上回っています。

性別で見ると、男性・女性ともに“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、男性ではその差が16.0ポイントであるのに対して、女性ではその差が32.8ポイントと開きがあります。

年代別で見ると、全ての年代で“反対である”が“賛成である”を上回っていますが、70歳以上ではその差が11.4ポイントと最も小さくなっています。

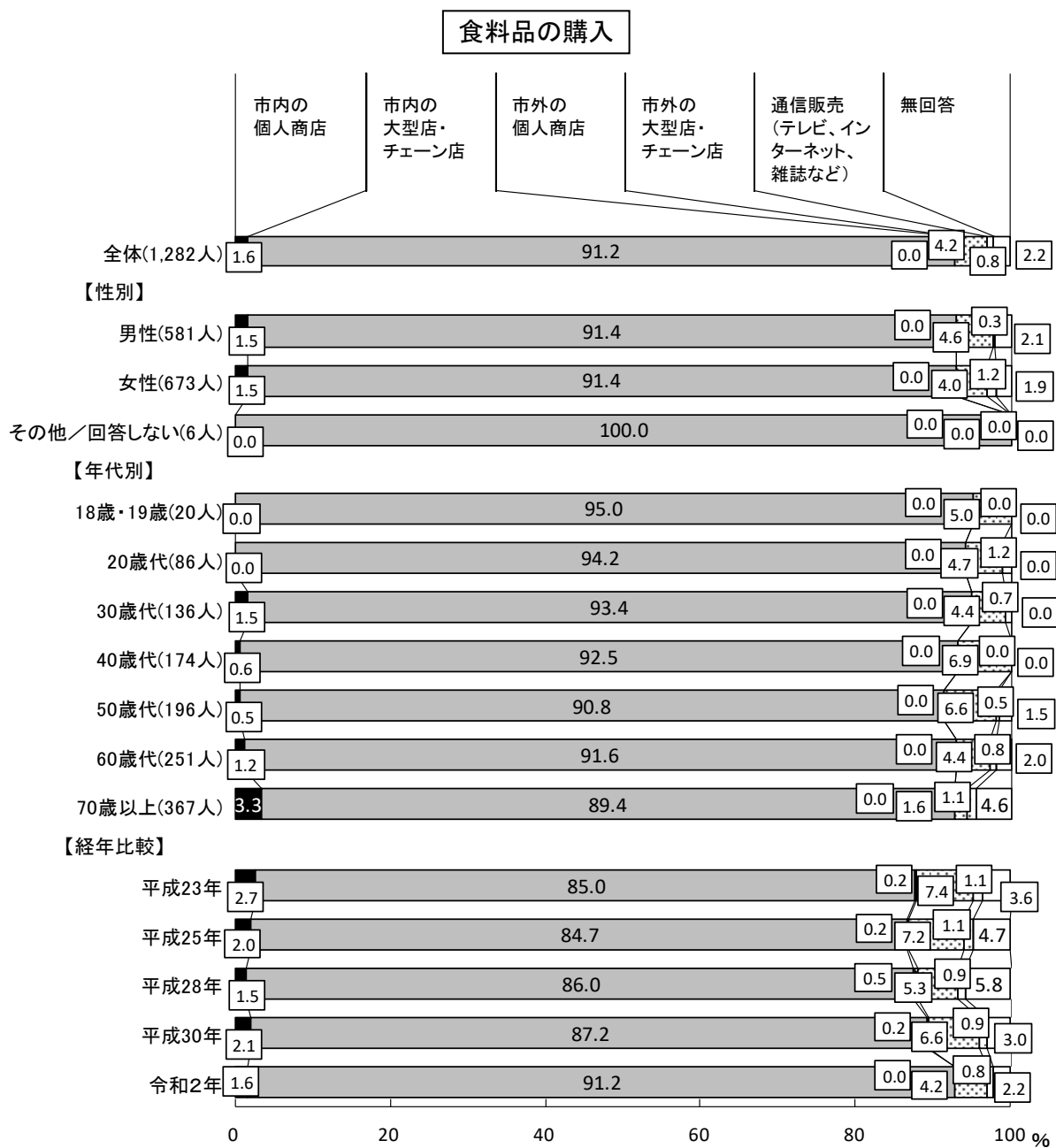
平成23年度調査以降、“賛成である”は減少、“反対である”は増加傾向にあります。

8 購買行動について

8-1 商品の購入状況

- ◆「市内の大型店・チェーン店」での購入は、食料品 91.2%、衣服・服飾品 63.3%、家具・家電 68.4%◆

問 30 あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

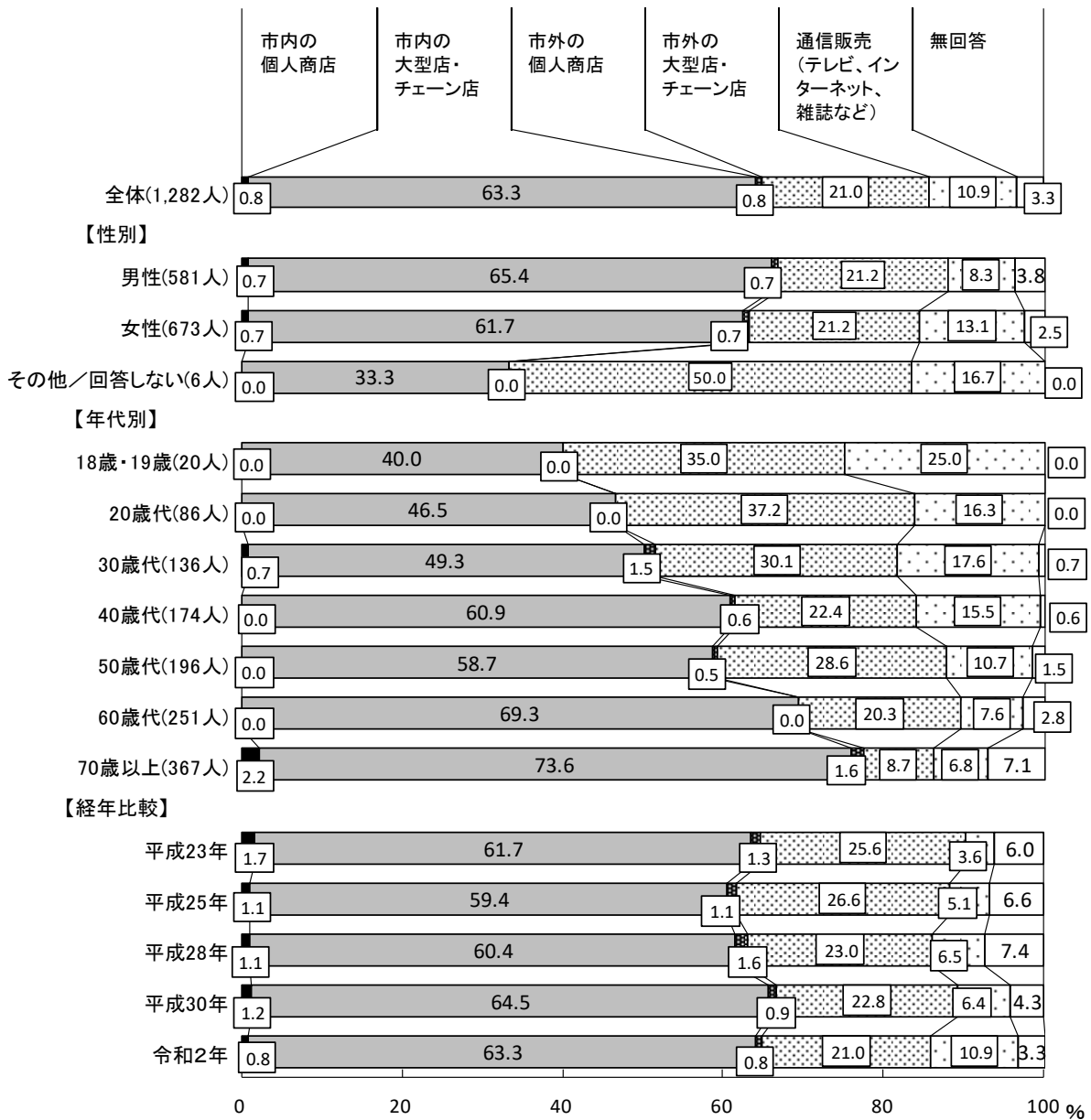


全体では「市内の大型店・チェーン店」が91.2%を占めています。

年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は70歳以上を除く全ての年代で9割以上となっており、特に18歳・19歳で95.0%と高くなっています。

平成30年度調査と比較すると「市内の大型店・チェーン店」が4.0ポイント増加しています。

衣服・服飾品の購入



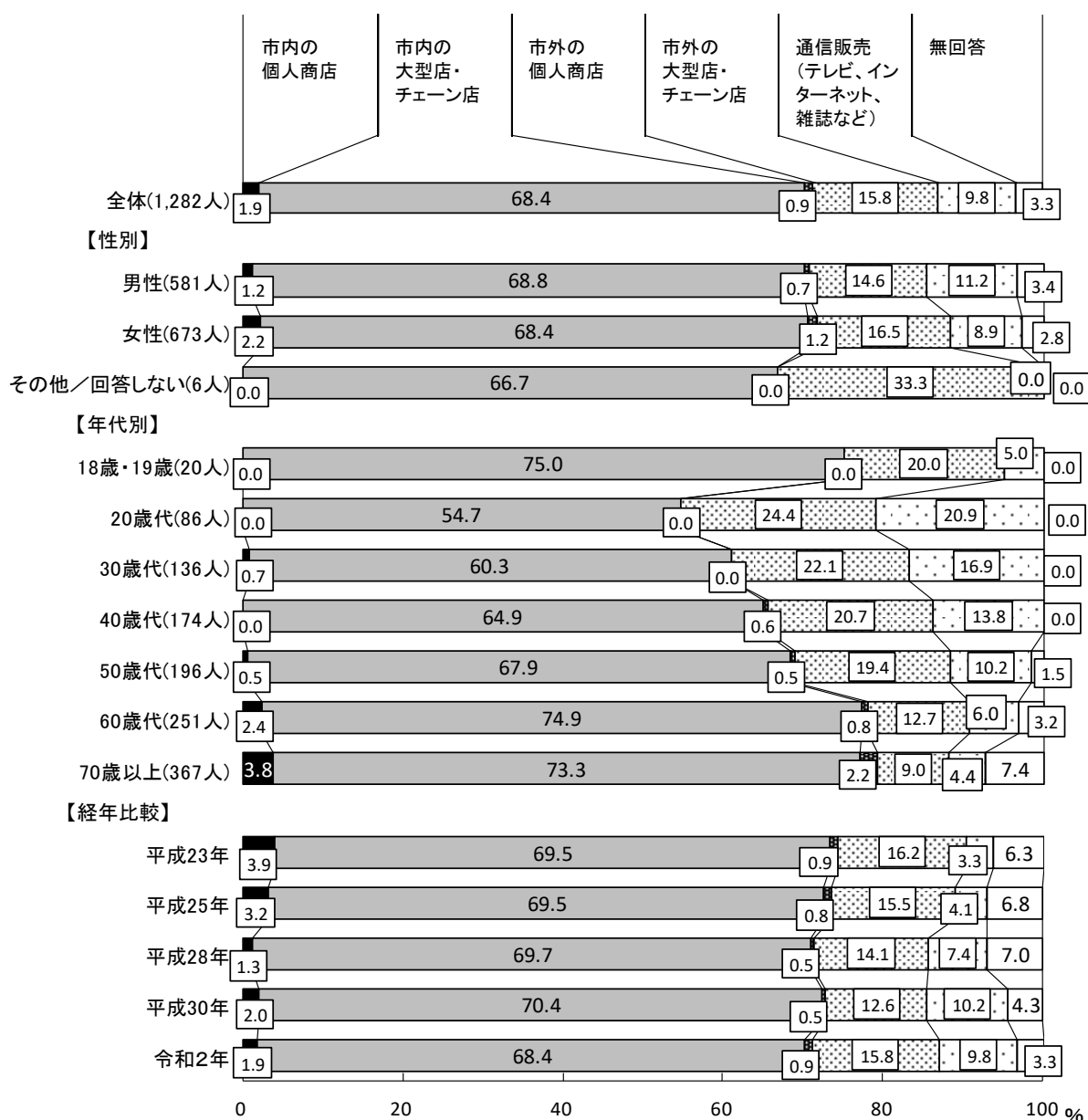
全体では「市内の大型店・チェーン店」が 63.3%と最も高く、「市外の大型店・チェーン店」が 21.0%、「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」が 10.9%となっています。

性別で見ると「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」は、女性 (13.1%) が男性 (8.3%) を 4.8 ポイント上回っています。

年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、70歳以上では 73.6%となっています。一方、18歳・19歳と 20歳代では「市外の大型店・チェーン店」が 3割台半ばとなっています。また「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」は 18歳・19歳で 25.0%と他の年代に比べ高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」が 4.5 ポイント増加しています。

家具・家電の購入



全体では「市内の大型店・チェーン店」が 68.4%と最も高く、「市外の大型店・チェーン店」が 15.8%となっています。

性別で見ると「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」は男性 (11.2%) が女性 (8.9%) を 2.3 ポイント上回っています。

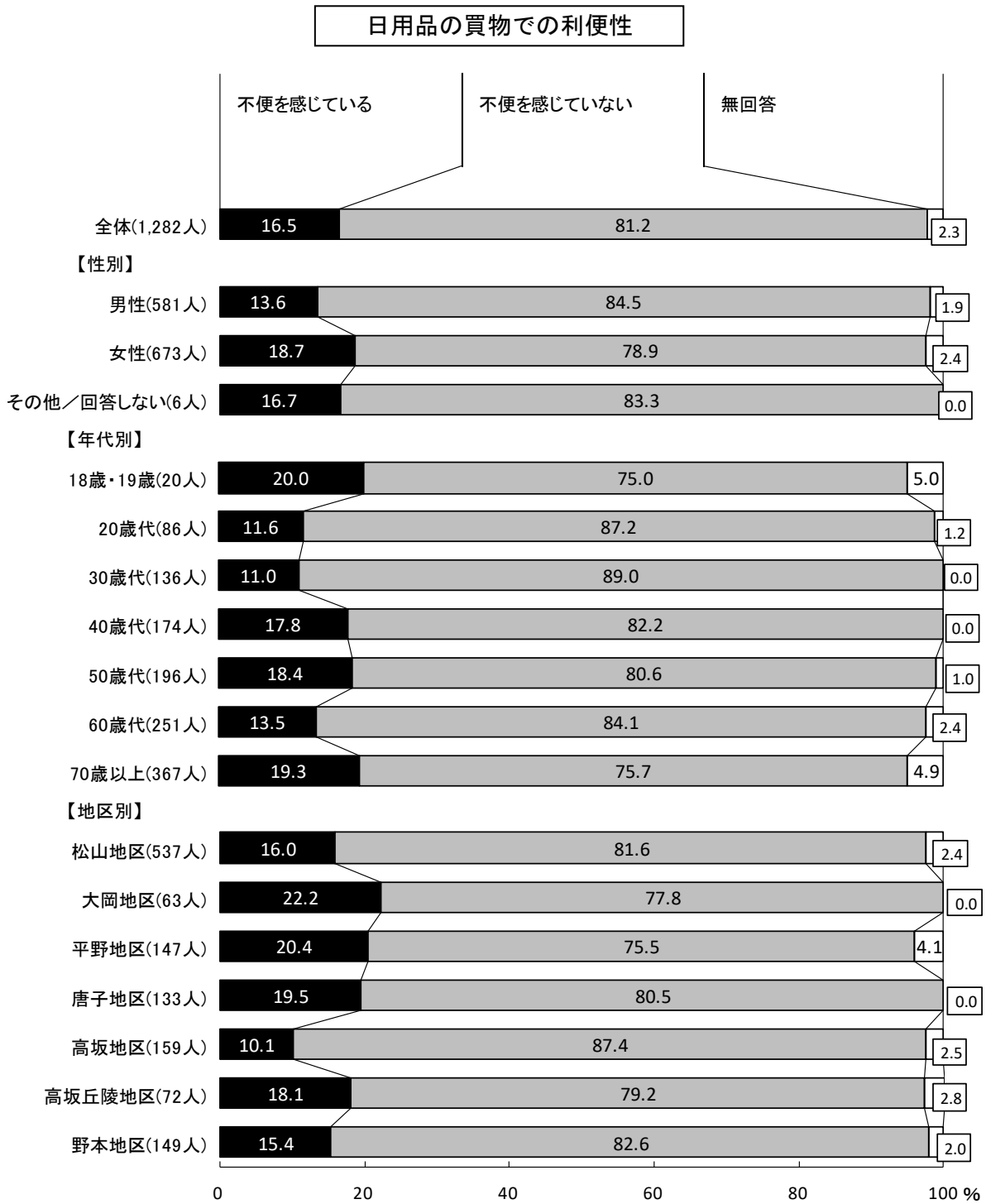
年代別で見ると「市内の大型店・チェーン店」は 18 歳・19 歳、60 歳代以降で 7 割以上と高くなっています。また「通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)」は 20 歳代で 20.9%と他の年代に比べ高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると「市外の大型店・チェーン店」が 3.2 ポイント増加しています。

8-2 日用品の買物での利便性

◆「不便を感じている」16.5%、「不便は感じていない」81.2%◆

問 31 あなたは、食料品などの日用品の買物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



全体で見ると「不便を感じている」が16.5%、「不便は感じていない」が81.2%で、「不便は感じていない」が大半を占めています。

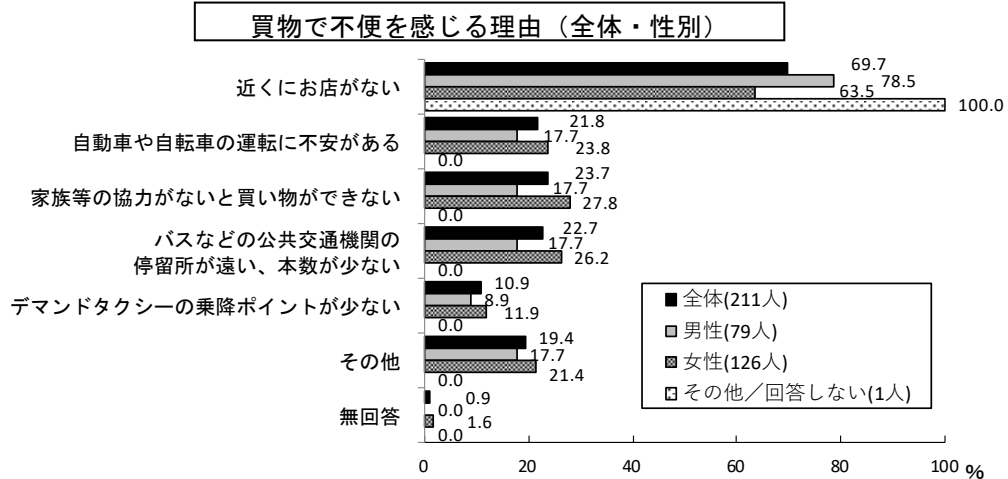
年代別で見ると「不便を感じている」は18歳・19歳で20.0%と最も高くなっています。

地区別で見ると「不便を感じている」は大岡地区で22.2%と最も高くなっています。

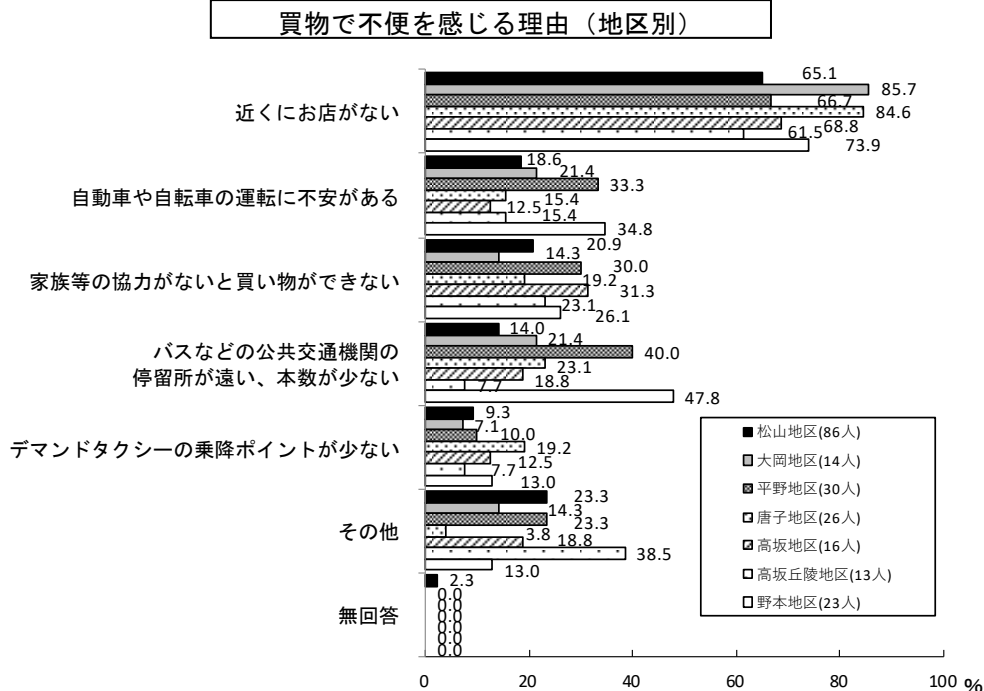
8-3 買物で不便を感じる理由

◆「近くにお店がない」69.7%◆

(問 31 で「不便を感じている」とお答えの方におたずねします)
 問 31-1 どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「近くにお店がない」が69.7%と群を抜いて高く、次いで「家族等の協力がないと買い物ができない」(23.7%)、「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない」(22.7%)と続いています。性別で見ると「近くにお店がない」で男性(78.5%)が女性(63.5%)を15.0ポイント上回り、「家族等の協力がないと買い物ができない」で女性(27.8%)が男性(17.7%)を10.1ポイント上回っています。



地区別で見ると「近くにお店がない」は、大岡地区で85.7%、唐子地区で84.6%と高くなっています。「自動車や自転車の運転に不安がある」は、平野地区が33.3%、野本地区が34.8%と他の地区と比べ高くなっています。「家族等の協力がないと買い物ができない」は、平野地区が30.0%、高坂地区が31.3%で3割以上と他の地区に比べ高くなっています。「バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない」は、平野地区が40.0%、野本地区が47.8%と高くなっています。「その他」では、高坂丘陵地区が38.5%と最も高くなっており、「スーパーマーケットが近くにない」という記述が見受けられます。

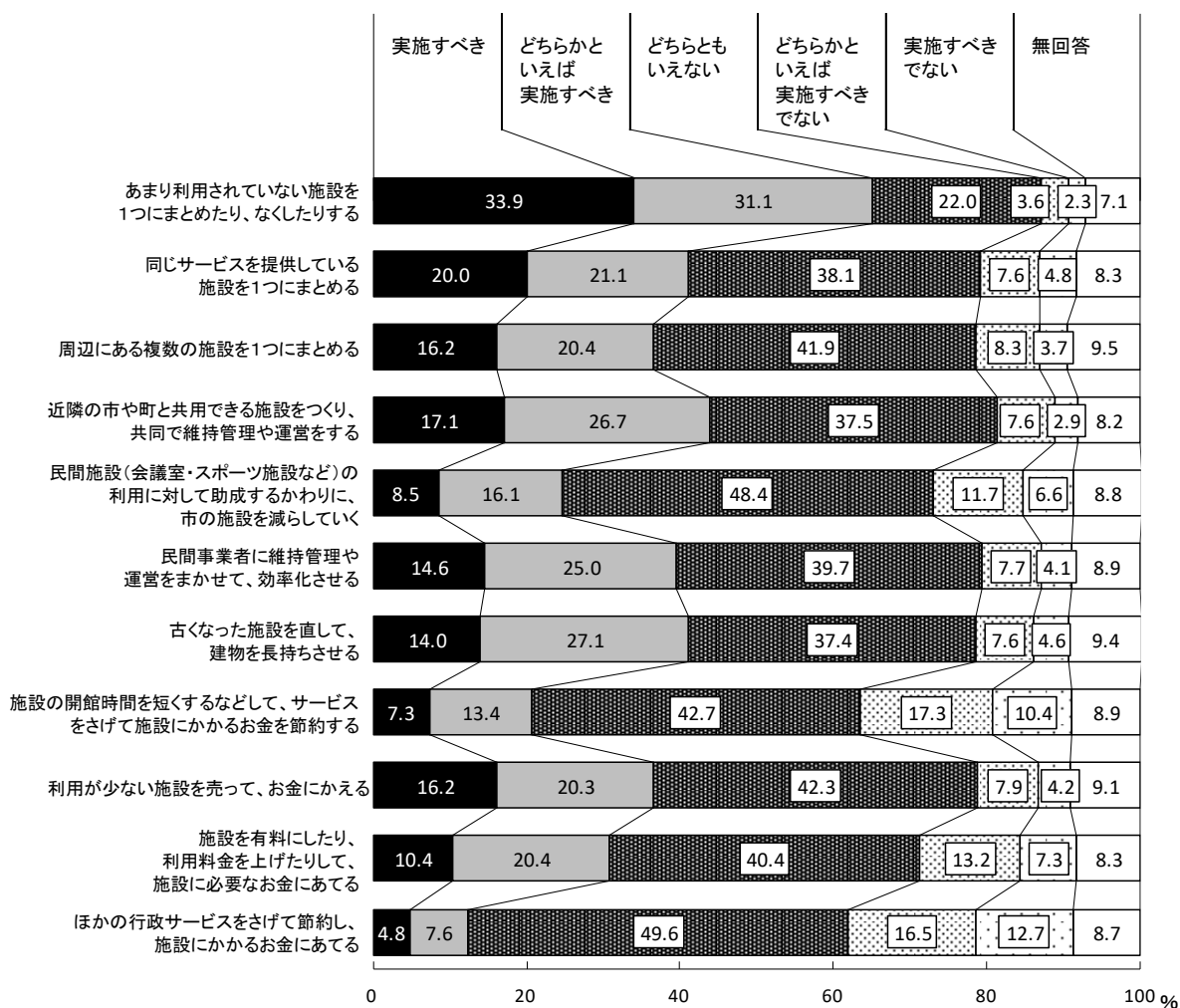
9 公共施設について

9-1 公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと

◆〈あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする〉 65.0%◆

問 32 公共施設（市の建物）に対する考え方についておたずねします。今後、限られた市の財源の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと



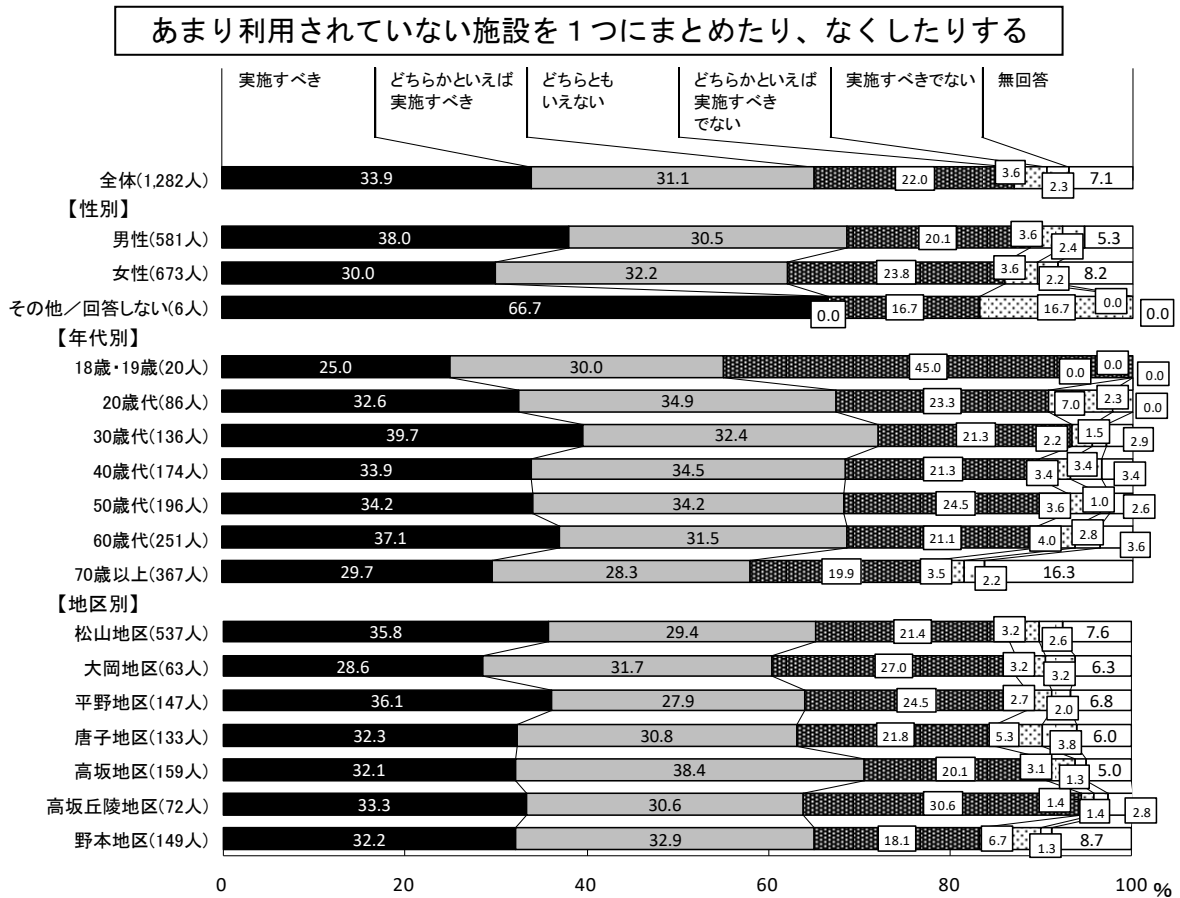
※「公共施設（市の建物）を維持するためにすべきこと」は新設の設問です。

「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた“実施すべき”は〈あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする〉で65.0%と最も高くなっています。また「実施すべきでない」と「どちらかといえば実施すべきでない」を合わせた“実施すべきでない”は〈ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる〉で29.2%と最も高くなっています。

“実施すべきでない”が“実施すべき”を上回る項目は〈施設の開館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する〉〈ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる〉の2項目であり、それ以外の項目では“実施すべき”が“実施すべきでない”を上回っています。

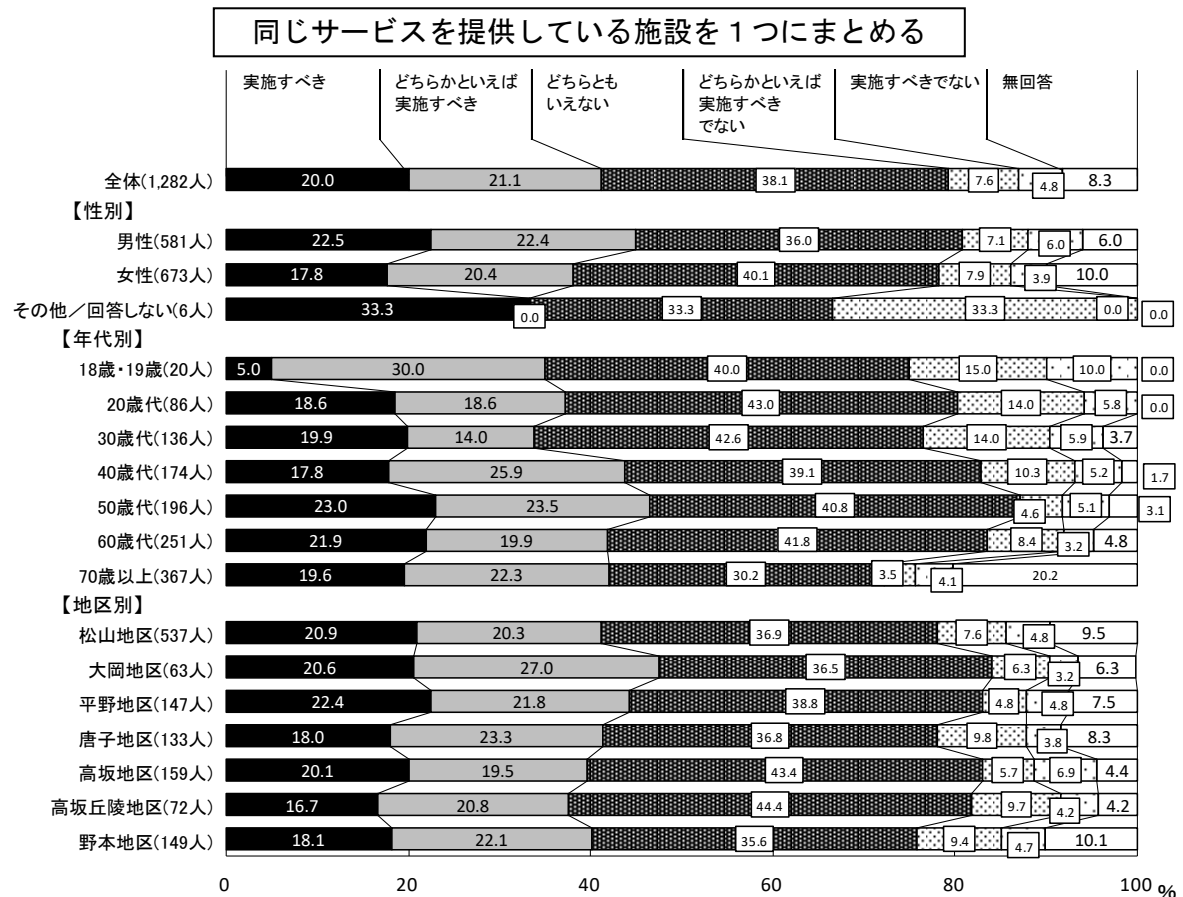
あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする

◆ “実施すべき” 65.0%、“実施すべきでない” 5.9% ◆



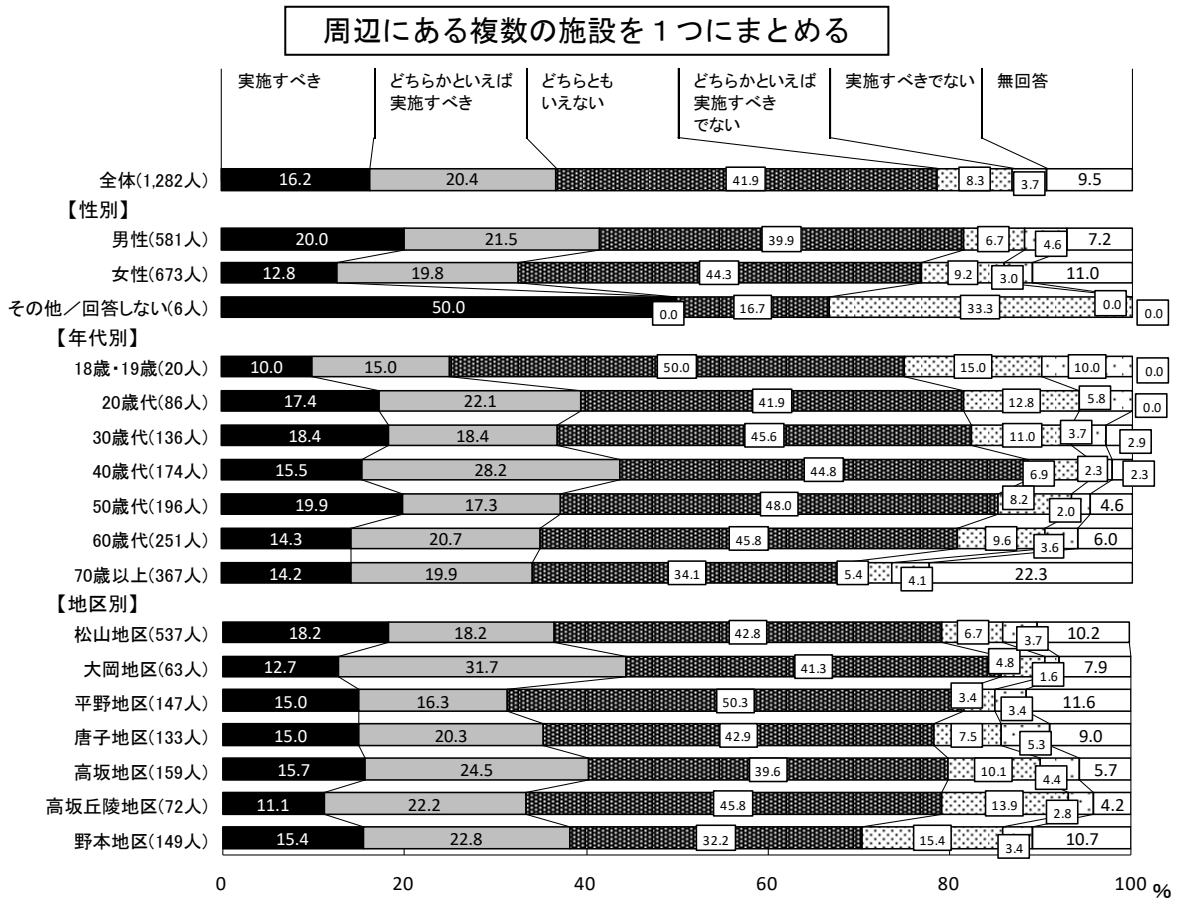
同じサービスを提供している施設を1つにまとめる

◆ “実施すべき” 41.1%、“実施すべきでない” 12.4% ◆



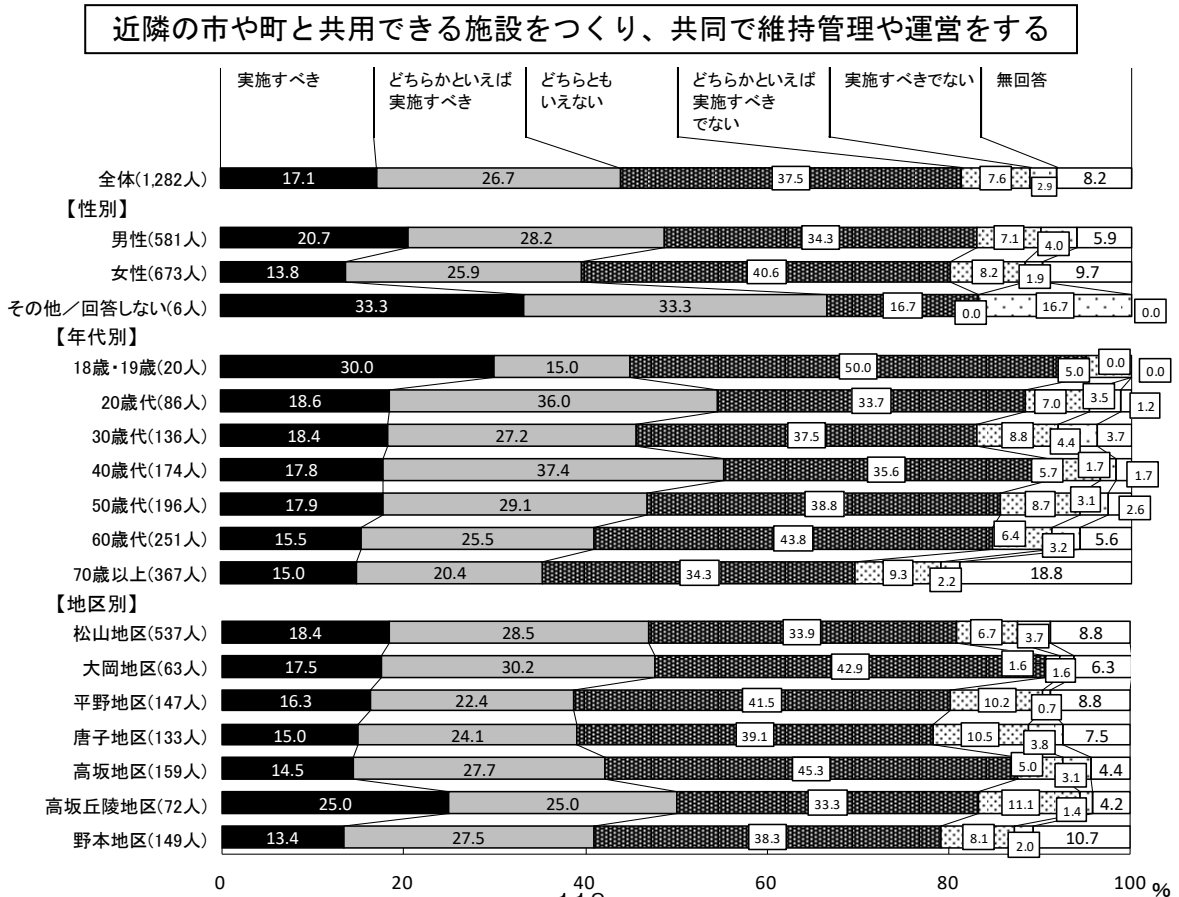
周辺にある複数の施設を1つにまとめる

◆ “実施すべき” 36.6%、“実施すべきでない” 12.0% ◆



近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする

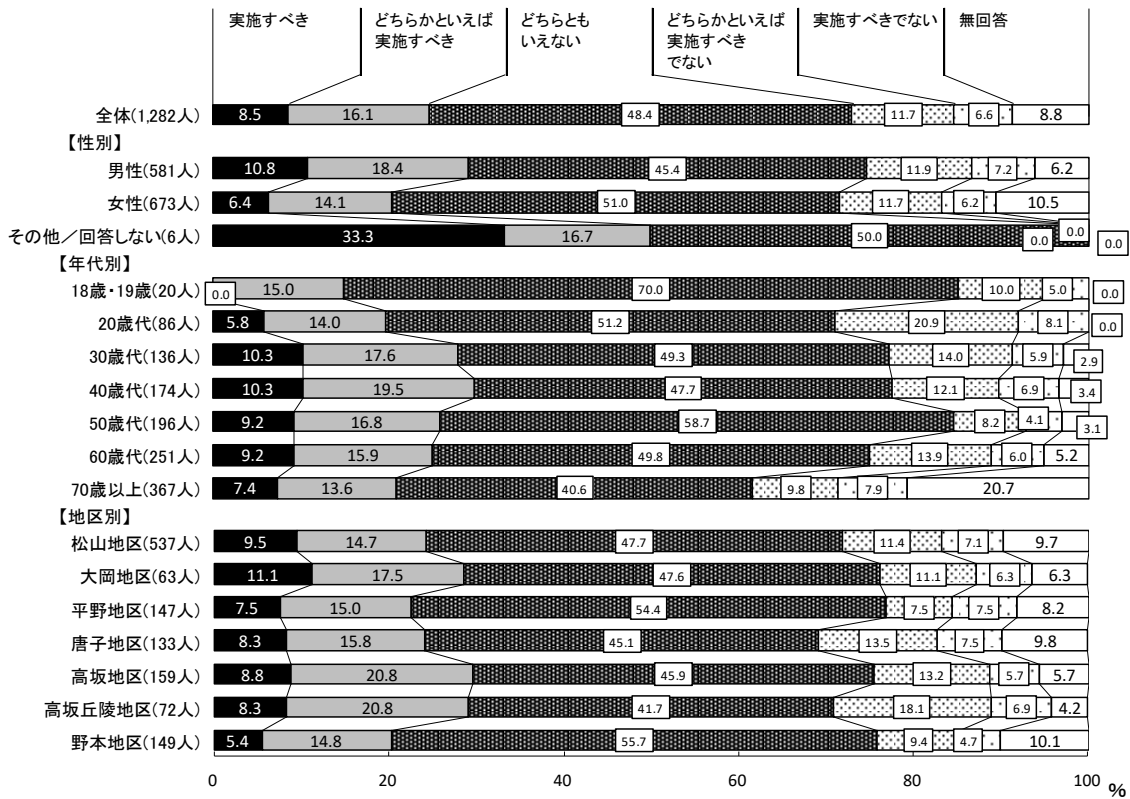
◆ “実施すべき” 43.8%、“実施すべきでない” 10.5% ◆



民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく

◆ “実施すべき” 24.6%、“実施すべきでない” 18.3%◆

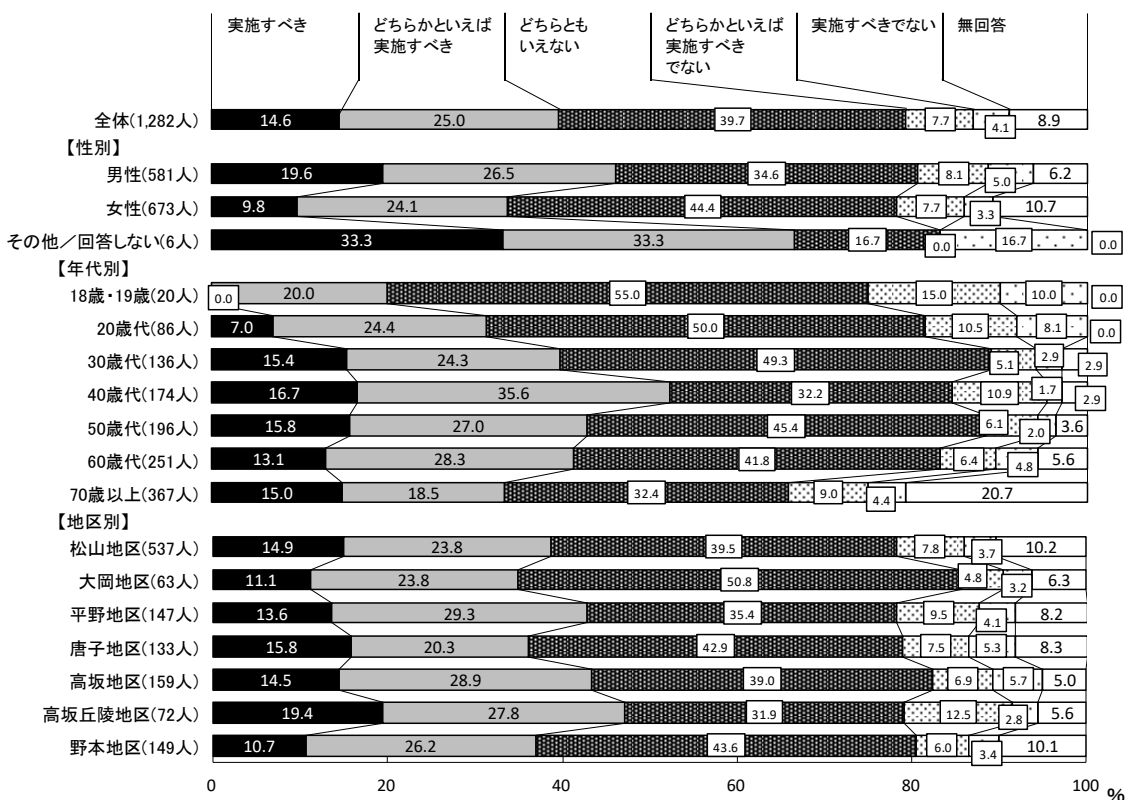
民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく



民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる

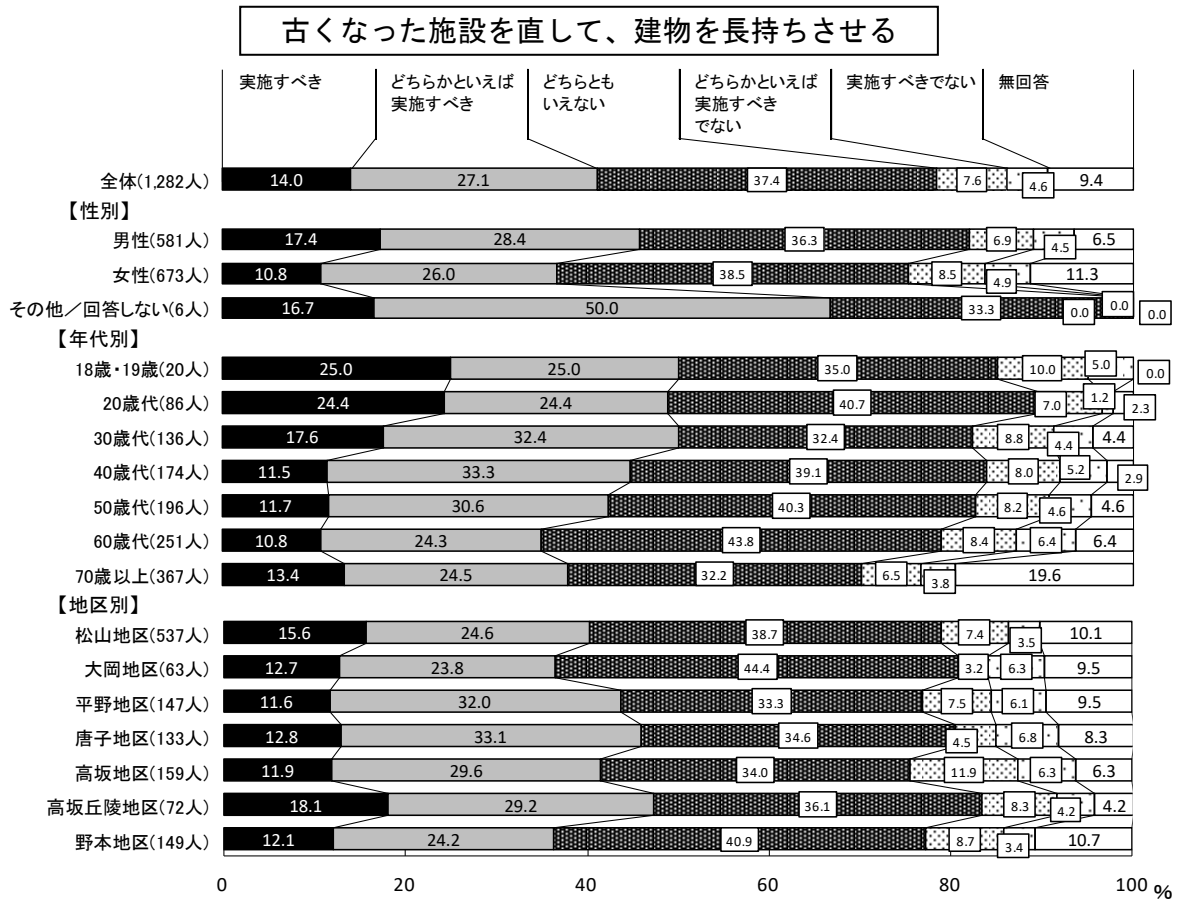
◆ “実施すべき” 39.6%、“実施すべきでない” 11.8%◆

民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる



古くなった施設を直して、建物を長持ちさせる

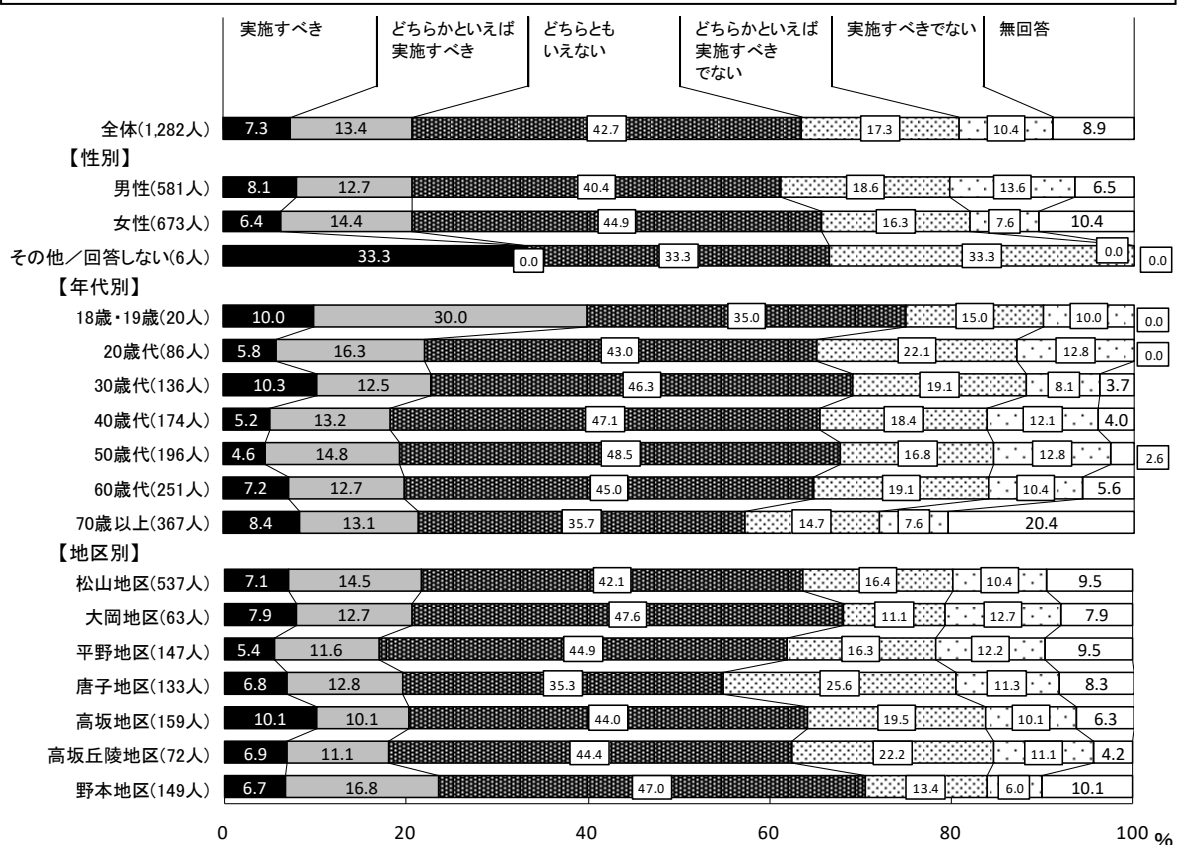
◆ “実施すべき” 41.1%、“実施すべきでない” 12.2% ◆



施設の閉館時間を短くするなど、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する

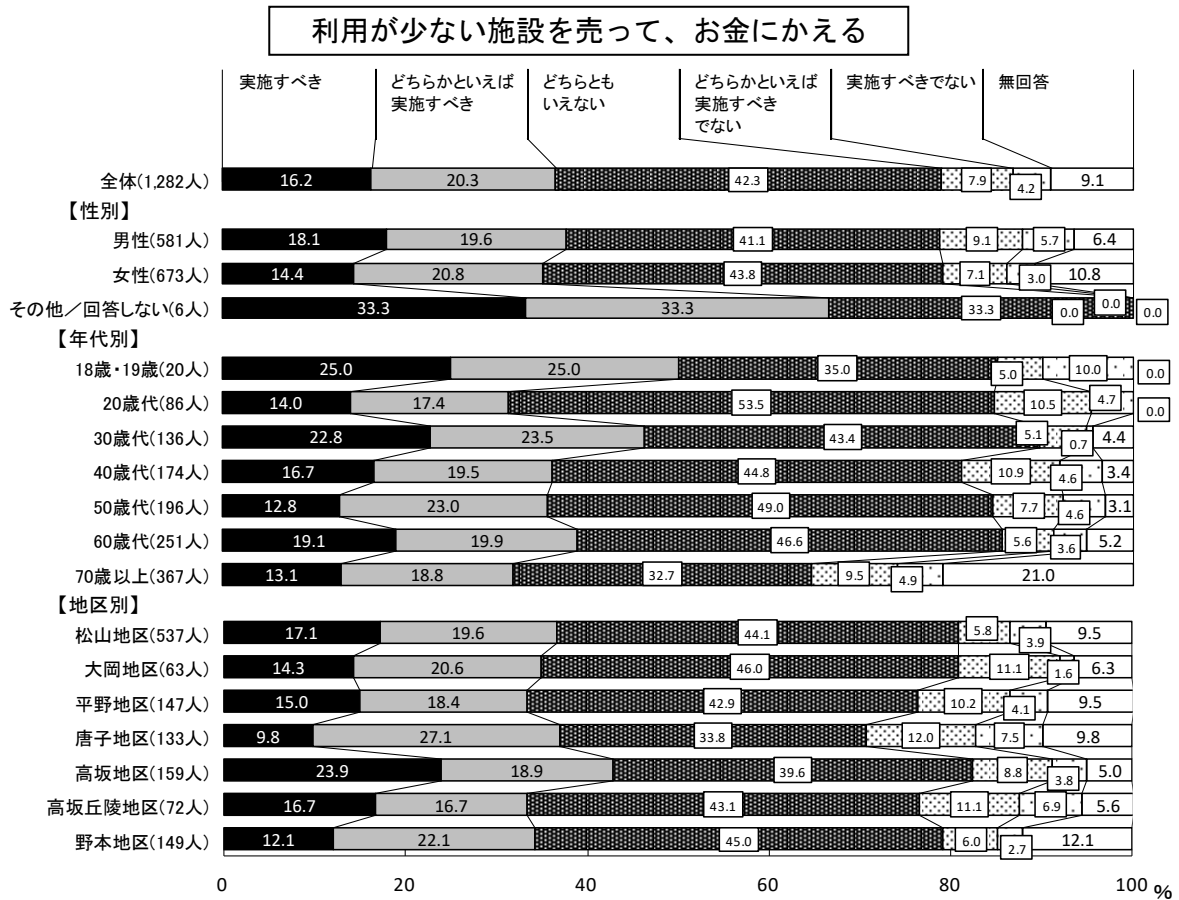
◆ “実施すべき” 20.7%、“実施すべきでない” 27.7% ◆

施設の閉館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する



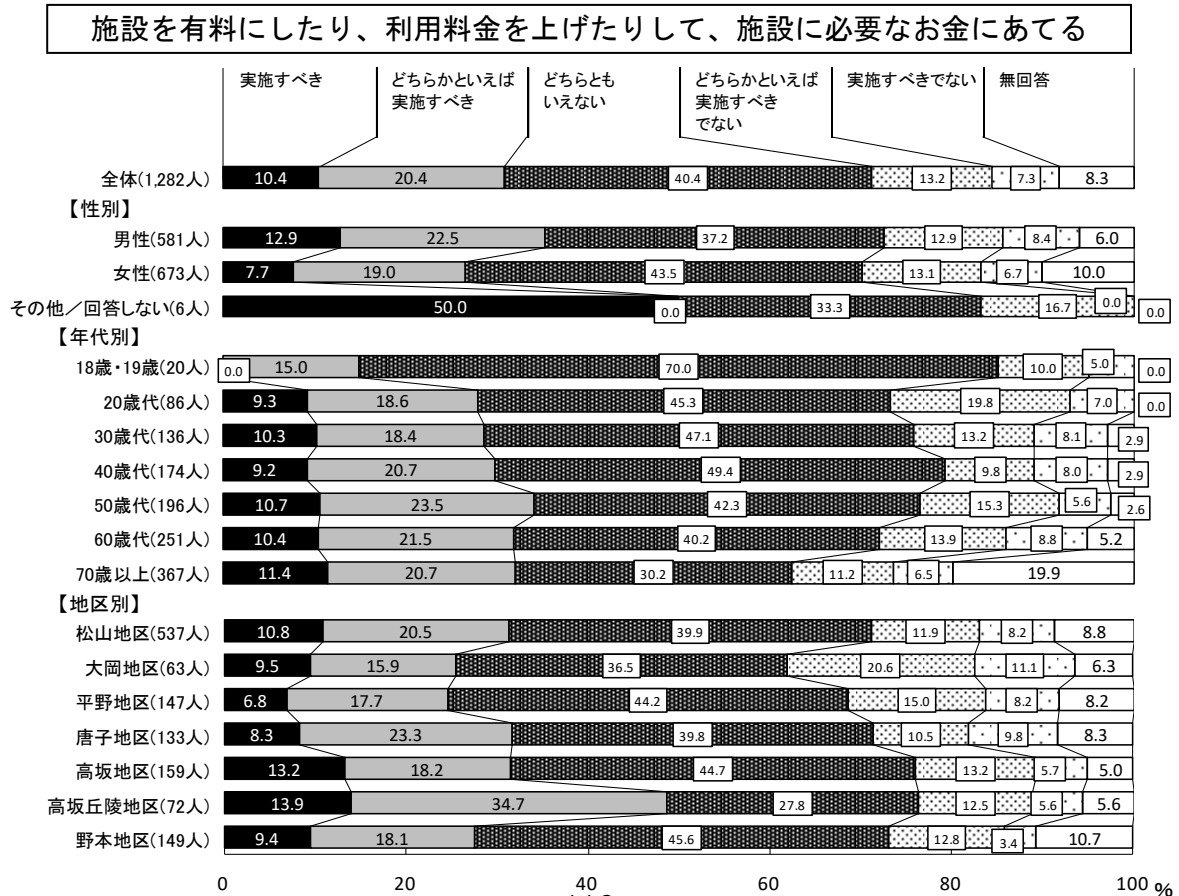
利用が少ない施設を売って、お金にかえる

◆ “実施すべき” 36.5%、“実施すべきでない” 12.1%◆



施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる

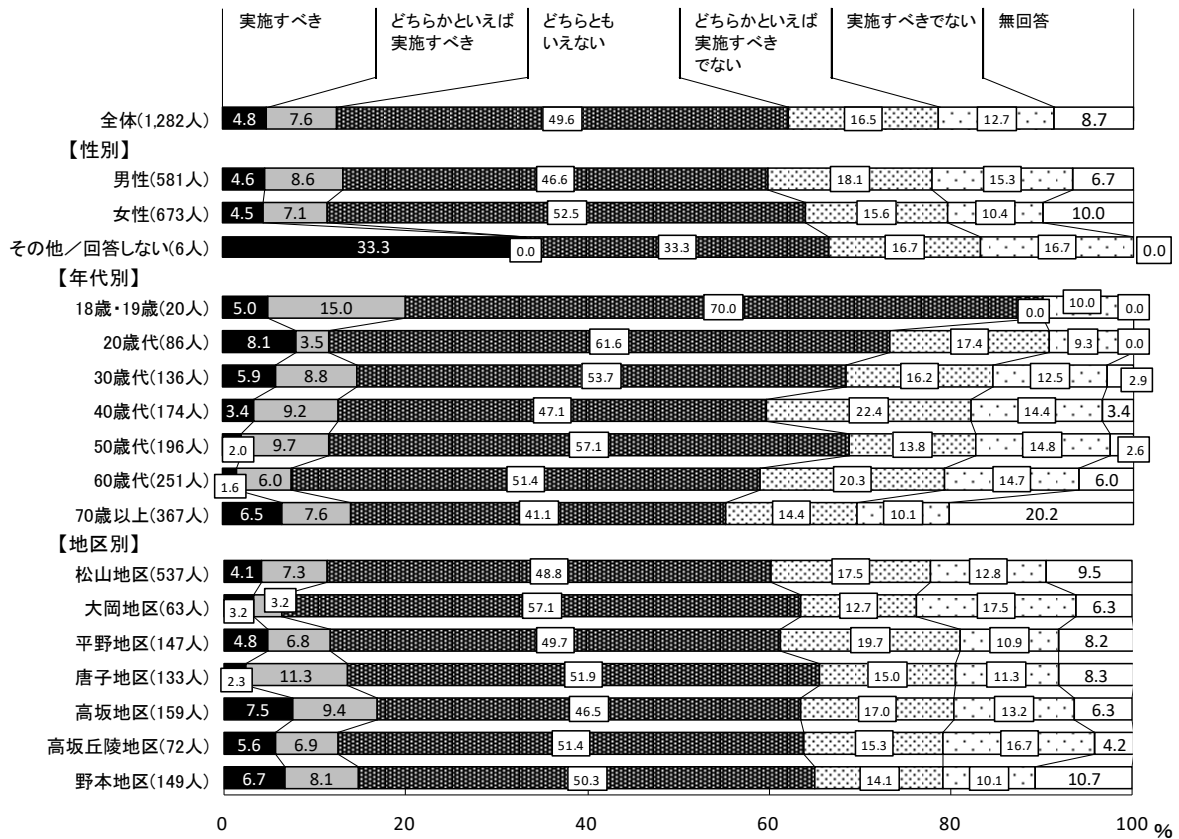
◆ “実施すべき” 30.8%、“実施すべきでない” 20.5%◆



ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる

◆ “実施すべき” 12.4%、“実施すべきでない” 29.2%◆

ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる

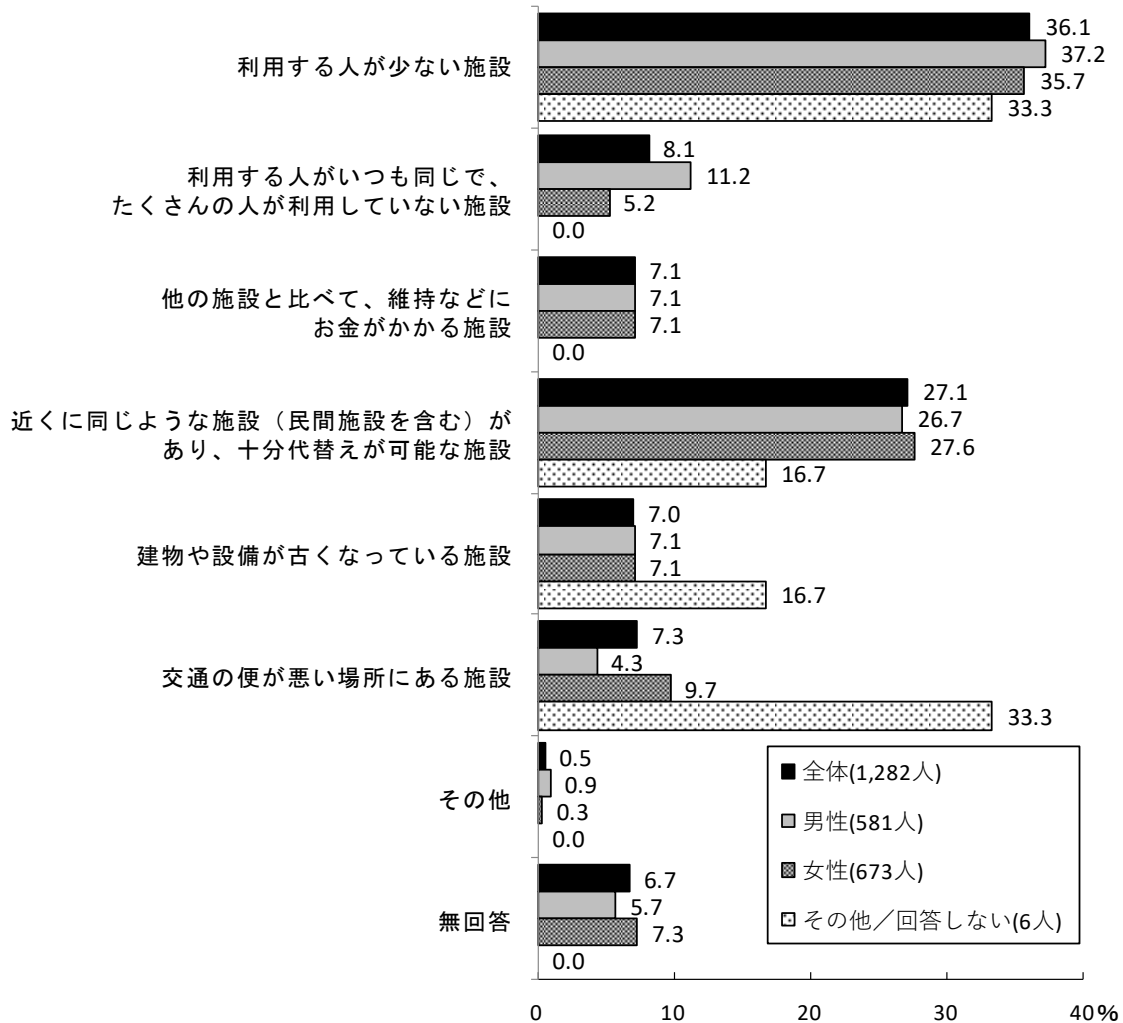


9-2 減らしていくべき公共施設（市の建物）

◆「利用する人が少ない施設」36.1%◆

問 33 今後、公共施設（市の施設）を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

減らしていくべき公共施設（市の建物）（全体・性別）

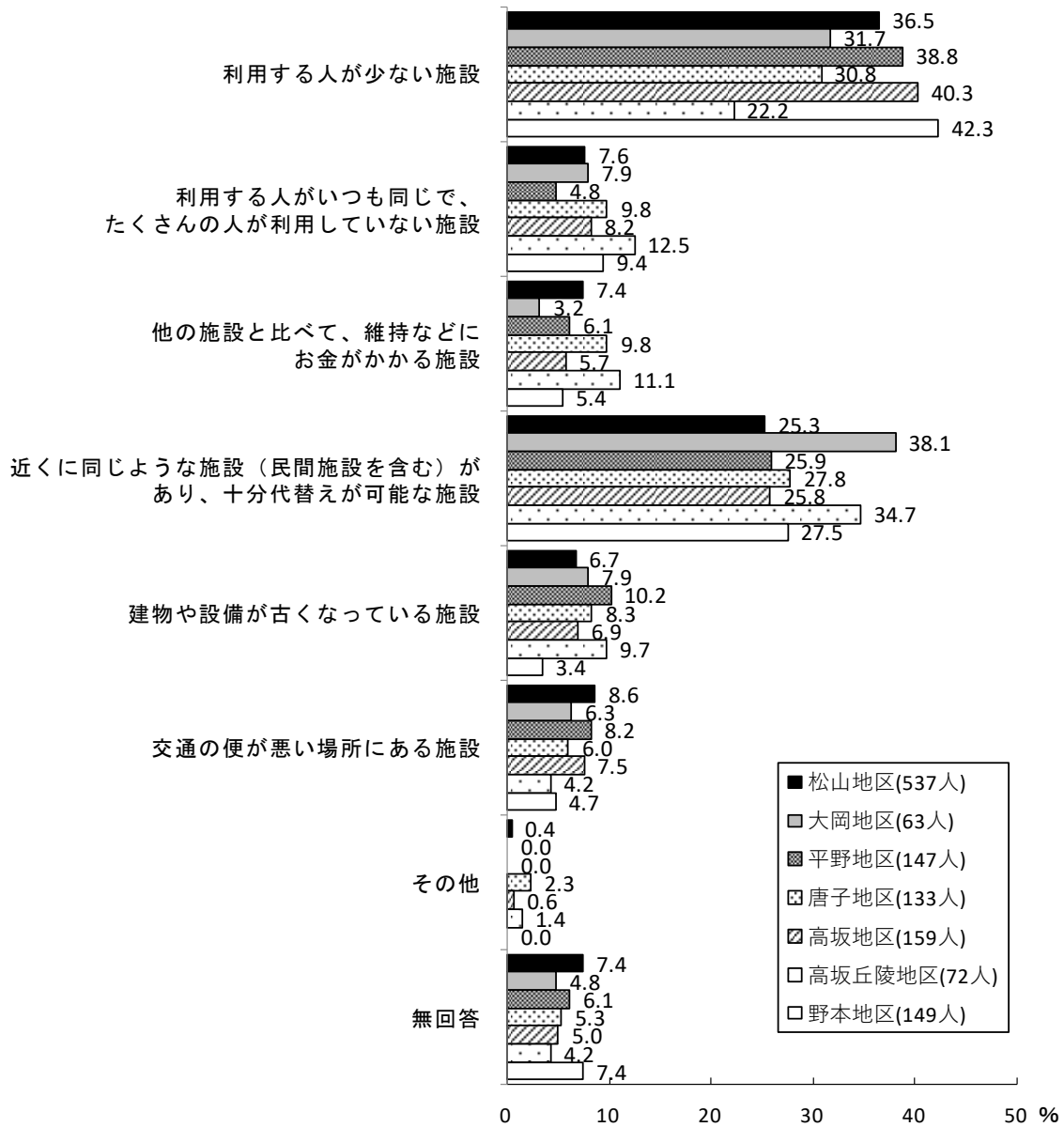


※「減らしていくべき公共施設（市の建物）」は新設の設問です。

全体では「利用する人が少ない施設」が36.1%と最も高く、次いで「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」（27.1%）と続いています。

性別で見ると「利用する人がいつも同じで、たくさんの方が利用していない施設」で男性（11.2%）が女性（5.2%）を6.0ポイント上回っています。一方「交通の便が悪い場所にある施設」では女性（9.7%）が男性（4.3%）を5.4ポイント上回っています。

減らしていくべき公共施設（市の建物）（地区別）



地区別で見ると「利用する人が少ない施設」は野本地区で42.3%と最も高く、高坂丘陵地区で22.2%と最も低くなっています。また「近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設」は大岡地区で38.1%、高坂丘陵地区で34.7%と高くなっています。

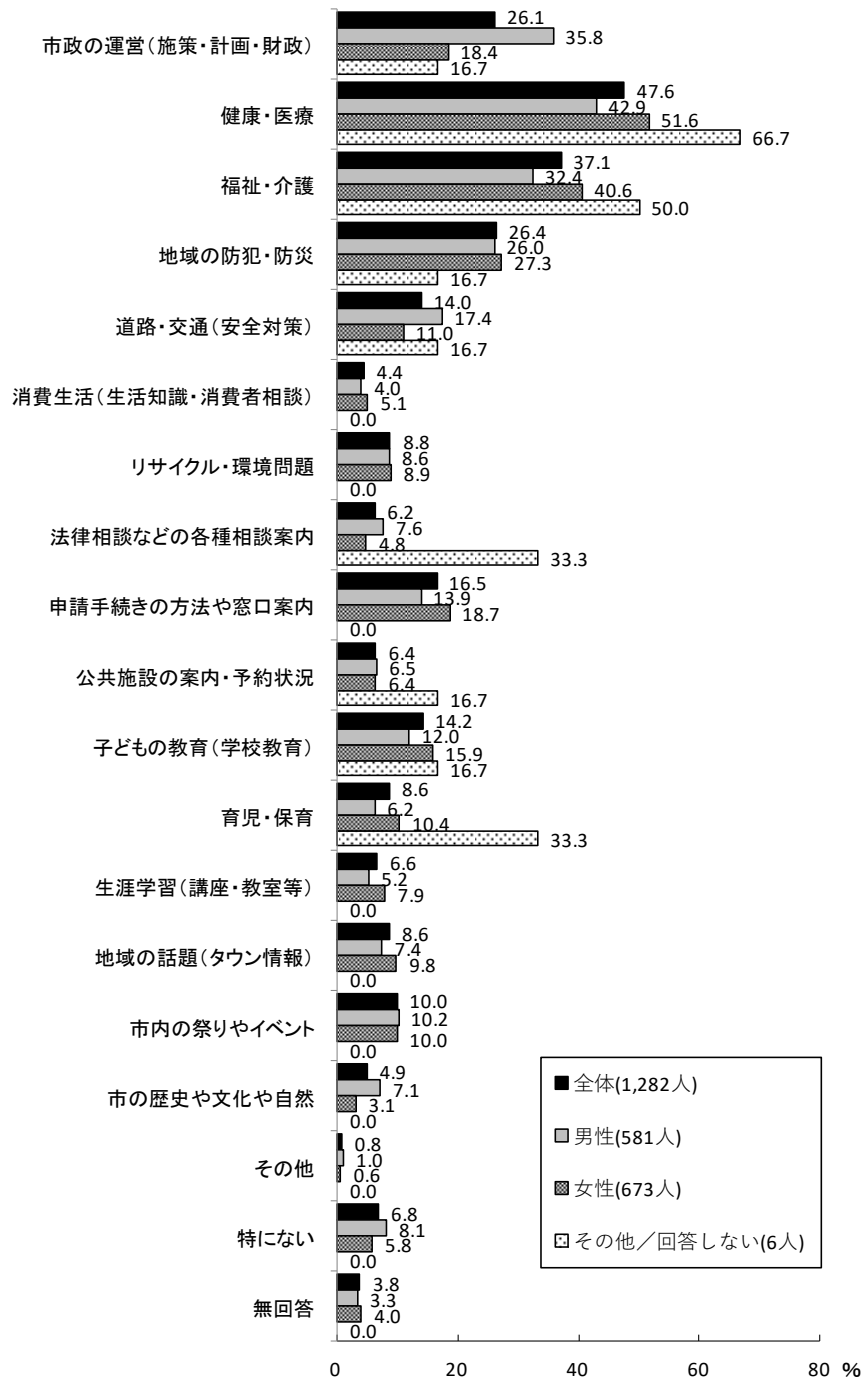
10 市政情報について

10-1 知りたいと思う市政情報

◆「健康・医療」47.6%◆

問 34 あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

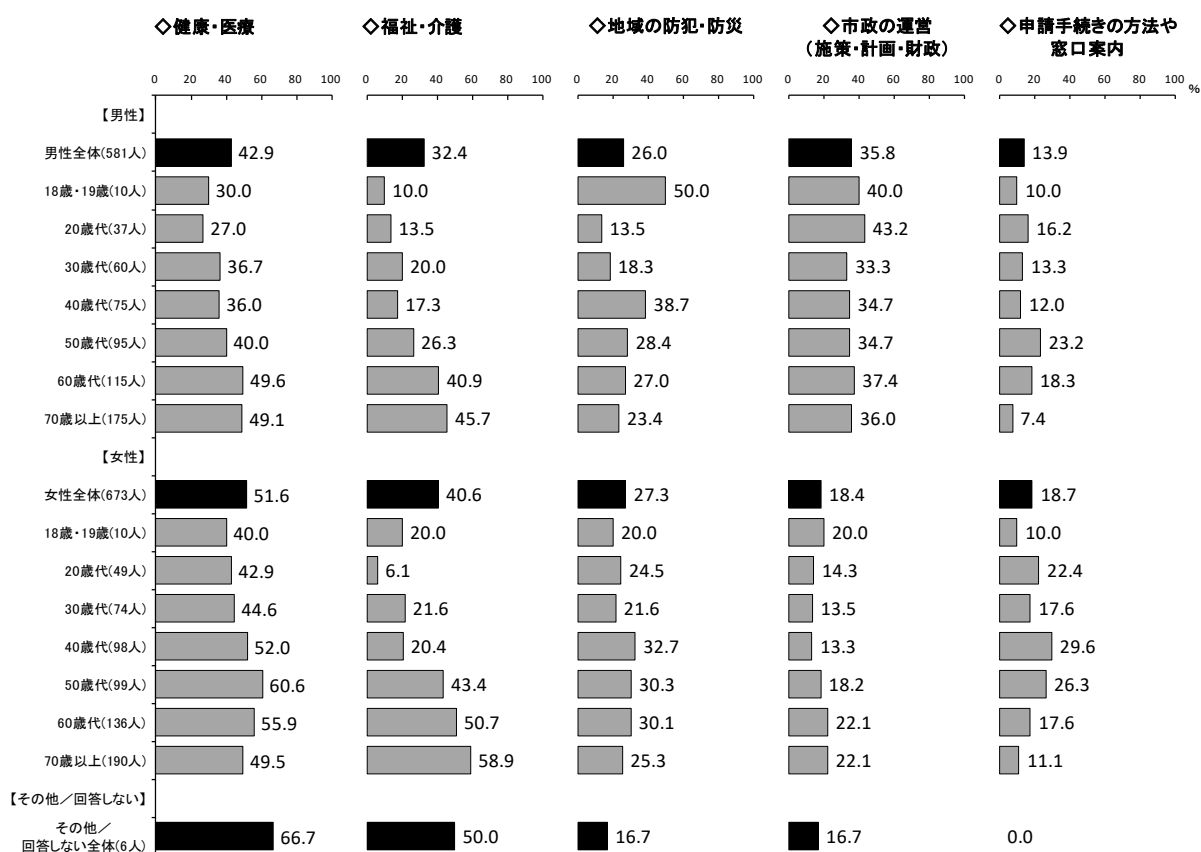
知りたいと思う市政情報（全体・性別）



全体では「健康・医療」が47.6%と最も高く、次いで「福祉・介護」(37.1%)、「地域の防犯・防災」(26.4%)、「市政の運営(施策・計画・財政)」(26.1%)、「申請手続きの方法や窓口案内」(16.5%)と続いています。

性別で見ると「市政の運営(施策・計画・財政)」で男性(35.8%)が女性(18.4%)を17.4ポイント上回っています。また「道路・交通(安全対策)」で男性(17.4%)が女性(11.0%)を6.4ポイント上回っています。一方「健康・医療」は女性(51.6%)が男性(42.9%)を8.7ポイント、「福祉・介護」では女性(40.6%)が男性(32.4%)を8.2ポイント上回っています。

知りたいと思う市政情報(上位5項目 性・年代別)



性・年代別で見ると「健康・医療」は男性の60歳代以降で5割、女性の50歳代で6割と高くなっています。

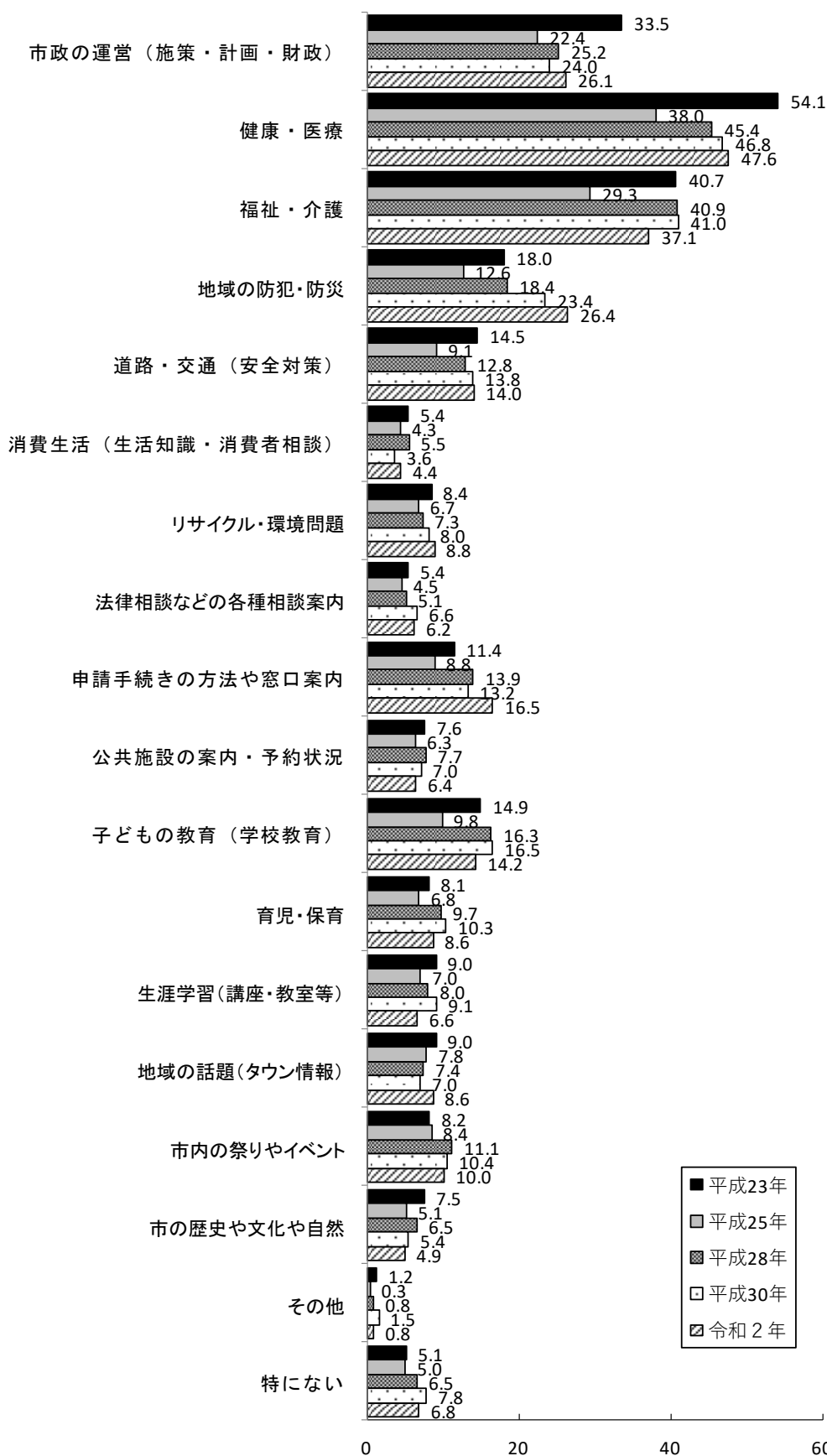
「福祉・介護」は男性・女性とも年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上は45.7%、女性の70歳以上は58.9%とそれぞれ最も高くなっています。

「地域の防犯・防災」は男性の18歳・19歳で50.0%と最も高く、女性では40~60歳代で3割以上と比較的高くなっています。

「市政の運営(施策・計画・財政)」は男性の18歳・19歳、20歳代で4割以上と高くなっています。女性では18歳・19歳、60歳代以降で2割を超え、比較的高くなっています。

「申請手続きの方法や窓口案内」は男性の50歳代で23.2%、女性の40歳代で29.6%とそれぞれ最も高くなっています。

知りたいと思う市政情報（経年比較）

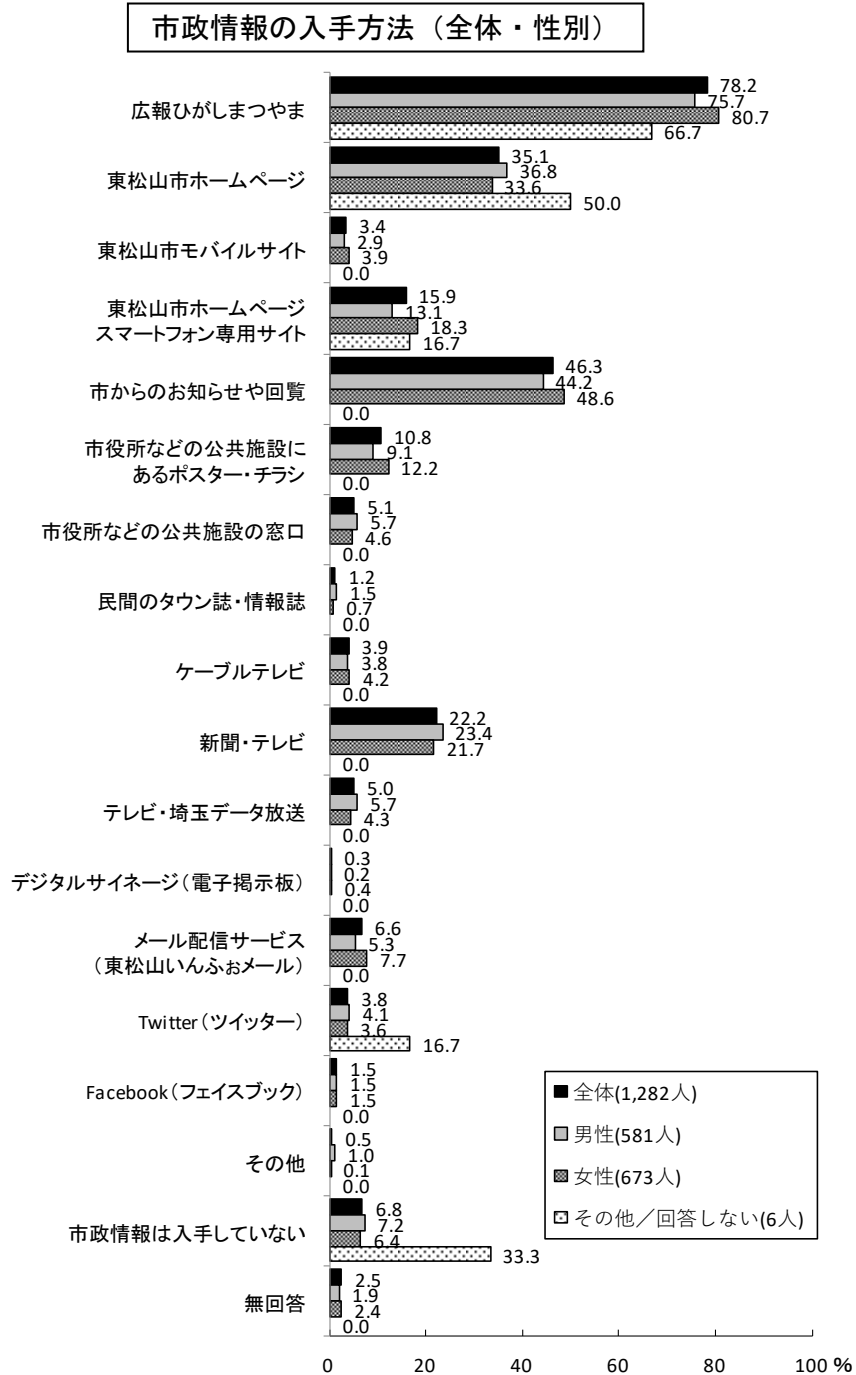


平成 25 年度調査以降「市政の運営」「健康・医療」「地域の防犯・防災」「道路・交通（安全対策）」「リサイクル・環境問題」「申請手続きの方法や窓口案内」は増加傾向がみられます。

10-2 市政情報の入手方法

◆「広報ひがしまつやま」78.2%◆

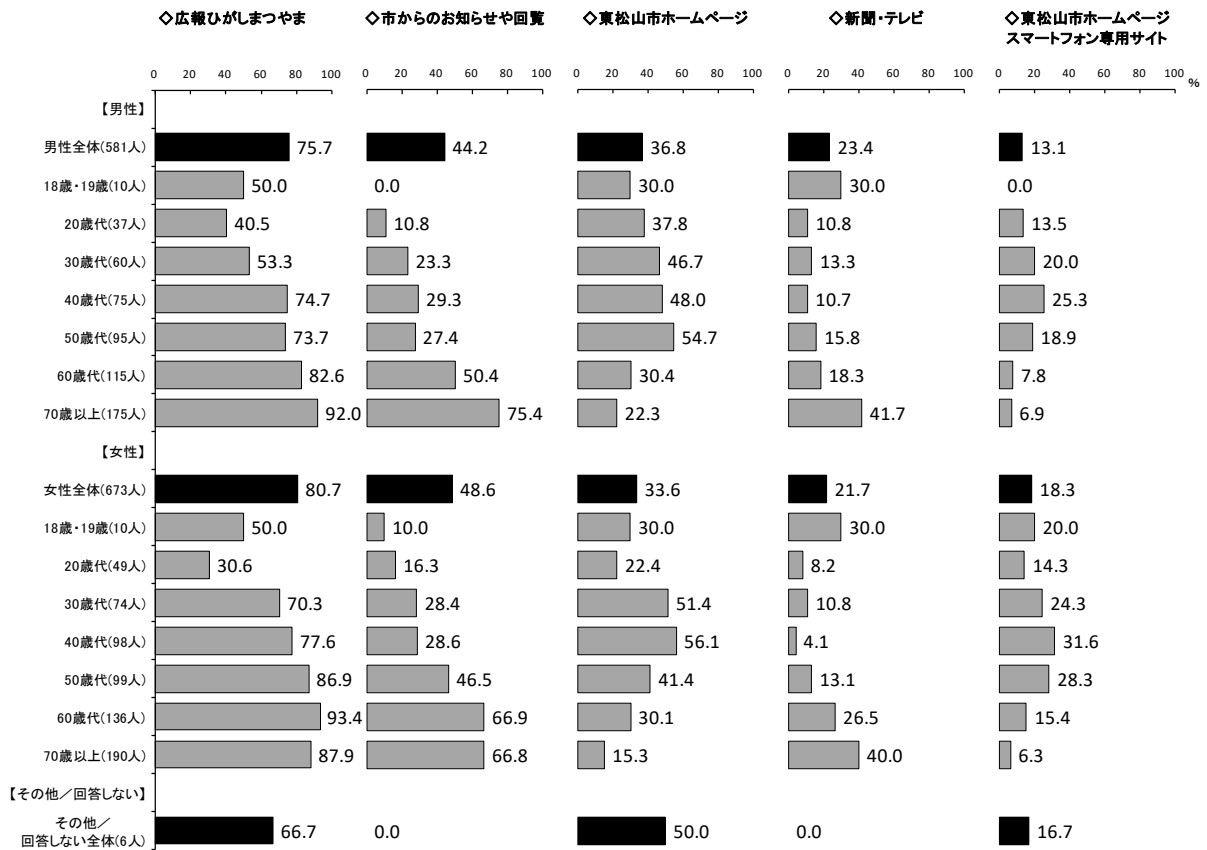
問 35 あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。



全体では「広報ひがしまつやま」が78.2%と最も高く、次いで「市からのお知らせや回覧」(46.3%)「東松山市ホームページ」(35.1%)「新聞・テレビ」(22.2%)「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」(15.9%)と続いています。

性別で見ると「広報ひがしまつやま」では女性(80.7%)が男性(75.7%)を5.0ポイント「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」では女性(18.3%)が男性(13.1%)を5.2ポイント上回っています。

市政情報の入手方法（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「広報ひがしまつやま」は男性の70歳以上、女性の60歳代で9割以上と高い割合となっていますが、男性の20歳代は40.5%、女性の20歳代は30.6%と低くなっています。

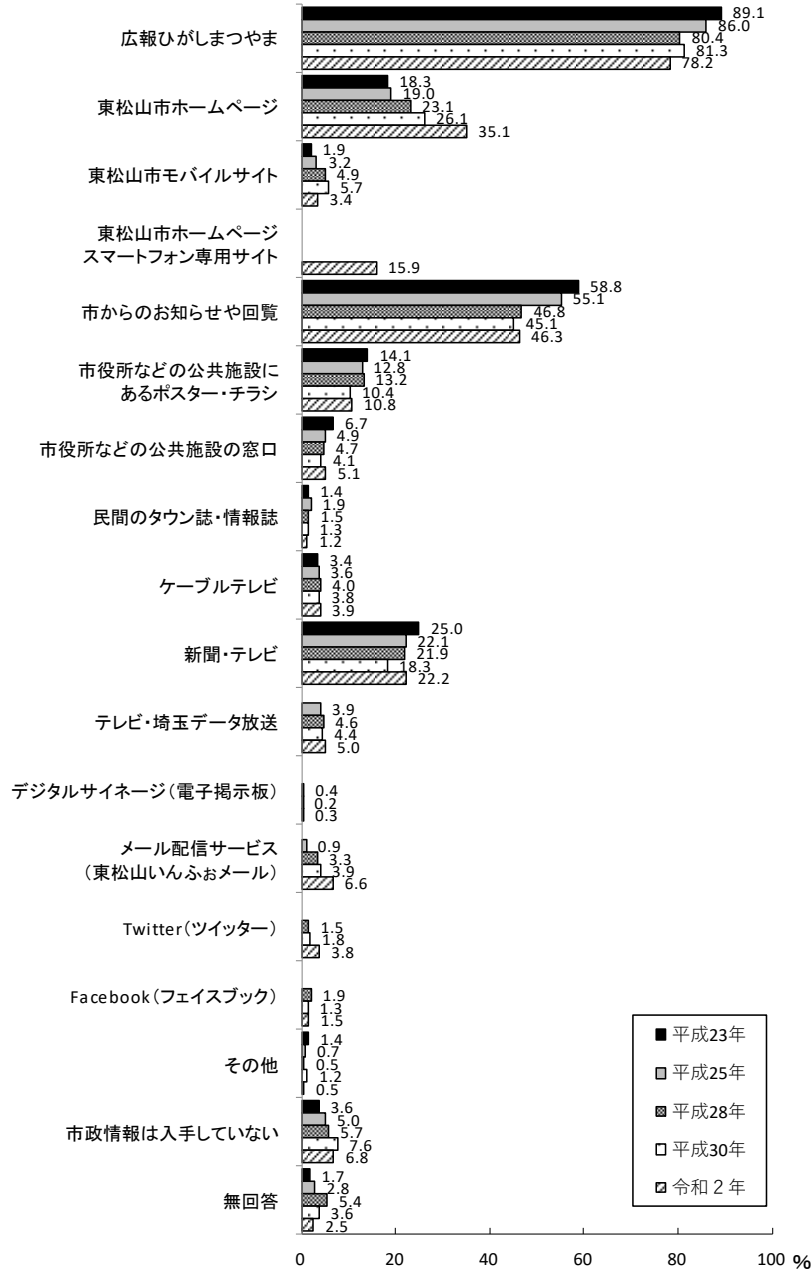
「市からのお知らせや回覧」は年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で75.4%、女性の60歳代以降で6割台半ばと高くなっています。

「東松山市ホームページ」は男性の50歳代で54.7%と、女性の40歳代で56.1%とそれぞれ最も高くなっています。

「新聞・テレビ」は男性の70歳以上で41.7%、女性の70歳以上で40.0%と最も高く、次いで18歳・19歳（男性・女性とも30.0%）が高くなっています。

「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は男性・女性ともに40歳代で最も高く、男性の40歳代で25.3%、女性の40歳代で31.6%となっています。

市政情報の入手方法（経年比較）



※「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」は平成25年度までは「メール配信サービス・Twitter（ツイッター）」、平成30年度までは「メール配信サービス」で平成25年度からの選択肢となります。「テレビ埼玉データ放送」は平成25年度調査から、「デジタルサイネージ（電子掲示板）」「Twitter（ツイッター）」「Facebook（フェイスブック）」は平成28年度から、「東松山市ホームページスマートフォン専用サイト」は令和2年度からの選択肢となります。

平成23年度調査以降、「東松山市ホームページ」「メール配信サービス（東松山いんふおメール）」「Twitter（ツイッター）」は増加傾向にあります。一方「広報ひがしまつやま」「市からのお知らせや回覧」「市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ」は減少傾向にあります。

平成30年度調査と比較するとほとんどの項目で増加傾向にあり、特に「東松山市ホームページ」は9.0ポイント増加しています。一方「広報ひがしまつやま」は3.1ポイント、「東松山市モバイルサイト」は2.3ポイント減少しています。

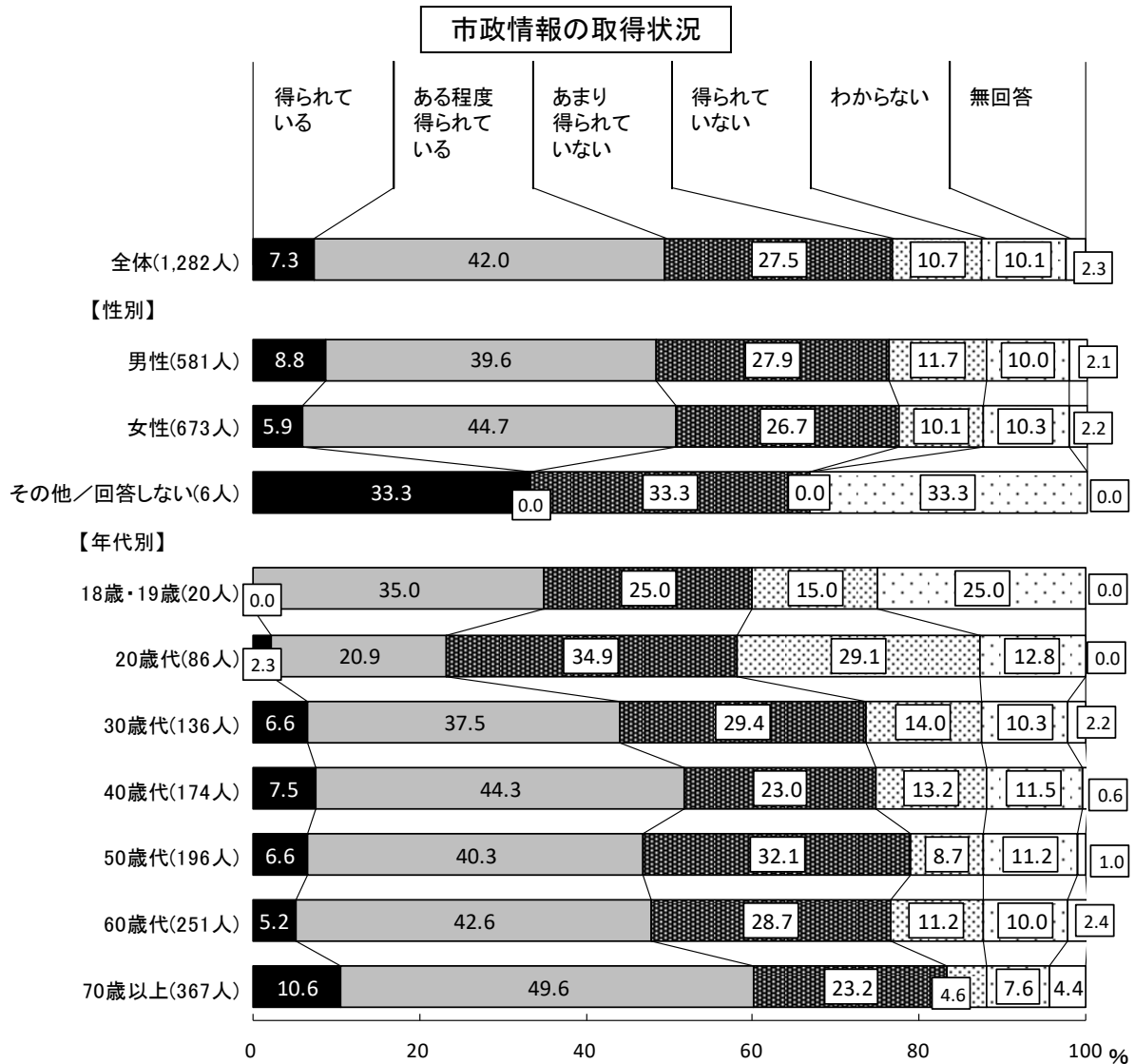
「広報ひがしまつやま」は、市政情報を得る手段として高い支持を受けている状況は変わらないものの、平成30年度調査と比較すると減少に転じています。

「市政情報は入手していない」は、平成23年度調査以降微増傾向にありましたが、平成30年度調査と比較すると微減しています。

10-3 市政情報の取得状況

◆ “市政情報を得られている” 49.3%、“市政情報を得られていない” 38.2%◆

問 36 あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



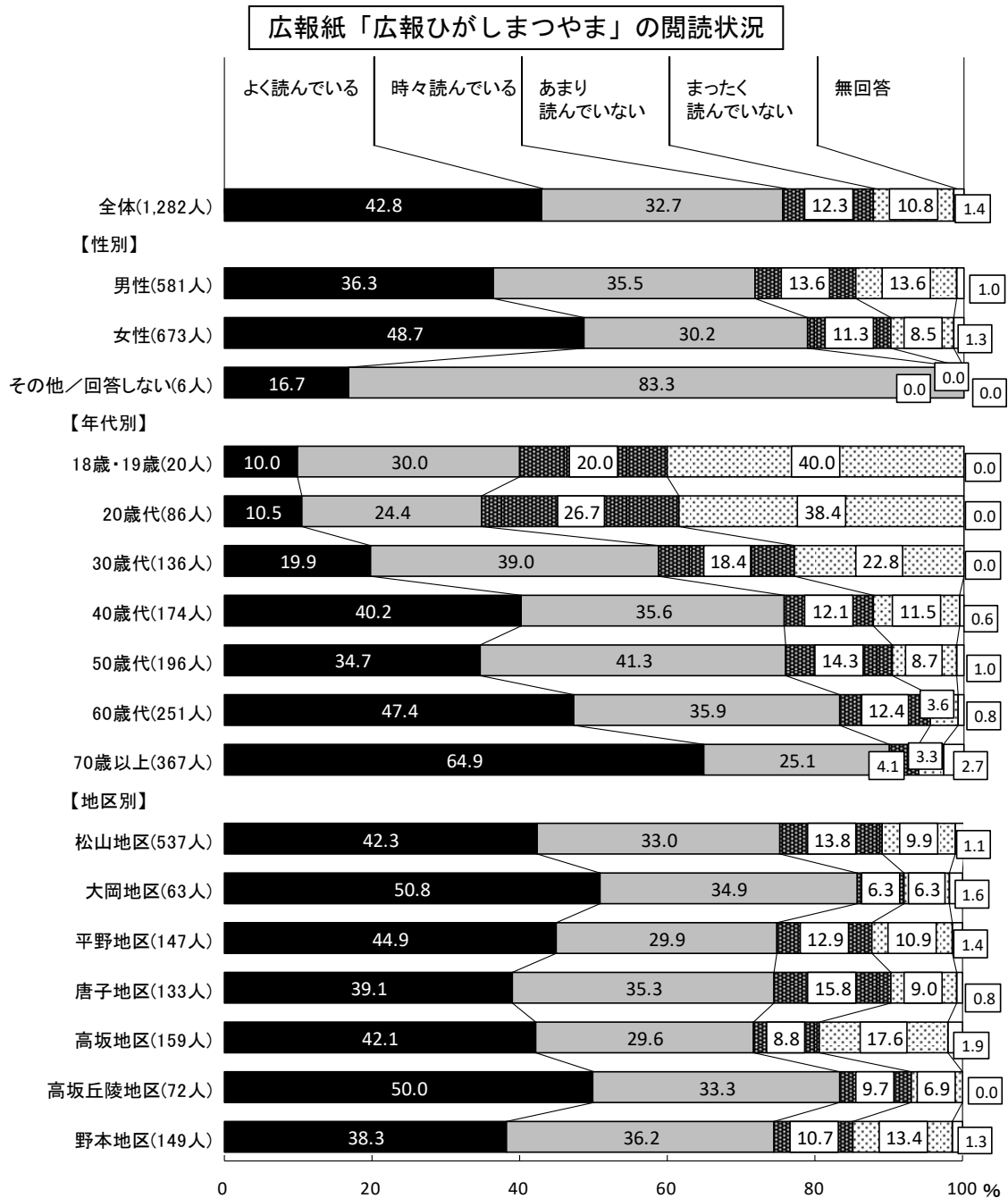
全体でみると「得られている」(7.3%)、「ある程度得られている」(42.0%)を合わせた“市政情報を得られている”と回答した人は、49.3%となっています。一方「得られていない」(10.7%)、「あまり得られていない」(27.5%)を合わせた“市政情報を得られていない”は38.2%となっています。

年代別でみると、30歳代以降の年代では“市政情報を得られている”が“市政情報を得られていない”の割合を上回っていますが、18歳・19歳、20歳代では“市政情報を得られていない”の割合の方が高くなっています。“市政情報を得られている”の割合は70歳以上で60.2%と最も高くなっています。一方“市政情報を得られていない”の割合は20歳代で64.0%と高くなっています。

10-4 広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況

◆ “読んでいる” 75.5%、“読んでいない” 23.1%◆

問 37 あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「広報紙「広報ひがしまつやま」の閲読状況」は新設の設問です。

全体で見ると「よく読んでいる」(42.8%)、「時々読んでいる」(32.7%)を合わせた“読んでいる”と回答した人は、75.5%となっています。一方「まったく読んでいない」(10.8%)、「あまり読んでいない」(12.3%)を合わせた“読んでいない”は23.1%となっています。

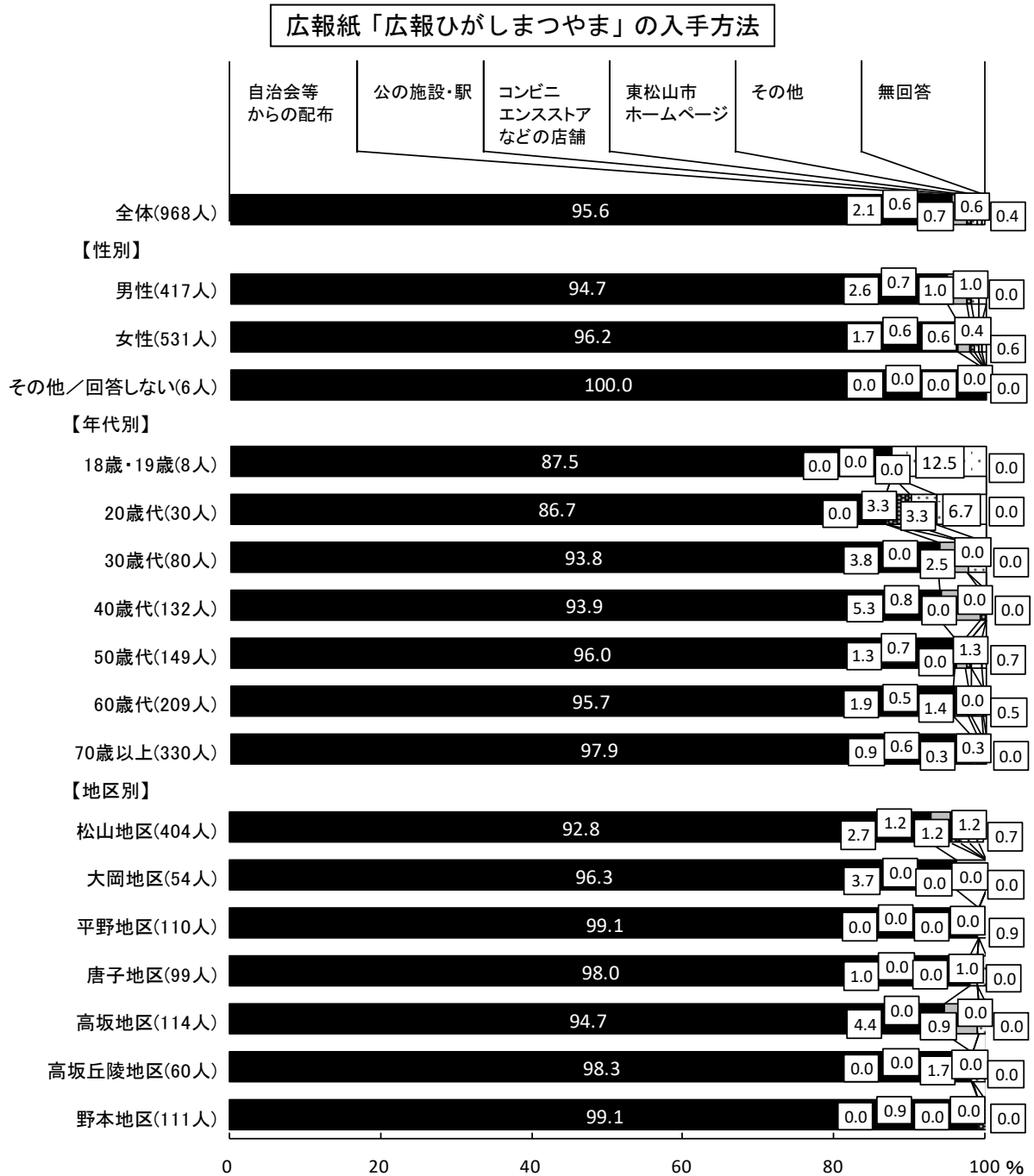
年代別で見ると“読んでいる”は年齢が高くなるほど高くなる傾向にあります。70歳以上では「よく読んでいる」が64.9%と高くなっています。

地区別で見ると“読んでいる”は大岡地区(85.7%)、高坂丘陵地区(83.3%)で8割を超え高くなっています。

10-5 広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法

◆「自治会等からの配布」95.6%◆

(問 37 で「よく読んでいます」または「時々読んでいます」とお答えの方におたずねします)
 問 37-1 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「広報紙「広報ひがしまつやま」の入手方法」は新設の設問です。

全体で見ると「自治会等からの配布」が95.6%と大半を占めています。
 年代で見ると「自治会等からの配布」は18歳・19歳、20歳代で8割台となっています。

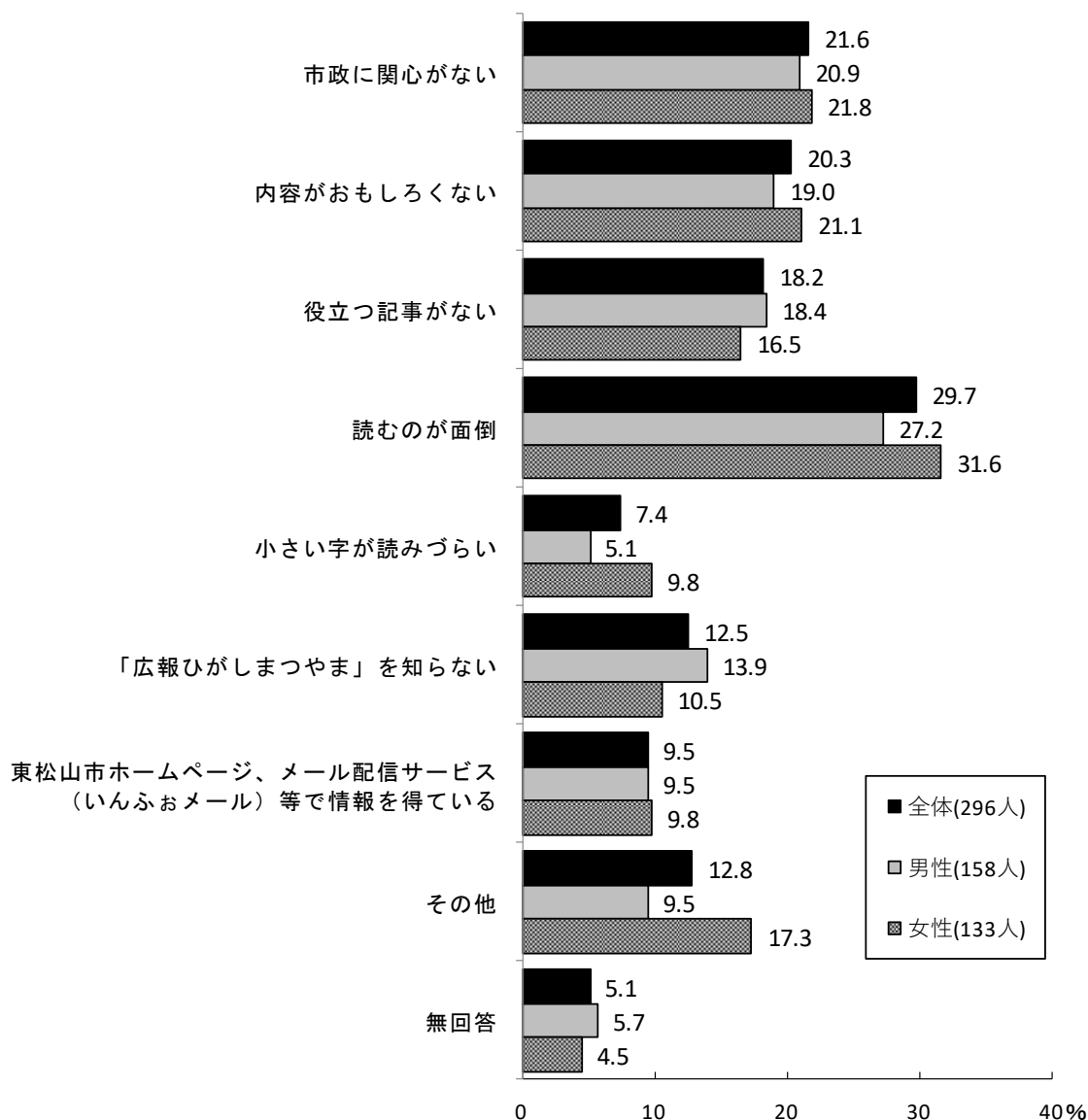
10-6 広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由

◆「読むのが面倒」29.7%、「市政に関心がない」21.6%◆

(問 37 で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」とお答えの方におたずねします)

問 37-2 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（全体・性別）

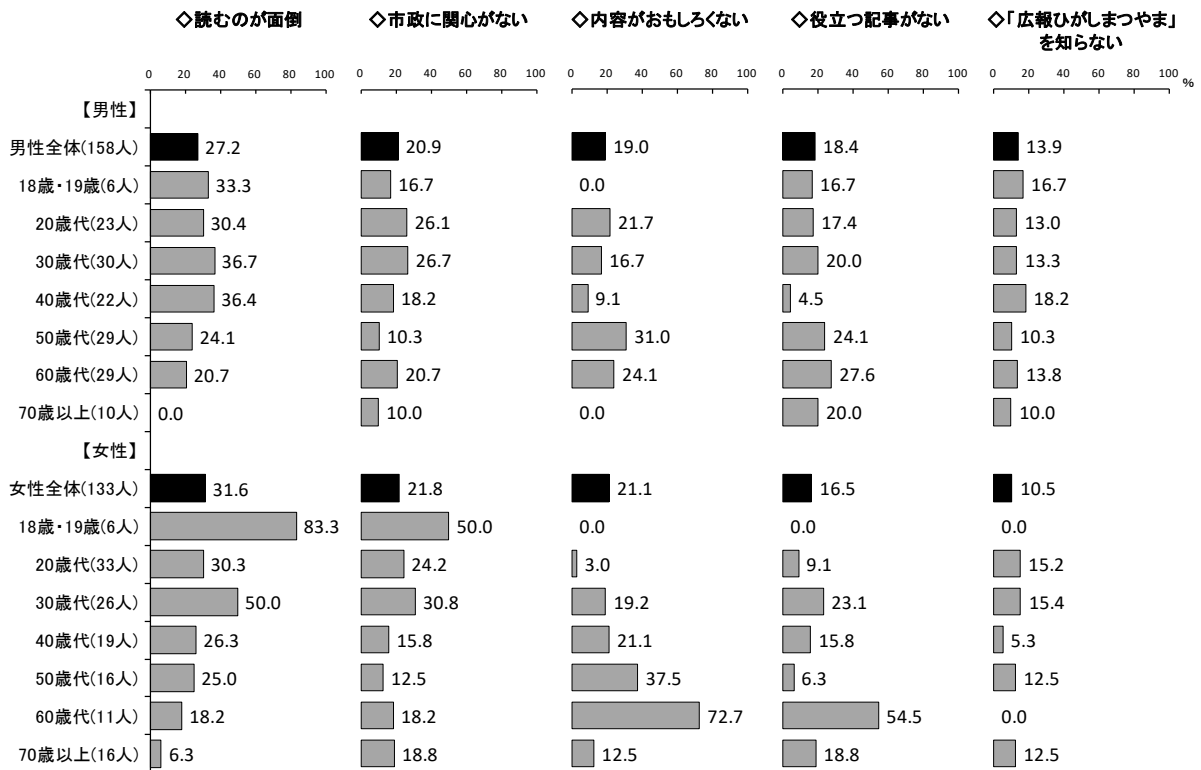


※「広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由」は新設の設問です。

全体では「読むのが面倒」が29.7%と最も高く、次いで「市政に関心がない」(21.6%)、「内容がおもしろくない」(20.3%)、「役立つ記事がない」(18.2%)、「「広報ひがしまつやま」を知らない」(12.5%)と続いています。

性別でみると「読むのが面倒」では女性(31.6%)が男性(27.2%)を4.4ポイント、「小さい字が読みづらい」では女性(9.8%)が男性(5.1%)を4.7ポイント上回っています。一方「「広報ひがしまつやま」を知らない」では男性(13.9%)が女性(10.5%)を3.4ポイント上回っています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別でみると「読むのが面倒」は女性の18歳・19歳で83.3%と群を抜いて高くなっています。また、男性の30～40歳代で3割台半ば、女性の30歳代で5割となっています。

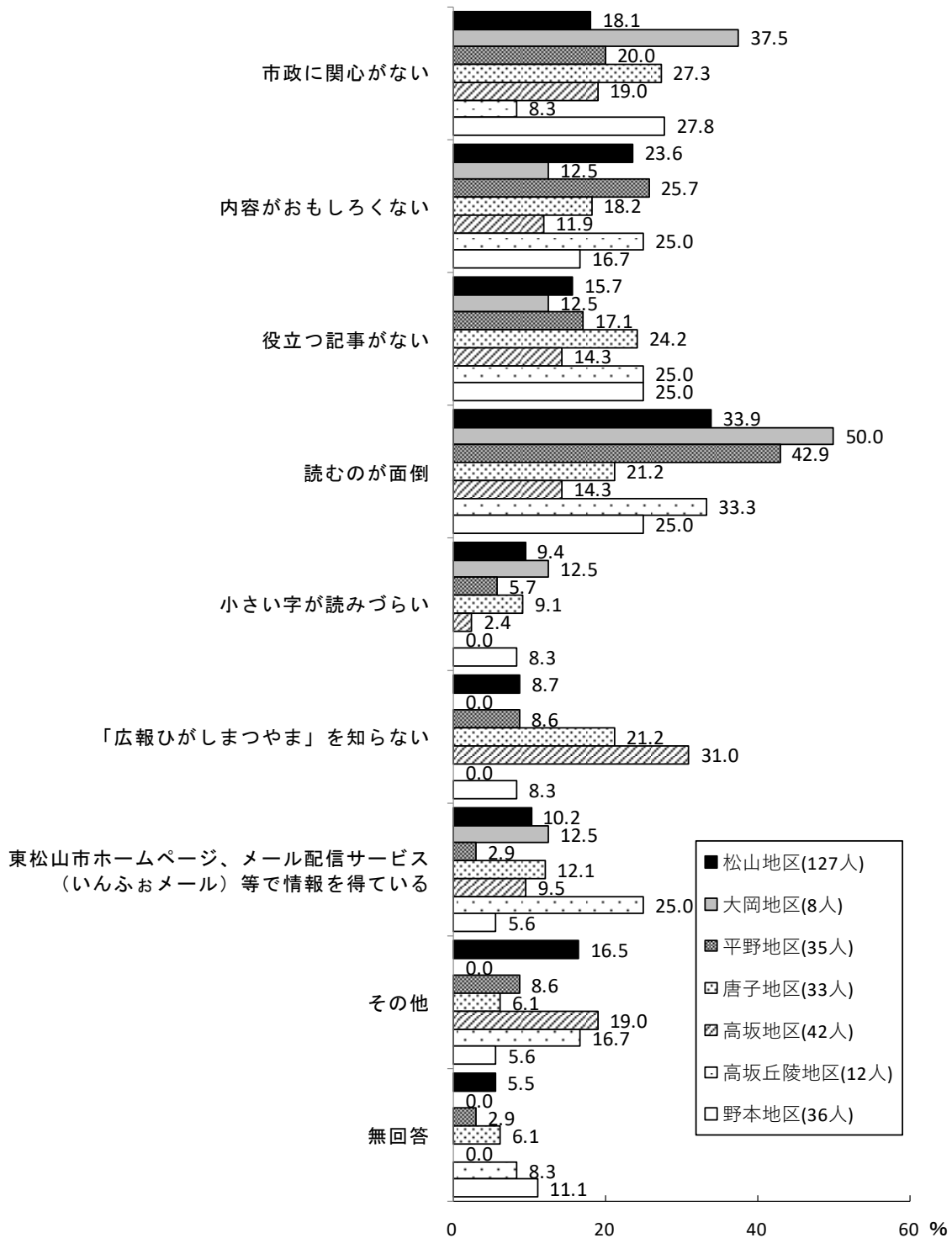
「市政に関心がない」は女性の18歳・19歳で50.0%と最も高くなっています。また、男性の20～30歳代で2割台半ば、女性の30歳代で3割となっています。

「内容がおもしろくない」は女性の60歳代で72.7%と特に高くなっています。男性・女性ともに50歳代で3割台となっています。

「役立つ記事がない」は男性・女性ともに60歳代で最も高くなっていますが、女性(54.5%)が男性(27.6%)を26.9ポイント上回っています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は男性・女性ともに全ての年代で2割以下と低くなっていますが、男性の40歳代(18.2%)、女性の20歳代(15.2%)、30歳代(15.4%)で比較的高くなっています。

広報紙「広報ひがしまつやま」を読まない理由（地区別）



地区別でみると「市政に関心がない」は大岡地区で37.5%と最も高くなっており、野本地区（27.8%）、唐子地区（27.3%）と続いています。

「読むのが面倒」は大岡地区で50.0%、平野地区で42.9%と高くなっています。

「「広報ひがしまつやま」を知らない」は高坂地区で31.0%と高くなっています。

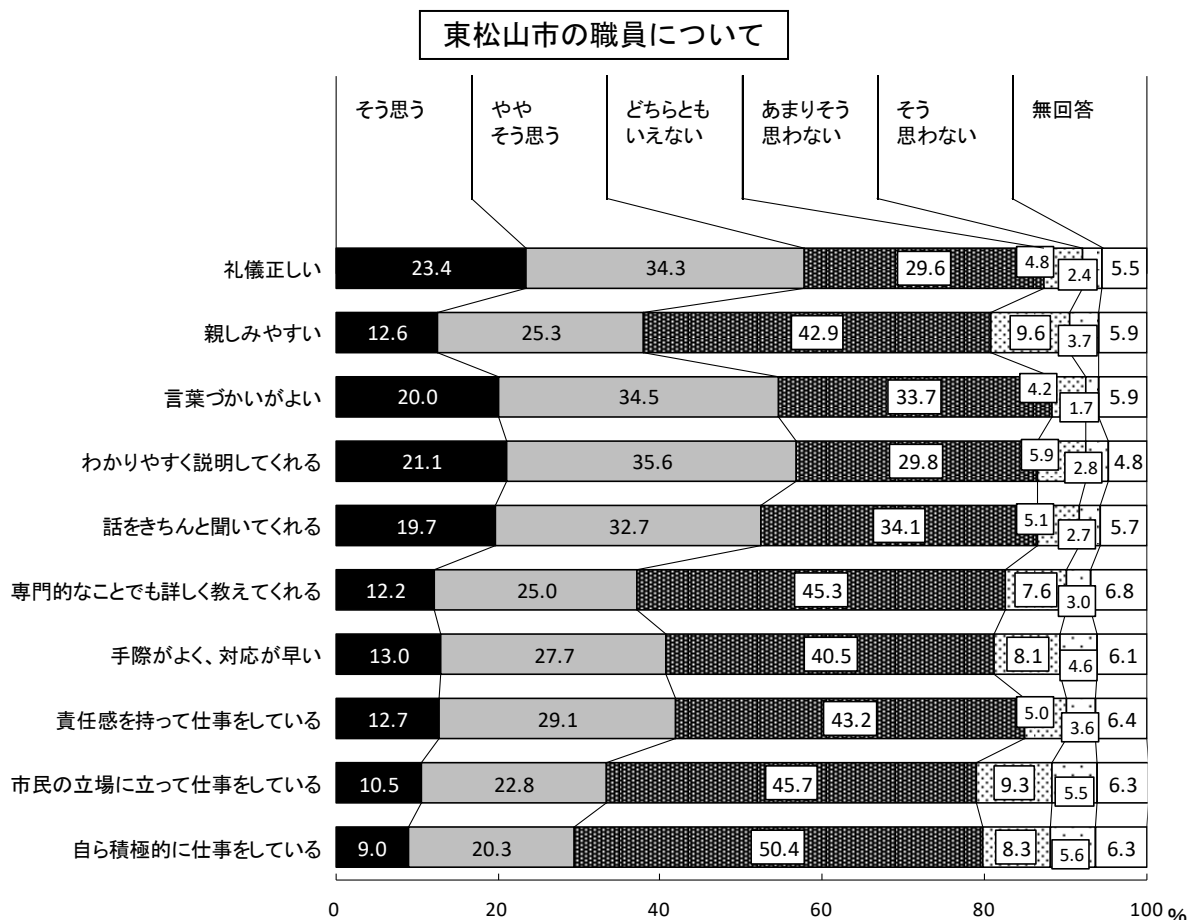
「東松山市ホームページ、メール配信サービス（いんふおメール）等で情報を得ている」は高坂丘陵地区で25.0%と他の地区に比べ高くなっています。

11 市政について

11-1 東松山市の職員について

◆〈礼儀正しい〉や〈わかりやすく説明してくれる〉などで肯定的な評価◆

問 38 あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。次の項目について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。



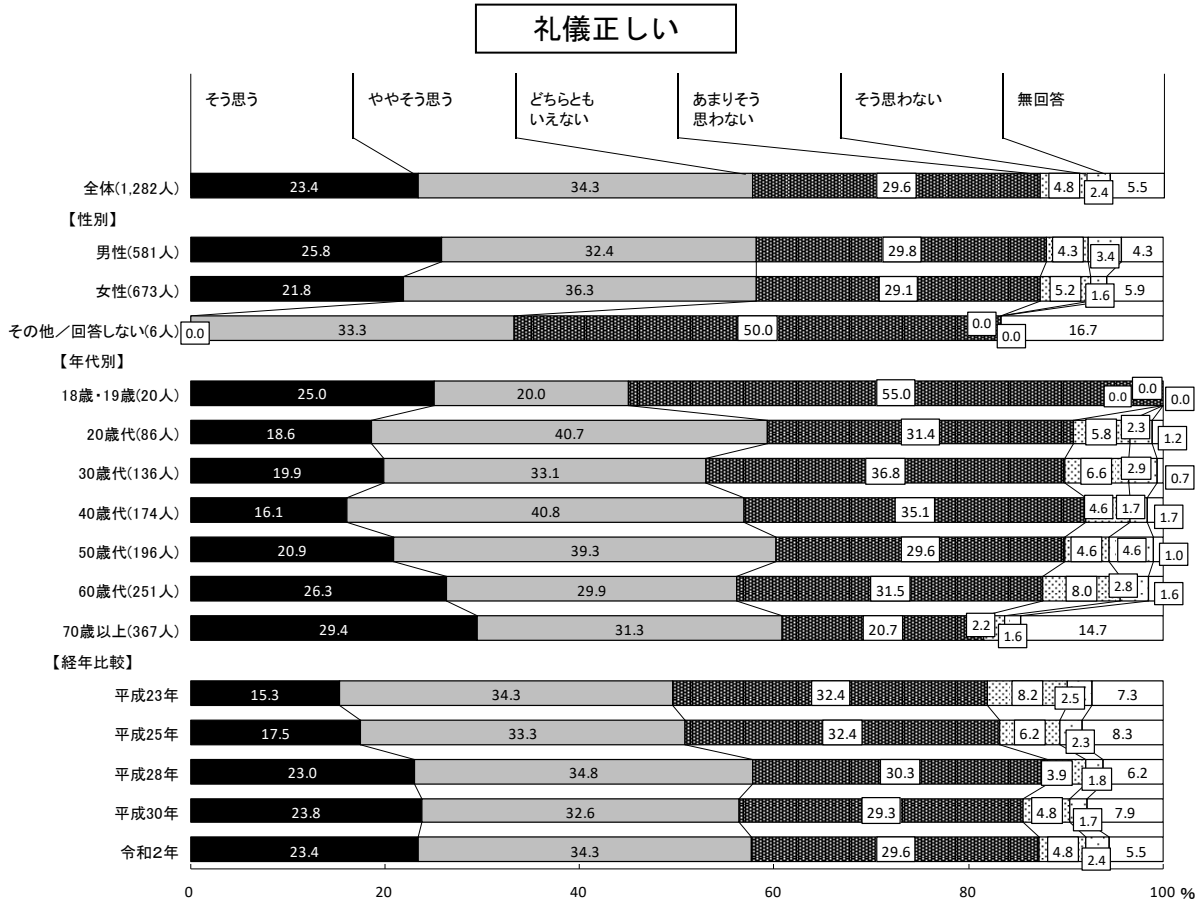
<全体の概観と性・年代別>

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた“そう思う”は、〈礼儀正しい〉が 57.7%、〈わかりやすく説明してくれる〉が 56.7%、〈言葉づかいがよい〉が 54.5%、〈話をきちんと聞いてくれる〉が 52.4%となっており、評価が高くなっています。

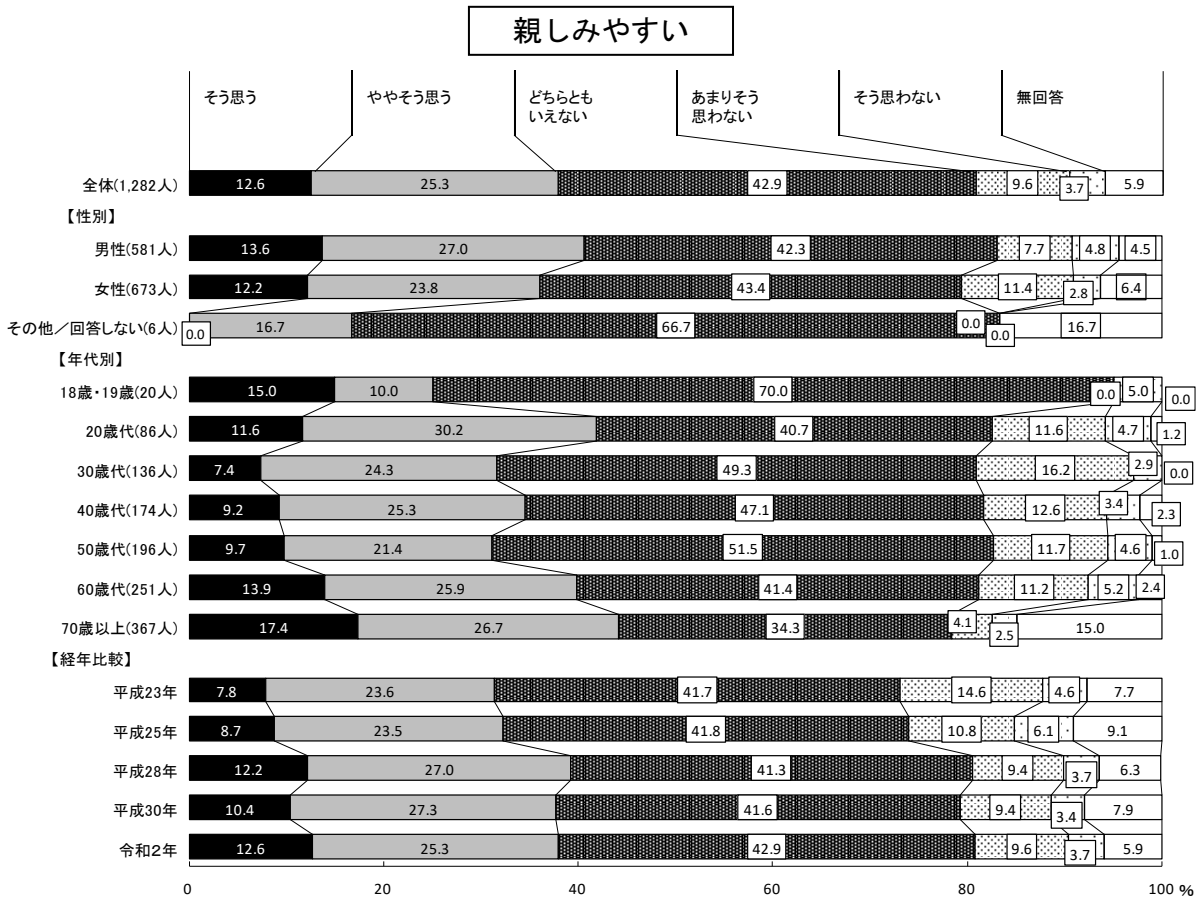
性別で見ると“そう思う”で男性よりも女性が高くなっているのは〈言葉づかいがよい〉〈わかりやすく説明してくれる〉〈専門的なことでも詳しく教えてくれる〉〈手際がよく、対応が早い〉の4項目です。

年代別で見ると“そう思う”は、〈言葉づかいがよい〉〈手際がよく、対応が早い〉以外の項目は70歳以上で割合が高くなっています。

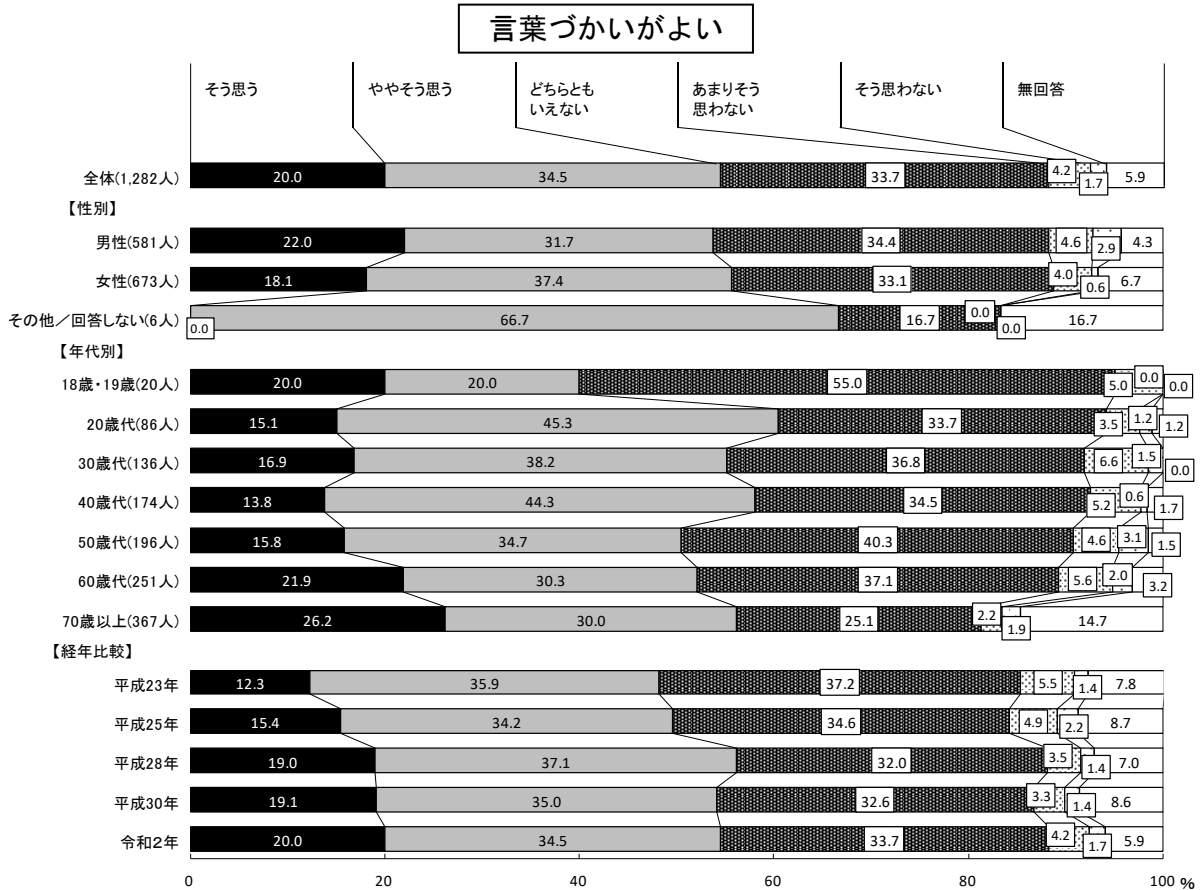
礼儀正しい ◆ “そう思う” 57.7%、“そう思わない” 7.2%◆



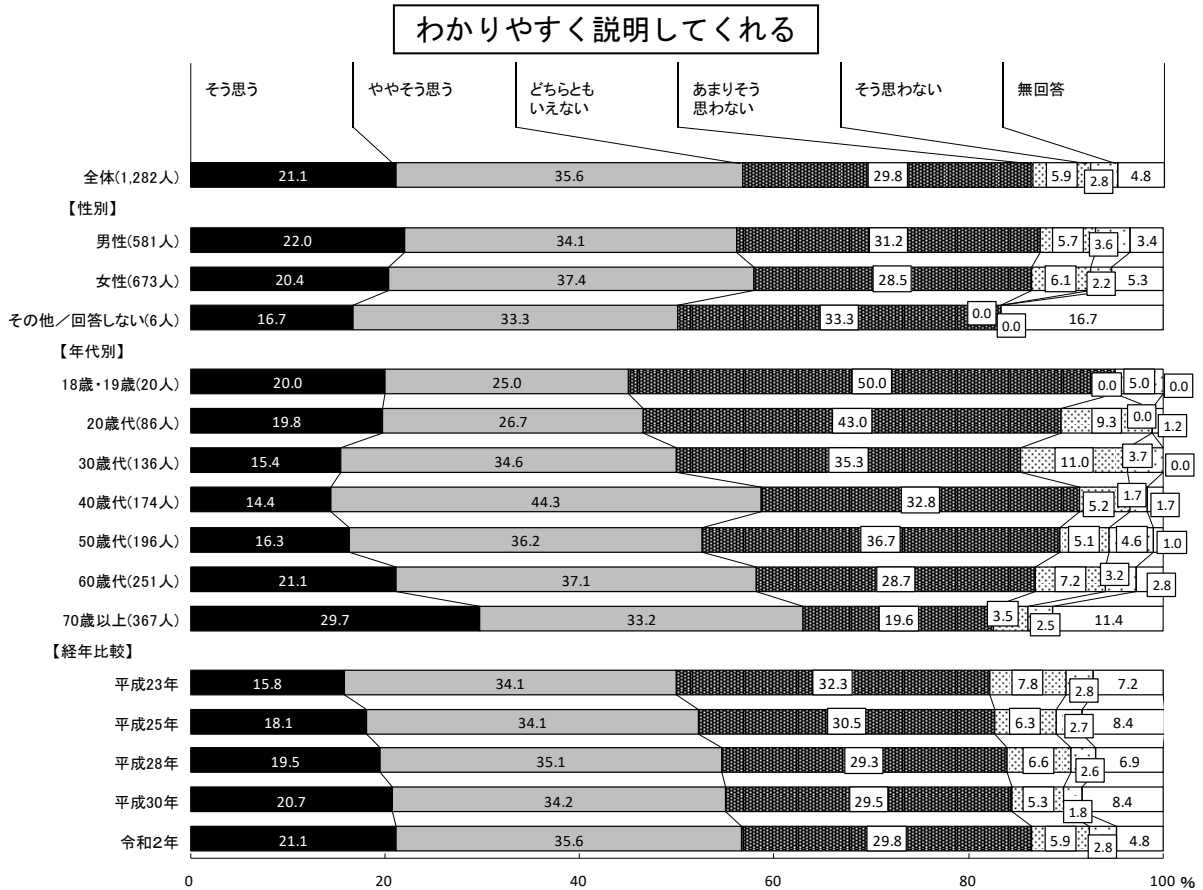
親しみやすい ◆ “そう思う” 37.9%、“そう思わない” 13.3%◆



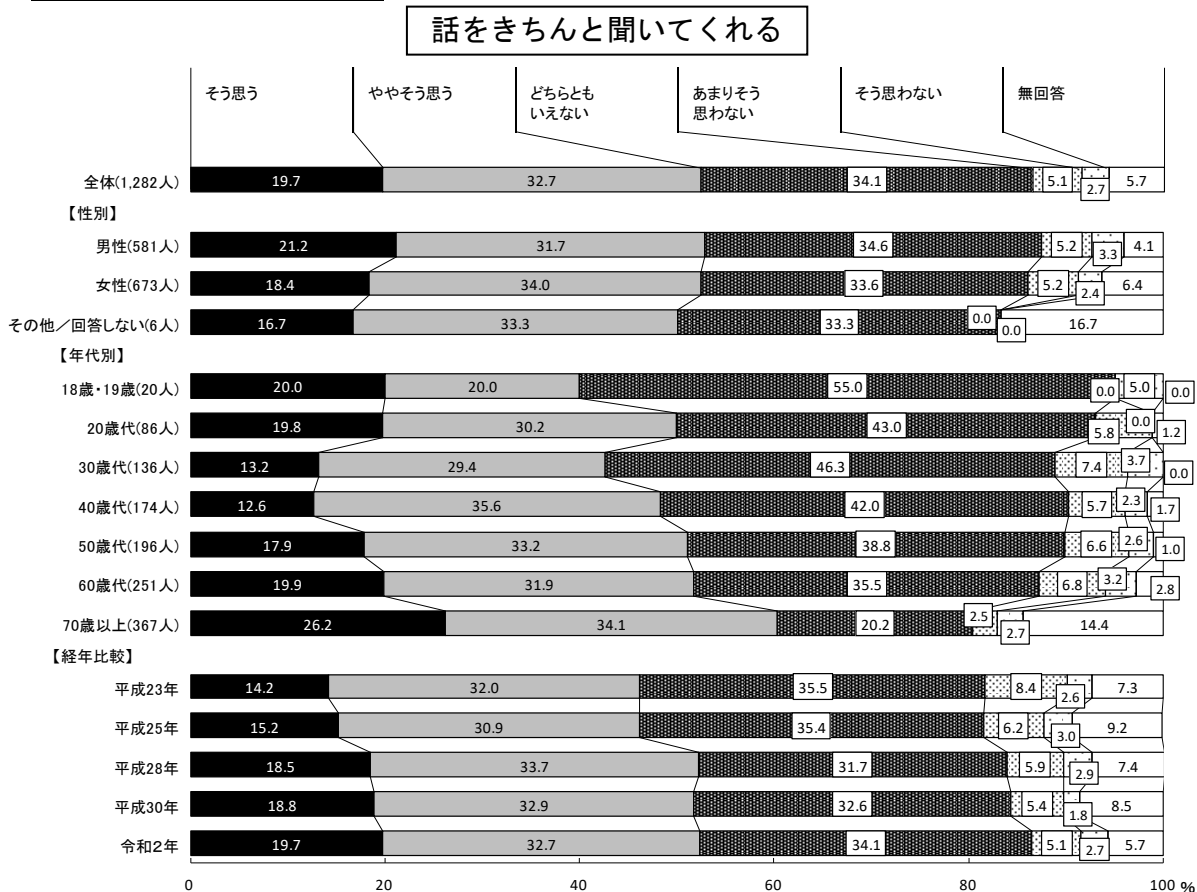
言葉づかいがよい ◆ “そう思う” 54.5%、“そう思わない” 5.9%◆



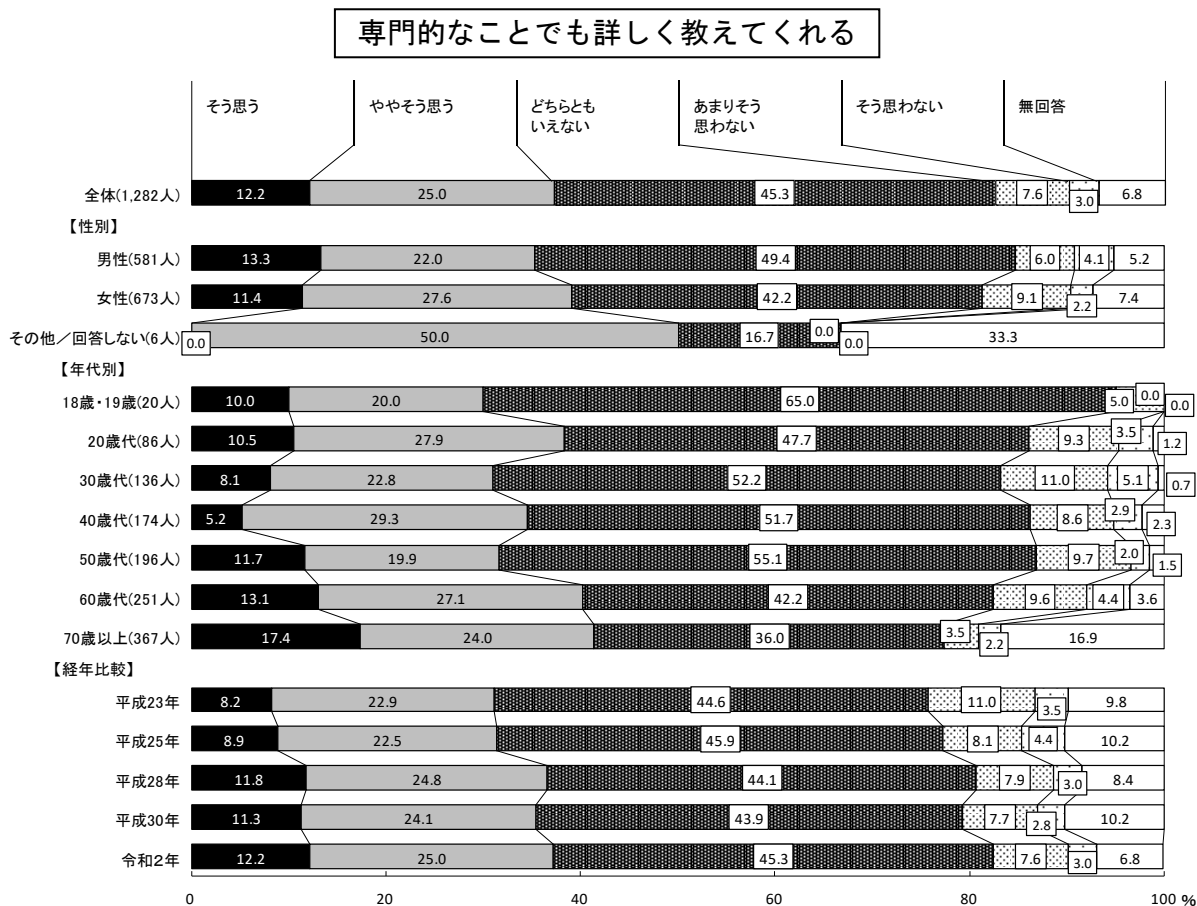
わかりやすく説明してくれる ◆ “そう思う” 56.7%、“そう思わない” 8.7%◆



話をきちんと聞いてくれる ◆ “そう思う” 52.4%、“そう思わない” 7.8%◆

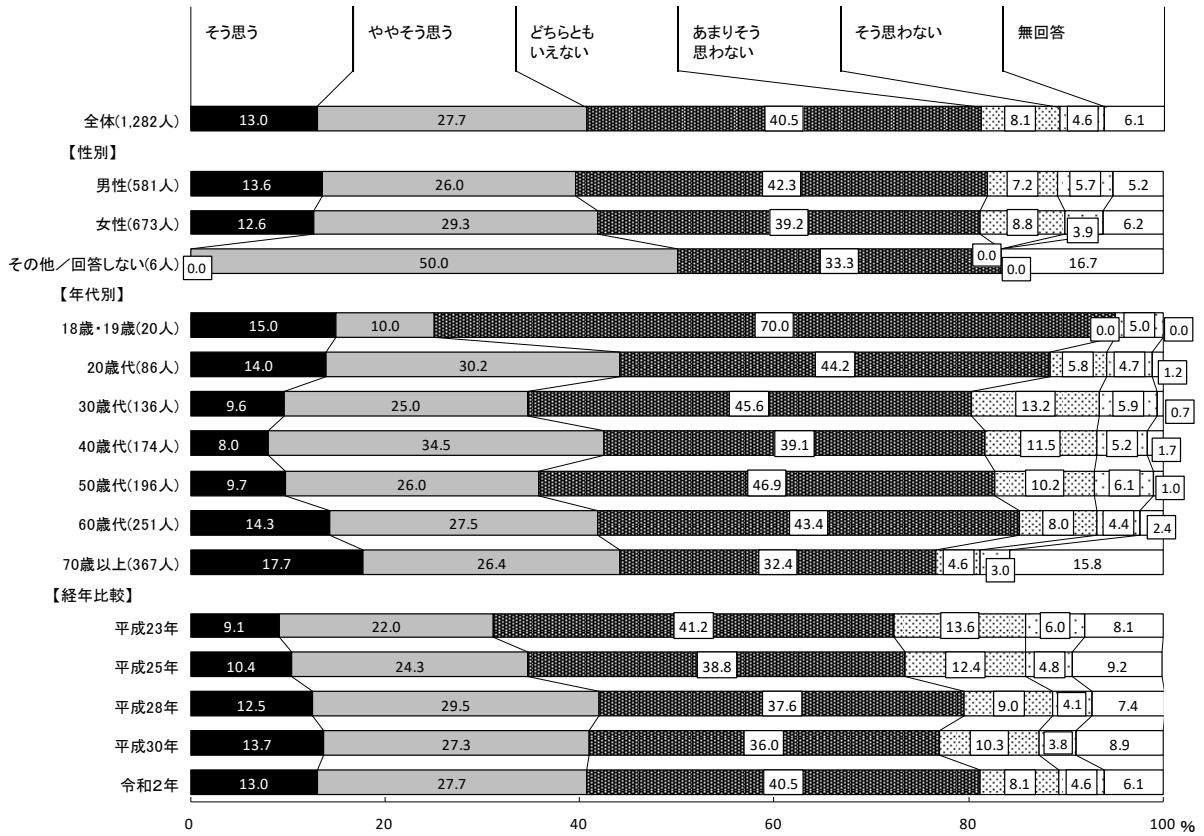


専門的なことでも詳しく教えてくれる ◆ “そう思う” 37.2%、“そう思わない” 10.6%◆



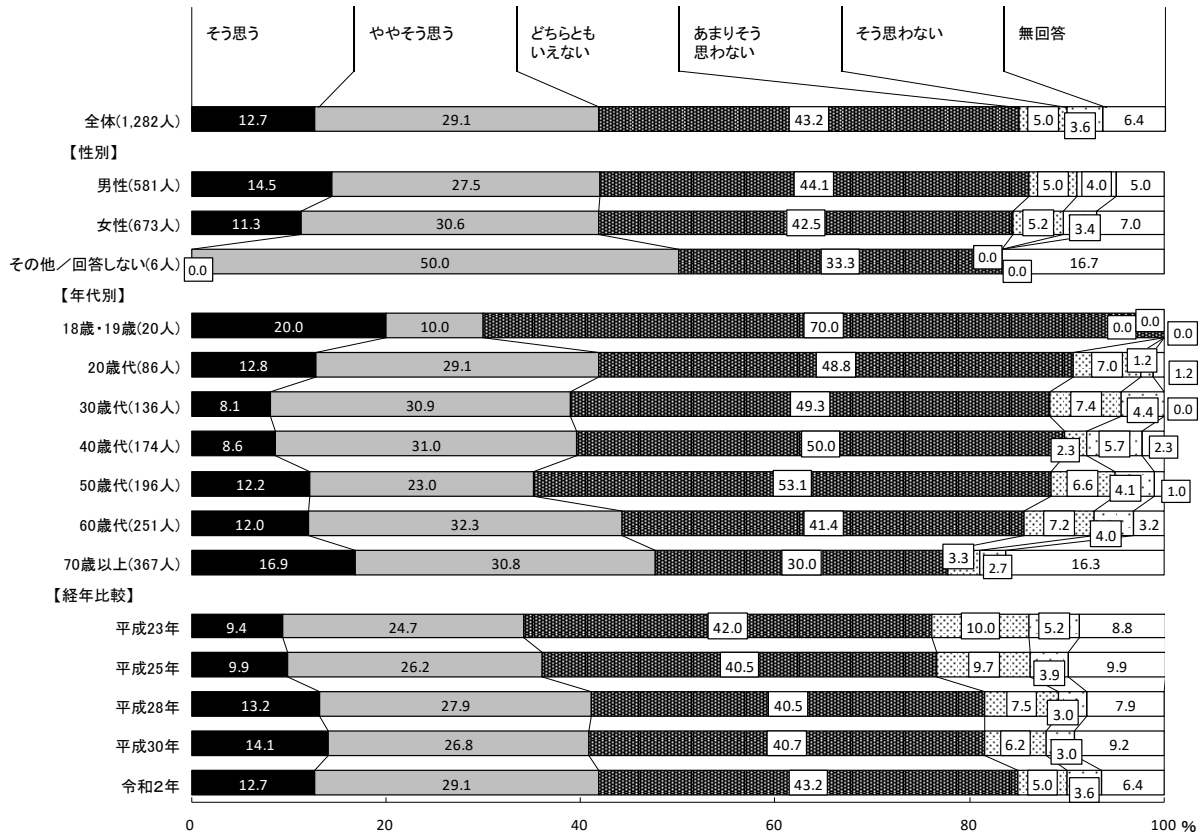
手際がよく、対応が早い ◆ “そう思う” 40.7%、“そう思わない” 12.7%◆

手際がよく、対応が早い

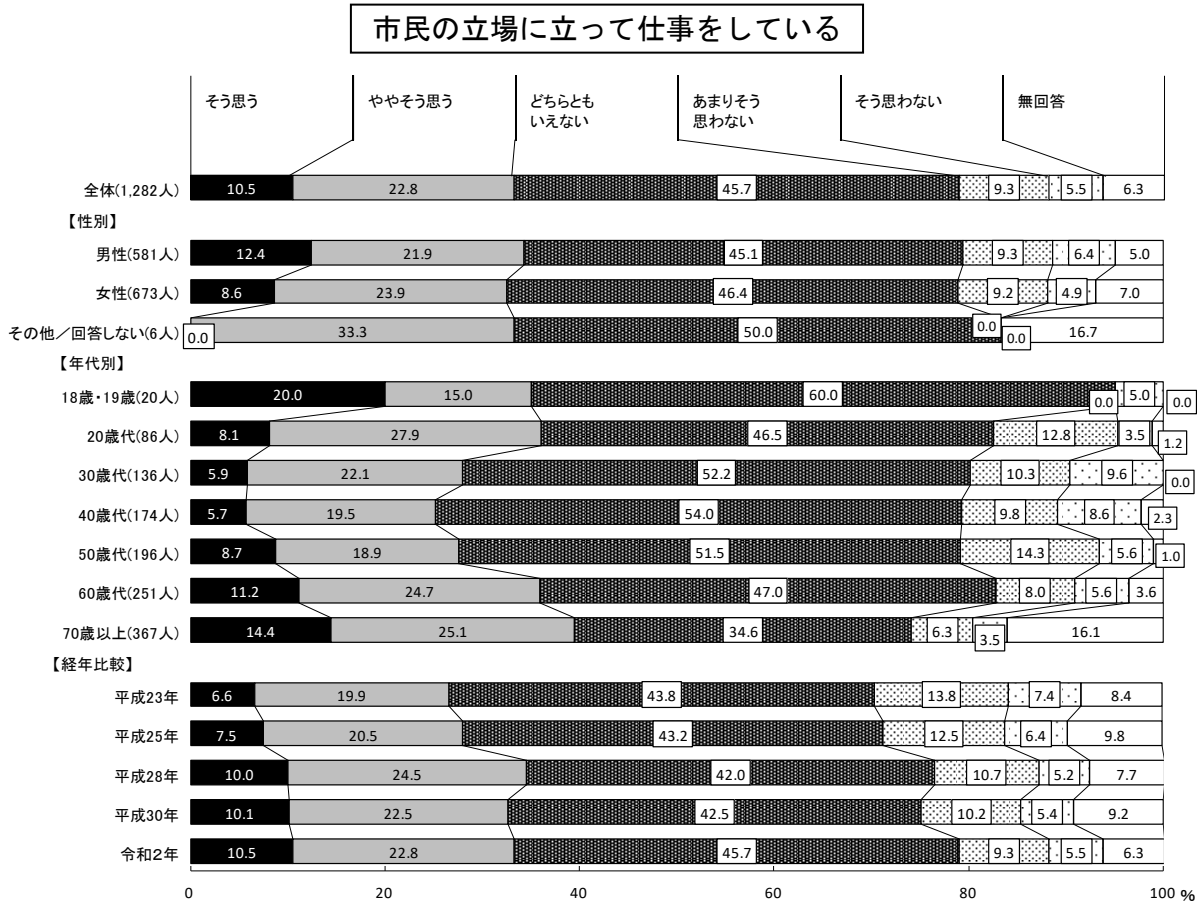


責任感を持って仕事をしている ◆ “そう思う” 41.8%、“そう思わない” 8.6%◆

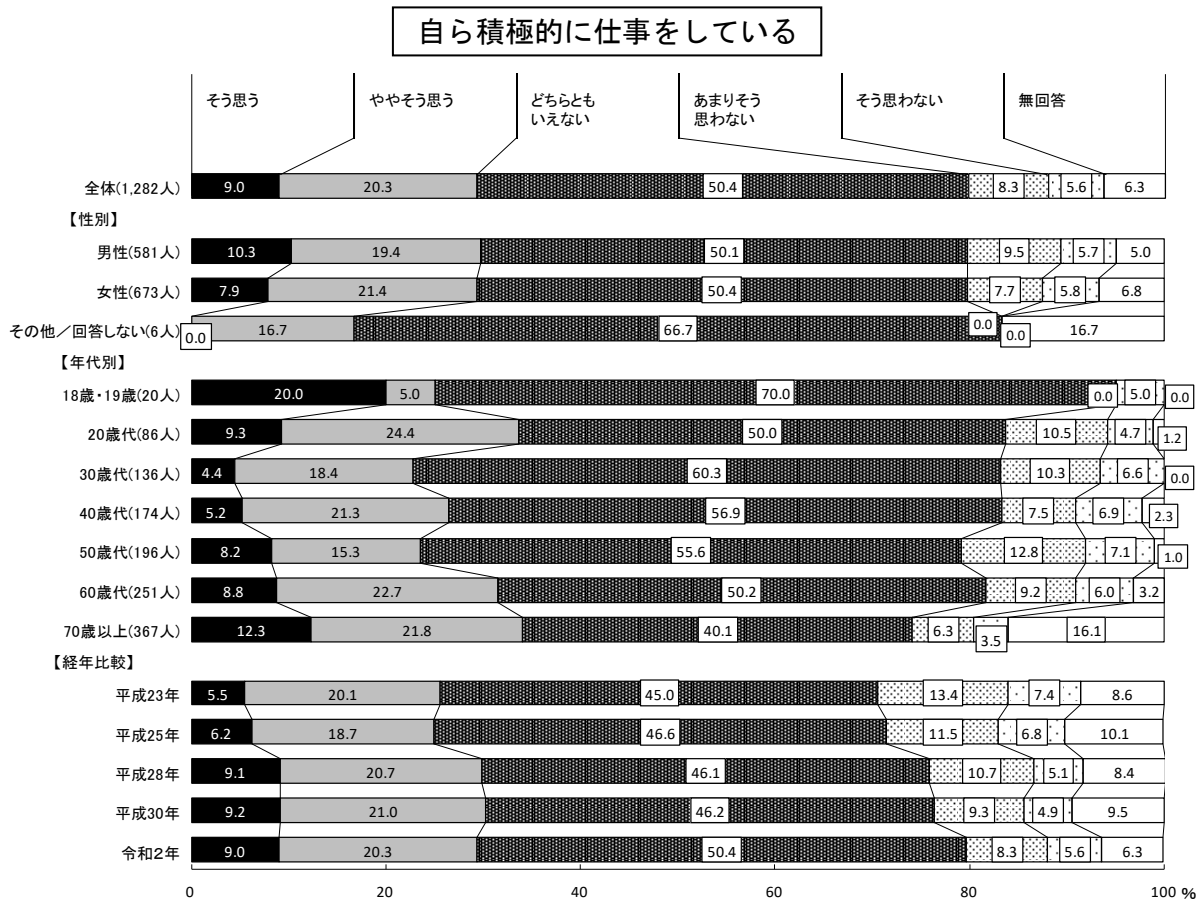
責任感を持って仕事をしている



市民の立場に立って仕事をしている ◆ “そう思う” 33.3%、“そう思わない” 14.8%◆



自ら積極的に仕事をしている ◆ “そう思う” 29.3%、“そう思わない” 13.9%◆

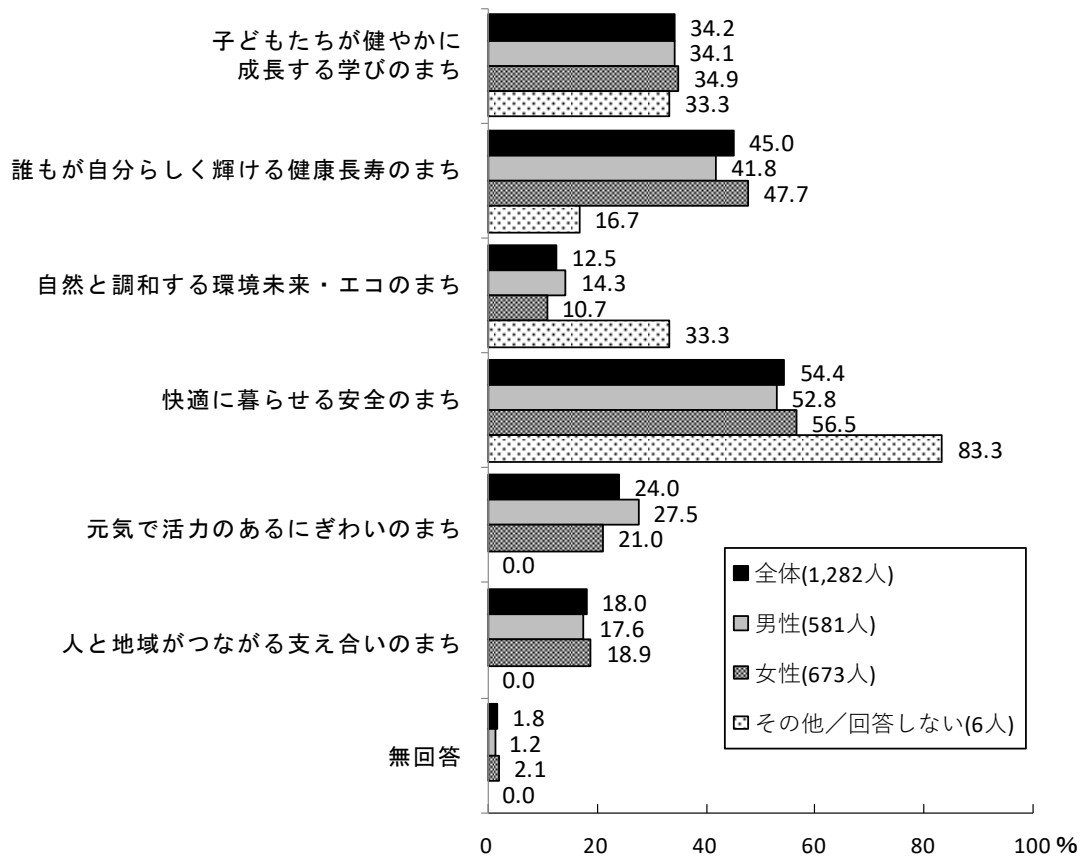


11-2 東松山市の将来像

◆「快適に暮らせる安全のまち」54.4%◆

問 39 あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

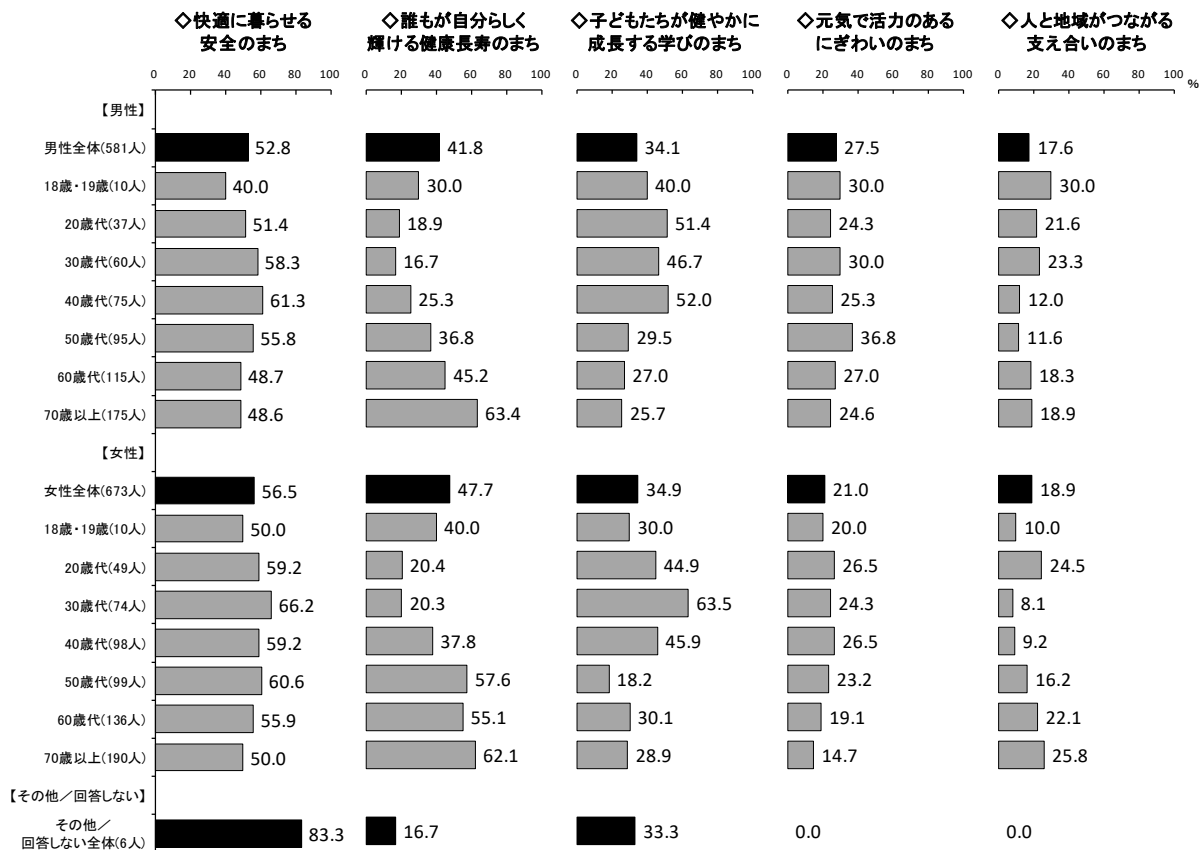
東松山市の将来像（全体・性別）



全体では「快適に暮らせる安全のまち」が54.4%と最も高く、次いで「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」(45.0%)、「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」(34.2%)、「元気で活力のあるにぎわいのまち」(24.0%)、「人と地域がつながる支え合いのまち」(18.0%)と続いています。

性別で見ると「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は女性(47.7%)が男性(41.8%)を5.9ポイント上回っています。一方「元気で活力のあるにぎわいのまち」は男性(27.5%)が女性(21.0%)を6.5ポイント上回っています。

東松山市の将来像(上位5項目 性・年代別)



性・年代別でみると「快適に暮らせる安全のまち」は男性の40歳代、女性の30歳代、50歳代で6割以上と高くなっています。

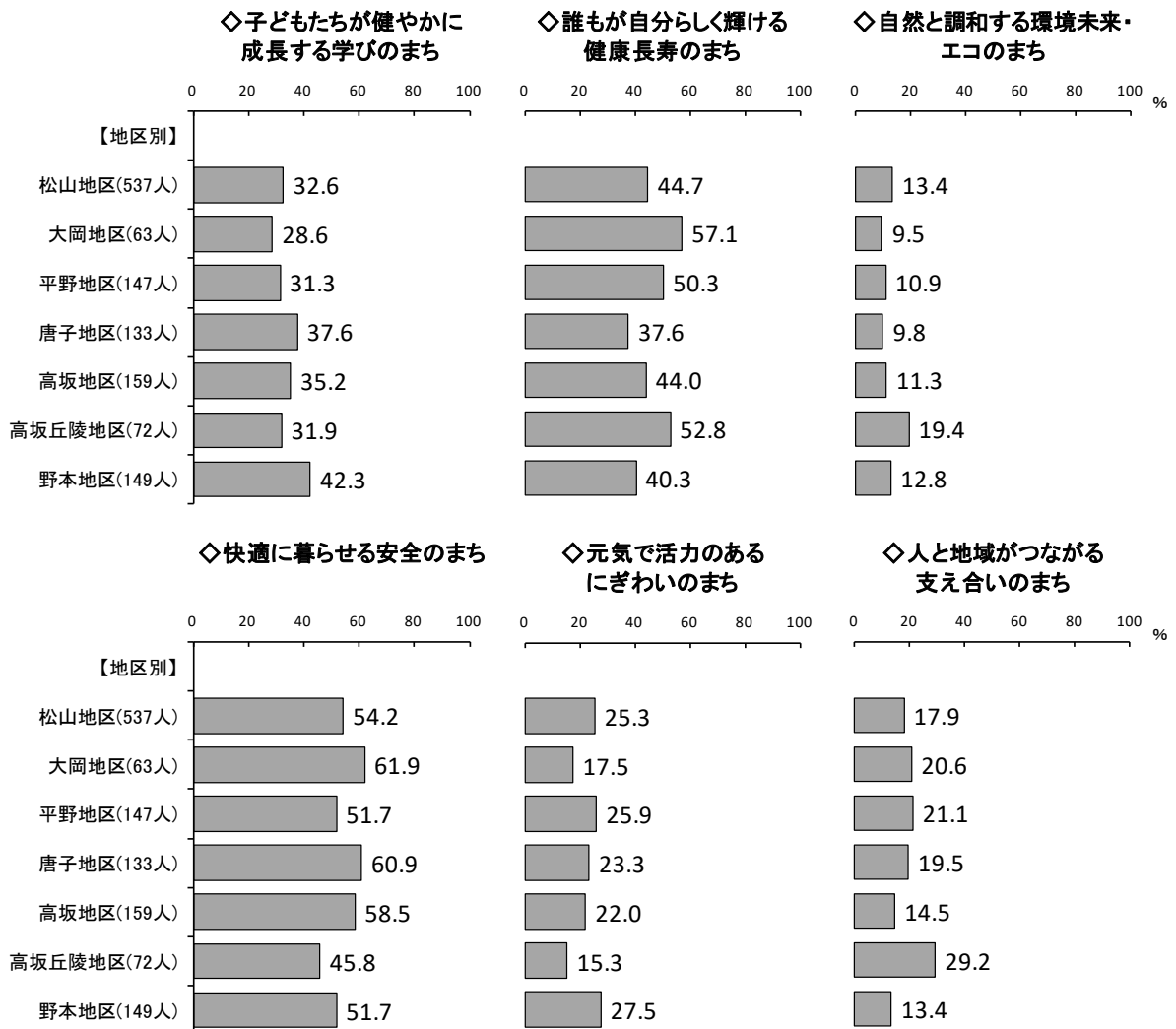
「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の70歳以上で63.4%、女性の70歳以上で62.1%とそれぞれ最も高くなっています。

「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は男性・女性ともに20～40歳代で割合が高く、特に男性の20歳代、40歳代で5割以上、女性の30歳代で6割以上となっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」は男性の50歳代で36.8%と最も高くなっており、次いで男性の18歳・19歳と30歳代がともに30.0%となっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は男性の18歳・19歳で30.0%と最も高く、女性では20歳代で24.5%、70歳以上で25.8%と高くなっています。

東松山市の将来像（地区別）



地区別でみると「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は野本地区で42.3%と最も高くなっています。

「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は大岡地区、平野地区、高坂丘陵地区で5割以上となっており、特に大岡地区では57.1%と高くなっています。松山地区、高坂地区、野本地区では4割台、唐子地区では3割台となっています。

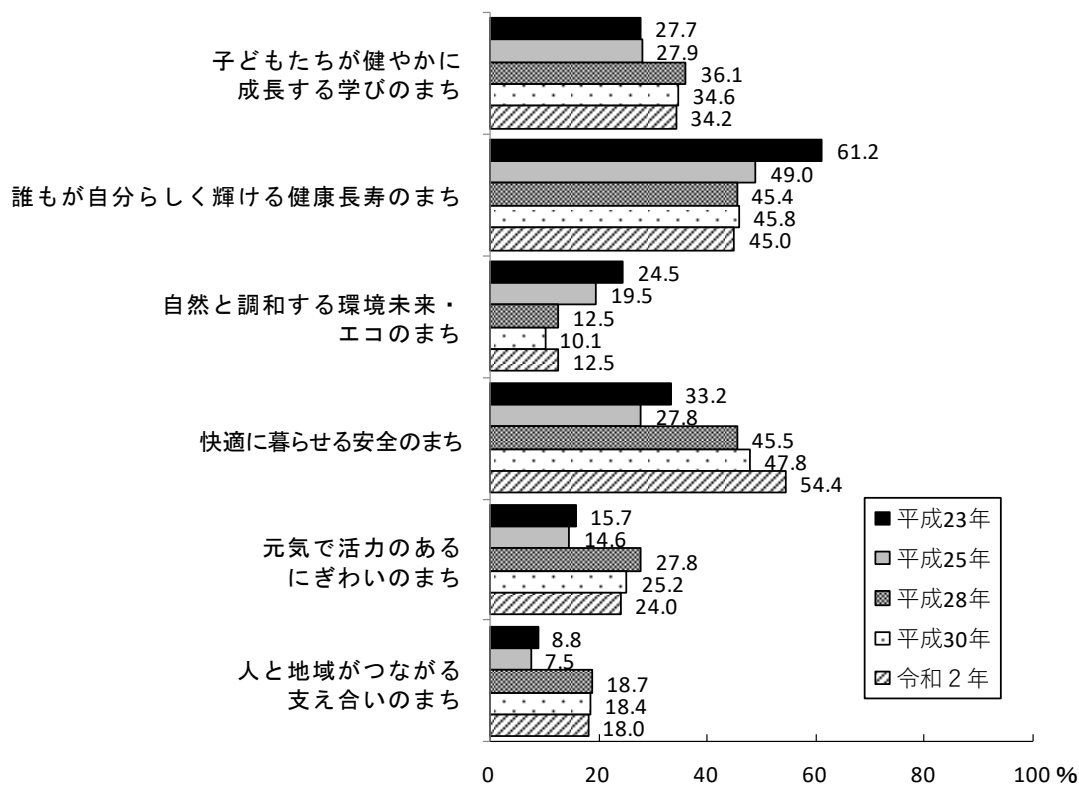
「自然と調和する環境未来・エコのまち」はいずれの地区でも2割以下となっており、最も高い高坂丘陵地区で19.4%となっています。

「快適に暮らせる安全のまち」は大岡地区、唐子地区で6割以上、松山地区、平野地区、高坂地区、野本地区で5割台、高坂丘陵地区で4割台となっています。

「元気で活力のあるにぎわいのまち」はいずれの地区でも1～2割となっており、最も高い野本地区で27.5%となっています。

「人と地域がつながる支え合いのまち」は高坂丘陵地区で29.2%と最も高くなっています。

東松山市の将来像（経年比較）



- ※「子どもたちが健やかに成長する学びのまち」は、平成 25 年度調査以前では「子どもたちの成長や子育てを応援するまち」と比較しています。
- ※「誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち」は、平成 25 年度調査以前では「医療・福祉が充実したまち」と比較しています。
- ※「自然と調和する環境未来・エコのまち」は、平成 25 年度調査以前では「自然環境を大切にした緑豊かなまち」と比較しています。
- ※「快適に暮らせる安全のまち」は、平成 25 年度調査以前では「都市の環境が整い、快適に暮らせるまち」と比較しています。
- ※「元気で活力のあるにぎわいのまち」は、平成 25 年度調査以前では「魅力的な産業や観光で人が集まるまち」と比較しています。
- ※「人と地域がつながる支え合いのまち」は、平成 25 年度調査以前では「スポーツや学習活動、地域活動がさかんなまち」と比較しています。

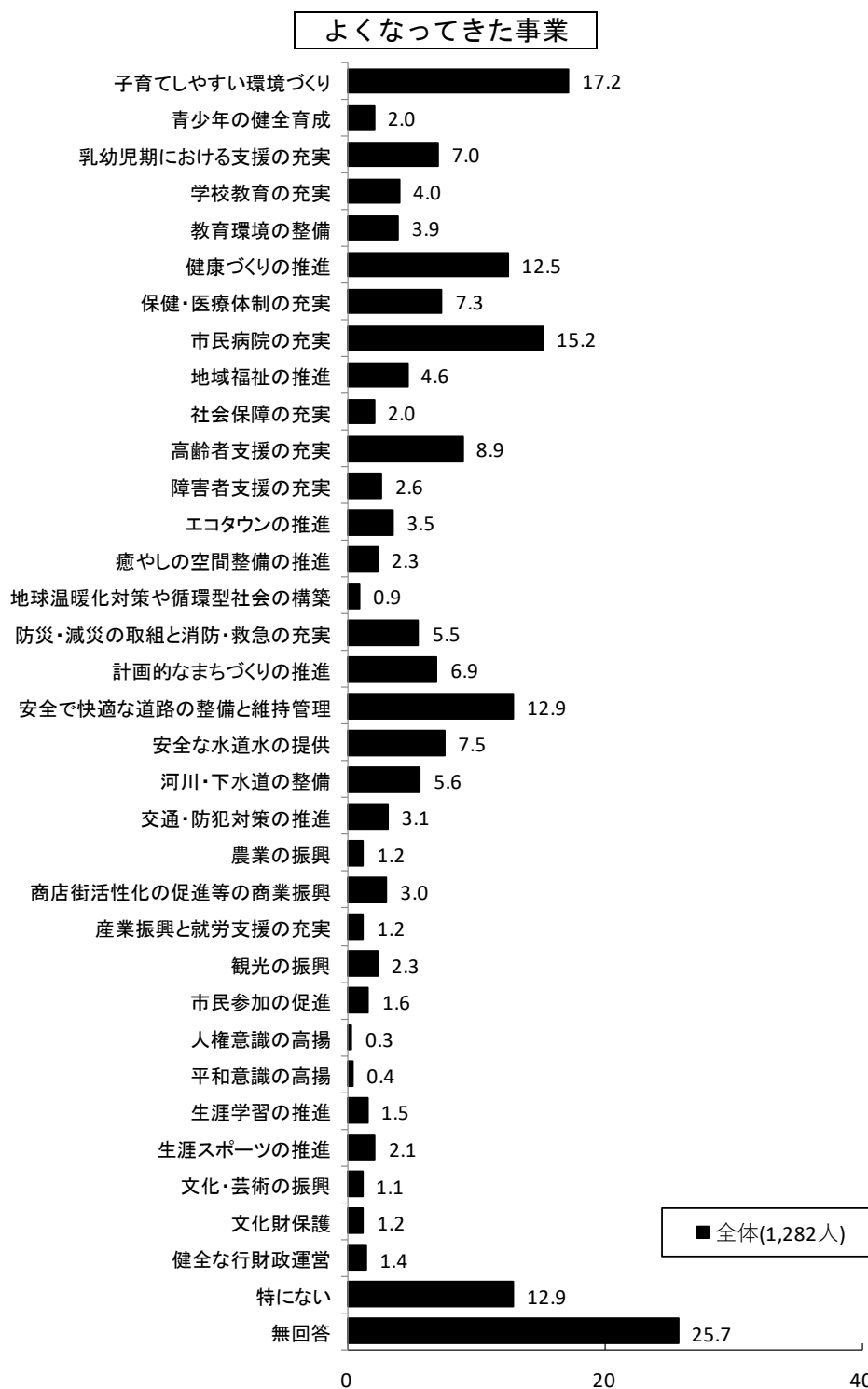
平成 30 年度調査と比較すると「快適に暮らせる安全のまち」は 6.6 ポイント増加しており、平成 25 年度調査以降、増加傾向にあります。

平成 28 年度調査以降「子どもが健やかに成長する学びのまち」「元気で活力のあるにぎわいのまち」「人と地域がつながる支え合いのまち」は減少傾向にあります。

11-3 よくなってきた事業／重点的に取り組むべき事業

◆よくなってきた事業「子育てしやすい環境づくり」17.2%◆

問 40 あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。



よくなってきた事業については「子育てしやすい環境づくり」が17.2%と最も高く、次いで「市民病院の充実」(15.2%)、「安全で快適な道路の整備と維持管理」(12.9%)、「健康づくりの推進」(12.5%)、「高齢者支援の充実」(8.9%)と続いています。

よくなってきた事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性(581人)		子育てしやすい環境づくり、 市民病院の充実 15.7%		安全で快適な道路 の整備と維持管理 14.5%	健康づくりの推進 11.7%	保健・医療体制の 充実 8.4%
女性(673人)		子育てしやすい 環境づくり 19.0%	市民病院の充実 15.3%	健康づくりの推進 13.5%	安全で快適な道路 の整備と維持管理 11.6%	高齢者支援の充実 9.7%
その他/ 回答しない(6人)		子育てしやすい環境づくり、乳幼児期における支援の 充実、計画的なまちづくりの推進 16.7%				
男性18歳・19歳(10人)		市民病院の充実、 安全で快適な道路の整備と維持管理 30.0%		子育てしやすい環境づくり、学校教育の充実、 教育環境の整備、防災・減災の取組と消防・救急の 充実、安全な水道水の提供 20.0%		
20歳代(37人)		安全で快適な道路 の整備と維持管理 21.6%	子育てしやすい 環境づくり 16.2%	高齢者支援の充実 13.5%	保健・医療体制の 充実 10.8%	学校教育の充実、 市民病院の充実、 商店街活性化の 促進等の商業振 興、観光の振興 8.1%
30歳代(60人)		子育てしやすい 環境づくり 25.0%	安全で快適な道路 の整備と維持管理 11.7%	健康づくりの推進、 計画的なまちづくりの推進 10.0%		乳幼児期における 支援の充実、エコ タウンの推進、防 災・減災の取組と 消防・救急の充実 8.3%
40歳代(75人)		子育てしやすい 環境づくり 25.3%	健康づくりの推進 13.3%	乳幼児期における支援の充実、 計画的なまちづくりの推進 12.0%		河川・下水道の 整備 8.0%
50歳代(95人)		安全で快適な道路 の整備と維持管理 17.9%	子育てしやすい 環境づくり 15.8%	市民病院の充実 13.7%	計画的なまち づくりの推進 8.4%	高齢者支援の充実 7.4%
60歳代(115人)		市民病院の充実 23.5%	安全で快適な道路 の整備と維持管理 18.3%	子育てしやすい環境づくり、 健康づくりの推進 11.3%		河川・下水道の 整備 10.4%
70歳以上(175人)		市民病院の充実 21.1%	健康づくりの推進 16.0%	高齢者支援の充実 13.1%	保健・医療体制の充実、 安全で快適な道路の整備と維持管理 12.0%	
女性18歳・19歳(10人)		教育環境の整備、 安全で快適な道路の整備と維持管理 30.0%		子育てしやすい環境づくり、 健康づくりの推進 20.0%		学校教育の充実、 市民病院の充実、 交通・防犯対策の 推進 10.0%
20歳代(49人)		安全で快適な道路 の整備と維持管理 24.5%	計画的なまち づくりの推進 12.2%	子育てしやすい環境づくり、 健康づくりの推進 10.2%		乳幼児期における 支援の充実 8.2%
30歳代(74人)		子育てしやすい 環境づくり 28.4%	乳幼児期における支援の充実、健康づくりの推進、 安全で快適な道路の整備と維持管理 14.9%		市民病院の充実、 計画的なまちづく りの推進、観光の 振興 6.8%	
40歳代(98人)		子育てしやすい 環境づくり 24.5%	市民病院の充実 10.2%	安全で快適な道路 の整備と維持管理 9.2%	計画的なまちづくりの推進、 安全な水道水の提供 7.1%	
50歳代(99人)		子育てしやすい 環境づくり 24.2%	安全で快適な道路 の整備と維持管理 10.1%	乳幼児期における支援の充実、市民病院の充実、 計画的なまちづくりの推進 9.1%		
60歳代(136人)		健康づくりの推進 21.3%	子育てしやすい 環境づくり 20.6%	市民病院の充実 19.9%	安全で快適な道路の整備と維持 管理、安全な水道水の提供 11.0%	
70歳以上(190人)		市民病院の充実 24.2%	高齢者支援の充実 17.4%	健康づくりの推進 16.3%	子育てしやすい 環境づくり 12.1%	安全な水道水の 提供 10.0%

上位5項目を性別で見ると、男性・女性ともに「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。男性では「市民病院の充実」も1位となっています。

性・年代別で見ると、男性の30～40歳代と女性の30～50歳代で「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。また、男性の20歳代、50歳代と女性の60歳代では「子育てしやすい環境づくり」が2位となっています。男性の18歳・19歳、60歳代以降と女性の70歳以上では「市民病院の充実」が1位となっています。女性の40歳代では「市民病院の充実」は2位となっています。

「安全で快適な道路の整備と維持管理」は男性の18歳・19歳、20歳代、50歳代、女性の18歳・19歳、20歳代で1位になっており、若い世代の割合が高くなっています。また、男性の30歳代、60歳代、女性の30歳代、50歳代では2位となっています。

よくなってきた事業（地区別 上位5項目）

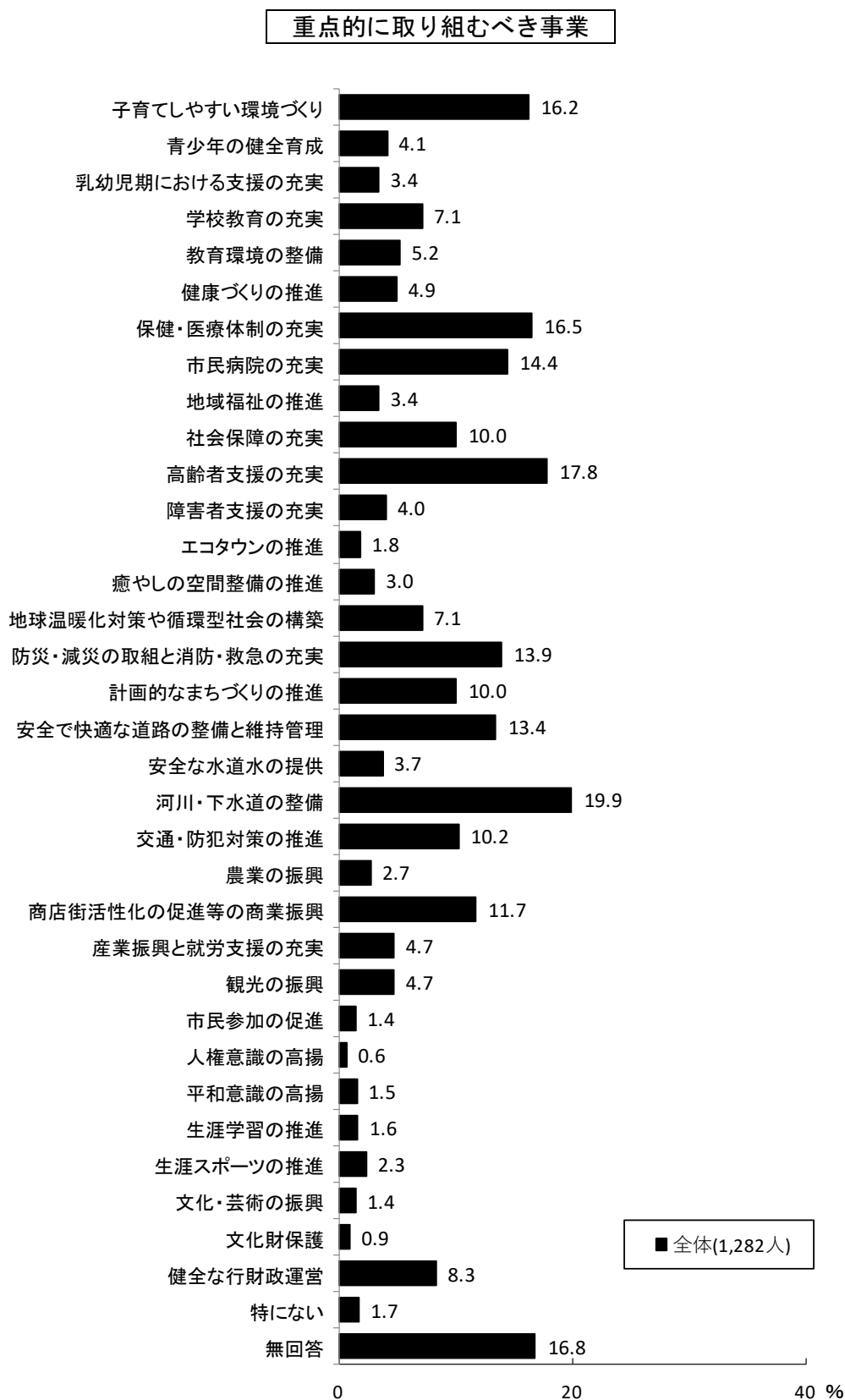
属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体(1,282人)		子育てしやすい環境づくり	市民病院の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	健康づくりの推進	高齢者支援の充実
		17.2%	15.2%	12.9%	12.5%	8.9%
【地区別】						
松山地区(537人)		安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり	市民病院の充実	健康づくりの推進	高齢者支援の充実
		15.6%	15.5%	14.7%	11.5%	8.9%
大岡地区(63人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	乳幼児期における支援の充実、 高齢者支援の充実	
		17.5%	15.9%	12.7%	9.5%	
平野地区(147人)		市民病院の充実	子育てしやすい環境づくり	安全で快適な道路の整備と維持管理	高齢者支援の充実	健康づくりの推進
		21.8%	12.2%	10.9%	9.5%	8.8%
唐子地区(133人)		市民病院の充実	健康づくりの推進	子育てしやすい環境づくり	保健・医療体制の充実、 安全な水道水の提供	
		18.8%	17.3%	15.8%	9.8%	
高坂地区(159人)		子育てしやすい環境づくり	健康づくりの推進	計画的なまちづくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理	市民病院の充実
		23.3%	13.8%	13.2%	11.3%	10.1%
高坂丘陵地区(72人)		健康づくりの推進	安全で快適な道路の整備と維持管理	子育てしやすい環境づくり	高齢者支援の充実	市民病院の充実、 安全な水道水の提供
		25.0%	20.8%	16.7%	12.5%	11.1%
野本地区(149人)		子育てしやすい環境づくり	市民病院の充実	高齢者支援の充実	安全で快適な道路の整備と維持管理	健康づくりの推進
		25.5%	15.4%	10.7%	10.1%	9.4%

上位5項目を地区別で見ると、松山地区では「安全で快適な道路の整備と維持管理」、大岡地区、平野地区、唐子地区では「市民病院の充実」、高坂丘陵地区では「健康づくりの推進」、高坂地区、野本地区では「子育てしやすい環境づくり」が1位となっています。

次いで、松山地区、大岡地区、平野地区では「子育てしやすい環境づくり」、唐子地区、高坂地区では「健康づくりの推進」、高坂丘陵地区では「安全で快適な道路の整備と維持管理」、野本地区では「市民病院の充実」が高くなっています。

大岡地区では「乳幼児期における支援の充実」、唐子地区では「保健・医療体制の充実」「安全な水道水の提供」、高坂地区では「計画的なまちづくりの推進」が5位以内に入っています。

◆重点的に取り組むべき事業「河川・下水道の整備」19.9%◆



重点的に取り組むべき事業については「河川・下水道の整備」が19.9%と最も高く、次いで「高齢者支援の充実」(17.8%)、「保健・医療体制の充実」(16.5%)、「子育てしやすい環境づくり」(16.2%)、「市民病院の充実」(14.4%)と続いています。

重点的に取り組むべき事業（性・年代別 上位5項目）

属性	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
【性・年代別】						
男性(581人)		河川・下水道の整備 19.6%	高齢者支援の充実 16.4%	子育てしやすい環境づくり 16.0%	保健・医療体制の充実 15.1%	市民病院の充実 14.1%
女性(673人)		河川・下水道の整備 20.2%	高齢者支援の充実 19.5%	保健・医療体制の充実 18.1%	子育てしやすい環境づくり 16.6%	市民病院の充実 15.0%
その他/ 回答しない(6人)		河川・下水道の整備 33.3%	子育てしやすい環境づくり、学校教育の充実、教育環境の整備、健康づくりの推進、市民病院の充実、癒やしの空間整備の推進、地球温暖化対策や循環型社会の構築、防災・減災の取組と消防・救急の充実、商店街活性化の促進等の商業振興 16.7%			
男性18歳・19歳(10人)		教育環境の整備、保健・医療体制の充実、防災・減災の取組と消防・救急の充実、観光の振興、生涯スポーツの推進 20.0%				
20歳代(37人)		子育てしやすい環境づくり、計画的なまちづくりの推進 21.6%	安全で快適な道路の整備と維持管理、河川・下水道の整備 18.9%			高齢者支援の充実、エコタウンの推進、防災・減災の取組と消防・救急の充実 16.2%
30歳代(60人)		子育てしやすい環境づくり 33.3%	交通・防犯対策の推進 23.3%	保健・医療体制の充実、河川・下水道の整備 16.7%		学校教育の充実、観光の振興 15.0%
40歳代(75人)		河川・下水道の整備 21.3%	保健・医療体制の充実、防災・減災の取組と消防・救急の充実 18.7%		子育てしやすい環境づくり 16.0%	市民病院の充実、高齢者支援の充実、交通・防犯対策の推進 14.7%
50歳代(95人)		子育てしやすい環境づくり 22.1%	高齢者支援の充実 20.0%	市民病院の充実 18.9%	安全で快適な道路の整備と維持管理、河川・下水道の整備 16.8%	
60歳代(115人)		高齢者支援の充実、河川・下水道の整備 19.1%		保健・医療体制の充実、市民病院の充実 16.5%		子育てしやすい環境づくり、健全な行財政運営 12.2%
70歳以上(175人)		河川・下水道の整備 23.4%	高齢者支援の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理、商店街活性化の促進等の商業振興 15.4%			保健・医療体制の充実、市民病院の充実 14.9%
女性18歳・19歳(10人)		交通・防犯対策の推進 30.0%	学校教育の充実、保健・医療体制の充実、地球温暖化対策や循環型社会の構築、安全で快適な道路の整備と維持管理、観光の振興 20.0%			
20歳代(49人)		子育てしやすい環境づくり 42.9%	河川・下水道の整備、交通・防犯対策の推進 20.4%		防災・減災の取組と消防・救急の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理 16.3%	
30歳代(74人)		子育てしやすい環境づくり 41.9%	保健・医療体制の充実、防災・減災の取組と消防・救急の充実 18.9%		河川・下水道の整備 16.2%	高齢者支援の充実 14.9%
40歳代(98人)		保健・医療体制の充実、河川・下水道の整備 18.4%		学校教育の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理 17.3%		子育てしやすい環境づくり、社会保障の充実 16.3%
50歳代(99人)		河川・下水道の整備 28.3%	高齢者支援の充実 26.3%	保健・医療体制の充実 21.2%	防災・減災の取組と消防・救急の充実 19.2%	市民病院の充実 17.2%
60歳代(136人)		高齢者支援の充実 25.0%	保健・医療体制の充実、河川・下水道の整備 22.1%		防災・減災の取組と消防・救急の充実 21.3%	商店街活性化の促進等の商業振興 15.4%
70歳以上(190人)		高齢者支援の充実 20.0%	河川・下水道の整備 18.4%	保健・医療体制の充実 14.7%	防災・減災の取組と消防・救急の充実、商店街活性化の促進等の商業振興 12.6%	

上位5項目を性別で見ると、男性・女性とも「河川・下水道の整備」が1位となっており、次いで「高齢者支援の充実」が2位となっています。

性・年代別で見ると「河川・下水道の整備」は男性の40歳代、60歳代以降と女性の40～50歳代で1位となっています。女性の20歳代、60歳代以降では「河川・下水道の整備」は2位となっています。

「高齢者支援の充実」は男性の60歳代、女性の60歳代以降で1位となっています。男性の50歳代、70歳以上と女性の50歳代では2位となっています。

「子育てしやすい環境づくり」は男性の20～30歳代、50歳代と女性の20～30歳代の子育て世代を中心に1位となっています。

「保健・医療体制の充実」は男性の18歳・19歳、女性の40歳代で1位となっています。男性の40歳代と女性の18歳・19歳、30歳代、60歳代では2位となっています。

重点的に取り組むべき事業（地区別 上位5項目）

属性 \ 順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体(1,282人)	河川・下水道の整備 19.9%	高齢者支援の充実 17.8%	保健・医療体制の充実 16.5%	子育てしやすい環境づくり 16.2%	市民病院の充実 14.4%
【地区別】					
松山地区(537人)	高齢者支援の充実 17.3%	子育てしやすい環境づくり 16.4%	河川・下水道の整備 16.2%	市民病院の充実 15.8%	安全で快適な道路の整備と維持管理 15.3%
大岡地区(63人)	保健・医療体制の充実 19.0%	高齢者支援の充実、河川・下水道の整備 17.5%		子育てしやすい環境づくり、計画的なまちづくりの推進 14.3%	
平野地区(147人)	河川・下水道の整備 21.8%	高齢者支援の充実 21.1%	保健・医療体制の充実 19.0%	市民病院の充実 15.6%	子育てしやすい環境づくり 13.6%
唐子地区(133人)	河川・下水道の整備 28.6%	子育てしやすい環境づくり 21.8%	保健・医療体制の充実 17.3%	安全で快適な道路の整備と維持管理 16.5%	防災・減災の取組と消防・救急の充実 14.3%
高坂地区(159人)	河川・下水道の整備 26.4%	防災・減災の取組と消防・救急の充実 22.0%	高齢者支援の充実 20.8%	保健・医療体制の充実、市民病院の充実 17.6%	
高坂丘陵地区(72人)	高齢者支援の充実 26.4%	保健・医療体制の充実 23.6%	商店街活性化の促進等の商業振興 19.4%	防災・減災の取組と消防・救急の充実 18.1%	社会保障の充実 16.7%
野本地区(149人)	河川・下水道の整備 19.5%	高齢者支援の充実 16.1%	子育てしやすい環境づくり、保健・医療体制の充実 14.8%		防災・減災の取組と消防・救急の充実、安全で快適な道路の整備と維持管理 14.1%

上位5項目を地区別で見ると、平野地区、唐子地区、高坂地区、野本地区では「河川・下水道の整備」、松山地区、高坂丘陵地区では「高齢者支援の充実」、大岡地区では「保健・医療体制の充実」が1位となっています。「河川・下水道の整備」は大岡地区「高齢者支援の充実」は大岡地区、平野地区、野本地区「保健・医療体制の充実」は高坂丘陵地区で2位となっています。

松山地区、唐子地区、野本地区では「子育てしやすい環境づくり」、高坂地区では「防災・減災の取組と消防・救急の充実」、高坂丘陵地区では「商店街活性化の促進等の商業振興」が3位以内に入っています。

12 地域資源について

12-1 東松山市の地域資源

◆「やきとり（やきとん、かしら）」360件◆

問 41 あなたが、「東松山市の地域資源（名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの）」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

東松山市の地域資源について、681人の市民の皆さまからご意見をいただきました。「名所（自然・建造物・歴史等）」「名物・農産物」「祭り・イベント」「植物」と分類し、集計した結果、主な地域資源に以下のようなものがあげられています。

最も多いのは「やきとり（やきとん、かしら）」（360件）、次いで「日本スリーデーマーチ」（315件）「箭弓稲荷神社」（226件）「ぼたん」（182件）と続いています。

■名所〔自然・建造物・歴史等〕（10件以上）

項目	件数
箭弓稲荷神社	226件
埼玉県子ども動物自然公園 （コアラを含む）	138件
ぼたん園	108件
岩殿観音正法寺（いちょう）	40件
吉見百穴	30件
丸木美術館	29件
自然・緑・田園など	29件
ピオニウオーク	21件
物見山・物見山公園	16件
将軍塚古墳	14件
化石と自然の体験館（化石）	13件
埼玉県平和資料館	11件
高坂彫刻プロムナード	11件
東松山市農林公園	10件

■名物・農産物（上位3項目）

項目	件数
やきとり（やきとん、かしら）	360件
梨	65件
みそだれ	36件

■祭り・イベント（6件以上）

項目	件数
日本スリーデーマーチ	315件
夏まつり（天王さま）	49件
ひがしまつやま花火大会	36件
ぼたんまつり	15件
各地区のお祭り	14件
夢灯路	8件
馬頭観音の絵馬市	8件
金谷の餅つき踊り	8件

■植物（上位5項目）

項目	件数
ぼたん	182件
桜	19件
つつじ	9件
松	7件
なんじゃもんじゃの木	4件

IV 自由意見

自由意見 ―― 分野別分類

今回の市民意識調査の中で、東松山市のまちづくりについて、504 人の市民の方から延べ 686 件のご意見をいただきました。分野ごとに分類すると、以下のようになります。

分 野	件 数
1 都市基盤の整備について	142
2 駅周辺や商店街の活性化について	65
3 環境について	106
4 防災・防犯・安全について	74
5 保健・医療・福祉について	41
6 教育・文化・スポーツについて	45
7 産業について	41
8 情報について	18
9 市政について	95
10 その他	59
合 計	686

次ページ以降で、主だったいくつかのご意見を紹介させていただきます。

自由意見 ―― 市民の声

■1 都市基盤の整備について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	ベビーカーを押して歩きやすい、子どもと手をつないで歩きやすい道路を増やしてほしい。
女性	20 歳代	道路の整備をもっと頑張ってください。
女性	20 歳代	子どもが安心して遊べるような公園が少ない地域に公園をつくっていただけるとありがたいです。
男性	30 歳代	街灯が少ない新しい住宅地が多い。 道路や歩道がせまい所が多い。 人通りが多いのに信号や横断歩道がなく渡りにくい所も多い。
女性	30 歳代	子どもが多いわりには子育て支援センターが少ない。子どもが室内でも遊べる場所をもっと作ってほしい。大きな公園（遊具などが充実している）をもっと作ってほしい。その際には必ず駐車場も一緒に作ってほしい。あとトイレも。トイレのない公園はとても困ります。ご検討よろしくお願いいいたします。
女性	30 歳代	道路整備をもっと進めてほしいです。住宅街の細い道は砂利道が多く、子どもが通学路として歩いているのに危険を感じます。
男性	40 歳代	車道の整備の一方、安全に通行できるウォーキング道、サイクリング道の整備ができると、よりエコで健康な生活ができると思う。欧州都市のクルマの入れない道、自転車専用レーン、自転車専用信号など参考にできる例は多い。車より低コストで速く移動でき、身体も強くなる社会にしてほしい。
女性	40 歳代	デマンドタクシーの利用時間を長くしてほしい。70才以上は安くしてほしい。東松山市民だけの何か特別な割引などの特典があったらうれしいです。東松山市民でよかったと思いたいです。
男性	50 歳代	道路の舗装がでこぼこや陥没しているところが非常に多いと思います。子どもが転んで怪我をしました。補修や点検をすぐに行ってください。
女性	50 歳代	東松山市役所の方々は、とても感じの良い方ばかりです。これからもよろしくお願ひします。信号のない横断歩道には、街灯をお願いします。市街地でも夜は暗くてみえません。歩道に埋め込みのタイル表示、駅の方向を示す向きが去年あたり見た時、多分逆方向になっていると思われる所がありました。
女性	60 歳代	交通手段について今現在は自分で運転できているので生活上の不便を感じないが、近い将来運転できなくなることは分かっているので、その時いろいろな公共的な催しや、教室に参加できなくなってしまう。乗降ポイントをたくさん増やし、利用しやすい公共バス（小型）、デマンドタクシーにしてほしい。田舎ほど利用しにくい状況になっている。
男性	70 歳代	歩道に雑草が多い。草刈りを多くしてほしい。
女性	70 歳代	公園がたくさんあってとてもいいのですが、木の名前がついているといいと思います。 循環バスの時刻をもう少し増やしてほしい。

■2 駅周辺や商店街の活性化について

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	高坂周辺を活性化していく気持ちはわかるが、お店の種類が少なく、同じようなお店が多いように思う。もう少し、若者も遊べるようなところがあるといいと思います。
女性	20 歳代	駅前をもう少し発展してほしい。人が集まれそうな商業施設を作ってほしい。
女性	30 歳代	駅周辺で遊具が多い公園ができればうれしいです。
男性	40 歳代	駅前通りの開発を早急に行ってほしい。駅ビル内にやきとり横町的な施設があるとおもしろいと思う。 駅徒歩圏内にスーパーがほしい（プライス跡ぐらいの距離で）。
女性	40 歳代	駅周辺の衰退が気になります。学校や仕事帰りに買物したくてもする場所がないし、人待ちするためなどのカフェなども少なく駅の利用に不便を感じます。市内全体で飲食店もチェーン店ばかりで外食したくても行く場所がなく残念に思っています。
女性	40 歳代	駅の周辺がもっと活気づくと良いのですが…。
女性	50 歳代	東松山の駅周辺が少しさみしい。もう少し、人が集まって来る様な、魅力的スポットや店舗が増えるといいなと思います。
男性	60 歳代	旧本町通りの開発、高坂駅西、東口の開発
女性	60 歳代	若い人が行きやすいまちづくり、(活気のあるまち) 東松山駅(東口・西口)の周りに大型店を誘致して他の(下り方面)の町からの人が川越まで行かなくても東松山で、下車し、川越のような、駅前通りにしてほしい。
女性	70 歳代	駅前通り、ぼたん通り等に、子ども～高齢者まで気軽に入れる、ファストフード店や、若い人向けのブティック等を誘致して活性化してほしい！
女性	70 歳代	駅前の商店街ににぎわいを！駅前は街の顔。駅舎はきれいになったが、商店街が寂しい限り。街並みにテーマを持たせて統一したり、車の進入を禁止して歩いて買い物が楽しめるようにしたり、商店街ぐるみの抜本的変革を望みます。

■3 環境について

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	市野川を綺麗にしてほしい。
男性	20 歳代	神明町では野良ネコが多く、えさを無責任に与える人がいること、またペットのフンを処理しない人が多いと感じる。年齢の高低に関係なくマナーの悪い人が目立つ。
男性	30 歳代	東松山は色々な意味でとても良い環境だと思います。ぼたん園の様な子どもがのびのびと遊べる施設が他にもいくつかあったら子育て世代にはとてもうれしいと思います。
女性	30 歳代	田舎ほどゴミ捨て場までが遠く車で持っていくのが不便。太陽光の土地が増え、緑が減ることに不満を思う。
男性	40 歳代	子ども達が野球やサッカーなどをできる公園や空き地の確保。スポ少などでは無く、昔みたいに皆で放課後集まって野球をやっても怒られない環境。危ないからダメと言わない大人。

性別	年代	市民の声
女性	40 歳代	豊かな自然を残してほしいです。自然あふれる、明るいまちになってほしいです。
女性	50 歳代	自然が豊かなまちだと思っています。このまま、環境に対する取り組みをし、エコな生活を送りたいと考えています。
女性	50 歳代	東松山のよいところは自然豊かなところだと思います。もう商業施設は増やさなくてよいです。それからエコタウンをめざすのはよいのですが、緑を減らしてまでソーラーを作らないでほしいです。緑豊かな公園を増やし、緑の中を歩いて行くスリーデーマーチのコース（森林公園駅から森林公園までの遊歩道のような）を作してほしいです。
女性	60 歳代	高坂の七清水の周囲散歩コースとしてももう少しきれいであつたらと思います。近くの九十九川には、カワセミやシギ類、ノマリ、トビ等の猛禽類もいてコロナ禍のこの時代には貴重な“清水”のある田園風景かと思っています。
女性	60 歳代	20年以上暮らしていますが生活しやすく歴史の有る町だと思います。世界的に有名なスリーデーを大切にこれからも、子どもから高齢者まで優しい街になってほしいと願っております。きれいな市内と自然豊かで、あいさつが飛びかうみんなが自分たちの街を好きでいてこれからも更なる発展を望んでおります。
男性	70 歳代	街路樹も良いと思いますが、落葉のことを考えてほしい。落葉がたまり敷地内に入り清掃が大変です。又、その落葉のたまった中にタバコの吸い殻などがあり大変危険です。落葉の前に枝を切してほしい。
女性	70 歳代	近隣公園に花が少ない。毎日散歩をしているので花が多いと楽しめると思う。
女性	70 歳代	犬の散歩、一部の方と思いますが、道端にフン、片付けずに立ち去る方がいます。大変困っています。
女性	70 歳代	野生動物の駆除対策をお願いします。
女性	80 歳代	夏→バイクで騒音あげて走る→どうにかありませんかね 飼い猫→土を耕し、種まき、花を植えようとしている所にフンやオシッコをされ、かなしい ポイ捨て→空き缶、マスク 資源とごみ→区分と、指定曜日ーちゃんと守ってほしい

■4 防災・防犯・安全について

性別	年代	市民の声
男性	18 歳・19 歳	交通事故発生状況が、かなり高い数字となっているため、交通整理や交通警備の徹底をお願いしたい。
女性	20 歳代	街灯が少なすぎます。住宅街が夜は真っ暗で歩くのが怖いです。
男性	20 歳代	排水溝の水の流れが悪く、少しの雨でもあふれそうになっている。大雨の時等にすごく心配なので、流れがよくなるように改善してほしい。
女性	30 歳代	昨年台風19号の際、避難をしましたが、食料の配給の有無、消灯時刻などの事前の“アナウンス”がほしかったです。

性別	年代	市民の声
男性	30 歳代	生活道路の街灯・安全ミラーが少なすぎて自転車、自動車共に危ないと感じることが多々ある。どちらかだけでもすぐに増やしてほしい。高坂エリアはとてもキレイなのにそこだけが残念です。子育て世代がたくさんいる印象なのでよろしく願いいたします。
女性	30 歳代	昨年の台風 19 号の際、避難をしましたが、スペースがなく、子どもがいる我が家にとっては周囲への迷惑などを考えて、スペースもなく、厳しかったです。
女性	40 歳代	事故が早期解決できる映像を残せるように各信号機に防犯カメラを付けてほしい。住宅街に街灯を増やすことや防犯カメラを付けることで、車上荒らしや犯罪等を削減してよりよく快適に安心して過ごせるようになってほしいです。
男性	40 歳代	路上駐車が多すぎる。景観が悪いので、治安含め、もっと徹底して市民意識向上や、巡回等取り組んでほしい。
男性	40 歳代	毎年のように発生する山崎町の浸水災害の対策を早急に行っていただきたい。山崎町から新宿町の周辺では、小学校や幼稚園があるにも関わらず、カーブミラーが非常に少なく車両、歩行者共に危険である。
その他/ 回答しない	40 歳代	台風で堤防が決壊しないように点検・強化してほしい。旧道等の歩道が狭いところの歩道の整備をぜひお願いします。木や雑草などがあり、通りづらい。自動車との距離が近く、とても危険です。
男性	50 歳代	治安維持、街灯にカメラ設置、戦略的な街造り（ソフト、ハードの連携）
女性	50 歳代	河川の整備を強く希望しています。氾濫が再度起こらないこと、台風がきても怯えなくてもいい環境にこの東松山市がなってほしい。
女性	60 歳代	防災行政無線が、近くに道路があるせいか聞こえない。我が家みたいな家もあるのではないのでしょうか？重要なお知らせだったら…と思うと不安。
女性	60 歳代	最近不審者情報などが頻繁にあり、心を痛めております。みんなが安心して住める町づくりをみんなで協力して築いていけたらいいなと思います。
女性	60 歳代	空き屋が放置されており樹木が伸び放題。持ち主の親族の方も市役所の方も見に来られている様子がなく落葉もすごく、特に心配なのは、木が電線にかかっていることです。風の強い日は特に心配です。何かあってからでは困ります。とても迷惑している状態です。町をきれいにするのも大事ですが、空き屋の方も点検、確認して頂きたいと思います。宜しく願いいたします。
女性	70 歳代	空き家対策、(防犯等のことも含め) 景観等の問題から早めに何か対策をとっていただけたらと思います(各家庭の努力も必要だと思いますが…)
女性	70 歳代	自然災害が問題視されますが万一被災した場合の手続き等わかり易く丁寧な対応を望みます。
男性	80 歳代	防災施設の整備

■5 保健・医療・福祉について

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	市民病院の患者受け入れ対策を見直してください。
女性	30 歳代	市民病院のインフルエンザワクチンの価格が5千円強ですが、全く市民に開かれた医療という感じがしません。
女性	40 歳代	各種がん検診の土曜実施日をもう1日～2日増やして頂きたいです。
男性	40 歳代	医療体制の充実（特に市民病院の充実）。小児科を毎日受診できるようにしてほしい。
女性	50 歳代	共生という言葉はよく聞きますが、他市に比べて東松山はまだ遅れていると思います。障害のある、なし、介護の度合いに関係なく安心して暮らせるようになってほしいと思います。
男性	50 歳代	高校生以下のインフルエンザワクチンに補助金が出てくれるとありがたいです。
男性	60 歳代	車の運転が困難な高齢者や障害者にとって、やさしいまちづくりについての議論と実践。
女性	60 歳代	市民病院の中に女性専門の科を希望します。
女性	70 歳代	障害者に優しいまちづくりを推進してほしいと思います。例えば、障害者が一般社会に参加できる場を作してほしいです。そして、健康な人が障害者に対して温かい言葉かけができるまちづくりを期待しています。
女性	70 歳代	人に優しい町であってほしいです。特に子どもと障害者が元気に暮らせる町、その為には行政は勿論、一人ひとりの意識が大切だと思います。
女性	無回答	保育園の土曜日、日曜日の保育、時間も延長してほしい。いろいろな働き方の人がいるので！！

■6 教育・文化・スポーツについて

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	運動する環境を整える。
女性	30 歳代	子どもを育てる親としての意見ですが、どうしても都市部の方が、偏差値が高くなる傾向があるので、学校教育を重点的に変革していただきたいです。教育も横並びでなく、他の地域と異なるユニークなものを取り入れてみるのもいいと思います。（例）インターナショナルスクールのような学校を作ったり、教育の専門家の意見を聞き新しい教育を実験的に行うとか。教育で目立てば子育て世代が移住してくる可能性もでき、市の活性化にもなると思います。
女性	40 歳代	市内に1つ複合型のスポーツ施設（運動公園みたいなもの）があったらいいなあと思います。屋内競技と屋外競技が1つの場所で市民が気軽に使用できる所があったらうれしいです。
男性	40 歳代	青少年育成に尽力して頂きたい。学びを選択できるように、豊富に取り揃えてもらいたい。社会と学校の連携。大人と子どもが同じ目標を持ち、考え、実施できれば良いと思う。これからの子どもたちに、色々と学ばせて下さい。
女性	40 歳代	オンライン学習等の環境を整えてほしい。

性別	年代	市民の声
女性	40 歳代	数年前から小中学校連携をやっているが、それ程他の小中学校との違いが感じられない。わざわざ自宅から離れた学校に通いたいと思わせる“何か”を作ればいいのと思う。外部から優秀な指導者を招いて、強化部活を作るとか、他の学校にはない種類の部活を作るとか…。又は、教育に特化して、進学に強いクラスを作るとか…。ただ、空き教室が多くてもったいないから、少しでも生徒数を増やしたいというのであれば、そんな中途半端に予算を使うのはもったいないと思う。
男性	40 歳代	学校：校区の見直し
男性	50 歳代	東松山が一つになる何かしてほしい。スポーツが好きなのでサッカー、バスケ、卓球などのプロチームがほしい。
女性	60 歳代	文化、芸術を通して、元気で明るい美しいまちづくりをしてほしいです。
男性	60 歳代	東松山市に人工芝の多目的グラウンドを作り子どもから大人までサッカーや他のスポーツを気持ち良く行える施設を早急に作ってもらいたい。
女性	70 歳代	昔は企業城下町からなり、商店街が賑わったと聞いています。時代の流れなのでしょうが、地域の商店街が集まった通りを、地域の特長にし、東松山市が活気ある街になればと思う。歴史ある建造物を少しでも残してほしいし、個人で持っている歴史資料の収集なども市で行っていただけたらと思います。
女性	70 歳代	是非、市民大学の中にまちづくり学部を設けて頂けると良いと思います。良さを実感し初めて次へつながる、アイデアも生み出せるのでは、と感じています。

■7 産業について

性別	年代	市民の声
女性	20 歳代	農業をする人が減ってきて、荒地化してしまっている畑がよくある。畑を利用して、事業を展開（果樹園や農業体験など）したり、公園など別の皆に役立つ施設に変えるのはどうでしょうか。古凍の方は、畑に手が回らず、管理に困っている方がいます。農業体験するにも、周りも自然が多くあるので良い環境だと思います。
女性	40 歳代	高坂の動物公園は県立ではあるが、他県からもかなりの観光客が来ているので、周辺に気軽に立ち寄れる施設や、農産物直売所などの東松山産の野菜や果物を手に取って見てもらえるような場所を作るなど観光客のリピーターを増やして観光収入を上げていけたら良いと思います。
女性	40 歳代	都幾川リバーサイドパークを嵐山町みたいに公共のキャンプ場にすれば収入もあり、皆も楽しめそうです。
女性	50 歳代	今、アニメがすごく流行していますが、大洗町などアニメでシャッター商店街などがなくなって、すごいにぎわいになっていますね。東松山もアニメにする名所などがたくさんあるのだから、そういう所に力を入れると、街はかなり税収面でも活性化していくと思う。一度、TV局などに働きかけて。

性別	年代	市民の声
男性	50 歳代	東松山駅の鳥居が無くなったのはシンボルが無くなったようでとても残念だった。松山城跡に城を復元して話題作りや観光名所になったらいいと思う。
女性	50 歳代	名産品を使った惣菜や、スイーツなどを直売所で販売したらどうかと思います。近隣では、イチゴのスイーツで行列になる所もあります。
女性	50 歳代	集客できるような目玉となる施設があればもっと市にお金が集まると思います。例えば、こども動物自然公園に隣接したアウトレットモール。春は花見、秋は紅葉、ウォーキングも楽しめる自然を生かした森の中のショッピングモールを売りにすれば、県外からも人が集まると思います。
女性	50 歳代	耕作放棄地をもっと手に入りやすくしてほしい。相続放棄などで放置されている土地とかを買いやすくしてほしい。
男性	60 歳代	ぜひ、映画館を東松山市にほしいです。市外からの集客で商業も発展すると思います。将来的な要望ですが、駅中に大型商業施設を誘致する。
男性	70 歳代	企業誘致をさらに推進し、経済発展を拡大していただきたい。
男性	70 歳代	街中活性化、街中のイベント。例、各家々に鉢植えボタンを配り育てたボタンを街中で品評会、街中ボタンロードとして、東松山ぼたん園や箭弓稲荷神社と一緒にボタンの町として有名にする。日本一にする！
女性	無回答	やきとりを全国的に有名になるようアピールしてほしい。

■8 情報について

性別	年代	市民の声
男性	20 歳代	若年層への情報発信が足りないのか、市政について、無関心な方が多い。他の自治体の SNS では若年層をターゲットとしたコンテンツが活用されている。次世代を担う方々へのアプローチも行うべきではないか。
男性	30 歳代	東松山市にある地域資源すべてのものごとをより活用しアピールをし続けることが大事だと思う。
女性	40 歳代	自然がきれいな場所があると思うので、PRしてもらえたら、ぜひ行ってみたい。
女性	50 歳代	プレミアム商品券などの（市民の為になること）の知らせ方がとても分かりづらい。
男性	50 歳代	池袋駅に小川町に住みませんかというポスターが有りました。同じ埼玉県の方に東松山市とはどこに有るのですか？と言われました。もう少し、存在をアピールしては如何ですか。駅前に人はいないし、店も開いていない。
男性	70 歳代	防災無線の多機能的活用。行政、福祉、健康等、市の取り組み等に関し、節目毎に紹介等をしてほしい。
男性	70 歳代	広報紙は自治会又は配布者に手数料を払ってまで配布する必要はない。紙ベースを止め、ネットを促進すべき。

■9 市政について

性別	年代	市民の声
男性	18歳・19歳	体育館の使用料金が学生からしたら少し高いので、もう少し安くして頂きたいです。
女性	20歳代	メンタル面のサポートも必要だと思います。市役所の方は良い対応の方が多いと思います。良いことです。交通の便は悪めなので、バスを増やしてほしい。
女性	20歳代	市の職員の対応をもっと良くしていただきたい。窓口に行っても気付かれないこと、笑顔での対応なし、ホールでの立ち話し等々…民間であれば是正されて然るべきかと思う。さまざまな市民の対応をすることが大変なのだろうとは思いますが、もう少し好ましい対応をしてもらえると大分印象もよくなると思う。
男性	30歳代	高坂周辺だけ開発に力を入れて、今さら、東松山のドーナツ化が進んでいるという問題提起はおかしいと思う。若い人が住みやすい街、住みたいと思う街を真剣に考えてほしい。
女性	30歳代	妊婦や子どもへの助成金が手厚いことを希望します(広報などを見ていると年配の方へのほうが手厚い気がします)。
女性	40歳代	コロナ対策や市独自の給付金などをした方がよい。
女性	40歳代	大岡地区のみ取り残されていると思う。所有する宅地面積も広く、税金もそれなりに支払っているのに、市街地のみ、高坂地区のみの開発や人口移入はいかがなものかと感じる。大岡地区の人たちの利便性も考えてほしい。
男性	40歳代	市役所の窓口業務に無駄が多い。書類の手続きを1度で済ませる等、できないものか？手続きが一度で済まないのに、何度も市役所に行くことになることが多々ある。
女性	40歳代	こういったアンケートがしっかり生かされるのか疑問に感じます。市だけではなく県も国も、一般市民の声をひろって何かに生かして考えてくれるのだろうか？と考えてしまいます。
女性	60歳代	70歳以上の老人(特に1人暮らしの方)に対して安心して長生きしたいと思える支援をしていただければ幸いです。
男性	60歳代	市職員の皆様は真面目に頑張っている印象を持っています。少子・高齢化、人口減で市財政も厳しいと思いますので、近隣自治体との十分な連携が必要(比企消防のイメージ)と思います。
女性	60歳代	何ととっても透明性のある市政を望む。
男性	70歳代	市、県民税を安くしてほしい。年金生活には苦しい。
女性	70歳代	今後、東松山住民の高齢化が進み、元気な高齢者も多くなるでしょう。そういう方々の活躍の道も考えていただきたいと思います(市政の中に)。
男性	70歳代	半都会であり半田舎でもある地域なのでアピールポイントをしばって、推進すべきではないですか。
男性	80歳代	市民が年齢に関わりなく、ゆったりと生活暮らしてゆける街にしてもらいたい。年代を超越して、ギャップのない行政を期待します。

■10 その他

性別	年代	市民の声
女性	30 歳代	公園が増えて、子育て世代の方が主に楽しんで利用しているようにみえます。台風、コロナの影響で、スリーデーマーチや市民体育祭の中止という判断になっていますが、いつかまた参加したいです。
女性	40 歳代	コロナの問題があり、いつもよりお忙しくされていることと思います。市の職員の皆様もお体に気をつけてお過ごしください。
男性	40 歳代	スリーデーマーチの実践を見直すべき（廃止してほしい）。市民にとって迷惑なイベントになっている。毎年コース設定される道端に自宅があり、騒音、ごみ捨て等の参加者のマナーが悪く、非常に迷惑している。
女性	40 歳代	自治会活動等の地域コミュニティの活動にもっと子育て世代等の若い方に参加していただきたいと思います。参加する際には年配の方もしっかりと次の世代の方々の話を聞き受け入れていただきたいと思います。
女性	70 歳代	私は東松山に嫁に来て 25 年がたちます。近所の様子もものすごく変わりました。10 年ひと昔から 25 年ですからね、近所もお年寄りでにぎやかだったのが誰一人いません。皆亡くなり次世代の時代になりました。つくづく私も年を感じこれからもっと変わっていく東松山に期待しながら余世を過ごしていきたいと思います。

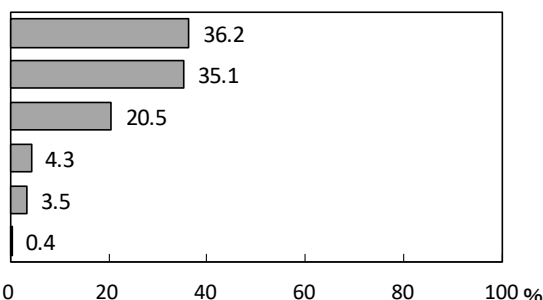
V 資料

調査への回答（単純集計結果）

<まち全体の印象について>

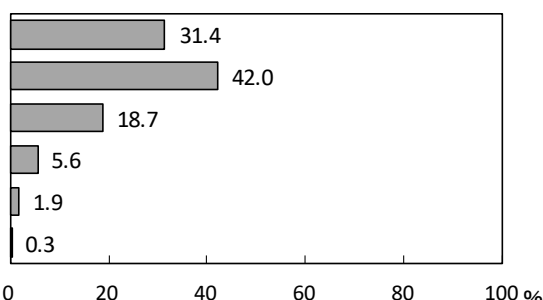
■問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
愛着がある	464	36.2
どちらかといえば愛着がある	450	35.1
どちらともいえない	263	20.5
どちらかといえば愛着がない	55	4.3
愛着がない	45	3.5
無回答	5	0.4
全体	1,282	100.0



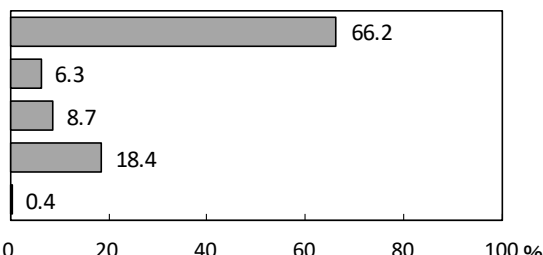
■問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
住みよい	403	31.4
どちらかといえば住みよい	539	42.0
どちらともいえない	240	18.7
どちらかといえば住みにくい	72	5.6
住みにくい	24	1.9
無回答	4	0.3
全体	1,282	100.0



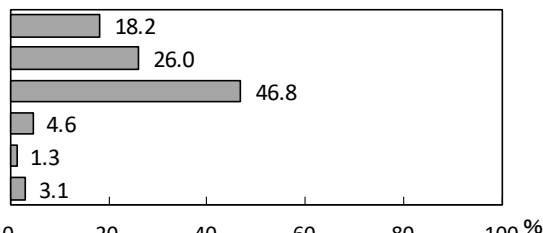
■問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
現在のところに住み続けたい	849	66.2
東松山市内の別のところで住み続けたい	81	6.3
東松山市外へ移りたい	111	8.7
わからない	236	18.4
無回答	5	0.4
全体	1,282	100.0

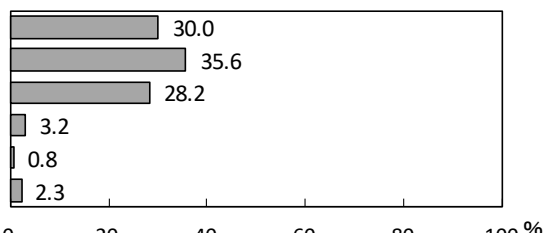


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。（単数回答）

人柄・土地柄	回答数	比率(%)
よい	233	18.2
どちらかといえばよい	333	26.0
ふつう	600	46.8
どちらかといえばわるい	59	4.6
わるい	17	1.3
無回答	40	3.1
全体	1,282	100.0

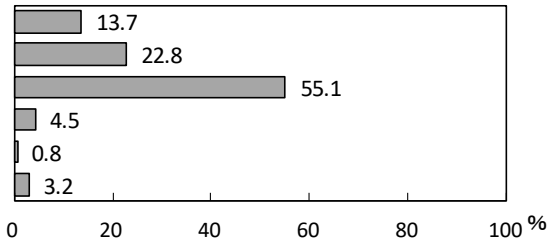


自然環境	回答数	比率(%)
よい	384	30.0
どちらかといえばよい	456	35.6
ふつう	361	28.2
どちらかといえばわるい	41	3.2
わるい	10	0.8
無回答	30	2.3
全体	1,282	100.0

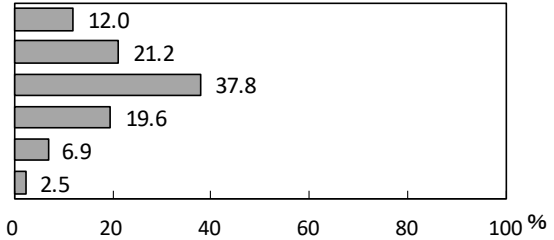


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。（単数回答）（続き）

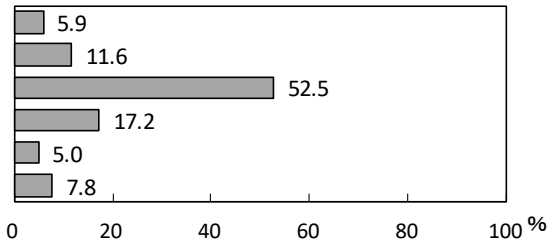
歴史と伝統	回答数	比率(%)
よい	175	13.7
どちらかといえばよい	292	22.8
ふつう	706	55.1
どちらかといえばわるい	58	4.5
わるい	10	0.8
無回答	41	3.2
全体	1,282	100.0



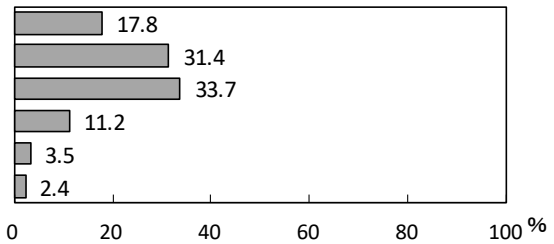
交通の利便性	回答数	比率(%)
よい	154	12.0
どちらかといえばよい	272	21.2
ふつう	484	37.8
どちらかといえばわるい	251	19.6
わるい	89	6.9
無回答	32	2.5
全体	1,282	100.0



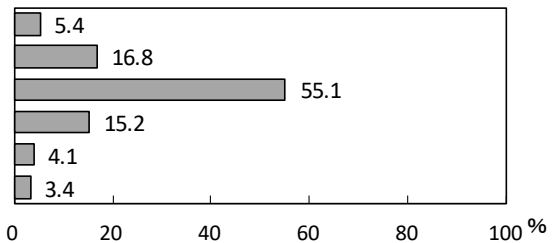
働く場	回答数	比率(%)
よい	75	5.9
どちらかといえばよい	149	11.6
ふつう	673	52.5
どちらかといえばわるい	221	17.2
わるい	64	5.0
無回答	100	7.8
全体	1,282	100.0



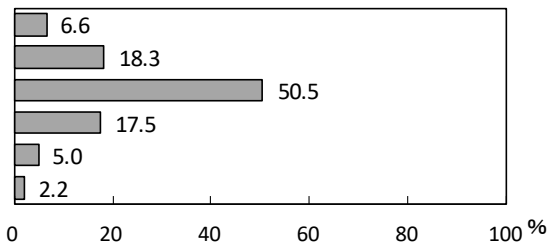
買物などの日常生活の利便性	回答数	比率(%)
よい	228	17.8
どちらかといえばよい	403	31.4
ふつう	432	33.7
どちらかといえばわるい	143	11.2
わるい	45	3.5
無回答	31	2.4
全体	1,282	100.0



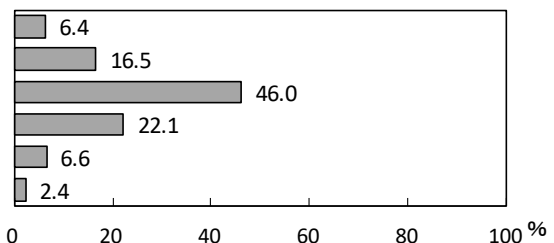
教育・文化・スポーツ施設	回答数	比率(%)
よい	69	5.4
どちらかといえばよい	215	16.8
ふつう	707	55.1
どちらかといえばわるい	195	15.2
わるい	52	4.1
無回答	44	3.4
全体	1,282	100.0



医療・福祉施設	回答数	比率(%)
よい	84	6.6
どちらかといえばよい	235	18.3
ふつう	647	50.5
どちらかといえばわるい	224	17.5
わるい	64	5.0
無回答	28	2.2
全体	1,282	100.0

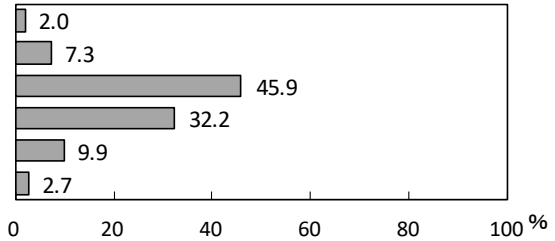


道路や公園等の生活の基盤施設	回答数	比率(%)
よい	82	6.4
どちらかといえばよい	211	16.5
ふつう	590	46.0
どちらかといえばわるい	283	22.1
わるい	85	6.6
無回答	31	2.4
全体	1,282	100.0

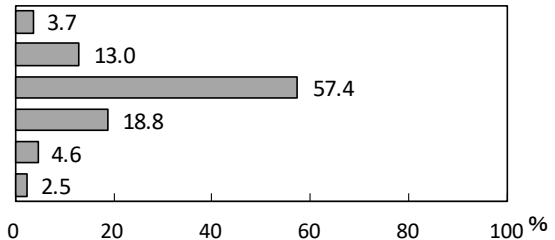


■問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。（単数回答）（続き）

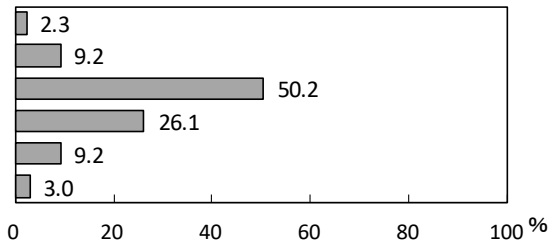
活気とにぎわい	回答数	比率(%)
よい	25	2.0
どちらかといえばよい	93	7.3
ふつう	589	45.9
どちらかといえばわるい	413	32.2
わるい	127	9.9
無回答	35	2.7
全体	1,282	100.0



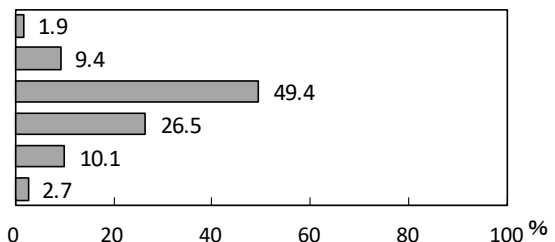
街並みの美しさ	回答数	比率(%)
よい	47	3.7
どちらかといえばよい	167	13.0
ふつう	736	57.4
どちらかといえばわるい	241	18.8
わるい	59	4.6
無回答	32	2.5
全体	1,282	100.0



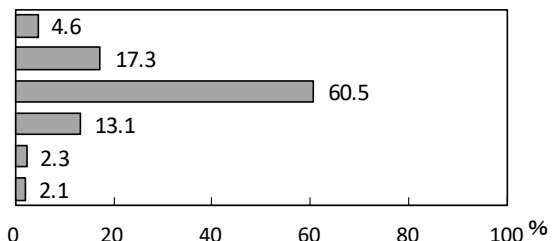
市の発展性	回答数	比率(%)
よい	30	2.3
どちらかといえばよい	118	9.2
ふつう	643	50.2
どちらかといえばわるい	335	26.1
わるい	118	9.2
無回答	38	3.0
全体	1,282	100.0



都市としての個性や魅力	回答数	比率(%)
よい	24	1.9
どちらかといえばよい	121	9.4
ふつう	633	49.4
どちらかといえばわるい	340	26.5
わるい	129	10.1
無回答	35	2.7
全体	1,282	100.0



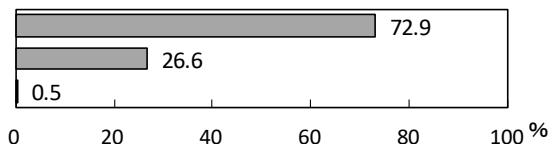
総合的に見て	回答数	比率(%)
よい	59	4.6
どちらかといえばよい	222	17.3
ふつう	776	60.5
どちらかといえばわるい	168	13.1
わるい	30	2.3
無回答	27	2.1
全体	1,282	100.0



<健康や医療・福祉について>

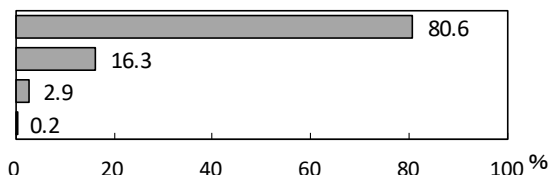
■問5. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
決めている	934	72.9
決めていない	341	26.6
無回答	7	0.5
全体	1,282	100.0



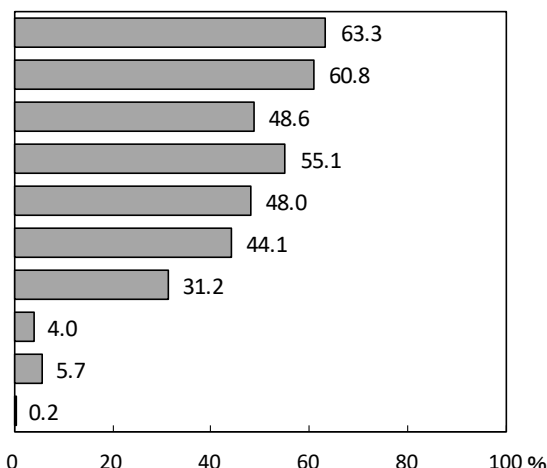
■問5-1. 最初にかかる医療機関は、次のどれですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
近所の医院・診療所・クリニック	753	80.6
大学病院・公立病院・総合病院等	152	16.3
その他	27	2.9
無回答	2	0.2
全体	934	100.0



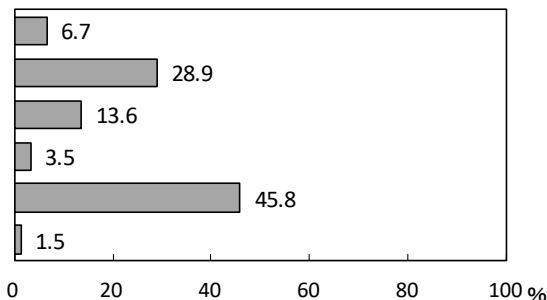
■問6. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。
(複数回答)

	回答数	比率(%)
食事に気をつける	812	63.3
十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする	780	60.8
散歩や運動などをする	623	48.6
たばこを吸わない	707	55.1
年に1回は健康診断や人間ドックを受ける	616	48.0
ストレスをためないように気分転換をはかる	565	44.1
健康についての情報、知識を増やす	400	31.2
その他	51	4.0
特に心がけていることはない	73	5.7
無回答	2	0.2
全体	1,282	100.0



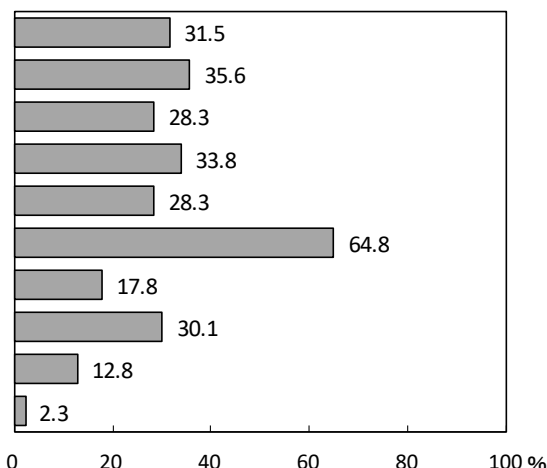
■問7. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
整っている	86	6.7
どちらかといえば整っている	371	28.9
どちらかといえば整っていない	174	13.6
整っていない	45	3.5
わからない	587	45.8
無回答	19	1.5
全体	1,282	100.0



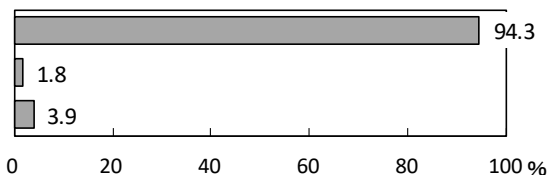
■問7-1. “環境は整っていない”と思う理由は何ですか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分	69	31.5
延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分	78	35.6
子育てについての情報提供や相談できる場が少ない	62	28.3
小児医療体制が不十分	74	33.8
学童保育など放課後の児童対策が不十分	62	28.3
公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない	142	64.8
子育てする親同士の交流の場が少ない	39	17.8
子どもを連れて人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分	66	30.1
その他	28	12.8
無回答	5	2.3
全体	219	100.0

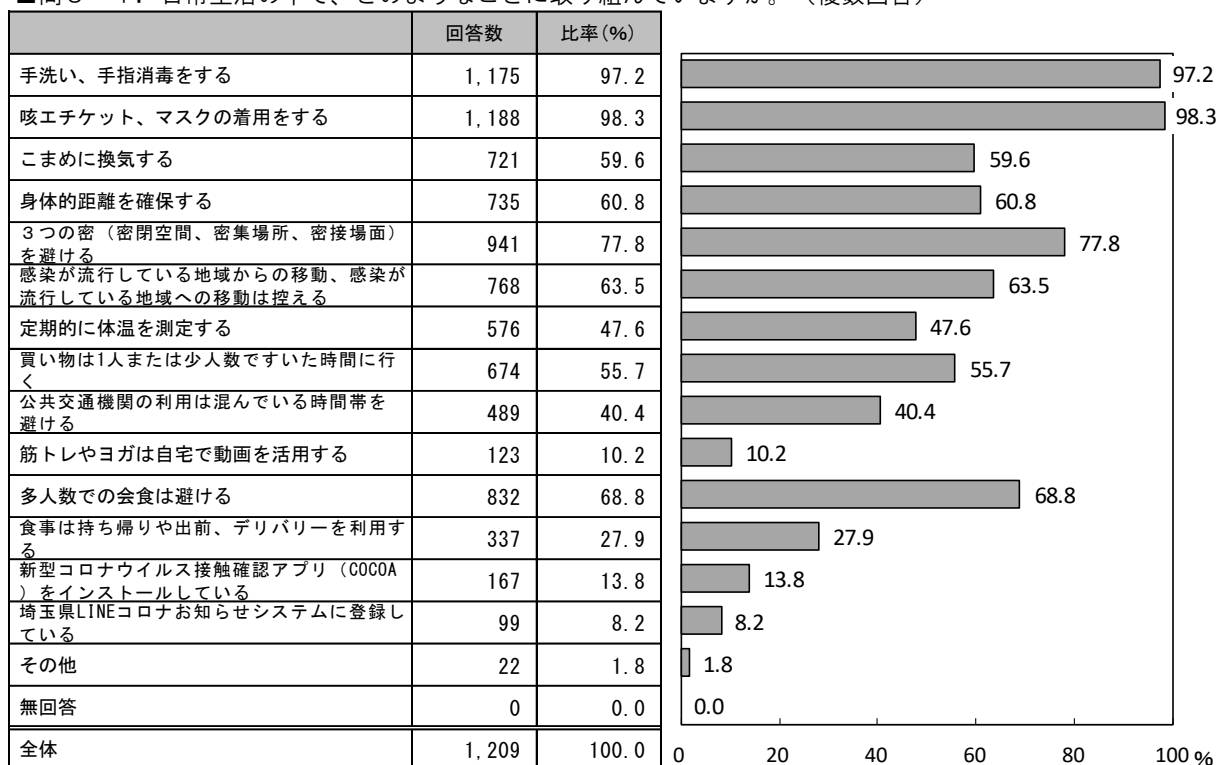


■問8. あなたは、新型コロナウイルスの感染症対策に取り組んでいますか。(単数回答)

	回答数	比率(%)
取り組んでいる	1,209	94.3
取り組んでいない	23	1.8
無回答	50	3.9
全体	1,282	100.0

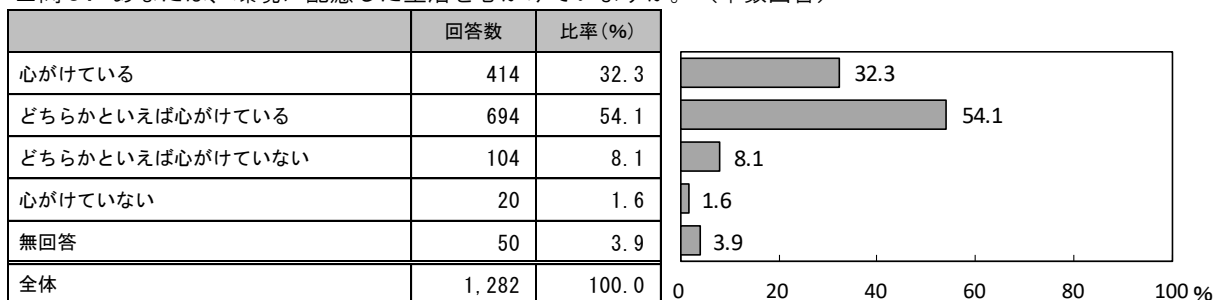


■問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。（複数回答）

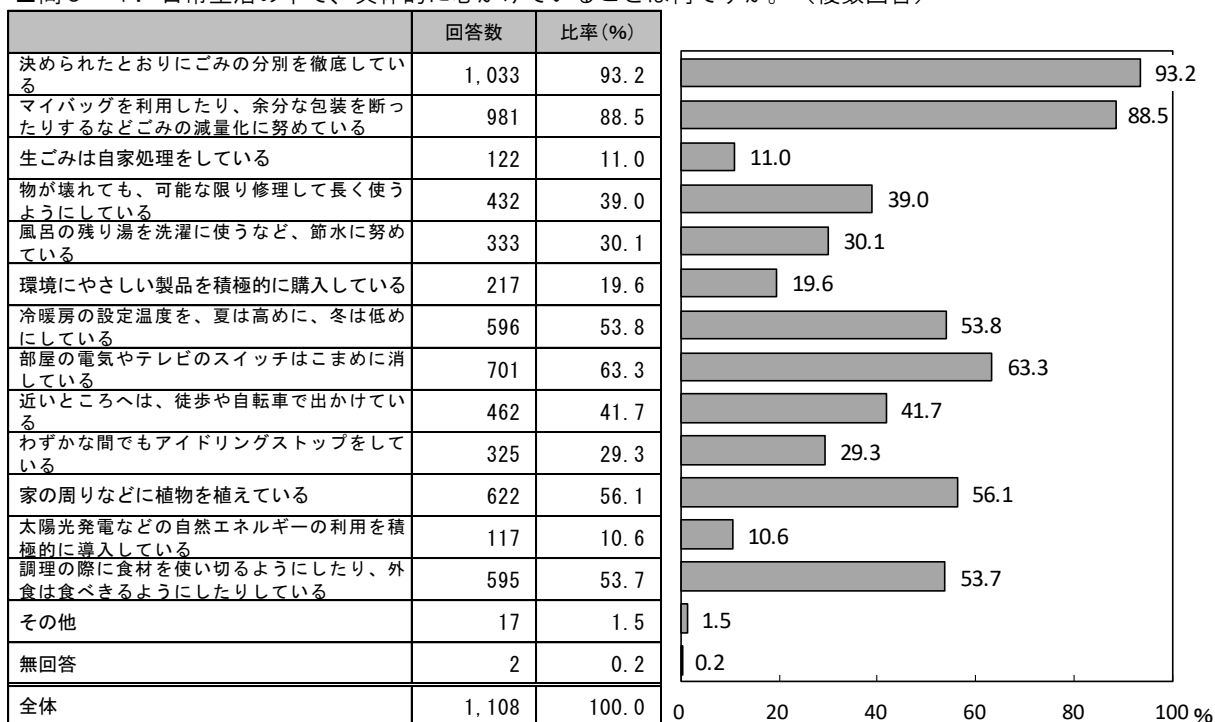


<環境について>

■問9. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。（単数回答）

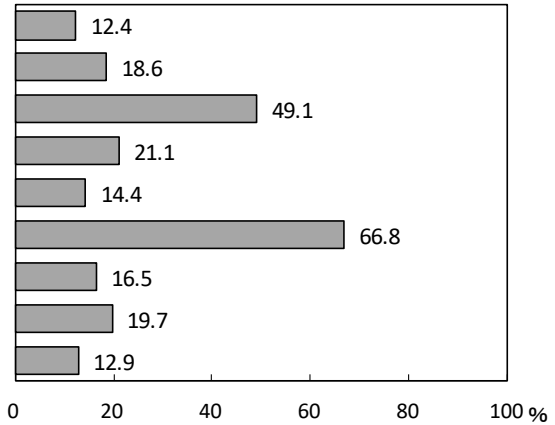


■問9-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。（複数回答）



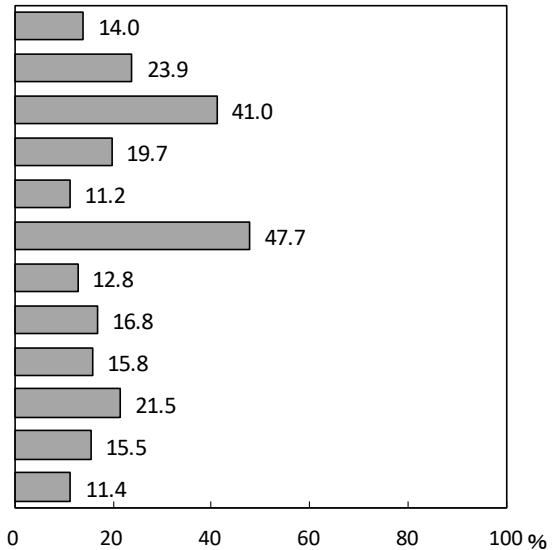
■問10. 環境問題について、「すでに深刻な問題である」と思うことは何ですか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
日常生活における騒音・振動・悪臭	159	12.4
生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	239	18.6
ごみの増加や不法投棄	629	49.1
身近な緑や農地の減少	270	21.1
身近な生き物の減少	185	14.4
地球温暖化	856	66.8
酸性雨や大気汚染	211	16.5
有害化学物質による人体への影響	252	19.7
無回答	165	12.9
全体	1,282	100.0



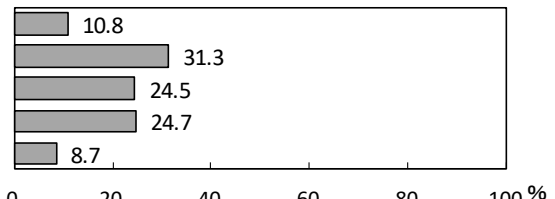
■問10. 環境問題について、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」と思うことは何ですか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
日常生活における騒音・振動・悪臭	179	14.0
生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	306	23.9
ごみの増加や不法投棄	525	41.0
身近な緑や農地の減少	252	19.7
身近な生き物の減少	143	11.2
地球温暖化	612	47.7
酸性雨や大気汚染	164	12.8
有害化学物質による人体への影響	215	16.8
グリーン購入、詰め替え商品等、環境に配慮した製品の購入	202	15.8
省エネや新エネルギー（太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用）	275	21.5
環境に関する学習	199	15.5
無回答	146	11.4
全体	1,282	100.0

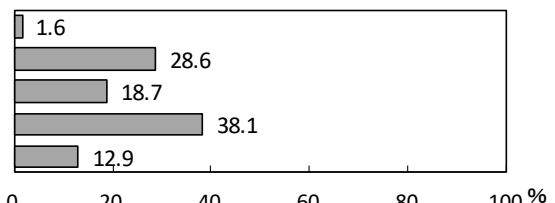


■問11. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。（単数回答）

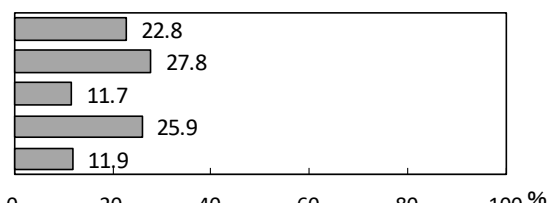
太陽光発電システム	回答数	比率(%)
利用している	138	10.8
利用していないが今後利用したい	401	31.3
利用したいとは思わない	314	24.5
わからない	317	24.7
無回答	112	8.7
全体	1,282	100.0



家庭用燃料電池システム	回答数	比率(%)
利用している	20	1.6
利用していないが今後利用したい	367	28.6
利用したいとは思わない	240	18.7
わからない	489	38.1
無回答	166	12.9
全体	1,282	100.0

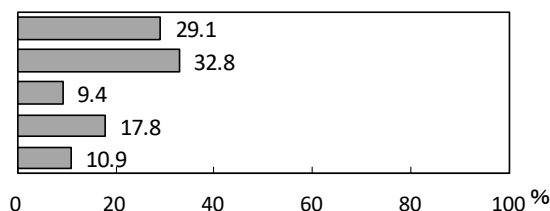


高効率給湯器	回答数	比率(%)
利用している	292	22.8
利用していないが今後利用したい	356	27.8
利用したいとは思わない	150	11.7
わからない	332	25.9
無回答	152	11.9
全体	1,282	100.0

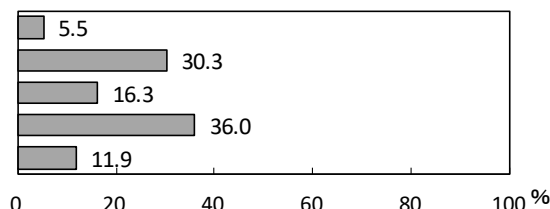


■問11. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。(単数回答) (続き)

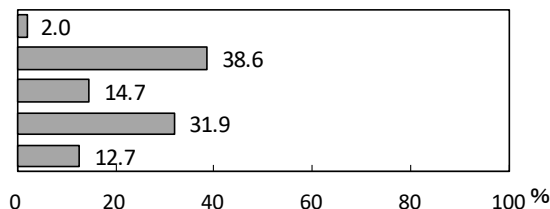
建物の断熱化	回答数	比率(%)
利用している	373	29.1
利用していないが今後利用したい	421	32.8
利用したいとは思わない	120	9.4
わからない	228	17.8
無回答	140	10.9
全体	1,282	100.0



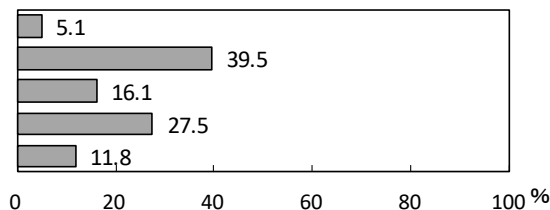
家庭の電気使用状況が一目わかる機器	回答数	比率(%)
利用している	71	5.5
利用していないが今後利用したい	389	30.3
利用したいとは思わない	209	16.3
わからない	461	36.0
無回答	152	11.9
全体	1,282	100.0



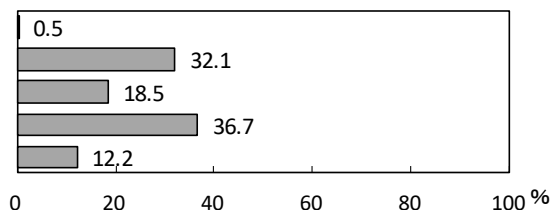
家庭用蓄電池	回答数	比率(%)
利用している	26	2.0
利用していないが今後利用したい	495	38.6
利用したいとは思わない	189	14.7
わからない	409	31.9
無回答	163	12.7
全体	1,282	100.0



EVやPHV、燃料電池車	回答数	比率(%)
利用している	65	5.1
利用していないが今後利用したい	507	39.5
利用したいとは思わない	207	16.1
わからない	352	27.5
無回答	151	11.8
全体	1,282	100.0



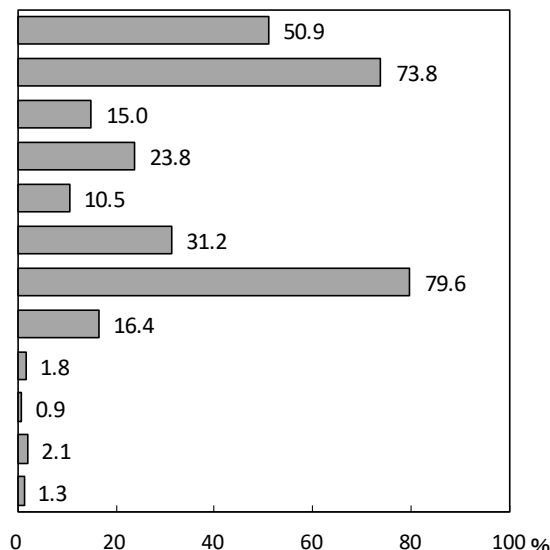
EVやPHVに蓄えた電気を家で使う機器	回答数	比率(%)
利用している	7	0.5
利用していないが今後利用したい	411	32.1
利用したいとは思わない	237	18.5
わからない	471	36.7
無回答	156	12.2
全体	1,282	100.0



<防災について>

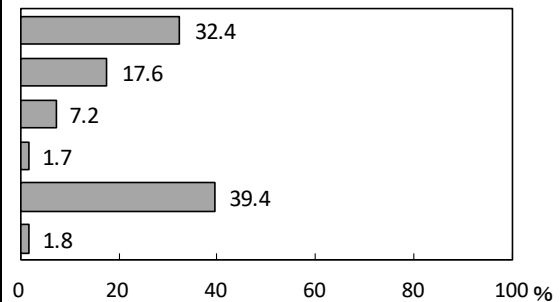
■問12. あなたは、災害時の防災情報(避難情報)をどのように取得していますか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
防災行政無線	652	50.9
緊急速報メール(緊急地震速報等、対象エリアに一斉配信されるメール)	946	73.8
登録制メール(東松山いんふおメール等)	192	15.0
東松山市ホームページ	305	23.8
防災ラジオ・戸別受信機	134	10.5
インターネットの防災情報	400	31.2
テレビ	1,021	79.6
Twitter等のソーシャルネットワークサービス(SNS)	210	16.4
テレホンサービス	23	1.8
その他	12	0.9
特に行っていない	27	2.1
無回答	17	1.3
全体	1,282	100.0



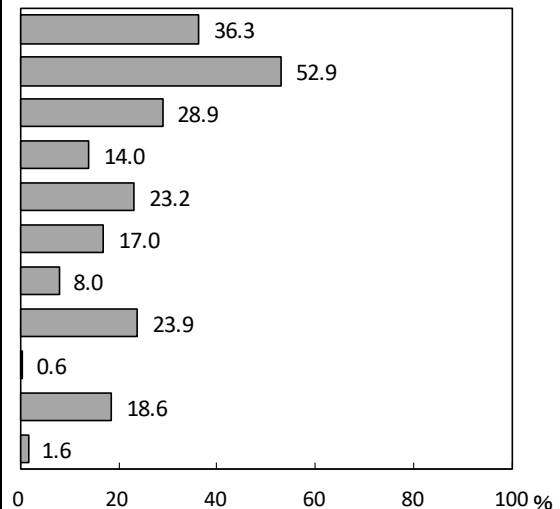
■問13. あなたは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
市の指定避難所（一時避難場所・避難所）に避難する	415	32.4
車で安全な場所に避難する（車中避難）	225	17.6
親戚・知人宅へ避難する	92	7.2
その他	22	1.7
自宅が安全なため避難しない	505	39.4
無回答	23	1.8
全体	1,282	100.0



■問14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。（複数回答）

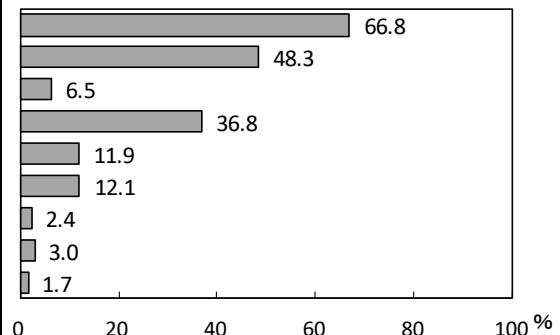
	回答数	比率(%)
家族や親族との連絡方法を決めている	465	36.3
保存飲料水・食料品を準備している	678	52.9
非常用持ち出し袋を用意している	371	28.9
家財を補強している	179	14.0
避難場所や経路を確認している	298	23.2
防災訓練に参加している	218	17.0
応急手当等の研修に参加している	103	8.0
消火器を準備している	306	23.9
その他	8	0.6
特に行っていない	239	18.6
無回答	21	1.6
全体	1,282	100.0



<防犯・交通について>

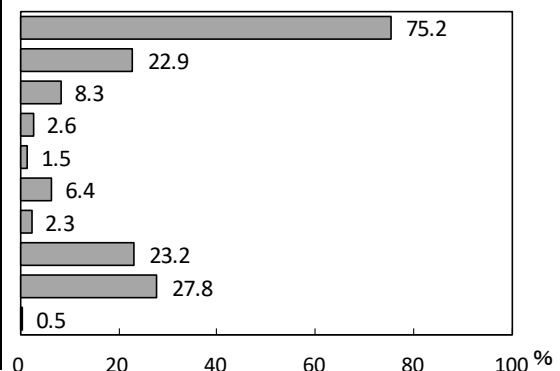
■問15. あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
防犯灯や街灯の数を増やす	856	66.8
商店街などに防犯カメラを取り付ける	619	48.3
住民によるパトロールを行う	83	6.5
近所の人とのつながりや助け合いを深める	472	36.8
防犯協会や防犯団体の活動を活発にする	152	11.9
警察官の数を増やす	155	12.1
その他	31	2.4
特にない	38	3.0
無回答	22	1.7
全体	1,282	100.0



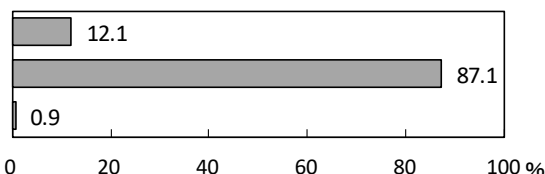
■問16. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
自家用車（自分で運転）	964	75.2
自家用車（家族や知人が運転）	293	22.9
民間路線バス	106	8.3
市内循環バス	33	2.6
タクシー	19	1.5
デマンドタクシー	82	6.4
バイク	29	2.3
自転車	297	23.2
徒歩	356	27.8
無回答	6	0.5
全体	1,282	100.0



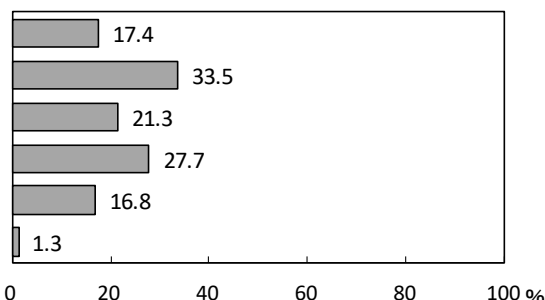
■問17. あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
利用したことがある	155	12.1
利用したことがない	1,116	87.1
無回答	11	0.9
全体	1,282	100.0



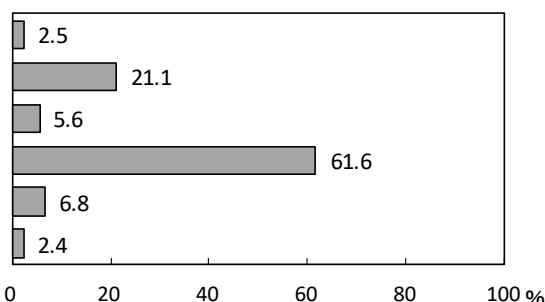
■問17-1. どのようなことで利用しましたか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
公共施設を利用するため	27	17.4
買い物	52	33.5
通勤・通学	33	21.3
通院	43	27.7
その他	26	16.8
無回答	2	1.3
全体	155	100.0



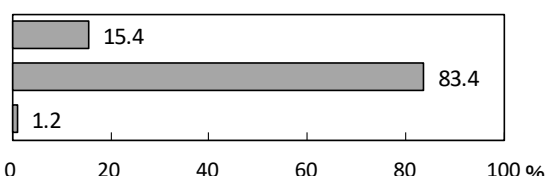
■問17-2. 利用したことがないのはなぜですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
市内循環バスを知らなかったから	28	2.5
近くに停留所がないから	235	21.1
本数が少ないから	63	5.6
ほかの交通手段を利用しているから	687	61.6
その他	76	6.8
無回答	27	2.4
全体	1,116	100.0



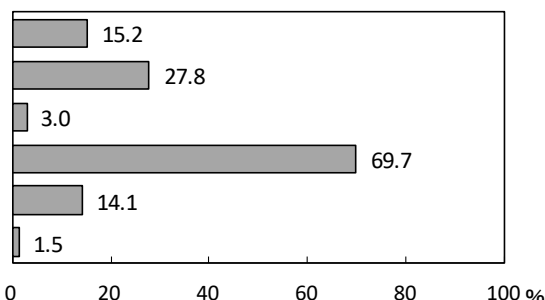
■問18. あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
利用したことがある	198	15.4
利用したことがない	1,069	83.4
無回答	15	1.2
全体	1,282	100.0



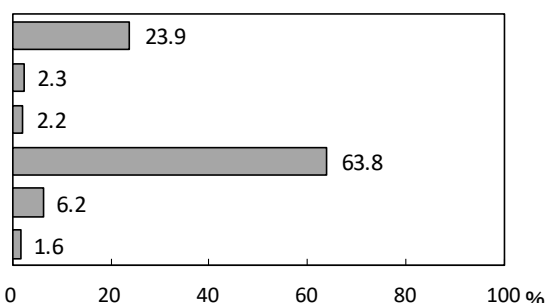
■問18-1. どのようなことで利用しましたか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
公共施設を利用するため	30	15.2
買い物	55	27.8
通勤・通学	6	3.0
通院	138	69.7
その他	28	14.1
無回答	3	1.5
全体	198	100.0



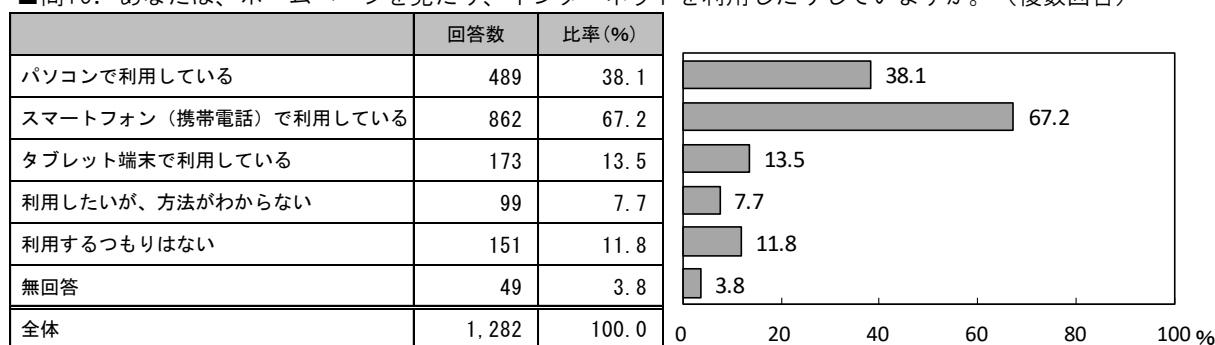
■問18-2. 利用したことがないのはなぜですか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
デマンドタクシーを知らなかったから	255	23.9
利用したい乗降ポイントがないから	25	2.3
利用料金が高いから	24	2.2
ほかの交通手段を利用しているから	682	63.8
その他	66	6.2
無回答	17	1.6
全体	1,069	100.0

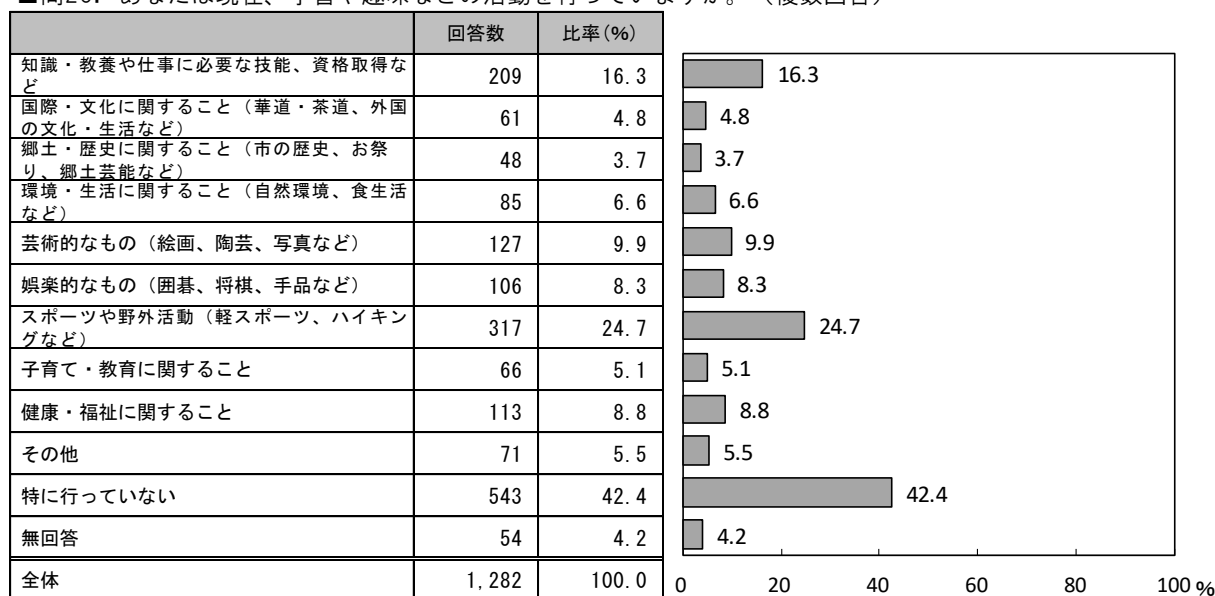


<市民生活について>

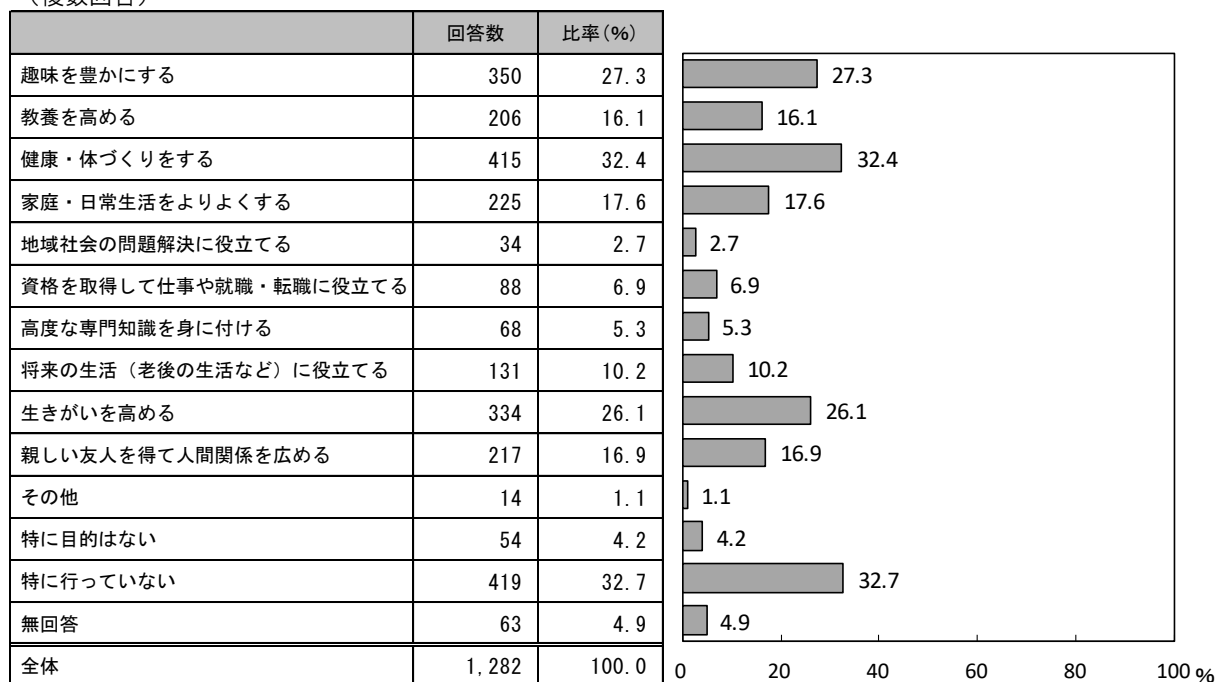
■問19. あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。（複数回答）



■問20. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。（複数回答）

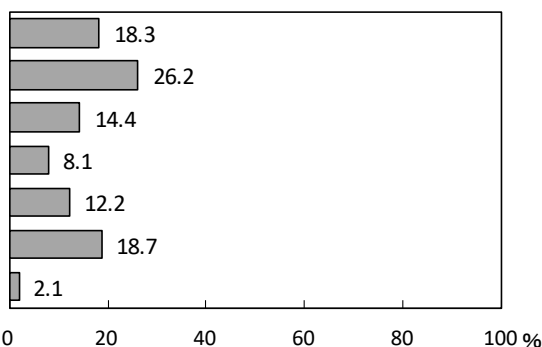


■問21. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。（複数回答）



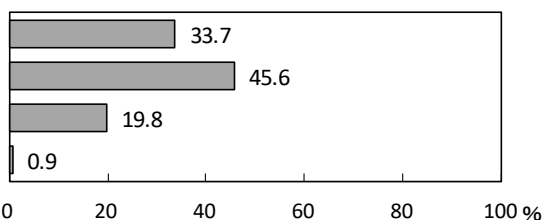
■問22. あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
ほぼ毎日	234	18.3
週に2~3回	336	26.2
週に1回	184	14.4
月に1回	104	8.1
年に数回	157	12.2
行わなかった	240	18.7
無回答	27	2.1
全体	1,282	100.0



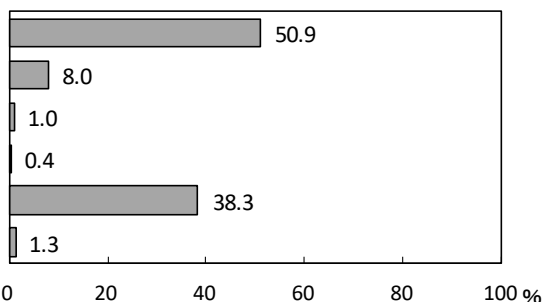
■問22-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
60分以上	254	33.7
30分以上60分未満	344	45.6
30分未満	149	19.8
無回答	7	0.9
全体	754	100.0



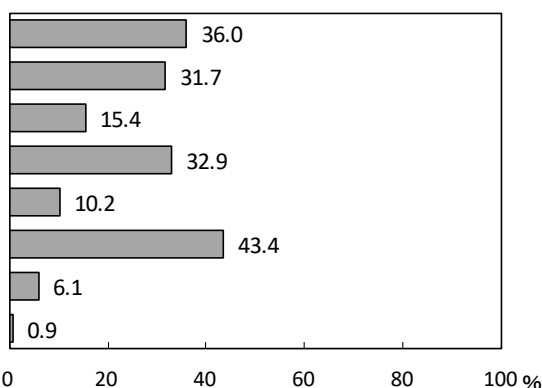
■問23. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。（単数回答）
※令和元年度と2年度の日本スリーデーマーチは中止ですので、平成30年度までの参加状況でお答えください。

	回答数	比率(%)
参加したことがある（1~10回）	653	50.9
参加したことがある（11~20回）	103	8.0
参加したことがある（21~30回）	13	1.0
参加したことがある（31回以上）	5	0.4
参加したことはない	491	38.3
無回答	17	1.3
全体	1,282	100.0



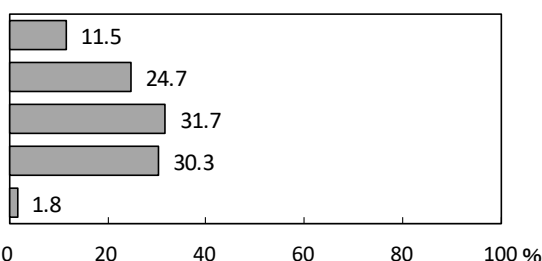
■問23-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
市の代表的なイベントだから	279	36.0
健康のため	245	31.7
歩くことが好きだから	119	15.4
家族や友人・知人と交流するため	255	32.9
自分への挑戦のため	79	10.2
学校行事だったから	336	43.4
その他	47	6.1
無回答	7	0.9
全体	774	100.0



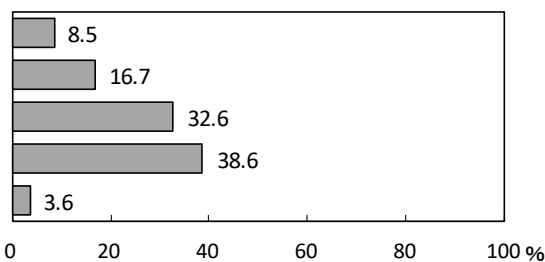
■問24. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
よく参加している	148	11.5
ときどき参加している	317	24.7
あまり参加していない	406	31.7
参加したことはない	388	30.3
無回答	23	1.8
全体	1,282	100.0



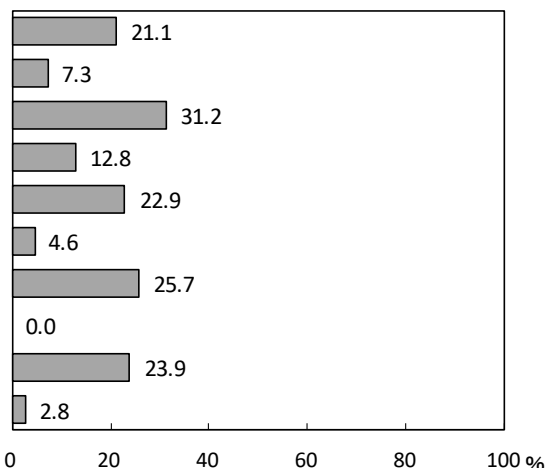
■問25. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア（社会貢献）活動をしていますか。
（単数回答）

	回答数	比率(%)
現在活動している	109	8.5
以前活動していたが現在はしていない	214	16.7
将来活動してみたいと思っている	418	32.6
今後も活動するつもりはない	495	38.6
無回答	46	3.6
全体	1,282	100.0



■問25-1. 活動しているのはどの分野ですか。（複数回答）

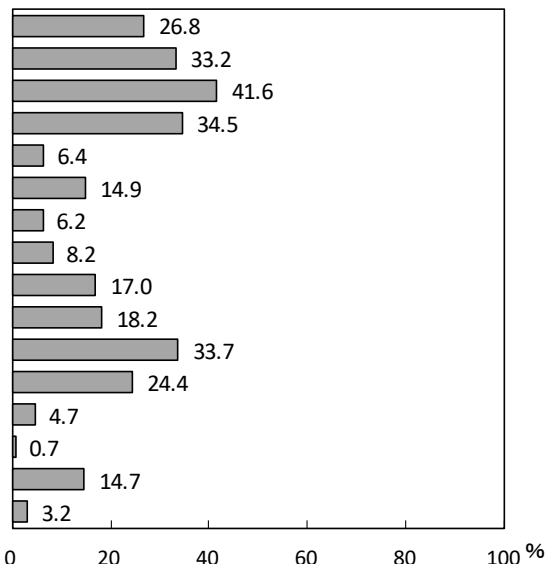
	回答数	比率(%)
保健・医療・福祉	23	21.1
生涯学習	8	7.3
スポーツ	34	31.2
環境保全	14	12.8
地域安全	25	22.9
国際交流	5	4.6
子どもの健全育成	28	25.7
災害救護	0	0.0
その他	26	23.9
無回答	3	2.8
全体	109	100.0



<人権・男女平等について>

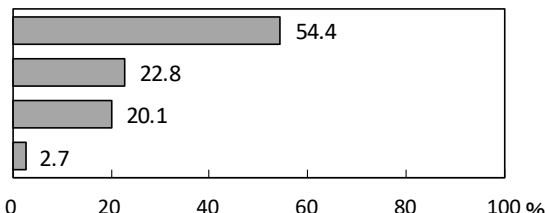
■問26. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。
（複数回答）

	回答数	比率(%)
女性	344	26.8
子ども	426	33.2
高齢者	533	41.6
障害者	442	34.5
同和問題	82	6.4
外国人	191	14.9
HIV感染者、ハンセン病患者など	80	6.2
刑を終えて出所した人	105	8.2
犯罪被害者など	218	17.0
LGBTなどの性的少数者	233	18.2
インターネットによる人権侵害	432	33.7
拉致問題	313	24.4
アイヌの人々	60	4.7
その他	9	0.7
特にない	188	14.7
無回答	41	3.2
全体	1,282	100.0

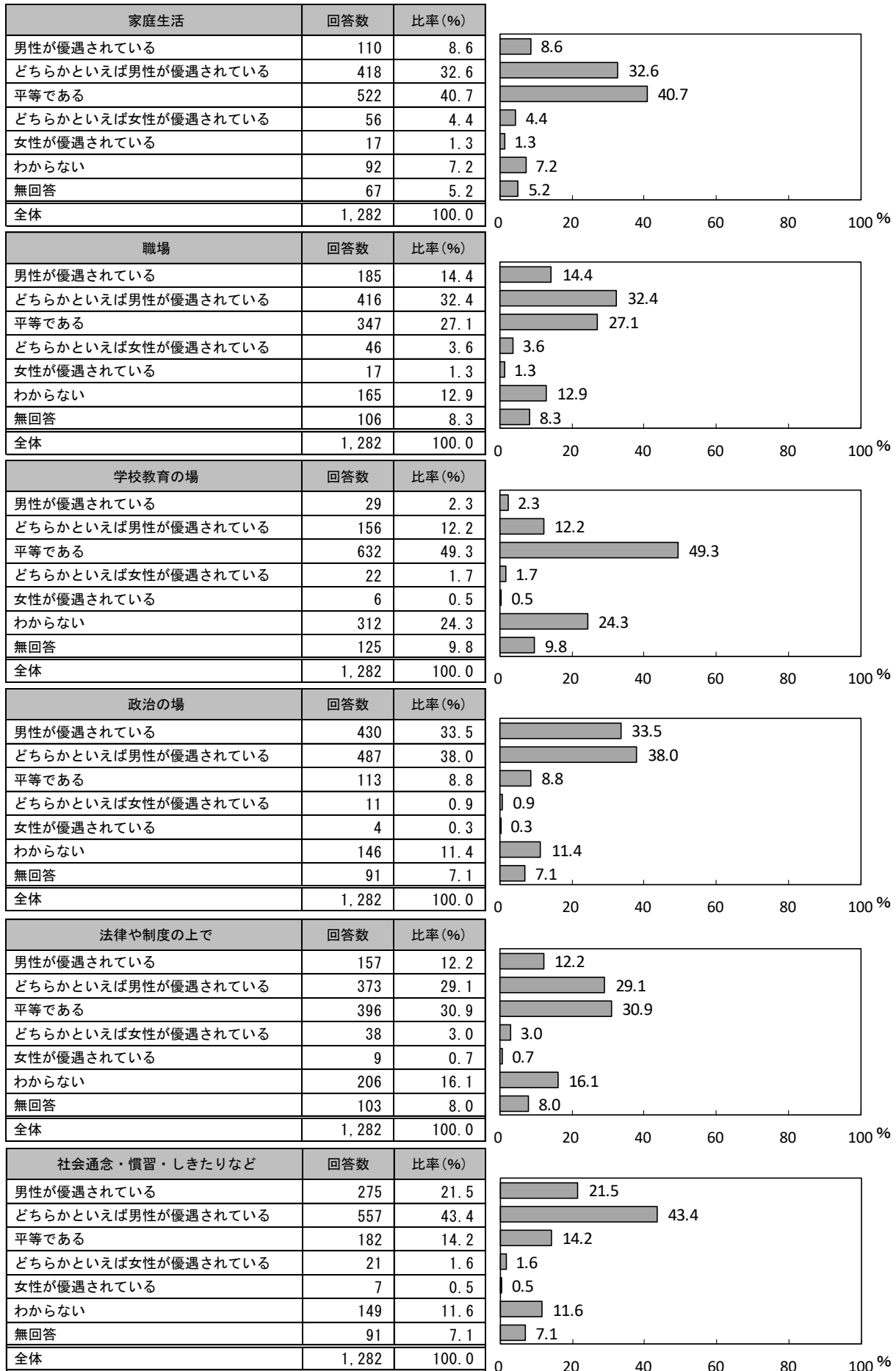


■問27. あなたは、LGBTという言葉を知っていましたか。またその意味を知っていましたか。
（単数回答）

	回答数	比率(%)
知っていた	698	54.4
言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった	292	22.8
知らなかった	258	20.1
無回答	34	2.7
全体	1,282	100.0

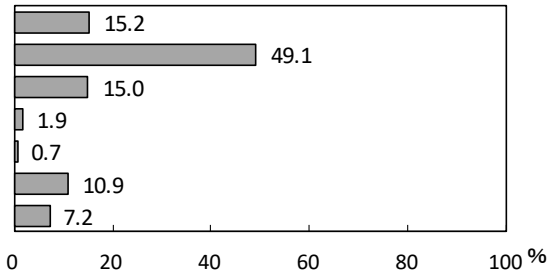


■問28. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）



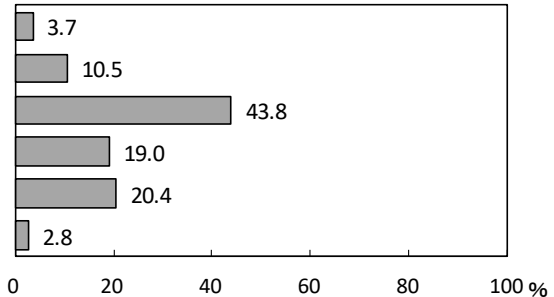
■問28. あなたのまわりでは、次の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）
（続き）

社会全体	回答数	比率(%)
男性が優遇されている	195	15.2
どちらかといえば男性が優遇されている	630	49.1
平等である	192	15.0
どちらかといえば女性が優遇されている	24	1.9
女性が優遇されている	9	0.7
わからない	140	10.9
無回答	92	7.2
全体	1,282	100.0



■問29. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。（単数回答）

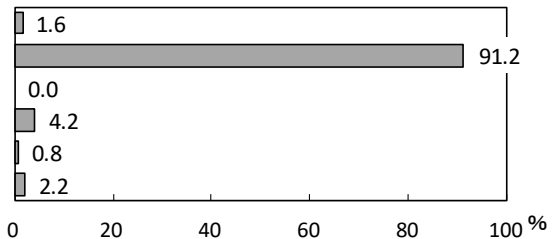
	回答数	比率(%)
賛成	47	3.7
どちらかといえば賛成	134	10.5
どちらともいえない	561	43.8
どちらかといえば反対	243	19.0
反対	261	20.4
無回答	36	2.8
全体	1,282	100.0



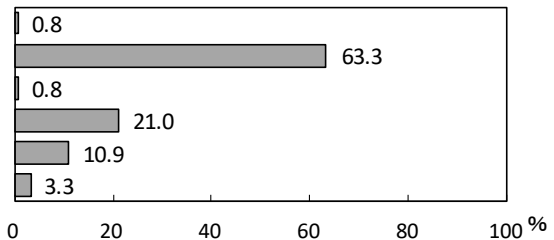
<購買行動について>

■問30. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。（単数回答）

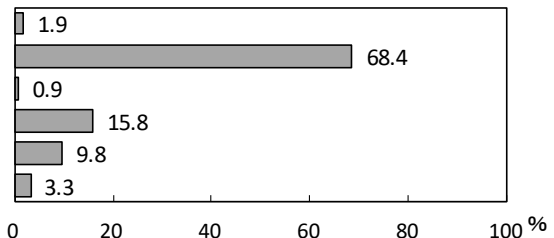
食料品	回答数	比率(%)
市内の個人商店	21	1.6
市内の大型店・チェーン店	1,169	91.2
市外の個人商店	0	0.0
市外の大型店・チェーン店	54	4.2
通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）	10	0.8
無回答	28	2.2
全体	1,282	100.0



衣服・服飾品	回答数	比率(%)
市内の個人商店	10	0.8
市内の大型店・チェーン店	811	63.3
市外の個人商店	10	0.8
市外の大型店・チェーン店	269	21.0
通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）	140	10.9
無回答	42	3.3
全体	1,282	100.0

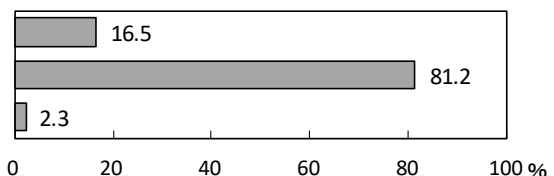


家具・家電	回答数	比率(%)
市内の個人商店	24	1.9
市内の大型店・チェーン店	877	68.4
市外の個人商店	12	0.9
市外の大型店・チェーン店	202	15.8
通信販売（テレビ、インターネット、雑誌など）	125	9.8
無回答	42	3.3
全体	1,282	100.0



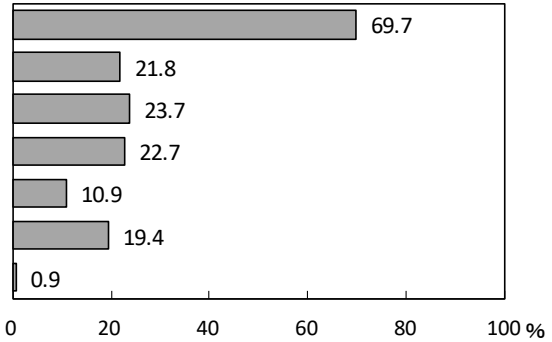
■問31. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
不便を感じている	211	16.5
不便を感じていない	1,041	81.2
無回答	30	2.3
全体	1,282	100.0



■問31-1. どのようなことで不便を感じていますか。（複数回答）

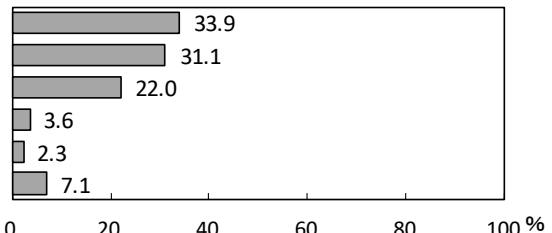
	回答数	比率(%)
近くにお店がない	147	69.7
自動車や自転車の運転に不安がある	46	21.8
家族等の協力がなくて買い物ができない	50	23.7
バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない	48	22.7
デマンドタクシーの乗降ポイントが少ない	23	10.9
その他	41	19.4
無回答	2	0.9
全体	211	100.0



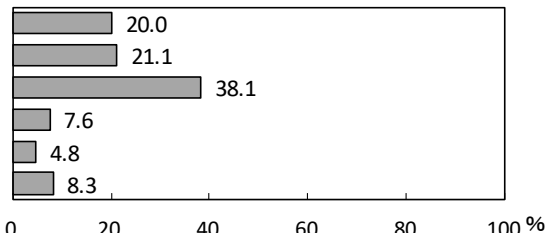
<公共施設について>

■問32. 公共施設（市の建物）に対する考え方についておたずねします。今後、限られた市の財源の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。（単数回答）

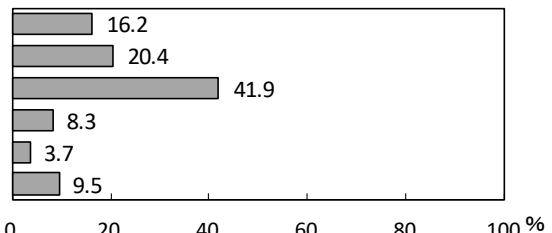
あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする	回答数	比率(%)
実施すべき	435	33.9
どちらかといえば実施すべき	399	31.1
どちらともいえない	282	22.0
どちらかといえば実施すべきでない	46	3.6
実施すべきでない	29	2.3
無回答	91	7.1
全体	1,282	100.0



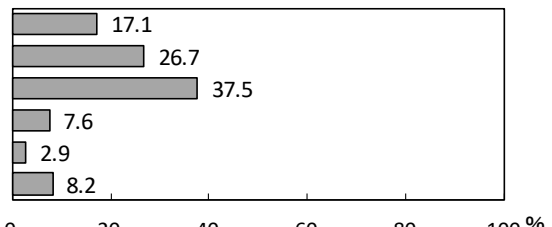
同じサービスを提供している施設を1つにまとめる	回答数	比率(%)
実施すべき	257	20.0
どちらかといえば実施すべき	270	21.1
どちらともいえない	489	38.1
どちらかといえば実施すべきでない	98	7.6
実施すべきでない	61	4.8
無回答	107	8.3
全体	1,282	100.0



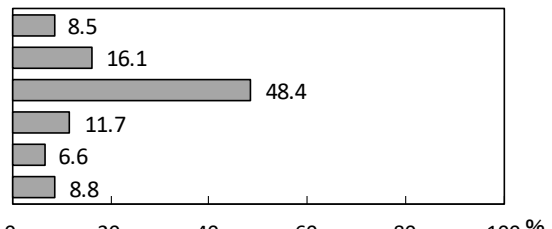
周辺にある複数の施設を1つにまとめる	回答数	比率(%)
実施すべき	208	16.2
どちらかといえば実施すべき	262	20.4
どちらともいえない	537	41.9
どちらかといえば実施すべきでない	106	8.3
実施すべきでない	47	3.7
無回答	122	9.5
全体	1,282	100.0



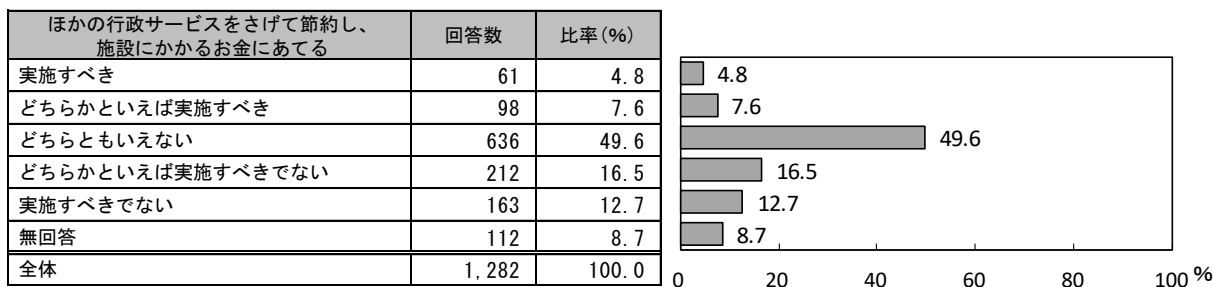
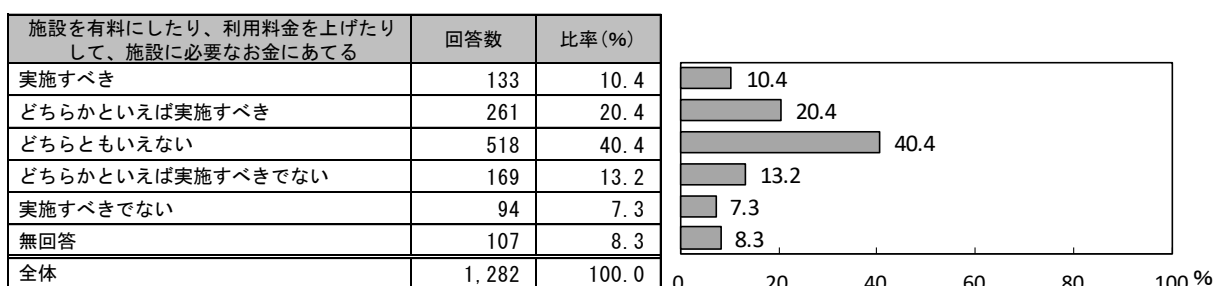
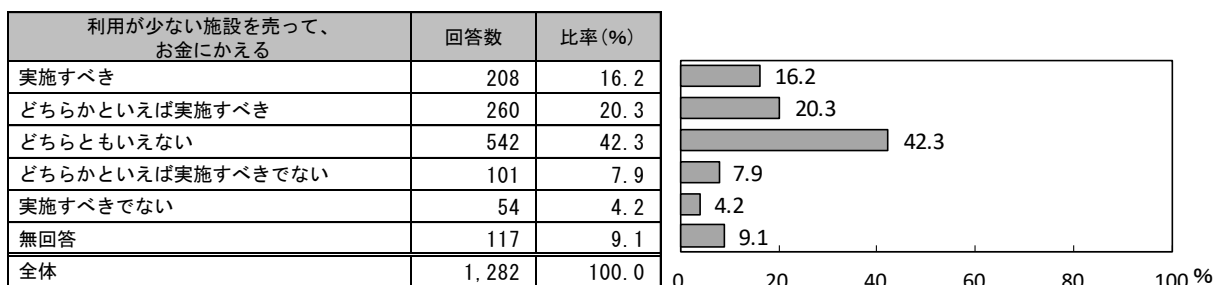
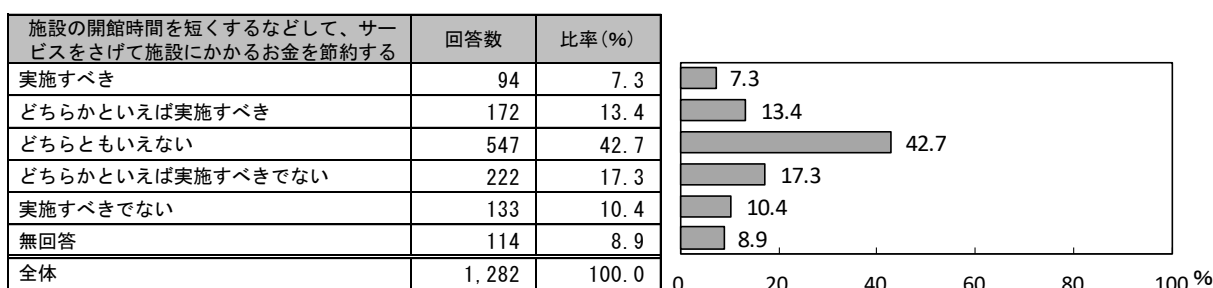
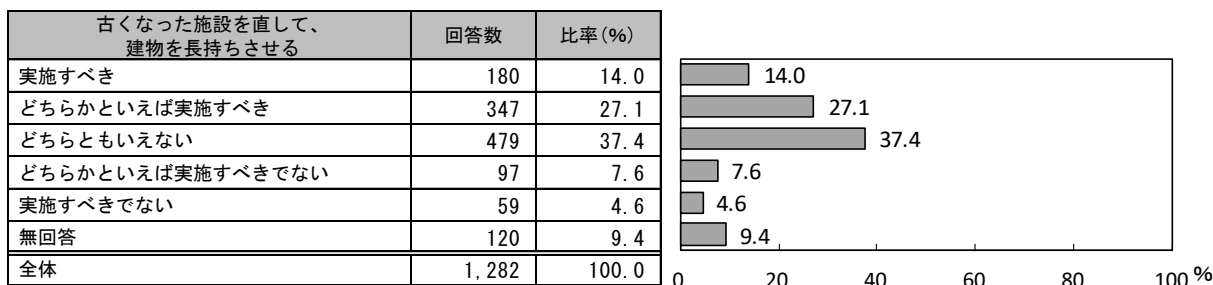
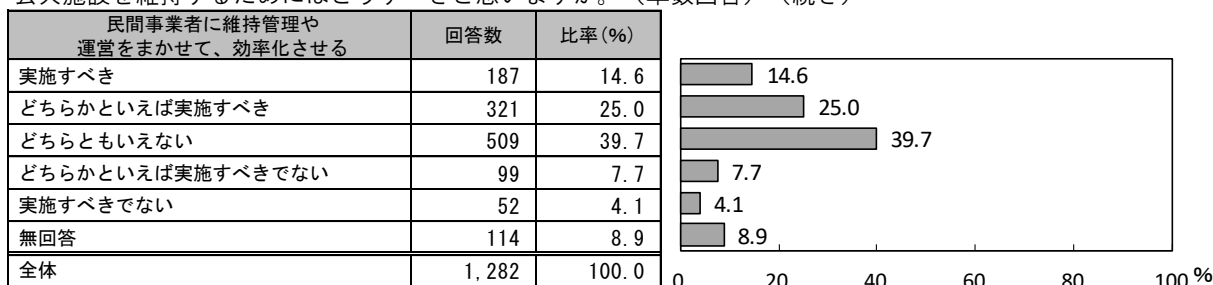
近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする	回答数	比率(%)
実施すべき	219	17.1
どちらかといえば実施すべき	342	26.7
どちらともいえない	481	37.5
どちらかといえば実施すべきでない	98	7.6
実施すべきでない	37	2.9
無回答	105	8.2
全体	1,282	100.0



民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく	回答数	比率(%)
実施すべき	109	8.5
どちらかといえば実施すべき	206	16.1
どちらともいえない	620	48.4
どちらかといえば実施すべきでない	150	11.7
実施すべきでない	84	6.6
無回答	113	8.8
全体	1,282	100.0

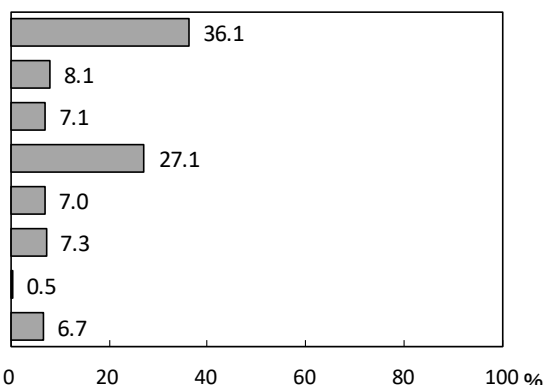


■問32. 公共施設（市の建物）に対する考え方についておたずねします。今後、限られた市の財源の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。（単数回答）（続き）



■問33. 今後、公共施設（市の施設）を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきと思いますか。（単数回答）

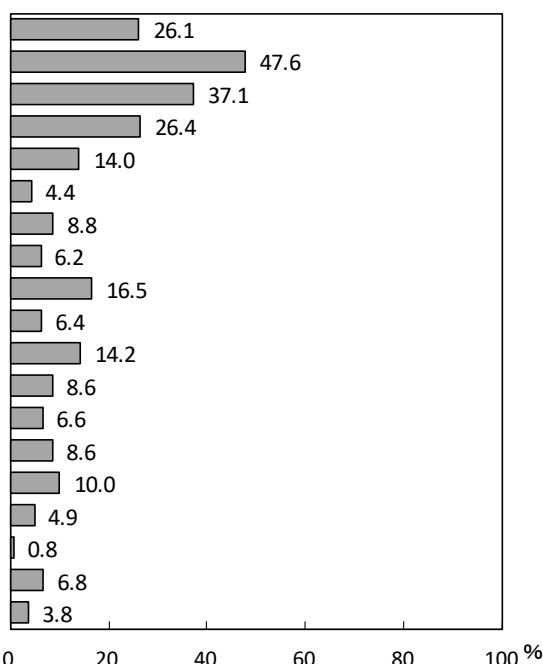
	回答数	比率(%)
利用する人が少ない施設	463	36.1
利用する人がいつも同じで、たくさんの方が利用していない施設	104	8.1
他の施設と比べて、維持などにお金がかかる施設	91	7.1
近くに同じような施設（民間施設を含む）があり、十分代替えが可能な施設	347	27.1
建物や設備が古くなっている施設	90	7.0
交通の便が悪い場所にある施設	94	7.3
その他	7	0.5
無回答	86	6.7
全体	1,282	100.0



<市政情報について>

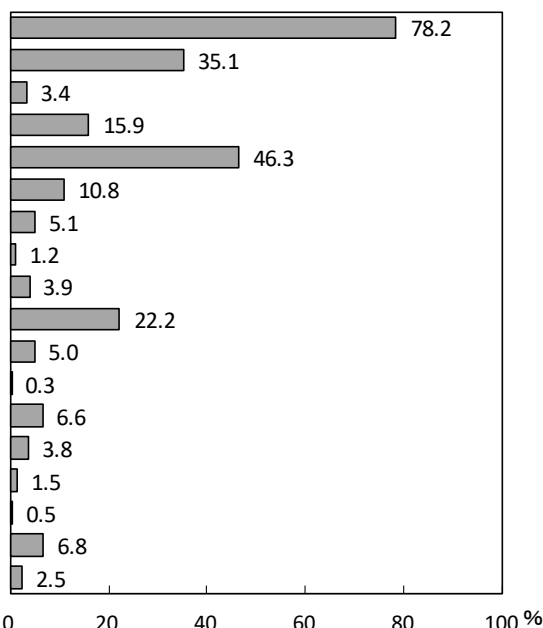
■問34. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
市政の運営（施策・計画・財政）	335	26.1
健康・医療	610	47.6
福祉・介護	476	37.1
地域の防犯・防災	338	26.4
道路・交通（安全対策）	179	14.0
消費生活（生活知識・消費者相談）	57	4.4
リサイクル・環境問題	113	8.8
法律相談などの各種相談案内	80	6.2
申請手続きの方法や窓口案内	212	16.5
公共施設の案内・予約状況	82	6.4
子どもの教育（学校教育）	182	14.2
育児・保育	110	8.6
生涯学習（講座・教室等）	84	6.6
地域の話（タウン情報）	110	8.6
市内の祭りやイベント	128	10.0
市の歴史や文化や自然	63	4.9
その他	10	0.8
特になし	87	6.8
無回答	49	3.8
全体	1,282	100.0



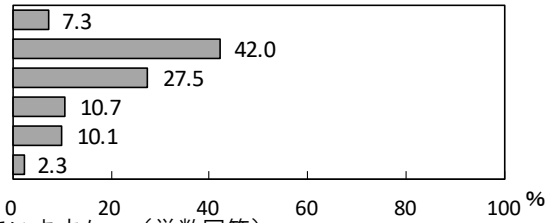
■問35. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。（複数回答）

	回答数	比率(%)
広報ひがしまつやま	1,002	78.2
東松山市ホームページ	450	35.1
東松山市モバイルサイト	43	3.4
東松山市ホームページスマートフォン専用サイト	204	15.9
市からのお知らせや回覧	594	46.3
市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ	138	10.8
市役所などの公共施設の窓口	66	5.1
民間のタウン誌・情報誌	15	1.2
ケーブルテレビ	50	3.9
新聞・テレビ	284	22.2
テレビ埼玉データ放送	64	5.0
デジタルサイネージ（電子掲示板）	4	0.3
メール配信サービス（東松山いんふおメール）	85	6.6
Twitter（ツイッター）	49	3.8
Facebook（フェイスブック）	19	1.5
その他	7	0.5
市政情報は入手していない	87	6.8
無回答	32	2.5
全体	1,282	100.0



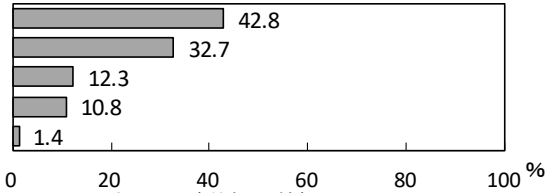
■問36. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
得られている	94	7.3
ある程度得られている	538	42.0
あまり得られていない	353	27.5
得られていない	137	10.7
わからない	130	10.1
無回答	30	2.3
全体	1,282	100.0



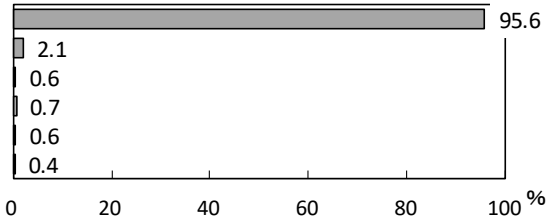
■問37. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
よく読んでいる	549	42.8
時々読んでいる	419	32.7
あまり読んでいない	158	12.3
まったく読んでいない	138	10.8
無回答	18	1.4
全体	1,282	100.0



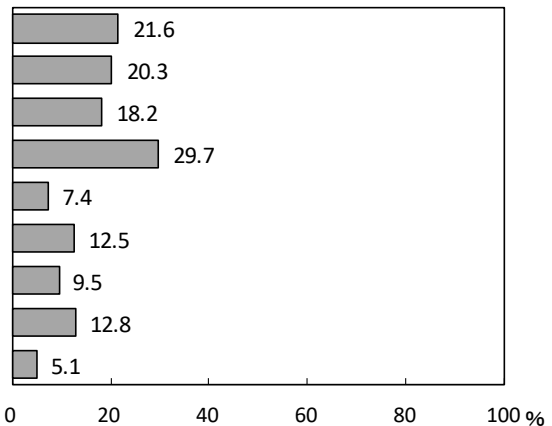
■問37-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。（単数回答）

	回答数	比率(%)
自治会等からの配布	925	95.6
公の施設・駅	20	2.1
コンビニエンスストアなどの店舗	6	0.6
東松山市ホームページ	7	0.7
その他	6	0.6
無回答	4	0.4
全体	968	100.0



■問37-2. 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。（複数回答）

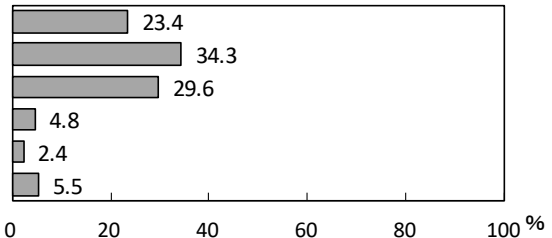
	回答数	比率(%)
市政に関心がない	64	21.6
内容がおもしろくない	60	20.3
役立つ記事がない	54	18.2
読むのが面倒	88	29.7
小さい字が読みづらい	22	7.4
「広報ひがしまつやま」を知らない	37	12.5
東松山市ホームページ、メール配信サービス（いんぷおメール）等で情報を得ている	28	9.5
その他	38	12.8
無回答	15	5.1
全体	296	100.0



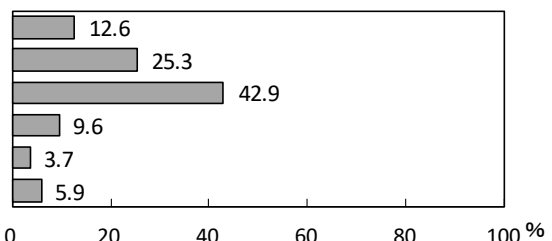
<市政について>

■問38. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。（単数回答）

礼儀正しい	回答数	比率(%)
そう思う	300	23.4
ややそう思う	440	34.3
どちらともいえない	379	29.6
あまりそう思わない	61	4.8
そう思わない	31	2.4
無回答	71	5.5
全体	1,282	100.0

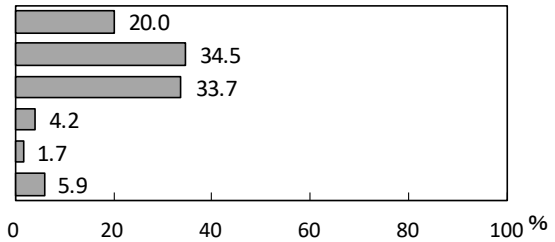


親しみやすい	回答数	比率(%)
そう思う	162	12.6
ややそう思う	324	25.3
どちらともいえない	550	42.9
あまりそう思わない	123	9.6
そう思わない	48	3.7
無回答	75	5.9
全体	1,282	100.0

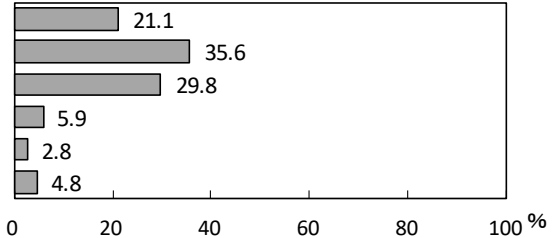


■問38. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。（単数回答）（続き）

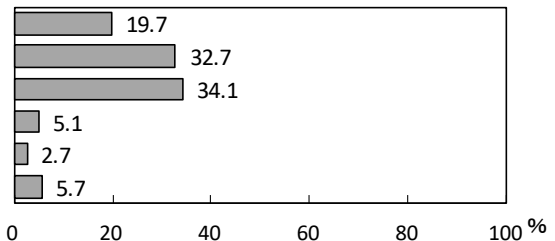
言葉づかいがよい	回答数	比率(%)
そう思う	256	20.0
ややそう思う	442	34.5
どちらともいえない	432	33.7
あまりそう思わない	54	4.2
そう思わない	22	1.7
無回答	76	5.9
全体	1,282	100.0



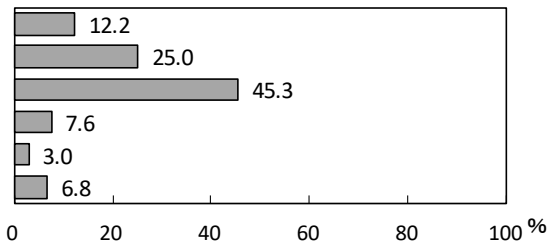
わかりやすく説明してくれる	回答数	比率(%)
そう思う	270	21.1
ややそう思う	457	35.6
どちらともいえない	382	29.8
あまりそう思わない	76	5.9
そう思わない	36	2.8
無回答	61	4.8
全体	1,282	100.0



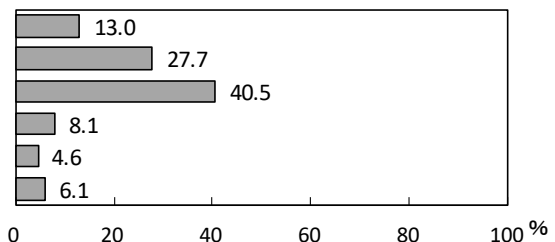
話をきちんと聞いてくれる	回答数	比率(%)
そう思う	252	19.7
ややそう思う	419	32.7
どちらともいえない	437	34.1
あまりそう思わない	66	5.1
そう思わない	35	2.7
無回答	73	5.7
全体	1,282	100.0



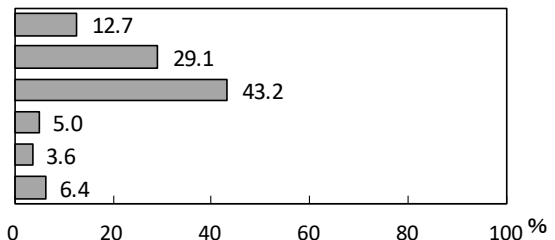
専門的なことでも詳しく教えてくれる	回答数	比率(%)
そう思う	156	12.2
ややそう思う	321	25.0
どちらともいえない	581	45.3
あまりそう思わない	98	7.6
そう思わない	39	3.0
無回答	87	6.8
全体	1,282	100.0



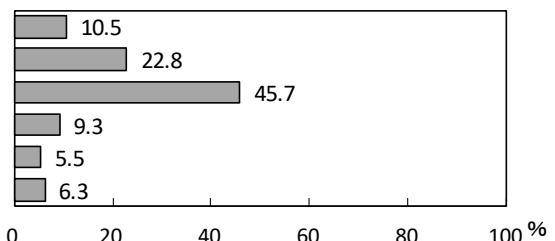
手際がよく、対応が早い	回答数	比率(%)
そう思う	167	13.0
ややそう思う	355	27.7
どちらともいえない	519	40.5
あまりそう思わない	104	8.1
そう思わない	59	4.6
無回答	78	6.1
全体	1,282	100.0



責任感を持って仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	163	12.7
ややそう思う	373	29.1
どちらともいえない	554	43.2
あまりそう思わない	64	5.0
そう思わない	46	3.6
無回答	82	6.4
全体	1,282	100.0

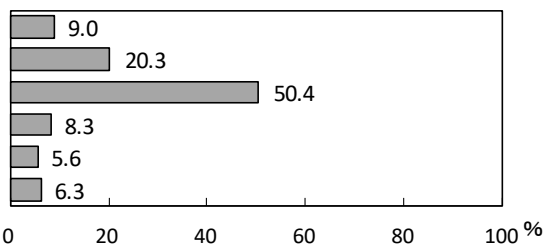


市民の立場に立って仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	134	10.5
ややそう思う	292	22.8
どちらともいえない	586	45.7
あまりそう思わない	119	9.3
そう思わない	70	5.5
無回答	81	6.3
全体	1,282	100.0



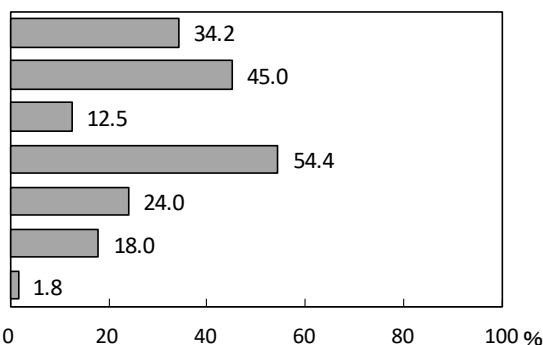
■問38. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。(単数回答) (続き)

自ら積極的に仕事をしている	回答数	比率(%)
そう思う	116	9.0
ややそう思う	260	20.3
どちらともいえない	646	50.4
あまりそう思わない	107	8.3
そう思わない	72	5.6
無回答	81	6.3
全体	1,282	100.0



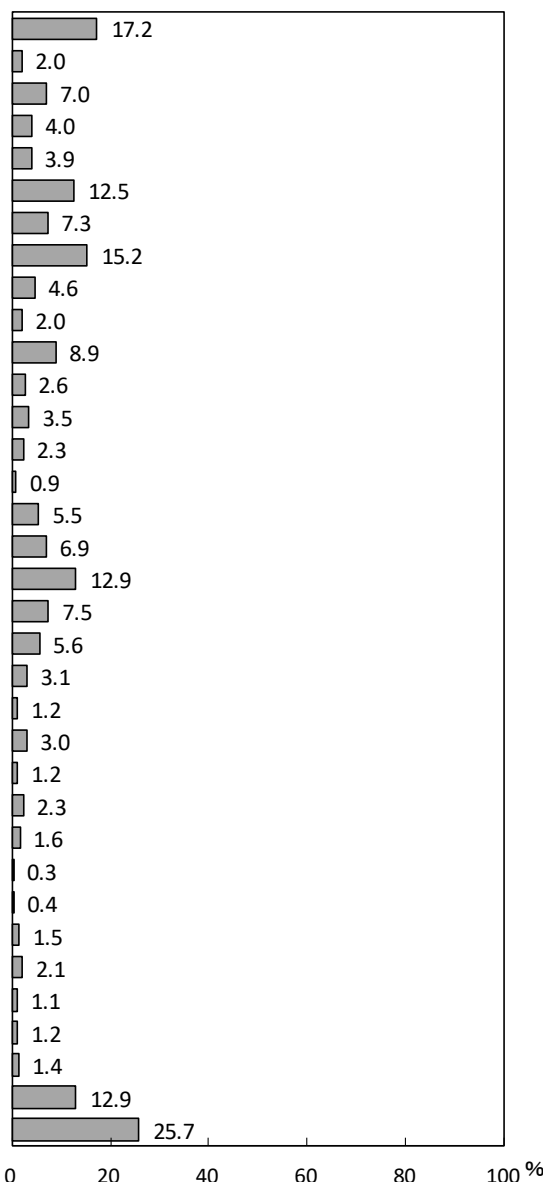
■問39. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
子どもたちが健やかに成長する学びのまち	439	34.2
誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち	577	45.0
自然と調和する環境未来・エコのまち	160	12.5
快適に暮らせる安全のまち	698	54.4
元気で活力のあるにぎわいのまち	308	24.0
人と地域がつながる支え合いのまち	231	18.0
無回答	23	1.8
全体	1,282	100.0

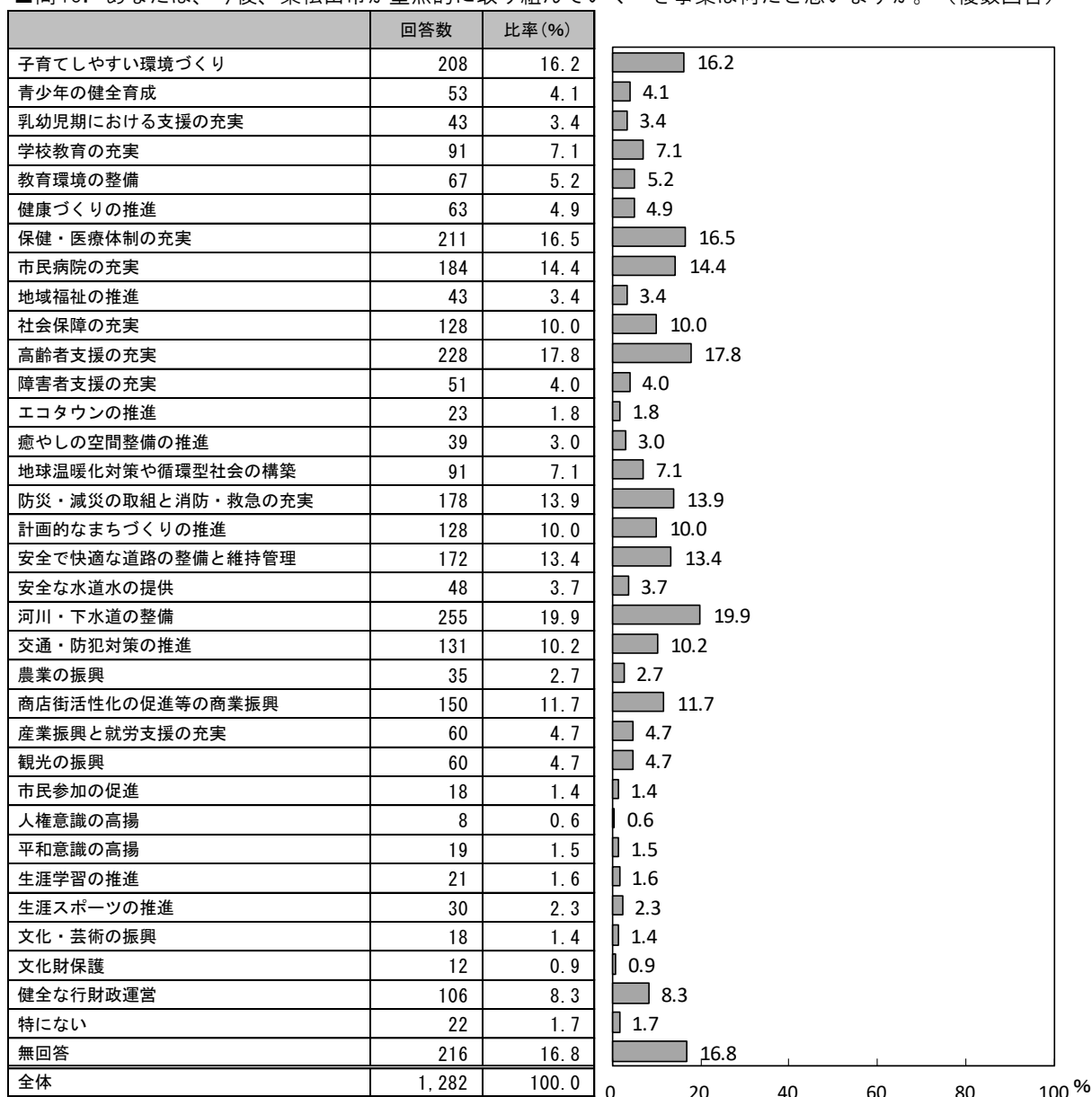


■問40. あなたは、東松山市でよくなってきた事業は何だと思えますか。(複数回答)

	回答数	比率(%)
子育てしやすい環境づくり	221	17.2
青少年の健全育成	26	2.0
乳幼児期における支援の充実	90	7.0
学校教育の充実	51	4.0
教育環境の整備	50	3.9
健康づくりの推進	160	12.5
保健・医療体制の充実	93	7.3
市民病院の充実	195	15.2
地域福祉の推進	59	4.6
社会保障の充実	25	2.0
高齢者支援の充実	114	8.9
障害者支援の充実	33	2.6
エコタウンの推進	45	3.5
癒やしの空間整備の推進	29	2.3
地球温暖化対策や循環型社会の構築	12	0.9
防災・減災の取組と消防・救急の充実	70	5.5
計画的なまちづくりの推進	88	6.9
安全で快適な道路の整備と維持管理	165	12.9
安全な水道水の提供	96	7.5
河川・下水道の整備	72	5.6
交通・防犯対策の推進	40	3.1
農業の振興	15	1.2
商店街活性化の促進等の商業振興	38	3.0
産業振興と就労支援の充実	16	1.2
観光の振興	29	2.3
市民参加の促進	20	1.6
人権意識の高揚	4	0.3
平和意識の高揚	5	0.4
生涯学習の推進	19	1.5
生涯スポーツの推進	27	2.1
文化・芸術の振興	14	1.1
文化財保護	16	1.2
健全な行財政運営	18	1.4
特にない	165	12.9
無回答	330	25.7
全体	1,282	100.0



■問40. あなたは、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思えますか。（複数回答）



東松山市市民意識調査

《調査ご協力をお願い》

市民のみなさまには、日頃より市政に対してご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、東松山市では、市の施策や事業の基本的な方針を定める第五次東松山市総合計画を策定し、この計画に基づく施策を推進しております。今回お願いいたします「東松山市市民意識調査」は、市民のみなさまから市政に対するご意見を幅広くお伺いし、これからの「まちづくり」に役立てていくために実施するものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの満18歳以上の方2,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた結果、あなた様に調査をお願いすることとなりました。調査結果は、全てコンピューターにより統計的に処理しますので、調査票にお名前を書く必要はなく、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙の折恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年10月 東松山市長 森田 光一

記入についてのお願い

- 1 あて名のご本人がお答えください。お名前は記入しないでください。
- 2 黒のボールペン又は鉛筆でご記入ください。
- 3 お答えは、設問ごとに「1つ選び」、「2つまで選び」などと指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください（問40は番号をご記入ください）。
- 4 「その他」を選択した場合と、F2、問41、問42のお答えは、具体的にご記入ください。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて

11月9日(月)までに ご投函ください。

この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

東松山市松葉町一丁目1番58号 東松山市役所 秘書室 広報広聴課

電話 23-2221(代表)

FAX 22-7799

Eメール HMY003@city.higashimatsuyama.lg.jp

あなたご自身のことについておたずねします

F1. あなたの性別を教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他／回答しない
-------	-------	--------------

F2. あなたの年齢を教えてください。

_____ 歳（令和2年10月1日現在でご記入ください）

F3. あなたのご職業を教えてください。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 農林業	4. 公務員	7. 学生
2. 自営業	5. パート・アルバイト	8. その他（具体的に：_____）
3. 会社員	6. 契約社員・派遣社員	9. 家事・育児・介護に専業
		10. 無職

→（F3で1、2、3、4、5、6、7、8とお答えの方におたずねします。）

F3-1. 職場(学校)までの通勤(通学)時間は何分ですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 0分（自宅勤務）	5. 60分以上90分未満
2. 15分未満	6. 90分以上120分未満
3. 15分以上30分未満	7. 120分以上
4. 30分以上60分未満	

F4. あなたのお住まいの地区を教えてください。1つ選び、番号を○で囲んでください。

松山地区	1. 本町	6. 日吉町	11. 市ノ川	16. 新宿町	21. 美原町
	2. 神明町	7. 加美町	12. 御茶山町	17. 山崎町	22. 美土里町
	3. 箭弓町	8. 松本町	13. 六反町	18. 小松原町	23. 和泉町
	4. 材木町	9. 松山	14. 六軒町	19. 砂田町	24. 幸町
	5. 松葉町	10. 松山町	15. 五領町	20. 仲田町	
大岡地区	25. 大谷	26. 岡			
平野地区	27. 東平	28. 野田	29. 沢口町	30. 殿山町	
唐子地区	31. 下唐子	33. 葛袋	35. 上唐子	37. 坂東山	
	32. 石橋	34. 神戸	36. 新郷		
高坂地区	38. 高坂	41. 宮鼻	44. 岩殿	47. 元宿	
	39. 早俣	42. 毛塚	45. 西本宿	48. あずま町	
	40. 正代	43. 田木	46. 大黒部		
高坂丘陵地区	49. 桜山台	50. 白山台	51. 旗立台	52. 松風台	
野本地区	53. 上野本	55. 上押垂	57. 今泉	59. 柏崎	61. 下野本
	54. 下青鳥	56. 下押垂	58. 古凍	60. 若松町	

F5. あなたは、東松山市に住んで何年経ちましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 2年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 2年以上5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上10年未満 | |

F6. あなたの(同居している)世帯の状況は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. 三世帯世帯(祖父母、父母、子どもなど) | 3. 夫婦のみ |
| 2. 二世帯世帯(夫婦と子どもなど) | 4. 単身世帯 |
| | 5. その他 |

→ (F6で1または2とお答えの方におたずねします。)

F6-1. 同居者に次の方がいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 就学前(0~6歳) | 3. 65歳以上 |
| 2. 小学生・中学生 | 4. いずれもない |

F7. お住まいの形態は次のどれにあたりますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 一戸建て持ち家 |
| 2. 一戸建て借家 |
| 3. 共同持ち家(分譲マンション等) |
| 4. 公営の賃貸住宅 |
| 5. 民間の賃貸集合住宅(マンション・アパート等) |
| 6. 社宅・寮 |
| 7. その他(具体的に: _____) |

まち全体の印象についておたずねします

問1. あなたは、東松山市に愛着を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 愛着がある | 4. どちらかといえば愛着がない |
| 2. どちらかといえば愛着がある | 5. 愛着がない |
| 3. どちらともいえない | |

問2. あなたにとって、東松山市は住みよいまちですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問3. あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 現在のところに住み続けたい |
| 2. 東松山市内の別のところで住み続けたい |
| 3. 東松山市外へ移りたい |
| 4. わからない |

問4. あなたは、東松山市についてどのように思いますか。次の(ア)～(セ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	よい	どちらかとい えば よい	ふつう	どちらかとい えば わるい	わるい
(ア) 人柄・土地柄	1	2	3	4	5
(イ) 自然環境	1	2	3	4	5
(ウ) 歴史と伝統	1	2	3	4	5
(エ) 交通の利便性	1	2	3	4	5
(オ) 働く場	1	2	3	4	5
(カ) 買物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
(キ) 教育・文化・スポーツ施設	1	2	3	4	5
(ク) 医療・福祉施設	1	2	3	4	5
(ケ) 道路や公園等の生活の基盤施設	1	2	3	4	5
(コ) 活気とにぎわい	1	2	3	4	5
(サ) 街並みの美しさ	1	2	3	4	5
(シ) 市の発展性	1	2	3	4	5
(ス) 都市としての個性や魅力	1	2	3	4	5
(セ) 総合的に見て	1	2	3	4	5

健康や医療・福祉についておたずねします

問5. あなたは、体の不調を感じたとき、最初にかかる医療機関を決めていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 決めている

2. 決めていない

→ (問5で1とお答えの方におたずねします。)

問5-1. それは、次のどれですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 近所の医院・診療所・クリニック

2. 大学病院・公立病院・総合病院等

3. その他(具体的に:)

問6. あなたが、自分の健康づくりのために日頃から心がけていることはどのようなことですか。
あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 食事に気をつける

2. 十分な睡眠・休養をとり、規則正しい生活をする

3. 散歩や運動などをする

4. たばこを吸わない

5. 年に1回は健康診断や人間ドックを受ける

6. ストレスをためないよう気分転換をはかる

7. 健康についての情報、知識を増やす

8. その他(具体的に:)

9. 特に心がけていることはない

問7. あなたは、東松山市は子育てしやすい環境が整ったまちだと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 整っている

3. どちらかといえば整っていない

5. わからない

2. どちらかといえば整っている

4. 整っていない

→ (問7で3または4とお答えの方におたずねします。)

問7-1. その理由は何ですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号を○で囲んでください。

1. 待機児童をなくすための保育所などの整備が不十分

2. 延長保育や休日保育など働き方の多様化に対応した保育サービスが不十分

3. 子育てについての情報提供や相談できる場が少ない

4. 小児医療体制が不十分

5. 学童保育など放課後の児童対策が不十分

6. 公園や児童館など子どもが安心して遊べる場が少ない

7. 子育てする親同士の交流の場が少ない

8. 子どもを連れた人や妊産婦が使いやすい施設の整備が不十分

9. その他(具体的に:)

問8. あなたは、新型コロナウイルスの感染症対策に取り組んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない

→ (問8で1とお答えの方におたずねします。)

問8-1. 日常生活の中で、どのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---|--|
| 1. 手洗い、手指消毒をする | 9. 公共交通機関の利用は混んでいる時間帯を避ける |
| 2. 咳エチケット、マスクの着用をする | 10. 筋トレやヨガは自宅で動画を活用する |
| 3. こまめに換気する | 11. 多人数での会食は避ける |
| 4. 身体的距離を確保する | 12. 食事は持ち帰りや出前、デリバリーを利用する |
| 5. 3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける | 13. 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールしている |
| 6. 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える | 14. 埼玉県 LINE コロナお知らせシステムに登録している |
| 7. 定期的に体温を測定する | 15. その他 |
| 8. 買い物は1人または少人数ですいた時間に行く | (具体的に：) |

環境についておたずねします

問9. あなたは、環境に配慮した生活を心がけていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 心がけている

3. どちらかといえば心がけていない

2. どちらかといえば心がけている

4. 心がけていない

→ (問9で1または2とお答えの方におたずねします。)

問9-1. 日常生活の中で、具体的に心がけていることは何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 決められたとおりにごみの分別を徹底している
2. マイバッグを利用したり、余分な包装を断ったりするなどごみの減量化に努めている
3. 生ごみは自家処理をしている
4. 物が壊れても、可能な限り修理して長く使うようにしている
5. 風呂の残り湯を洗濯に使うなど、節水に努めている
6. 環境にやさしい製品を積極的に購入している
7. 冷暖房の設定温度を、夏は高めに、冬は低めにしている
8. 部屋の電気やテレビのスイッチはこまめに消している
9. 近いところへは、徒歩や自転車で出かけている
10. わずかな間でもアイドリングストップをしている
11. 家の周りなどに植物を植えている
12. 太陽光発電などの自然エネルギーの利用を積極的に導入している
13. 調理の際に食材を使い切るようにしたり、外食は食べきるようにしたりしている
14. その他（具体的に：)

問10. 環境問題について、次にあげる(ア)～(サ)で、「すでに深刻な問題である」と思うことと、今後、改善していくうえで「重点的に取り組んでいく必要がある」と思うことについて、それぞれ3つまで選び、番号を○で囲んでください。

	すでに深刻な 問題である (3つまで)	重点的に取り 組んでいく 必要がある (3つまで)
(ア) 日常生活における騒音・振動・悪臭	1	1
(イ) 生活排水や工場排水による河川の水質汚濁	2	2
(ウ) ごみの増加や不法投棄	3	3
(エ) 身近な緑や農地の減少	4	4
(オ) 身近な生き物の減少	5	5
(カ) 地球温暖化	6	6
(キ) 酸性雨や大気汚染	7	7
(ク) 有害化学物質による人体への影響	8	8
(ケ) グリーン購入、詰め替え商品等、環境に配慮した製品の購入		9
(コ) 省エネや新エネルギー（太陽光発電や風力発電、バイオ燃料の利用）		10
(サ) 環境に関する学習		11

問11. あなたは、省エネ設備や太陽光などの新エネルギーによる創エネ・蓄エネ設備を利用していますか。次の(ア)～(ク)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	利用して いる	利用して いないが今後 利用したい	利用したい とは思わない	わからない
(ア) 太陽光発電システム（太陽電池を使って電気をつくる）	1	2	3	4
(イ) 家庭用燃料電池システム（エネファーム等）	1	2	3	4
(ウ) 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ等）	1	2	3	4
(エ) 建物の断熱化（二重ガラスや壁の断熱化等）	1	2	3	4
(オ) 家庭の電気使用状況が一目でわかる機器（HEMS：ホームエネルギーマネジメントシステム）	1	2	3	4
(カ) 家庭用蓄電池	1	2	3	4
(キ) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池（水素）自動車	1	2	3	4
(ク) 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に蓄えた電気を家で使う機器（V2H：ビークルトゥホーム）	1	2	3	4

防災についておたずねします

問12. あなたは、災害時の防災情報(避難情報)をどのように取得していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 防災行政無線 | 7. テレビ |
| 2. 緊急速報メール(緊急地震速報等、対象エリアに一斉配信されるメール) | 8. Twitter等のソーシャルネットワークサービス(SNS) |
| 3. 登録制メール(東松山いんぷおメール等) | 9. テレホンサービス |
| 4. 東松山市ホームページ | 10. その他 |
| 5. 防災ラジオ・戸別受信機 | (具体的に:) |
| 6. インターネットの防災情報 | 11. 特に行っていない |

問13. あなたは、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 市の指定避難所(一時避難場所・避難所)に避難する | 4. その他(具体的に:) |
| 2. 車で安全な場所に避難する(車中避難) | 5. 自宅が安全なため避難しない |
| 3. 親戚・知人宅へ避難する | |

問14. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 家族や親族との連絡方法を決めている | 7. 応急手当等の研修に参加している |
| 2. 保存飲料水・食料品を準備している | 8. 消火器を準備している |
| 3. 非常用持ち出し袋を用意している | 9. その他 |
| 4. 家財を補強している | (具体的に:) |
| 5. 避難場所や経路を確認している | 10. 特に行っていない |
| 6. 防災訓練に参加している | |

防犯・交通についておたずねします

問15. あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政としてどのようなことが必要だと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 防犯灯や街灯の数を増やす | 5. 防犯協会や防犯団体の活動を活発にする |
| 2. 商店街などに防犯カメラを取り付ける | 6. 警察官の数を増やす |
| 3. 住民によるパトロールを行う | 7. その他 |
| 4. 近所の人とのつながりや助け合いを深める | (具体的に:) |
| | 8. 特にない |

問16. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | | |
|-------------------|-------------|--------|
| 1. 自家用車（自分で運転） | 4. 市内循環バス | 7. バイク |
| 2. 自家用車（家族や知人が運転） | 5. タクシー | 8. 自転車 |
| 3. 民間路線バス | 6. デマンドタクシー | 9. 徒歩 |

問17. あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

→ (問17で1とお答えの方におたずねします。)

問17-1. どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 公共施設を利用するため
(施設名:) | 4. 通院 |
| 2. 買い物 | 5. その他
(具体的に:) |
| 3. 通勤・通学 | |

← (問17で2とお答えの方におたずねします。)

問17-2. 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 市内循環バスを知らなかったから | 4. ほかの交通手段を利用しているから |
| 2. 近くに停留所がないから | 5. その他 |
| 3. 本数が少ないから | (具体的に:) |

問18. あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

→ (問18で1とお答えの方におたずねします。)

問18-1. どのようなことで利用しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 公共施設を利用するため
(施設名:) | 4. 通院 |
| 2. 買い物 | 5. その他
(具体的に:) |
| 3. 通勤・通学 | |

← (問18で2とお答えの方におたずねします。)

問18-2. 利用したことがないのはなぜですか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. デマンドタクシーを知らなかったから | 4. ほかの交通手段を利用しているから |
| 2. 利用したい乗降ポイントがないから | 5. その他 |
| 3. 利用料金が高いから | (具体的に:) |

問23. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

※令和元年度と2年度の日本スリーデーマーチは中止ですので、平成30年度までの参加状況でお答えください。

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 参加したことがある（1～10回） | 5. 参加したことはない |
| 2. 参加したことがある（11～20回） | |
| 3. 参加したことがある（21回～30回） | |
| 4. 参加したことがある（31回以上） | |

→（問23で1、2、3、4とお答えの方におたずねします。）

問23-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由はなんですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 市の代表的なイベントだから | 5. 自分への挑戦のため |
| 2. 健康のため | 6. 学校行事だったから |
| 3. 歩くことが好きだから | 7. その他 |
| 4. 家族や友人・知人と交流するため | （具体的に：) |

問24. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. よく参加している | 3. あまり参加していない |
| 2. ときどき参加している | 4. 参加したことはない |

問25. あなたは、団体、サークルまたは個人などでボランティア(社会貢献)活動をしていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 現在活動している | 3. 将来活動してみたいと思っている |
| 2. 以前活動していたが現在はしていない | 4. 今後も活動するつもりはない |

→（問25で1とお答えの方におたずねします。）

問25-1. 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------|
| 1. 保健・医療・福祉 |
| 2. 生涯学習 |
| 3. スポーツ |
| 4. 環境保全 |
| 5. 地域安全 |
| 6. 国際交流 |
| 7. 子どもの健全育成 |
| 8. その他（具体的に：) |

※「災害ボランティア」は、8を○で囲みカッコ内に記入してください。

人権・男女平等についておたずねします

問26. 現在、社会にはいろいろな人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。

あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 女性	9. 犯罪被害者など
2. 子ども	10. LGBT (※) などの性的少数者
3. 高齢者	11. インターネットによる人権侵害
4. 障害者	12. 拉致問題
5. 同和問題	13. アイヌの人々
6. 外国人	14. その他(具体的に:)
7. HIV感染者、ハンセン病患者など	15. 特にない
8. 刑を終えて出所した人	

※レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーを指す

問27. あなたは、LGBTという言葉を知っていましたか。またその意味を知っていましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 知っていた	3. 知らなかった
2. 言葉を耳にしたことはあるが、詳しくは知らなかった	

問28. あなたのまわりでは、次の(ア)～(キ)の場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。

それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	男性が 優遇され ている	どちらか といえば 男性が 優遇され ている	平等で ある	どちらか といえば 女性が 優遇され ている	女性が 優遇され ている	わから ない
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
(キ) 社会全体	1	2	3	4	5	6

問29. あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 賛成	4. どちらかといえば反対
2. どちらかといえば賛成	5. 反対
3. どちらともいえない	

購買行動についておたずねします

問30. あなたは、次の商品を主にどの商店で購入していますか。次の(ア)～(ウ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	市内の		市外の		通信販売 (テレビ、インターネット、雑誌など)
	個人商店	大型店・チェーン店	個人商店	大型店・チェーン店	
(ア) 食料品	1	2	3	4	5
(イ) 衣服・服飾品	1	2	3	4	5
(ウ) 家具・家電	1	2	3	4	5

問31. あなたは、食料品などの日用品の買い物で不便を感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 不便を感じている

2. 不便は感じていない

→ (問31で1とお答えの方におたずねします。)

問31-1. どのようなことで不便を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 近くにお店がない

2. 自動車や自転車の運転に不安がある

3. 家族等の協力がないと買い物ができない

4. バスなどの公共交通機関の停留所が遠い、本数が少ない

5. デマンドタクシーの乗降ポイントが少ない

6. その他(具体的に: _____)

公共施設についておたずねします

問32. 公共施設(市の建物)に対する考え方についておたずねします。今後、限られた市の財源の中で公共施設を維持するためにはどうすべきと思いますか。次の(ア)～(サ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

内容	方向性	実施の方向性				
		実施すべき	どちらかといえば実施すべき	いえない どちらとも	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない
(ア) あまり利用されていない施設を1つにまとめたり、なくしたりする		1	2	3	4	5
(イ) 同じサービスを提供している施設を1つにまとめる		1	2	3	4	5
(ウ) 周辺にある複数の施設を1つにまとめる		1	2	3	4	5
(エ) 近隣の市や町と共用できる施設をつくり、共同で維持管理や運営をする		1	2	3	4	5
(オ) 民間施設(会議室・スポーツ施設など)の利用に対して助成するかわりに、市の施設を減らしていく		1	2	3	4	5
(カ) 民間事業者に維持管理や運営をまかせて、効率化させる		1	2	3	4	5
(キ) 古くなった施設を直して、建物を長持ちさせる		1	2	3	4	5
(ク) 施設の開館時間を短くするなどして、サービスをさげて施設にかかるお金を節約する		1	2	3	4	5
(ケ) 利用が少ない施設を売って、お金にかえる		1	2	3	4	5
(コ) 施設を有料にしたり、利用料金を上げたりして、施設に必要なお金にあてる		1	2	3	4	5
(サ) ほかの行政サービスをさげて節約し、施設にかかるお金にあてる		1	2	3	4	5

問33. 今後、公共施設(市の施設)を減らさなければならなくなった場合に、どのような施設から減らしていくべきと思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---|--|
| 1. 利用する人が少ない施設
2. 利用する人がいつも同じで、たくさんの人が利用していない施設
3. 他の施設と比べて、維持などにお金がかかる施設 | 4. 近くに同じような施設(民間施設を含む)があり、十分代替えが可能な施設
5. 建物や設備が古くなっている施設
6. 交通の便が悪い場所にある施設
7. その他(具体的に:) |
|---|--|

市政情報についておたずねします

問34. あなたが知りたいと思う市政にかかわる情報はどのようなものですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 市政の運営（施策・計画・財政） | 11. 子どもの教育（学校教育） |
| 2. 健康・医療 | 12. 育児・保育 |
| 3. 福祉・介護 | 13. 生涯学習（講座・教室等） |
| 4. 地域の防犯・防災 | 14. 地域の話（タウン情報） |
| 5. 道路・交通（安全対策） | 15. 市内の祭りやイベント |
| 6. 消費生活（生活知識・消費者相談） | 16. 市の歴史や文化や自然 |
| 7. リサイクル・環境問題 | 17. その他 |
| 8. 法律相談などの各種相談案内 | （具体的に：) |
| 9. 申請手続きの方法や窓口案内 | 18. 特になし |
| 10. 公共施設の案内・予約状況 | |

問35. あなたは、市政情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 広報ひがしまつやま | 10. 新聞・テレビ |
| 2. 東松山市ホームページ | 11. テレビ埼玉データ放送※ |
| 3. 東松山市モバイルサイト | 12. デジタルサイネージ（電子掲示板）※ |
| 4. 東松山市ホームページスマートフォン専用サイト | 13. メール配信サービス（東松山いんふおメール） |
| 5. 市からのお知らせや回覧 | 14. Twitter（ツイッター） |
| 6. 市役所などの公共施設にあるポスター・チラシ | 15. Facebook（フェイスブック） |
| 7. 市役所などの公共施設等の窓口 | 16. その他 |
| 8. 民間のタウン誌・情報誌 | （具体的に：) |
| 9. ケーブルテレビ | 17. 市政情報は入手していない |

※テレビ埼玉データ放送は、地上デジタル放送テレ玉(3ch)で、市の情報を放映しています。

※デジタルサイネージは、看板をタッチ式デジタル・ディスプレイ化して、複数の内容（情報）を切り替えられるようにしたものです。市役所、高坂駅、松山市民活動センターに設置してあります。

問36. あなたは現在、東松山市の市政の情報を得られていると思いますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 得られている | 4. 得られていない |
| 2. ある程度得られている | 5. わからない |
| 3. あまり得られていない | |

問37. あなたは、広報紙「広報ひがしまつやま」を読んでいますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. よく読んでいる
2. 時々読んでいる

3. あまり読んでいない
4. まったく読んでいない

→(問37で1または2とお答えの方におたずねします。)

問37-1. 「広報ひがしまつやま」を主にどのように入手していますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 自治会等からの配布
2. 公の施設・駅
3. コンビニエンスストアなどの店舗
4. 東松山市ホームページ
5. その他
(具体的に：)

(問37で3または4とお答えの方におたずねします。)

問37-2. 「広報ひがしまつやま」を読まないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 市政に関心がない
2. 内容がおもしろくない
3. 役立つ記事がない
4. 読むのが面倒
5. 小さい字が読みづらい
6. 「広報ひがしまつやま」を知らない
7. 東松山市ホームページ、メール配信サービス (いんふおメール) 等で情報を得ている
8. その他
(具体的に：)

市政についておたずねします

問38. あなたは、市の職員についてどのように感じていますか。次の(ア)～(コ)について、それぞれ1つ選び、番号を○で囲んでください。

	そう思う	やや そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない
(ア) 礼儀正しい	1	2	3	4	5
(イ) 親しみやすい	1	2	3	4	5
(ウ) 言葉づかいがよい	1	2	3	4	5
(エ) わかりやすく説明してくれる	1	2	3	4	5
(オ) 話をきちんと聞いてくれる	1	2	3	4	5
(カ) 専門的なことでも詳しく教えてくれる	1	2	3	4	5
(キ) 手際がよく、対応が早い	1	2	3	4	5
(ク) 責任感を持って仕事をしている	1	2	3	4	5
(ケ) 市民の立場に立って仕事をしている	1	2	3	4	5
(コ) 自ら積極的に仕事をしている	1	2	3	4	5

問39. あなたは、これから東松山市がどんなまちになってほしいと思いますか。2つまで選び、番号を○で囲んでください。

- | |
|--|
| 1. 子どもたちが健やかに成長する学びのまち（子育て支援、学校教育の充実） |
| 2. 誰もが自分らしく輝ける健康長寿のまち（健康づくり、保健・医療、地域福祉、社会保障、高齢者福祉、障害者福祉） |
| 3. 自然と調和する環境未来・エコのまち（エコタウン、自然に親しむ空間づくり、資源循環） |
| 4. 快適に暮らせる安全のまち（防災、防犯、都市基盤整備） |
| 5. 元気で活力のあるにぎわいのまち（農業・商業・工業・観光の活性化） |
| 6. 人と地域がつながる支え合いのまち（市民と行政の協働、人権・平和意識、生涯学習・生涯スポーツ、文化・芸術、健全な行財政運営） |

問40. あなたは、東松山市でよくなってきた事業、また、今後、東松山市が重点的に取り組んでいくべき事業は何だと思いませんか。

それぞれ3つまで選び、選択肢下の回答欄に番号を記入してください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 子育てしやすい環境づくり | 18. 安全で快適な道路の整備と維持管理 |
| 2. 青少年の健全育成 | 19. 安全な水道水の提供 |
| 3. 乳幼児期における支援の充実 | 20. 河川・下水道の整備 |
| 4. 学校教育の充実 | 21. 交通・防犯対策の推進 |
| 5. 教育環境の整備 | 22. 農業の振興 |
| 6. 健康づくりの推進 | 23. 商店街活性化の促進等の商業振興 |
| 7. 保健・医療体制の充実 | 24. 産業振興と就労支援の充実 |
| 8. 市民病院の充実 | 25. 観光の振興 |
| 9. 地域福祉の推進 | 26. 市民参加の促進 |
| 10. 社会保障の充実 | 27. 人権意識の高揚 |
| 11. 高齢者支援の充実 | 28. 平和意識の高揚 |
| 12. 障害者支援の充実 | 29. 生涯学習の推進 |
| 13. エコタウンの推進 | 30. 生涯スポーツの推進 |
| 14. 癒やしの空間整備の推進 | 31. 文化・芸術の振興 |
| 15. 地球温暖化対策や循環型社会の構築 | 32. 文化財保護 |
| 16. 防災・減災の取組と消防・救急の充実 | 33. 健全な行財政運営 |
| 17. 計画的なまちづくりの推進 | 34. 特にない |

回答欄(番号は重複可)

よくなってきた事業			
今後、重点的に取り組んでいくべき事業			

問41. あなたが、「東松山市の地域資源(名物・名所、文化財、伝統行事、植物などで特徴となるもの)」として思い浮かべるものは何ですか。具体的にお書きください。

問42.最後に、東松山市のまちづくりについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。回答は、同封の返信用封筒に入れ、

11月9日(月)までにご投函ください。

東松山市マスコットキャラクター

あゆみん



まっくん



SOCIAL DISTANCE

距離を保とう

令和2年度 東松山市市民意識調査報告書

発行日／令和3年3月

発行／東松山市

編集／東松山市秘書室広報広聴課

埼玉県東松山市松葉町1-1-58

0493-23-2221（代表）

* 禁無断転載・複製

©東松山市
